



# ExaPad マニュアル

Copyright © 2019 BroadLeaf Co. Ltd. All rights reserved.

# Table of Contents

Part I	はじめに	6
1	製品概要	9
Part II	使い方 (ユーザーマニュアル)	11
1	ログインする	12
2	ファイルを見る	14
3	ファイルを探す	22
4	ファイル进行操作する	32
5	ファイルを追加する	37
6	複数ファイル进行操作する	44
7	ファイルのタグ情報を編集する	47
8	ファイルを直接開く	53
9	多言語対応について	55
Part III	システム設定 (管理者マニュアル)	56
1	管理コンソールについて	57
2	基本設定 [ 簡単スタート ]	59
	インストールする	59
	サービス	62
	ドキュメントルートフォルダを設定する	63
	ネットワークドライブのフォルダを対象にする	67
	サービスの実行ユーザーアカウントを変更する	68
	プレビュー作成の設定をする	70
	動画ファイルのサムネイルを作成する	78
	インデックスを構築する	82
	ライセンスを適用する	88
	管理者パスワードを設定する	92
3	詳細設定	94
	Webドキュメントルートを設定する	95
	管理画面のアクセスを制御する	99
	ユーザー認証の設定について	103
	アクセスログ出力について	108
	定期実行タスクを設定する	110
	ポート番号とIPタイプを変更する	114
	検索エンジン (Solr) について	116
	テキスト情報の抽出について	121
	検索インデックスから除外する	123
	詳細設定について	126
4	セキュリティ設定	127
	アクセス権限について	128
	セキュリティ拡張設定について	129
	セッションタイムアウトについて	136
	パスワードオートコンプリートについて	137

ネットワーク環境について .....	138
SSL 設定について .....	139
自己証明書の作成について .....	148
クライアント認証について .....	150
5 オプション機能について .....	153
ファイルを直接開く .....	153
CAD ファイルのプレビュー .....	157
DTP ファイルのプレビュー .....	159
ポータル機能 .....	160
アクセスログ集計機能 .....	163
6 いろいろな機能 .....	169
操作メニューを無効にする .....	169
ファイルのクリック動作について .....	171
タグ機能について .....	174
画面のカスタマイズについて .....	181
ヘッダーとロゴ画像 .....	184
フッター .....	185
フォルダアイコン .....	186
モバイル端末のホーム画面 / ファビコン .....	188
ツールのダウンロード画面 .....	189
その他 .....	191
画像プレビューのサイズを変更する .....	192
類義語検索について .....	195
ASCII 形式ファイルの検索について .....	196
ファイル一覧の並び順を固定する .....	198
ファイル一覧の表示形式を変更する .....	199
パスワード変更機能について .....	200
7 そのほかのヒント .....	202
インストールできない .....	203
サービスが起動しない .....	204
インデクサーサービスの回復 .....	206
シャットダウン・スクリプトの登録 .....	207
ファイルの排他的ロックについて .....	210
プロキシサーバーやロードバランサーからの接続について .....	211
Windows ショートカットファイルについて .....	212
ACL サーチ（高速なエンタープライズ検索）について .....	214
8 導入後の運用について .....	215
稼働状況について .....	216
サービスの開始と停止 .....	218
運用ログについて .....	220
アクセスログについて .....	221
インデックス再構築と初期化について .....	225
バックアップについて .....	230
ユーザー数ライセンスの消費数について .....	231
9 あれっ？と思ったら .....	233
ログインできない .....	233
ローカルログオンを許可する .....	236
LAN の PC でログインできない .....	241
フォルダが存在しない・読み取り権限がない .....	244
検索結果が多すぎる・少なすぎる・表示されない .....	245
検索できなかった .....	247
プレビューが表示されない .....	249
プレビューが作成されない .....	252

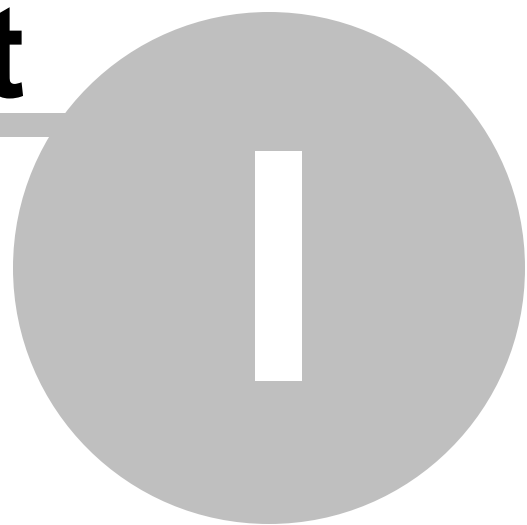
Part IV	仕様	255
1	動作環境	257
2	全文検索対応形式	259
3	プレビュー対応形式	261
4	データ使用領域について	264
Part V	バージョンアップに関する重要な情報	266
1	バージョンアップの注意事項	267
2	更新内容の一覧	269
3	Ver3.15.0 - スマートカード、SSLクライアント認証、シングルサインオンなどへの対応について	291
4	Ver3.16.0 - Apache SolrをVer. 7にバージョンアップ、その他	292
5	Ver4.0 バージョンアップの注意点	293
Part VI	API V3 マニュアル	296
1	更新履歴	299
2	リファレンス	300
	auth	300
	login	300
	logout	301
	files	302
	list_folder	303
	search	306
	get_metadata	308
	upload	309
	upload_session/start	313
	upload_session/append	314
	upload_session/finish	316
	download	317
	view	319
	has_folder	321
	create_folder	322
	delete	323
	copy	324
	move	325
	rename	326
	setfiletime	327
	comment/add	328
	comment/remove	329
	download_tpi/create	331
	download_tpi/download	332
	get_thumbnail	333
	system	334
	get_resource	334
	check_async_job	335
	status	336
3	パラメータの指定方法について	337



---

4	ファイルシステムパス（パス）について.....	338
5	エラーについて .....	339

**Part**



# 1 はじめに

このたびは、ExaPadをご利用いただき誠にありがとうございます。

本マニュアルは、主にExaPadの使い方と、システム管理者向け解説の2つで構成しています。

ご不明な点がございましたら、お気軽に弊社サポートまでご連絡ください。

## 本マニュアルについて

### ExaPadを利用される方

- ExaPadは、シンプルなインターフェイスで直感的に使い始めることができます。
- ご使用前に「使い方」の章をご覧くださいと十分に活用できるようになります。
- システム管理者の設定によって、一部の機能が制限されていることがあります。

### ExaPadを導入・管理される方

- ExaPadのセットアップや、利用を始める前に、「システム設定（管理者マニュアル）」の章を必ずお読みください。
- 複雑な導入作業は必要としませんが、適切に設定されていないと期待する動作にならない場合があります。
- 本マニュアルは、バージョンアップに伴う仕様変更や、記述の訂正・改善を反映するために、予告なく変更されることがあります。

## 商標について

- Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Internet Explorer、Active Directory、ActiveX、NET Framework、IISは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Access、Excel、Word、PowerPoint、Outlook、Visioは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentium、Celeron、Xeonは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、iPod touch、iBooksは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会

社のライセンスに基づき使用されています。

- Mac、Macintosh、Safari、iOS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iOS商標は、米国Cisco社のライセンスに基づき使用されています。
- Google chrome、Androidは、Google Inc. の登録商標です。
- Firefoxは、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apache、Apache Solr、Tomcat、Jettyは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。
- Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Acrobat およびAdobe Reader はAdobe Systems Incorporated の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Illustrator、Photoshop および InDesign は、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- OpenOffice.org は、米国 Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- DocuWorksは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- AutoCAD は、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。
- 3Dオフィスデザイナー、3Dマイホームデザイナーは、メガソフト株式会社の商品名称です。
- 1-2-3はLotus Development Corporationの登録商標です。
- 松、新松は、(株)管理工学研究所の商品名称です。
- OASYSは、富士通株式会社の商標です。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- Acrobat およびAdobe Reader はAdobe Systems Incorporated の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本文中に使われている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

## マニュアル改訂履歴

2019/10/16 Ver.4.0リリース

- 本マニュアルは、Ver.3.xのマニュアルから構成を変更しました。旧バージョンのマニュアルをご覧になりたい方は、弊社サポートまでご連絡ください。

- プログラムの全てが64bit化しました。

## 1.1 製品概要

### ExaPadについて

- ExaPadはサーバーアプリケーションです。
- Webブラウザを使用してファイルサーバーにアクセスできるようになります。
- Windowsエクスプローラーと同じような感覚で簡単に操作できます。
- ファイルのキーワード検索、絞り込み検索が簡単です。
- プレビューで簡単にファイル内容を閲覧できます。

### ExaPad の主な機能

Web アプリケーション機能	
ファイル/ フォルダー一覧	<ul style="list-style-type: none"><li>• Web ブラウザでフォルダ階層をたどってファイルを一覧</li><li>• ファイルをサムネイル( 縮小版画像 ) で一覧</li><li>• ファイル一覧のExcelワークシート書き出し</li></ul>
ファイル閲覧	<ul style="list-style-type: none"><li>• ファイルの内容をPDFやイメージ、抜粋テキストでプレビュー表示</li><li>• 複数ページのファイルはページ単位で表示 ( PowerPoint文書など)</li></ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"><li>• Windowsユーザー認証やWindows ファイルシステムのセキュリティに連動</li><li>• 統合Windows認証</li><li>• クライアント証明書認証</li></ul>
ダウンロード/ アップロード *1	<ul style="list-style-type: none"><li>• 新規ファイルのアップロード</li><li>• 既存ファイルのダウンロード</li><li>• 新しいファイルをアップロードして既存ファイルの上書き</li></ul>

ファイル/ フォルダ操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規フォルダを作成</li> <li>● テキストファイルの作成、編集</li> <li>● ファイル/フォルダのコピー、移動、削除、名前の変更</li> </ul>
属性管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タグ項目の定義</li> <li>● ファイル/フォルダにタグ内容を登録</li> </ul>
検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル名検索、全文検索、属性検索</li> <li>● フォルダの名前、属性も検索対象</li> <li>● 各種絞り込み検索</li> </ul>

\*1 モバイル端末では、端末の仕様によりアップロードできない場合やファイル種類に制限がある場合があります。

インデックス/ プレビュー構築機能	
リアルタイム変更検出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規に追加、更新された文書を即時に検出し、全文検索インデックスおよびプレビュー画像を更新</li> </ul>
定期変更検出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期的に全フォルダ全ファイルを巡回して、変更検出の漏れを補完</li> </ul>

# Part

---



## 2 使い方（ユーザーマニュアル）

この章では ExaPad Ver4.x の基本的な使い方を説明します。

ExaPad Ver3.16 以前の旧バージョン環境についてはお問い合わせください。

### 2.1 ログインする

ExaPadを利用するには、ユーザー名とパスワードを入力してログイン認証を行います。

Windows OS に登録されているユーザー情報を利用するため、ExaPadにはユーザー登録を行いません。

標準設定では、ExaPadをインストールしたWindowsマシンに登録されているユーザーアカウントでログインできるようになっています。

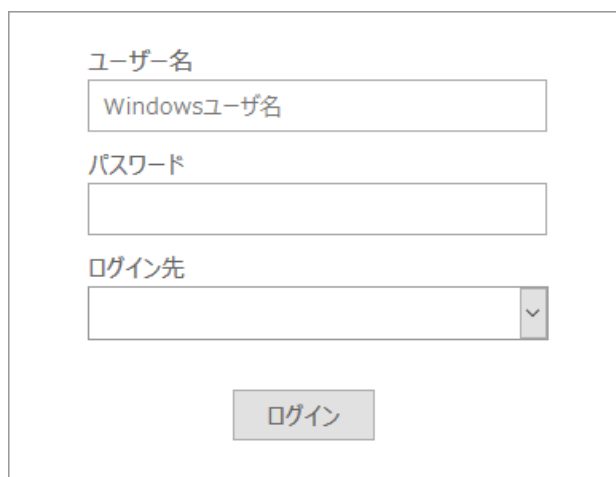
### ログインの方法

1. ExaPadのURLをWebブラウザのURL 欄に入力して、ログイン画面を開きます。

URLの例（システム管理者に確認してください）

http://<ホスト名>/ExaPad/

2. Windows ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

A screenshot of the ExaPad login interface. It features three input fields: 'ユーザー名' (Username) with a placeholder 'Windowsユーザ名', 'パスワード' (Password), and 'ログイン先' (Login destination) which is a dropdown menu. Below these fields is a 'ログイン' (Login) button.

ユーザー名

Windowsユーザ名

パスワード

ログイン先

ログイン

- ユーザー名： Windowsユーザーアカウントのユーザー名（ID）を入力します。
- パスワード： Windowsユーザーアカウントのパスワードを入力します。

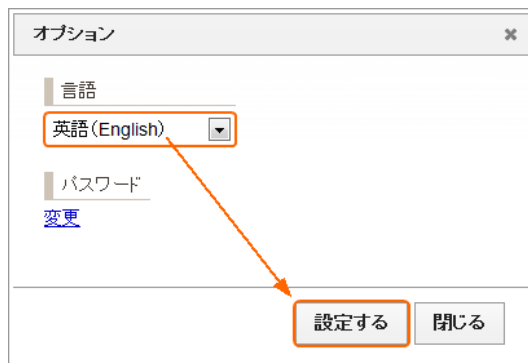


- ログイン先：           ドメインまたはローカルホストを選択します。（設定によっては非表示の場合もあります）

3. 「ログイン」ボタンを選択すると 画面が切り替わります。

## メニューを英語に切り替える

- ログイン画面の下部に表示される「ExaPad in English」を選択すると メニューの表示が英語に切り替わります。
- ログイン後に切り替える場合は、画面下部の「オプション」を選択して言語設定を変更してください。
- 英語（English）を選択し、「設定する」を選択します。



## ログアウトする / ユーザーを切り替える

ログアウト、またはユーザー切り替えを選択すると、ログアウトされてID/パスワードの入力画面に戻ります。

「ユーザー切り替え」が表示されている場合は、統合Windows認証で自動ログインしている状態です。



## 2.2 ファイルをみる

ExaPadでは、フォルダの階層をたどってファイルを一覧表示したり、プレビューしたりすることができます。

### 見たいフォルダに移動する











PC画面では左側にフォルダのツリーが表示され、右側には選択したフォルダの内容が表示されます。

- ページ上部にはカレントパスが表示されます。
- ツリーやパスでフォルダを選択すると、選択したフォルダに移動してフォルダの内容が表示されます。

### モバイル端末での表示の場合

- モバイル端末には、iPhone とAndroidスマートフォンが分類されます。（iPad とAndroidタブレットはPC と同じ表示です）
- モバイル画面ではPCの場合と画面構成は同じですが、フォルダツリーは表示されず、フォルダの内容のみ表示されます。
- タッチパネル操作と画面の見やすさを考慮してボタンサイズや表記はPC画面とは異なります。

←	FileFormats ▶ Word_Excel	🔍	☰
<input type="checkbox"/>	 20040901_Delphiライブラリ切替.doc 更新日時:2016/10/30 17:25:49 サイズ:60 KB		
<input type="checkbox"/>	 20050907_FAX送付状1.xls 更新日時:2016/11/09 16:46:46 サイズ:27 KB		
<input type="checkbox"/>	 20060516_○×_請求書.xls 更新日時:2016/10/27 06:30:25 サイズ:36 KB		
<input type="checkbox"/>	 20080516_FileBlog_Config仕様.xls 更新日時:2016/10/20 16:39:37 サイズ:68 KB		
<input type="checkbox"/>	 Chem drawとISIS drawの貼り付け.doc 更新日時:2016/09/04 00:48:57 サイズ:45 KB		
<input type="checkbox"/>	 フレックスタイム制規則サンプル.doc 更新日時:2016/10/09 18:41:39 サイズ:100 KB		
<input type="checkbox"/>	 育児・介護休業規程サンプル.doc 更新日時:2016/09/19 09:01:36 サイズ:84 KB		
<input type="checkbox"/>	 取締役会_議20070707_事録.doc 更新日時:2016/02/16 20:05:06 サイズ:23 KB		

## ファイルパスを直接入力して移動する

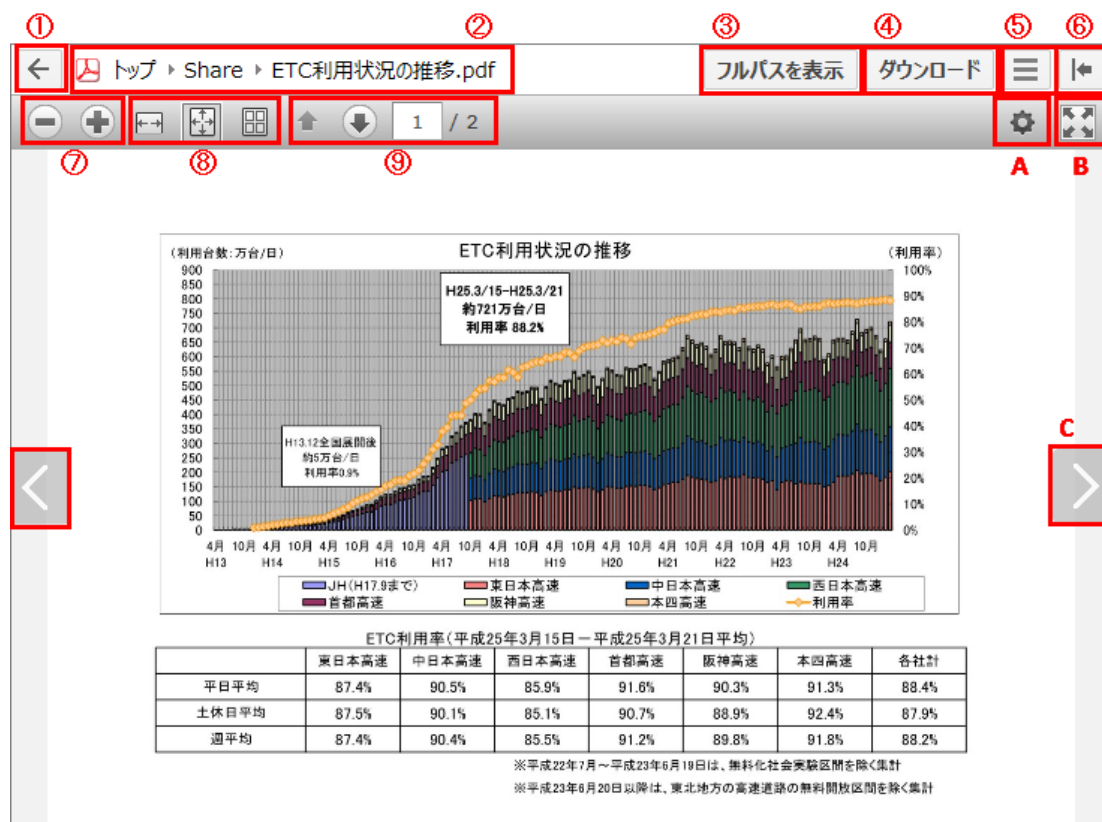
- パスが表示されている領域の空白箇所を選択するとパスを編集できるようになります。
- パスを入力することでフォルダやファイルに移動することができます。
- モバイル端末では直接入力できません。（PCのみ対応）

	/share/デジカメ画像/USA視察/
	/share/デジカメ画像/USA視察/IM01OLYM-P2090002.jpg
	/share/デジカメ画像/USA視察/IM01OLYM-P2090003.jpg
	/share/デジカメ画像/USA視察/IM01OLYM-P2090004.jpg
	/share/デジカメ画像/USA視察/IM01OLYM-P2110005.jpg
	/share/デジカメ画像/USA視察/IM01OLYM-P2110006.jpg

## ファイルの閲覧

表示されているファイルを選択すると 1 ページ目のプレビューが表示されます。

## 画像プレビュー



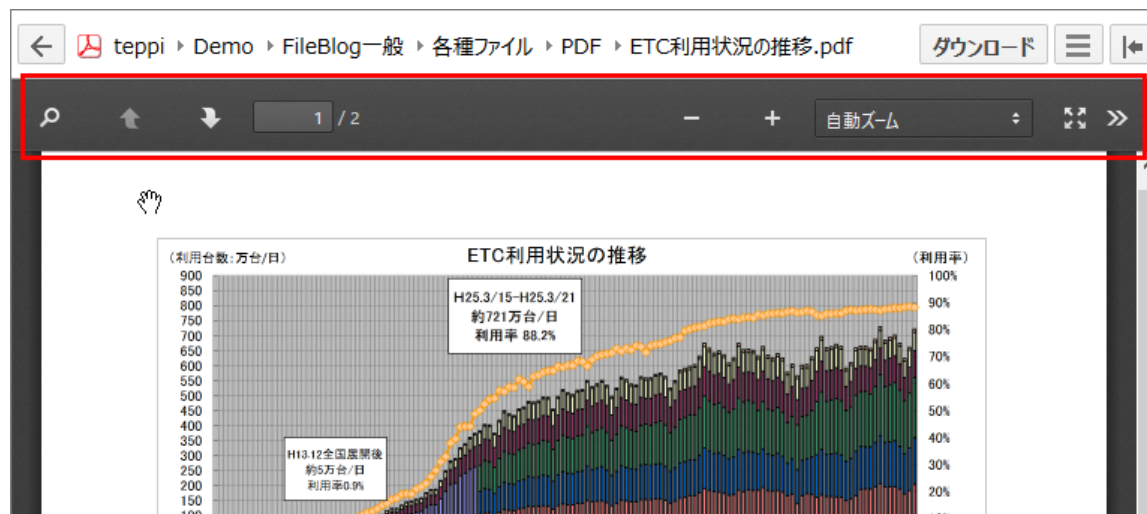
操作	説明
一覧に戻る	ひとつ上のフォルダ階層に移動します。 ファイルを開いている場合はファイルのあるフォルダに移動します。 検索結果からファイルを開いた場合は、検索結果に戻ります。
ブレードクランプス	フォルダを選択するか、パスを入力するとフォルダが移動します。
フルパス	ファイルサーバーのフルパスを表示します。
ダウンロード	ファイルを端末にダウンロードします。
操作メニュー	ファイル操作メニューの一覧が表示されます。
属性	属性パネルの表示・非表示を切り替えます。
拡大 縮小	プレビュー画像の拡大 縮小を行います。 PCの場合は、プレビュー上をダブルクリックすると、その地点を中心にプレビューが拡大されます。
プレビューサイズ選択	プレビュー画像を横幅フィット、ページフィット、サムネール一覧で表示します。



フリパス	ファイルサーバーのフリパスを表示します。
ダウンロード	ファイルを端末にダウンロードします。
操作メニュー	ファイル操作メニューの一覧が表示されます。
属性	属性パネルの表示・非表示を切り替えます。
サイドバー	サイドバーの表示・非表示を切り替えます。サムネイル一覧や目次一覧を表示できます。
検索	キーワードでファイル内検索ができます。キーワードのハイライト表示、ジャンプができます。
ページ送り	上下ボタンでページを繰ることができます。ページ数を入力すると当該ページまでジャンプします。
A 拡大 縮小	PDF表示の拡大 縮小を行います。倍率を指定できます。
B 全画面表示	ファイルの内容を全画面で表示します。
C ツール	最初・最後のページにジャンプ、表示の回転などができます。

## モバイル端末のプレビュー画面

モバイル端末(ipad含む)では専用のツールバーが表示されます。



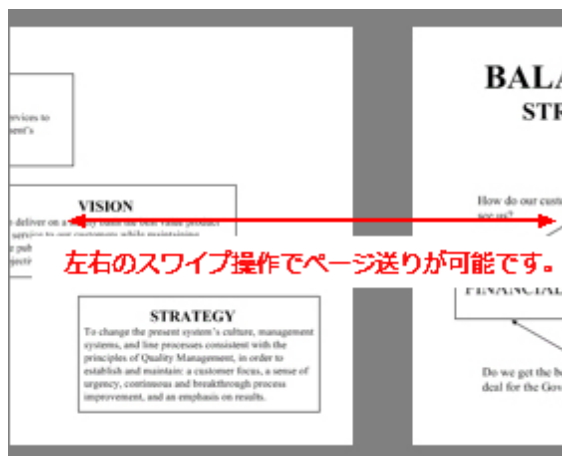
## プレビューの全画面表示

- 全画面」ボタンを押すと画面いっぱいにプレビューを表示します。
- PCでの操作の場合、画面をダブルクリックすると、その位置を中心にプレビューが拡大されます。(PDFプレビューではクリックする次ページ



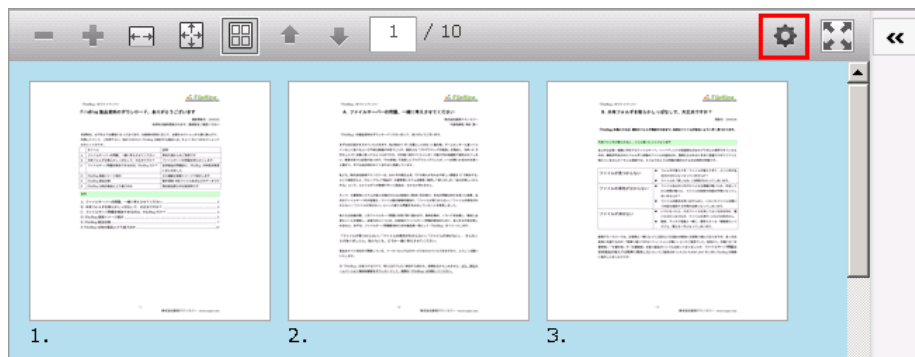
## プレビューのスワイプ操作によるページ移動

iPadなどのタッチデバイスでは、画面を左右にスワイプする事で、ページ送りができます。（PDFプレビューではスクロール操作になります）

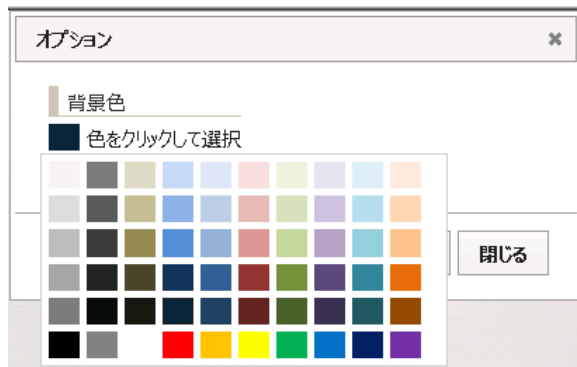


## プレビュー画面の設定

- プレビュー画面の背景色を変更できます。
- PDF プレビューで設定できません。







## ファイル一覧の表示形式の切り替え

ExaPadではファイルやフォルダの表示の形式を変更することができます。

### 並び順の変更

- ファイルの並び順を変更できます。
- ファイル名、更新日時、サイズ、種類を選択すると並び替えます。
- 昇順 と降順 とで順番に切り替わります。



### 表示形式の変更

ファイル一覧の表示形式を変更できます。



操作	説明
一覧表示	ファイル名、サイズ、更新日、種類をリスト形式で表示します。
画像表示	ファイルの1ページ目のサムネイルとファイル名を表示します。サムネイルが作成されていない場合はアイコンで表示します。
画像表示(大)	大きなサイズのサムネイルを表示します。
詳細表示	サムネイルとファイル名、サイズ、更新日、ファイルのテキスト情報の一部をカード形式で表示します。テキスト情報のないファイルはサムネイルのみ表示します。
タグ一覧	ファイル名、サイズ、更新日、種類とタグ情報をリスト形式で表示します。
フォルダツリー	フォルダツリーの表示/非表示を操作します。

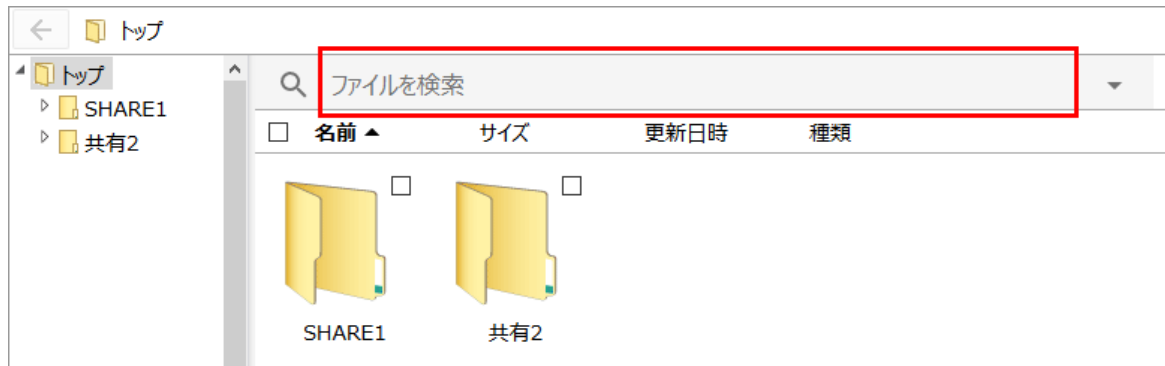
## 2.3 ファイルを探す

ExaPadでは、いろいろな検索方法でファイルサーバーにある文書を探することができます。

### 全文検索する

### 検索ツールバー

全文検索では、ファイル名、フォルダ名、ファイル内テキスト、プロパティ、タグが検索対象です。



1. 検索ツールバーに検索したいキーワードを入力し、『Enter』または検索（虫眼鏡）ボタンを選択します。
2. 検索結果が表示されます。
3. 検索ワードボックスの『X』ボタンを選択すると検索状態がクリアされます。



## 検索ツールバーのショートカット

操作	ショートカット
全文検索する	検索キーワードを入力 + Enter
ファイル名を検索する	検索キーワードを入力 + Ctrl + Enter

## 条件を指定して検索する

ExaPadでは、条件を指定して検索することができます。

## 検索パネル

🔍 ファイルを検索 ①

ファイル名 ②

含まれている語句 ③

種類 ④

更新日時 ⑤

作成日時 ⑥

サイズ ⑦

フォルダパス ⑧

タグ ⑨  
  +

⑩

検索フィールド	説明
検索パネル表示ボタン	ボタンを選択すると 検索パネルが表示されます。
ファイル名検索	ファイル名、フォルダ名に含まれる文字列が検索対象です。 任意のキーワードを指定します。
含まれている語句	ファイルの全文（ファイル内テキスト）、ファイル名、フォルダ名、タグが検索対象です。 任意のキーワードを指定します。
種類	ファイル種類が検索対象です。 Word、PDF、画像など既定の選択肢から指定するか、「カスタム」を選択しファイルの拡張子をカンマ区切りで指定します。 (例) docx,xlsx,pptx
更新日時	ファイルの更新日時が検索対象です。 「今日のみ」「今日まで1週間」などの既定の選択肢から指定するか、「カスタム」を選択し日付の範囲を指定します。 (例) 2012/4/1 - 2013/3/31
作成日時	ファイルの作成日時が検索対象です。 「今日のみ」「今日まで1週間」などの既定の選択肢から指定するか、「カスタム」を選択し日付の範囲を指定します。 (例) 2012/4/1 - 2013/3/31
サイズ	ファイルのサイズが検索対象です。 「10MB以上」「0バイト」などの既定の選択肢から指定するか、「カスタム」を選択しサイズの範囲を指定します。 (例) 100MB-200MB
フォルダパス	検索対象のフォルダを指定します。
プロパティ/タグ	プロパティ、タグのテキスト情報が検索対象です。 検索対象にするプロパティ/タグを選択し、任意のキーワードを入力します。

	「+」ボタンを押すと、プロパティ/ タグの検索条件を追加できます。 文字列型のタグを対象とした場合、任意のキーワードを指定します。 日付型のタグを対象とした場合、更新日時や作成日時と同じ日付範囲の条件指定が可能です。
ボタン	検索」を選択またはEnterキーで指定した条件の検索が実行されます。 「リセット」を選択すると、指定した条件が解除されます。 「キャンセル」を選択すると、検索パネルが非表示になります。

## フォルダを選択して検索結果を絞り込む

ExaPadの検索は、選択されているフォルダの配下を検索します。

- 「トップ」フォルダを選択して検索を実行すると、ドキュメントルート全体が検索対象になります。
- 予めフォルダを選択し、そのフォルダに移ってから検索を実行すると、そのフォルダ配下が検索対象になります。
- 検索結果が表示されている状態でフォルダツリーからフォルダを選択すると、同じ検索条件で選択フォルダ配下が検索されます（絞り込まれます）。
- フォルダの上位階層を選択すると検索対象範囲が広がり、下位階層を選択する範囲が狭まります。同位階層または別の階層を選択すると範囲が移動します。

## 複数フォルダで検索する

### 検索ツールバーに対象フォルダを直接入力する

階層の重複しない複数のフォルダ配下を検索するには、folder フィールドを指定して検索式を検索ツールバーに入力します。

例1：teppi もしくは CDServer の2つのフォルダ配下で、キーワード「野球」で全文検索します。

```
((folder:/teppi) or (folder:/CDServer)) 野球
```

例2：teppi もしくは CDServer の2つのフォルダ配下で、キーワード「野球」でファイル名検索します。

```
((folder:/teppi) or (folder:/CDServer)) title:野球
```

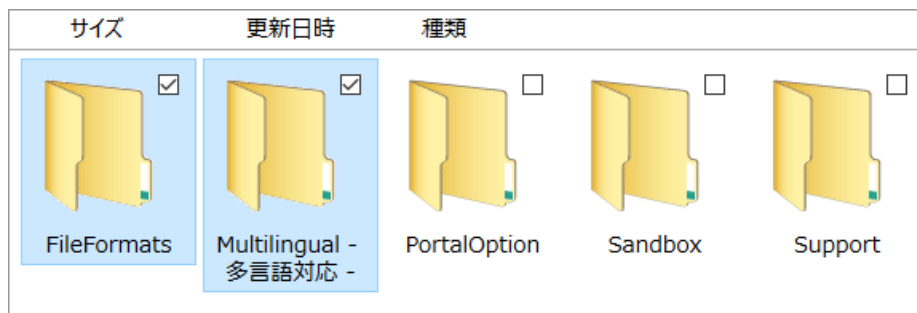
例3：teppi もしくは CDServer の2つのフォルダ配下で、キーワード「野球」でフォルダ名検索します。

```
((folder:/teppi) or (folder:/CDServer)) title:野球 type:folder
```

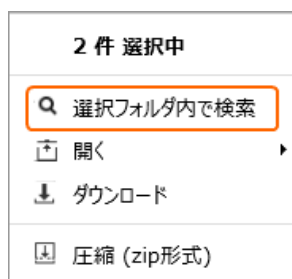
## 対象フォルダを選択する

ファイル一覧で複数のフォルダを選択してからキーワード等の条件を入力して検索することができます。

1. フォルダを選択し、右クリックします。



2. 「選択フォルダ内で検索」を選択すると、検索式が検索ツールバーに自動入力され、検索パネルが表示されます。



3. ほかの条件を入力して検索します。

✕

ファイル名

含まれている語句

種類

指定しない ▼

更新日時

指定しない ▼

作成日時

指定しない ▼

サイズ

指定しない ▼

フォルダパス

...

タグ

サブフォルダ ▼

+

検索

リセット

キャンセル

## 検索パネルで検索フォルダを指定する

1. 検索パネルのタグ欄で「サブフォルダ」を指定します。
2. 現在フォルダからの相対パスでフォルダを指定します。  
複数フォルダを選択する場合は、半角スペースで区切って「OR」を入力します。

ファイル名	<input type="text" value="ファイル名と部分的に一致するキーワードを入力"/>
含まれている語句	<input type="text" value="ファイル内に含まれている語句を入力してください"/>
種類	<input type="text" value="指定しない"/>
更新日時	<input type="text" value="指定しない"/>
作成日時	<input type="text" value="指定しない"/>
サイズ	<input type="text" value="指定しない"/>
フォルダパス	<input type="text" value="/demo"/>
タグ	
<input type="text" value="サブフォルダ"/>	<input type="text" value="/support or /その他"/>
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

## 複数のキーワードで検索する

### AND検索

複数のキーワードをスペース（空白）もしくは「AND」で区切って入力すると、全てのキーワードを含むファイル/フォルダを検索します。

[ キーワード1 ] [ スペースまたはAND ] [ キーワード2 ] のように入力します。

以下は、いずれも「発売日」および「決定」を含むファイル/フォルダを検索します。

発売日 決定

発売日 AND 決定

## OR検索

複数のキーワードを半角の縦線（パーティカルライン）「|」、または半角の「OR」で区切って入力すると、複数キーワードのいずれかを含むファイル/フォルダを検索します。

[ キーワード1 ] [ スペース ] [ | (半角縦線) または OR ] [ スペース ] [ キーワード2 ] のように入力します。

以下は、いずれも「横綱」もしくは「大関」を含むファイル/フォルダを検索します。

横綱 | 大関

横綱 OR 大関

## NOT検索

複数のキーワードを半角の感嘆符（エクスクラメーションマーク）「!」、または「NOT」で区切って入力すると、「!（NOT）」の後ろのキーワードを含まないファイル/フォルダを検索します。

[ キーワード1 ] [ スペース ] [ ! (半角感嘆符) または NOT ] [ スペース ] [ キーワード2 ] のように入力します。

以下は、いずれも「野球」を含み「大リーグ」を含まないファイル/フォルダを検索します。

野球 !大リーグ

野球 NOT 大リーグ

## 条件の組み合わせ検索

AND、OR、NOT等を組み合わせる場合は、各条件の優先順位を明確にするために、括弧（ ）をします。

例1：「発売日および決定」もしくは「横綱 大関」を含むファイル/フォルダを検索します。

(発売日 決定) OR (横綱 大関)

例2：「仕様書もしくは説明書を含み」かつ「共有 /ドキュメントもしくは 共有 開発部 以下」のファイル/フォルダを検索します。

(仕様書 OR 説明書) AND (folder: /共有 /ドキュメント OR folder: /共有 開発部)



## ファイル種類で検索する

フィルタ名に type: を指定すると、ファイル種類を対象に検索します。

[ type: ] [ ファイル種類 ]

例1：「docx」もしくは「pptx」もしくは「xlsx」が拡張子であるファイル/フォルダを検索します。

```
type:docx,pptx,xlsx
```

例2：「doc」もしくは「docm」もしくは「docx」が拡張子であるファイル/フォルダを検索します。wordはシステムに定義された doc,docm,docxのショートカットです。

```
type:word
```

word以外にも、excel、powerpoint、image、cad などのショートカットが定義されています。利用可能なショートカットは検索パネルのファイル種類から指定できます。

例3：「txt」以外の拡張子のファイル/フォルダを検索します。

```
type:-txt
```

例4：フォルダ名を検索を検索します。「いろは」を含むフォルダ名を検索します。このときファイルは検索されません。

```
いろは type:folder
```

## ファイルサイズで検索する

フィルタ名に size: を指定すると、ファイルサイズを対象にファイルを検索します。フォルダは検索対象に含まれません。

[ size: ] [ サイズ条件 ]

例1：「10MB」以上のサイズのファイルを検索します。

```
size:10MB-
```

例2：「10MB」以下のサイズのファイルを検索します。

```
size:-10MB
```

例3：「20KB」以上「30GB」以下のサイズのファイルを検索します。

size:20KB-30GB

例4：「0バイト」のファイルを検索します。

size:0

size フィールドはフォルダが検索対象になりません。

## 日付で検索する

フィールド名に date: ( 更新日時 )、created: ( 作成日時 ) のフィールド 日付型のタグ名を指定すると それぞれの日時を対象にファイル/フォルダを検索します。

[ date: ] [ 日付条件 ]

[ created: ] [ 日付条件 ]

[ 日付型のタグ名: ] [ 日付条件 ]

例1：「今日」更新されたファイル/フォルダを検索します。

date:today

例2：「1年以内」に作成されたファイル/フォルダを検索します。

created:last1y

例3：「1週間以内」に更新された「pdf」ファイルを検索します。

type:pdf date:last1w

例4：「2017/11/01」以降に更新されたファイル/フォルダを検索します。

date:2017/11/01-

例5：「2017/12/01」以前に更新されたファイル/フォルダを検索します。

date:-2017/12/01

例6：「2017/11/01」以降「2017/12/01」以前に更新されたファイル/フォルダを検索します。

date:2017/11/01-2017/12/01

例7：「2017/11/01」に更新されたファイル/フォルダを検索します。

```
date:2017/11/01
```

## ワイルドカードで検索する

ExaPadの全文検索のでは、半角文字列をキーワードにして検索するとテキストの部分一致は検索結果に反映されません。（詳細は[こちら](#)）

この場合、ワイルドカード（特殊文字）文字を用いることで、半角文字列の部分一致検索ができます。

ファイル名検索の場合は、ワイルドカードを使用しなくても半角文字列の部分一致検索が可能です。

### [ \* ] アスタリスク

任意の0文字以上にヒットします。

abc で始まる文字のあるファイル/フォルダを検索します。abc のみもヒットします。

```
abc*
```

1975 で終わる文字のあるファイル/フォルダを検索します。1975 のみもヒットします。

```
*1975
```

search で始まり pdf で終わる文字を含むファイル/フォルダを検索します。

```
search*.pdf
```

### [ ? ] 疑問符

任意の1文字にヒットします。

abc で始まる文字のあるファイル/フォルダを検索します。abc のみはヒットしません。

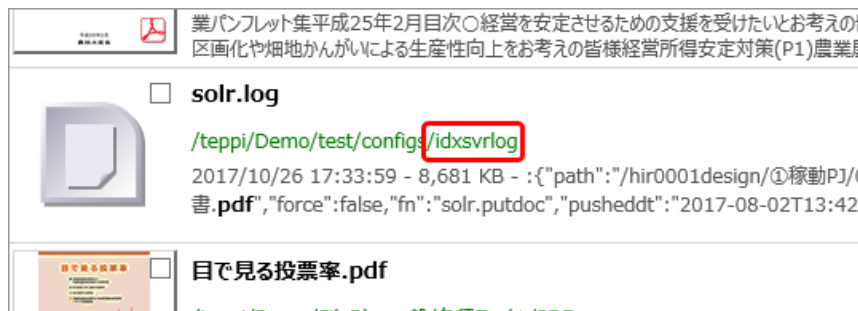
```
abc?
```

1975 で終わる文字のあるファイル/フォルダを検索します。1975 のみはヒットしません。

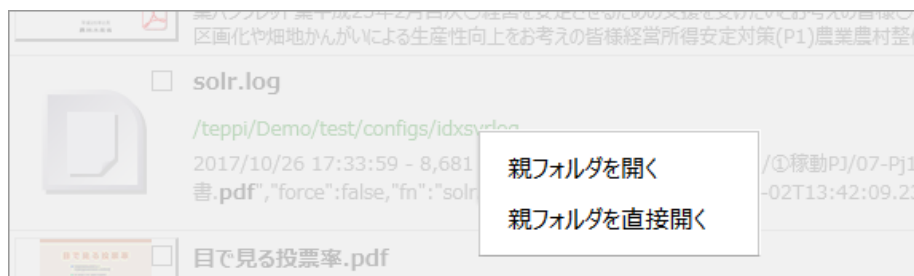
```
?1975
```

## 検索結果のファイルの親フォルダを開く

1. 検索結果に表示されるファイルパスの親フォルダを選択します。



2. 親フォルダを開くを選択すると、当該ファイルのある親フォルダにジャンプします。
3. 親フォルダを直接開くを選択すると、Windowsエクスプローラーで当該ファイルの親フォルダが開きます。



親フォルダを直接開くを利用するには、ファイル直接オープン機能のオプションライセンスが必要です。

## 2.4 ファイルを操作する

### ファイル/フォルダの操作について

- 操作メニューは、右クリックやメニューボタンを選択すると表示されます。
- ファイルとフォルダに対して各種操作ができます。
- 上書きや削除などファイルに対して変更を行う操作は、相応のアクセス権限が必要です。
- 画面右上の三本線のマークが、メニューボタンです。



## フォルダの操作

- フォルダを開いた状態で操作メニューボタンを選択すると、開いているフォルダに対しての操作メニューが表示されます。
- ファイラー一覧にあるフォルダを選択（チェック）してから操作メニューボタンを選択すると、チェックされたフォルダに対しての操作メニューが表示されます。
- フォルダを右クリックすると、そのフォルダに対しての操作メニューが表示されます。  
フォルダツリー、ファイラー一覧、プレッドクランプスの各フォルダを右クリックできます。
- ファイラー一覧のスペースを右クリックしたとき、開いているフォルダに対しての操作メニューが表示されます。
- 管理者設定によっては表示されないメニューがあります。



開く	▶
直接開く	
ダウンロード	
一覧出力	▶
アップロード	
新規作成	▶
圧縮 (zip形式)	
移動	
コピー	
削除	
名前の変更	
管理者メニュー	▶
タグ・プロパティ	

操作	説明
開く	<ul style="list-style-type: none"> <li>別ウインドウで開く：新しいタブでフォルダを開きます。</li> <li>プレパスを表示：ファイルサーバーのフォルダパスを表示します。</li> </ul>
直接開く (オプション機能)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windowsエクスプローラーでフォルダを開きます。(タッチパネル端末では使用できません。)</li> <li>PCにクライアントプログラムのインストールが必要です。</li> </ul>
ダウンロード	フォルダをZipファイルにしてダウンロードします。
一覧出力	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSV形式 (カンマ区切り)：フォルダ内にあるファイルの一覧をCSV形式で出力します。</li> <li>Excel形式：フォルダ内にあるファイルの一覧を、サムネイル画像も含めてExcel形式で出力します。</li> </ul>
アップロード	ファイルをアップロードします。
新規作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいフォルダ：新しいフォルダを作成します。</li> <li>新しいテキスト：新規テキストファイル (txt) を作成します。</li> <li>新しいメモ：新規メモ (html) を作成します。</li> </ul>
圧縮	フォルダを圧縮してZipファイルを作成します。
移動	フォルダを別のフォルダに移動します。

コピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダをコピーします。</li> <li>カレントフォルダに、またはコピー先を選択できます。</li> </ul>
削除	フォルダを削除します。（ <b>ファイルサーバーから本当に削除されるため注意してください</b> ）
名前の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダ名を変更します。</li> <li>フォルダ名に使用できない文字 \ / : * ? " &lt; &gt;  </li> </ul>
管理者メニュー	インデックス/プレビュー再構築： ファイルの検索インデックスとプレビューを更新します。
タグ・プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダのタグとプロパティを表示します。</li> <li>タグに登録された内容を編集できます。</li> </ul>

## ファイルの操作

- ファイルを選択（チェック）してから操作メニューボタンを選択すると、チェックされたファイルに対しての操作メニューが表示されます。
- ファイルを右クリックすると、そのファイルに対しての操作メニューが表示されます。
- ファイルのプレビュー画面を開いてから操作メニューボタンを選択すると、そのファイルに対しての操作メニューが表示されます。
- 管理者設定によっては表示されないメニューがあります。



<div> <div>開く</div> <div>直接開く</div> <div>ダウンロード</div> <div>ダウンロード(PDF)</div> </div>
<div> <div>上書き更新</div> <div>圧縮 (zip形式)</div> <div>移動</div> <div>コピー</div> </div>
<div> <div>削除</div> <div>名前の変更</div> </div>
<div> <div>プレビュー操作</div> </div>
<div> <div>タグ・プロパティ</div> </div>

操作	説明
開く	<ul style="list-style-type: none"> <li>別ウィンドウで開く: 新しいタブでファイルを開きます。</li> <li>フルパスを表示: ファイルサーバーのファイルパスを表示します。</li> </ul>
直接開く( オプション機能 )	ファイルをCのアプリケーションでダウンロードせずに開くことができます。
ダウンロード	ファイルをダウンロードします。
上書き更新	ファイルを別のファイルで上書きします。( 同じ拡張子のファイルに限ります。 )
圧縮 ( zip形式 )	フォルダ圧縮してZip ファイルを作成します。
移動	ファイルを別のフォルダへ移動します。
コピー	<p>ファイルをコピーします。</p> <p>カレントフォルダに、またはコピー先を選択できます。</p>
削除	ファイルを削除します。( ファイルサーバーから本当に削除されるため注意してください )
名前の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル名を変更します。</li> <li>ファイル名に使用できない文字 \ / : * ? " &lt; &gt;  </li> </ul>
プレビュー操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレビュー再作成: ファイルのプレビューを作り直します。( プレビュー作成には時間がかかる場合があります )</li> </ul>



	<p>す）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• プレビュー回転（右回転、左回転、180度回転）： プレビュー画像を回転させます。<ul style="list-style-type: none"><li>◦ プレビューのみ回転され、実際のファイルは回転しません。</li><li>◦ GIF、PNG ファイルはプレビュー回転できません。</li></ul></li></ul>
ここへ解凍	<ul style="list-style-type: none"><li>• ZIP ファイルを解凍することができます。</li><li>• 同一フォルダにZIP ファイルと同じ名前でフォルダが作られ、そこに展開されます。</li><li>• 既に同名フォルダがある場合には解凍できません。</li></ul>
タグ・プロパティ	<ul style="list-style-type: none"><li>• ファイルのタグとプロパティを表示します。</li><li>• タグに登録された内容を編集できます。</li></ul>

## 2.5 ファイルを追加する

### ファイルのアップロードについて

ExaPadでは、ファイル/フォルダをアップロードしてファイルサーバーにファイルを追加することができます。

ExaPadでファイルをアップロードすることと、Windowsエクスプローラーでファイルを追加することは同じです。

アップロード方法は3つあります。

#### 標準アップローダー

- どのWebブラウザでも動作します。
- 同一フォルダ内の複数ファイルを一括アップロードすることができます。
- 同名のファイルは上書き更新されます。（アップロード実行時に上書きの可否についてダイアログがでます）
- フォルダのアップロードはできません。

#### ドラッグ&ドロップ

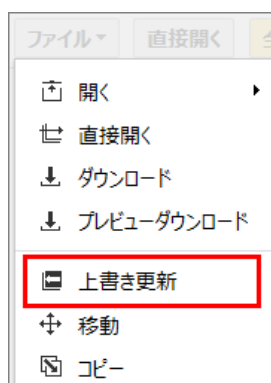
- ファイル一覧画面（Webブラウザ）にWindowsエクスプローラーやデスクトップから、複数ファイルをドラッグ&ドロップでアップロードできます。
- フォルダをアップロードすることができます。（Chrome、FireFox、Edgeのみ）

- スマートフォン、タブレットなどのタッチデバイスでは使用できません。
- HTML5 File.APIに対応したブラウザのみ対応しています。( Internet Explorer11、Chrome、Firefox、Edge)
- 同名のファイルは上書き更新されます。( アップロード実行時に上書きの可否についてダイアログがでます)

## 上書き更新

- 更新するファイルを予め指定してアップロードします。
- 複数ファイルを指定して上書き更新することはできません。

ファイルメニュー > 上書き更新 で行います。



Ver 3.12.0以降ドラッグ & ドロップによる上書き更新に対応しました。

## Javaアップローダーのサポート終了について

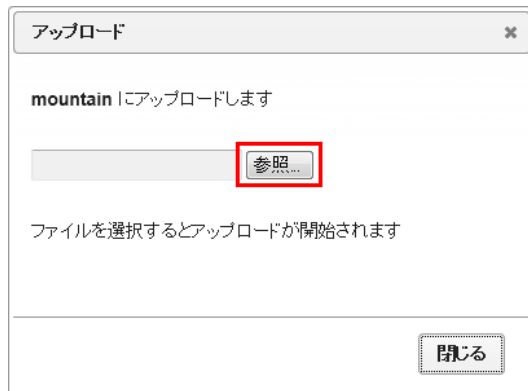
近年、Webブラウザのセキュリティが強化され、ほとんどのWebブラウザでJavaアプレットの使用が禁止されました。加えて、Webブラウザに対してドラッグ&ドロップが直接できるようになったため、ExaPadではJavaアップロード機能のサポートを終了しました。今後はドラッグ&ドロップ機能をご利用ください。

## ExaPadでファイルをアップロードする

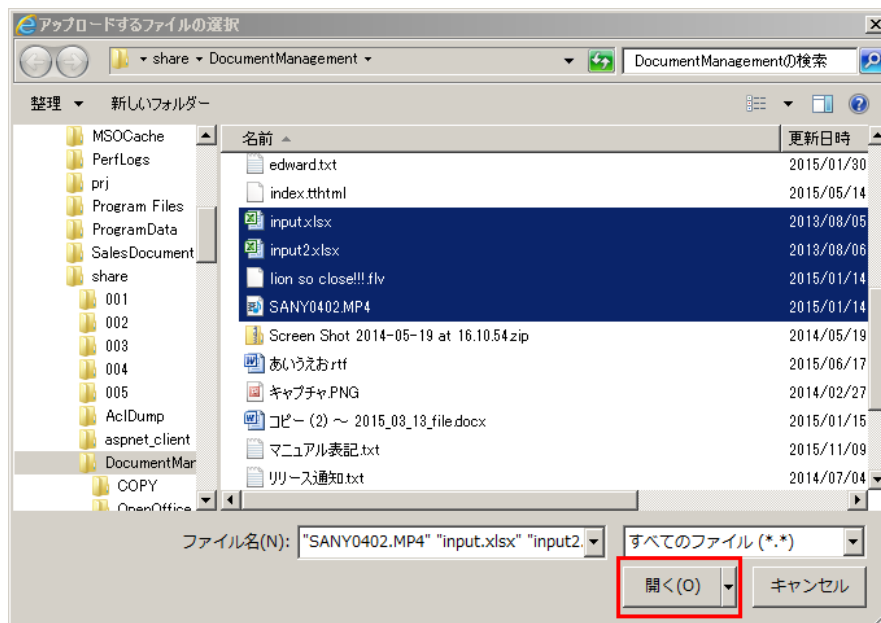
### PCでアップロードする

標準アップロードでは、同一フォルダ内の複数ファイルを一括アップロードすることができます。

- ファイルをアップロードしないフォルダに移動し、操作メニューを開いてアップロードを選択します。  
ファイルを選択するためのダイアログが表示されます。



- 「参照」を選択するとファイル選択画面が開きます。
  - アップロードするファイルを選択してください。(Shift+Ctrlキーで複数選択できます)
  - 「開く」を選択するとアップロードが始まります。
  - 続けてアップロードする場合はダイアログボックスの指示にしたがってください。



- アップロードが終わったらダイアログボックスを閉じます。



## ドラッグ& ドロップでアップロードする (PCのみ)

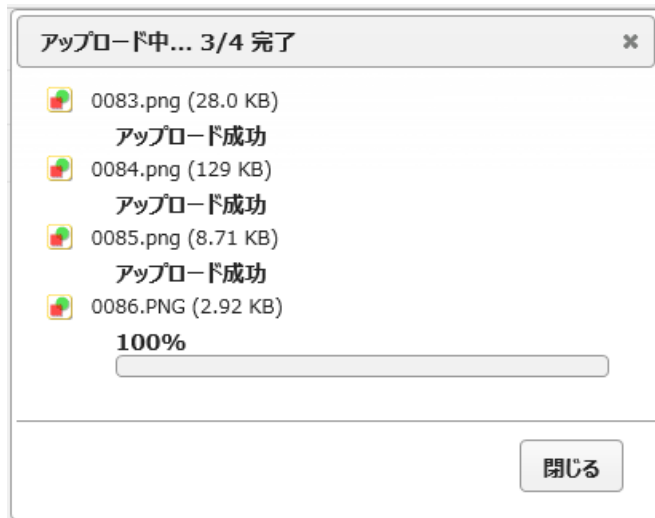
ドラッグ& ドロップでは、複数ファイル/フォルダを一括してアップロードできます。(IE11、Chrome、Firefox、Edgeが対応しています)

IE11ではフォルダのアップロードはできません。

- Windowsエクスプローラーやデスクトップから、ExaPad画面にファイル/フォルダをドラッグ& ドロップします。



- アップロードプロセスのダイアログが表示されます。  
ファイル数が少ない、ファイルサイズが小さいときには表示時間が短く、表示されなかったように見える場合もあります。

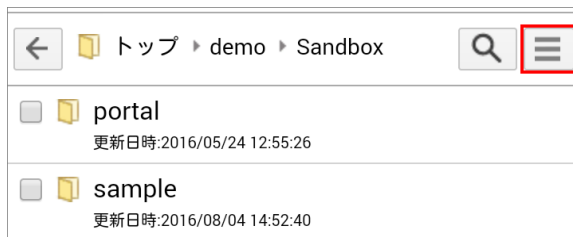


## モバイル端末からのアップロード

モバイル端末からのアップロードは、端末の機能に依存しています。アップロード機能の使用やアップロードできるファイル種類が制限される場合があります。

たとえば、iOS 端末ではカメラロールやフォトライブラリのファイルのみが対象となります。

- ファイルをアップロードしたいフォルダを開きます。  
画面左上のファイル操作メニューをタッチすると操作メニューが表示されます。



- 「アップロード」を選択します。



- 「ファイルを選択」をタッチします。



- ファイルの選択画面が表示されるので、アップロードするファイルを選択してください。  
端末種別によってファイルの選択方法が異なります。



- メニューからアップロードするファイルを選択してください。



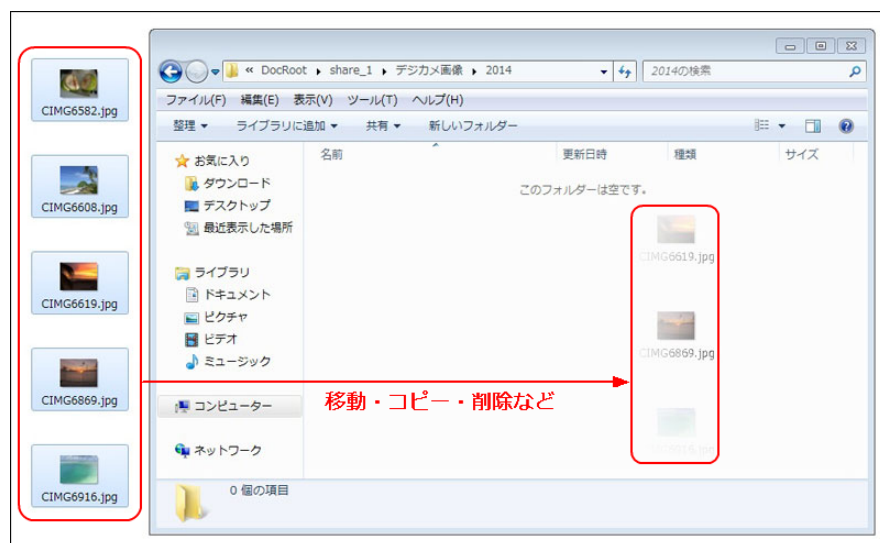
- ファイルを選択すると自動的にアップロードが始まります。  
アップロードが完了すると「続けてアップロードできます」と表示されます。



- 続けてファイルをアップロードする場合は、再度「ファイルを選択」してください。
- アップロードを終了する場合は「閉じる」を押して元の画面に戻ります。

## Windowsエクスプローラーで直接追加する

- ExaPadが公開しているフォルダは、Windows ファイルサーバーに実際に存在するフォルダです。
- Windowsエクスプローラーでこのフォルダに直接アクセスすることで、ファイルの追加・更新を行なうことができます。



- Windowsエクスプローラーで追加・更新されたファイルは、ExaPadで検索・閲覧できます。



## 2.6 複数ファイル进行操作する

ExaPadでは、複数のファイルやフォルダを一括して移動、削除などの操作ができます。

### 複数のファイル/フォルダに行える操作

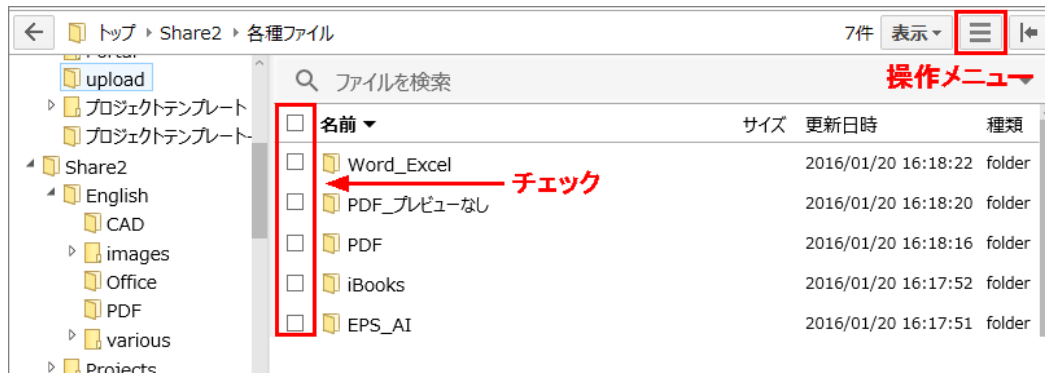
ファイルのみ複数選択	フォルダのみ複数選択	ファイル/フォルダの混合選択
<ul style="list-style-type: none"> <li>フリパスを表示</li> <li>ダウンロード</li> <li>一覧出力</li> <li>圧縮</li> <li>移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択フォルダ内で検索</li> <li>フリパスを表示</li> <li>ダウンロード</li> <li>圧縮</li> <li>移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フリパスを表示</li> <li>ダウンロード</li> <li>圧縮</li> <li>移動</li> <li>コピー</li> </ul>



コピー	コピー	削除
削除	削除	タグ一括編集
プレビュー再作成	タグ一括編集	
タグ一括編集		

## ファイル/フォルダを複数選択して操作する

- ファイル/フォルダをチェックボックスで選択します。  
ファイル一覧画面または検索結果画面にて複数選択できます。
- 「名前」の左側のチェックボックスは「全てを選択」または「全てを解除」のチェックボックスです。

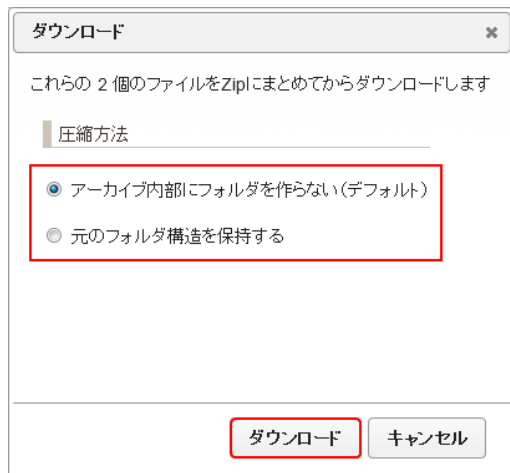


- ファイルを選択したら、ファイル操作メニューか、選択済みファイルを右クリックで操作メニューが表示されます。

3 件 選択中	
開く	▶
ダウンロード	
圧縮 (zip形式)	
移動	
コピー	
削除	
タグ一括編集	

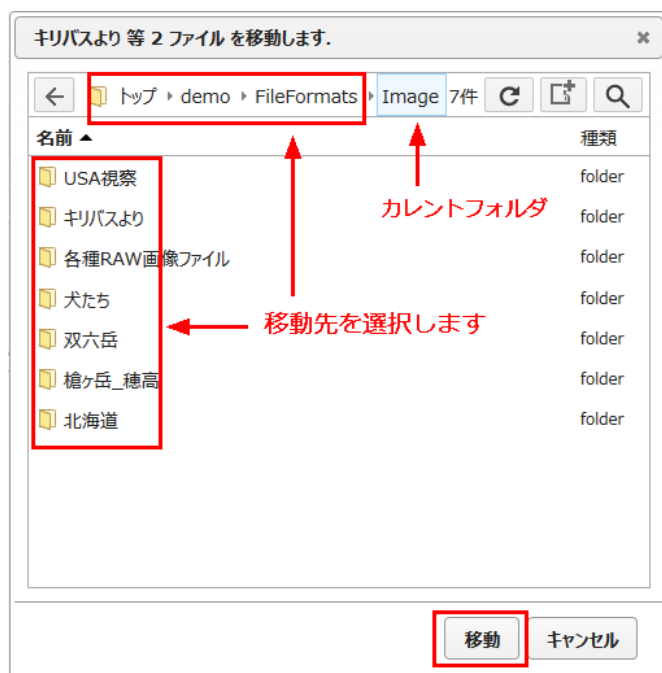
## ファイルのダウンロード

- ファイルを選択してファイル操作メニューで「ダウンロード」を選択します。
  - アーカイブ内部にフォルダを作らない(デフォルト) : 元のフォルダ構造を保持せずに同一フォルダにまとめてダウンロードします。
  - 元のフォルダ構造を保持する : 元のフォルダ構造を維持した状態でダウンロードします。



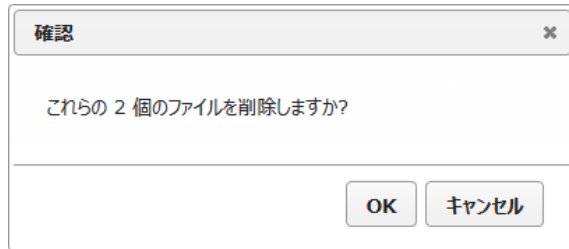
## ファイルの移動 / コピー

- ファイルを選択しファイル操作メニューで「移動」または「コピー」を選択するとダイアログが表示されます。
- 移動 / コピー先のフォルダを選択します。
- 「移動」または「コピー」ボタンを選択して操作を実行します。



## ファイルの削除

- ファイルを選択してファイル操作メニュー、または右クリックメニューで「削除」を選択します。
- 「OK」を選択すると選択したファイルが削除されます。（ファイルサーバーから本当に削除されるの注意してください）



## ファイルのプレビュー再作成

- ファイルを選択してファイル操作メニュー、または右クリックで、「プレビュー操作 > プレビュー再作成」を選択すると、プレビューの再作成が開始されます。

## 2.7 ファイルのタグ情報を編集する

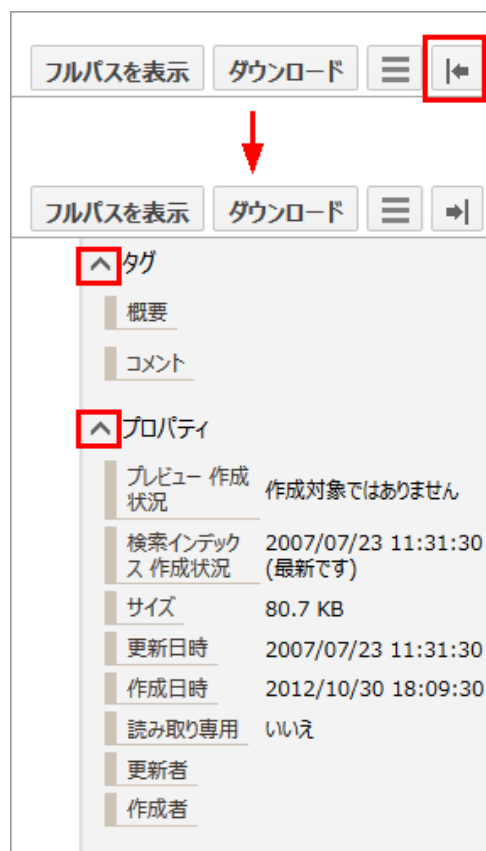
ExaPadでは任意のファイルやフォルダにタグとして属性情報を登録できます。

登録されたタグの属性情報は全文検索の対象になります。

## ファイルにタグ情報を登録する

### プロパティパネルを表示する

- 画面右上の矢印ボタン( ) を選択すると、プロパティパネルを表示 / 非表示できます。
- タグ、プロパティの左にある矢印ボタン( ) を選択すると、パネル内でタグ欄やプロパティ欄を表示 / 非表示できます。



## 概要に情報を登録する

- プレビュー画面の「概要」の右側スペースにカーソルを合わせると入力ボックスが表示されます
- プロパティパネルが表示されていない場合には、右上の矢印ボタンを選択すると表示されます。



- 入力ボックスにテキスト情報を入力して「OK」を選択すると、情報が登録されます。

タグ

概要

ワークスタイル変革  
テレワーク

OK キャンセル

コメント

タグ

概要

ワークスタイル変革  
テレワーク

コメント

## コメントを登録する

後述のOffice文書プロパティのコメントと、当項目のコメントは全く関係ありません。

- プレビュー画面の「コメント」の右側スペースカーソルを合わせると入力ボックスが表示されます

育児・介護休業規程

タグ

概要

コメント

情報

プレビュー 作成状況 最新です

検索インデックス 作成状況 登録されていません

- 入力ボックスにテキスト情報を入力して「OK」を選択すると、情報が登録されます。

コメント

従業員は規定をダウンロードして必ず確認してください

OK キャンセル

- 「ゴミ箱」マークを選択するとコメントを削除できます。  
相応のアクセス権のあるユーザーしか削除できません。

コメント

OK キャンセル

administrator

従業員は規定をダウンロードして必ず確認してください

2018/11/02 15:43:49

## カスタマイズしたタグに情報を登録する

- 予め管理者によってタグ項目の設定が必要です。
- タグはテキスト、日付、真偽値、数値の形式で登録できます。

フルバスを表示 ダウンロード

タグ

概要 ワークスタイル変革  
テレワーク

コメント

administrator

従業員は規定をダウンロードして必ず確認してください

2018/11/02 15:43:49

登録日

OK キャンセル

製品型番

OK キャンセル

情報

プレビュー作成状況 最新です

検索インデックス作成状況 2018/11/02 14:18 (最新です)

## プロパティダイアログでタグ情報を登録する

- プレビュー画面で、ファイル操作メニュー > タグ・プロパティを選択する。  
または、ファイル一覧画面で、ファイルを右クリック > タグ・プロパティを選択すると、プロパティダイアログが表示されます。
- タグの右側スペースにカーソルを合わせると入力ボックスが表示され編集できます。



## MS-Office文書プロパティの編集

- ExaPadでは、MS-Office文書プロパティのうち種類を閲覧・編集することができます。
  - タイトル、表題 (サブジェクト)、作成者 (作者)、カテゴリ (分類)、キーワード (タグ)、コメント
- MS-Office文書プロパティ (上図の赤枠) の表示には、予め管理者によってタグ項目の設定が必要です。

## 概要とコメントをファイル一覧に表示する

- ファイル一覧画面で表示形式を「詳細」にします。
- 概要とコメントがファイル名の下に表示されます。



## その他のプロパティ情報

### プレビュー作成状況

現在のプレビュー作成状況をプレビュー画面の情報欄に表示します。

- プレビューが最新の場合は「最新です」と表示されます。

^ 情報	
プレビュー 作成状況	最新です
サイズ	23.0 KB

- プレビューを作成中の場合は、「プレビュー作成中です。」と表示され、数分後に作成されます。

^ 情報	
プレビュー 作成状況	プレビュー作成中です。
サイズ	23.0 KB

## その他のプロパティ情報

- 検索インデックス作成状況
  - 最新です： インデックス登録が完了しており、検索できる状態です。
  - 最新ではありません： インデックス未登録または作成中で検索できない状態です。
  - 作成対象ではありません： インデックス登録対象外（検索対象外）のファイルです。
- サイズ、更新日時、作成日時、読み取り専用、更新者、作成者の情報はファイルサーバーと同じ情報です。  
(Windowsエクスプローラーと同じ表示です)



へ プロパティ	
プレビュー 作成 状況	作成対象ではありません
検索インデックス 作成状況	2007/07/23 11:31:30 (最新です)
サイズ	80.7 KB
更新日時	2007/07/23 11:31:30
作成日時	2012/10/30 18:09:30
読み取り専用	いいえ
更新者	
作成者	

## 2.8 ファイルを直接開く

本機能はオプション機能のため、使用するにはオプションライセンスが必要です。

### ファイル直接オープンの機能について

- ExaPad からファイルやフォルダを、ダウンロードすることなく PCの該当アプリケーションやWindowsエクスプローラーで直接開くことができる機能です。  
(Windowsエクスプローラーでファイルをダブルクリックして開くと同じ動作です)
- 本機能の利用にはオプションライセンスが必要です。
- LAN内のWindows PCのみ利用できます。
- モバイル端末では本機能を使用できません。

### ファイルを直接開く

- プレビュー画面の「直接開く」ボタン、またはファイル一覧画面でファイルを右クリックして「直接開く」を選択します。



- アプリケーションが起動して、ファイルがPC上で直接開きました。
- フォルダに「直接開く」を実行すると、Windowsエクスプローラーで該当フォルダを開きます。

## 初めて「直接開く」を実行するとき

- 「直接開く」の利用には、先に「ExaPadクライアント」をPCにインストールしておく必要があります。
- 詳細は管理者向け「[ファイルを直接開く](#)」をご覧ください。
- 

## サーバー側の設定について

管理者向け [サーバー側の準備](#) をご覧ください。

## ファイル直接オープン機能の注意事項

- LAN内でのみ本機能を使うことができます。
- 外部ネットワークから本機能を利用することはできません。
- 64bit版のWebブラウザでは本機能は動作しません。

## 2.9 多言語対応について

### メニュー表示の切り替え

ExaPadのメニュー言語は、日本語と英語で切り替えることができます。

メニュー言語の切り替えは、2つの方法があります。

- ログイン画面のフッターにある「ExaPad in English」を選択してください。
- ExaPadにログインして、画面右上の「ログインユーザー名」を選択してください。



### 検索キーワードに使用できる文字

ExaPadの全文検索エンジンは、Unicode に対応しています。

Microsoft Office などUnicode 対応ドキュメントは、日本語・英語に限らず、世界中の言語・文字コードの文書を検索することができます。

# Part

---



## 3 システム設定（管理者マニュアル）

この章では ExaPad Ver4.x の管理者向け設定を説明します。

ExaPad Ver3.16 以前の旧バージョン環境についてはお問い合わせください。

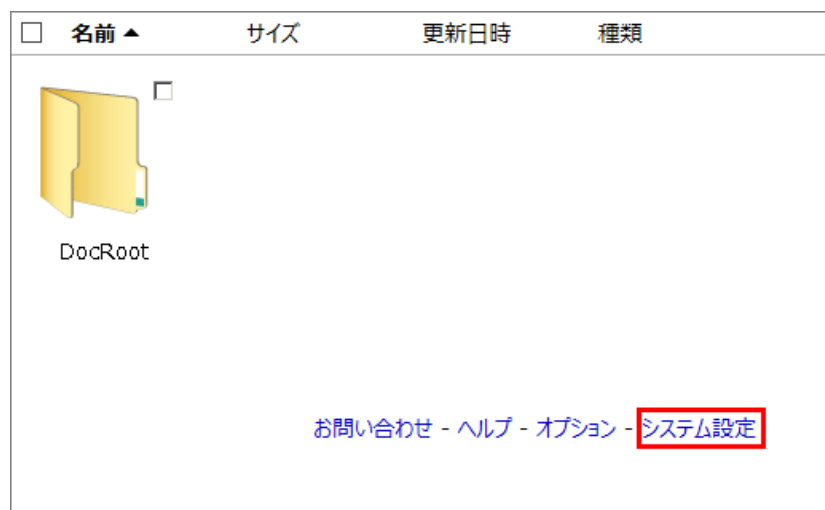
### 3.1 管理コンソールについて

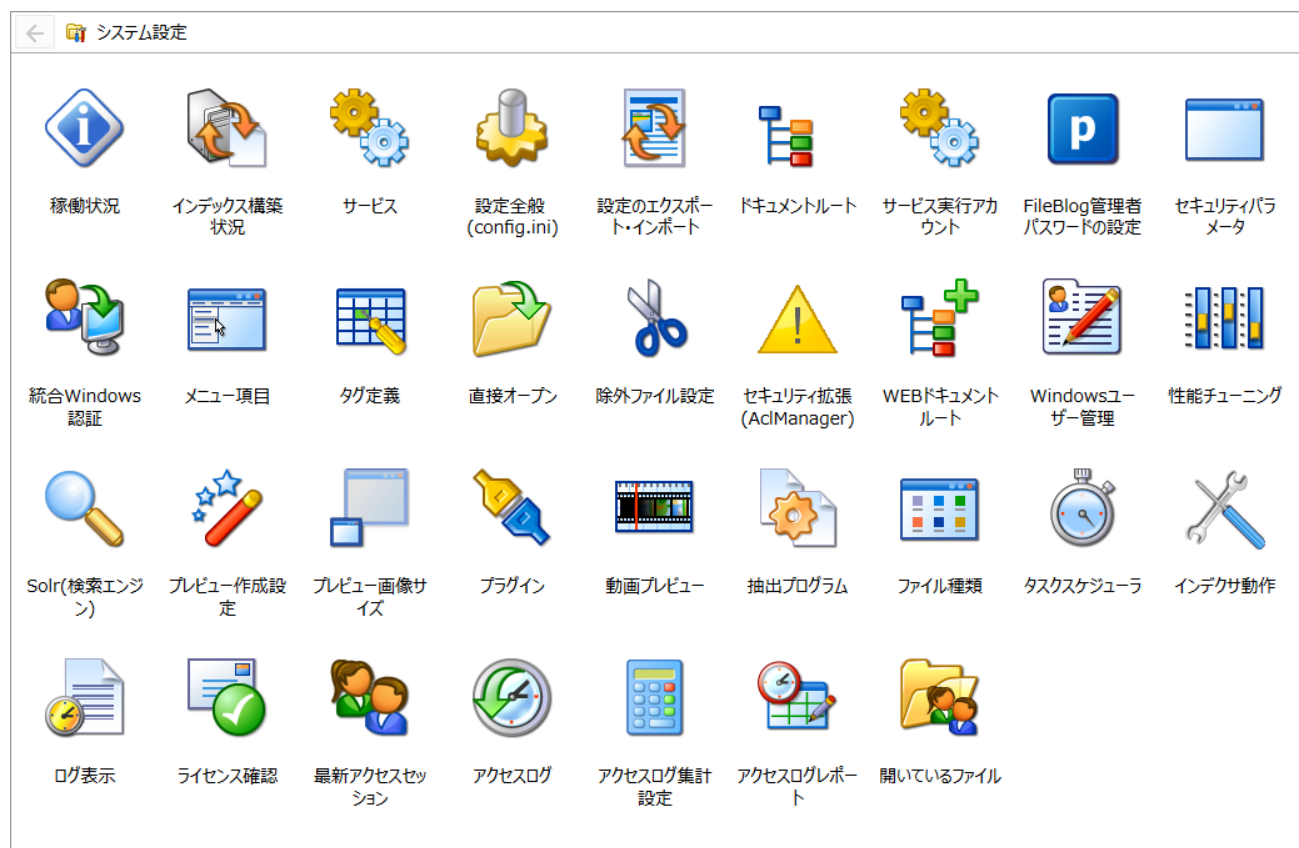
ExaPadの設定・管理は、Webコンソールとコンソールアプリの2つで行います。

ほとんどの設定・管理はWebコンソール（システム設定）で行います。

## システム設定（Webコンソール）

ExaPad画面のフッターにある「システム設定」を選択すると表示されます。





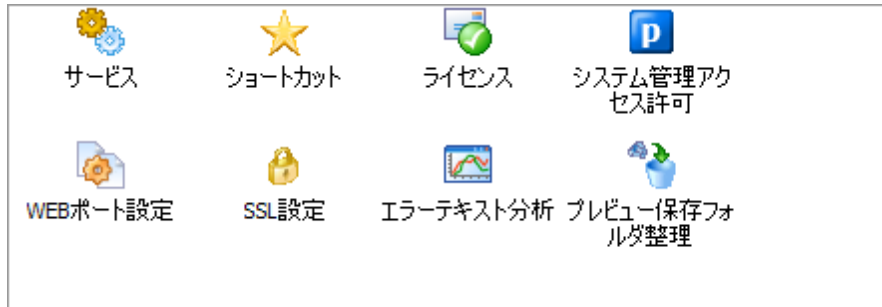
各アイコンを選択すると、それぞれの設定画面が表示されます。

- ご利用のライセンスによっては表示されないアイコンがあります。
- 標準ではExaPadのインストールされた端末からのみ接続できるようになっていますが、LAN内の別端末にも接続を許可することができます。
- Webサービスが停止していると接続できません。

## ExaPad管理ツール(コンソールアプリ)

ExaPadのインストールされている端末のデスクトップにあるショートカット、

または、Windowsすべてのメニュー > BroadLeaf > ExaPad管理ツール で起動します。



各アイコンを選択すると、それぞれの設定画面が表示されます。

- Webサービスが起動していても実行できます。
- 別の端末からは使用できません。

## 3.2 基本設定 [ 簡単スタート ]

ExaPadを初めてインストールして利用するときの基本的な設定作業を説明します。

この基本設定だけでもExaPadを十分にご活用いただけるようになります。

### 3.2.1 インストールする

#### 導入環境の確認

- ExaPadは Windows OS にインストールできます。
- ハードウェアリソースに十分な余裕があることを確認してからインストールを開始してください。
- OSやハードウェアリソースについて不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

## ExaPad インストーラーの実行

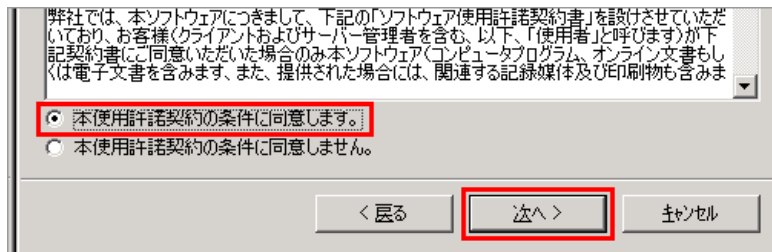
### インストーラーの実行

ExaPadInstaller\_\*\*\*.exe を実行します。（\*\*\*部分はリリースによって変わります）

ExaPadがインストール済みの環境でインストーラーを実行すると、バージョンアップのための上書きインストールになります。

## インストールの手順

- インストーラを起動すると「ようこそ」画面が表示されますので、「次へ」で画面を進めてください。
- 使用許諾契約画面が表示されます。使用許諾契約書の内容を確認してから、「同意します」にチェックを入れて「次へ」を選択してください。



- インストール先フォルダの設定をします。通常はインストールフォルダを変える必要はないので、そのまま「次へ」を選択します。
- インストール準備完了画面にて、「インストール」を選択するとインストールが開始されます。
- 「インストールが完了しました」が表示されれば、インストールは完了です。
- Windowsスタートメニューにプログラムが追加され、デスクトップにショートカットが追加されます。

## ExaPad画面を開く

ExaPadのインストールが完了すると、インストールしたマシンのデスクトップに作成されたショートカット「ExaPadを開く」を使用するか、Webブラウザで、<http://127.0.0.1/> に接続することができるようになります。

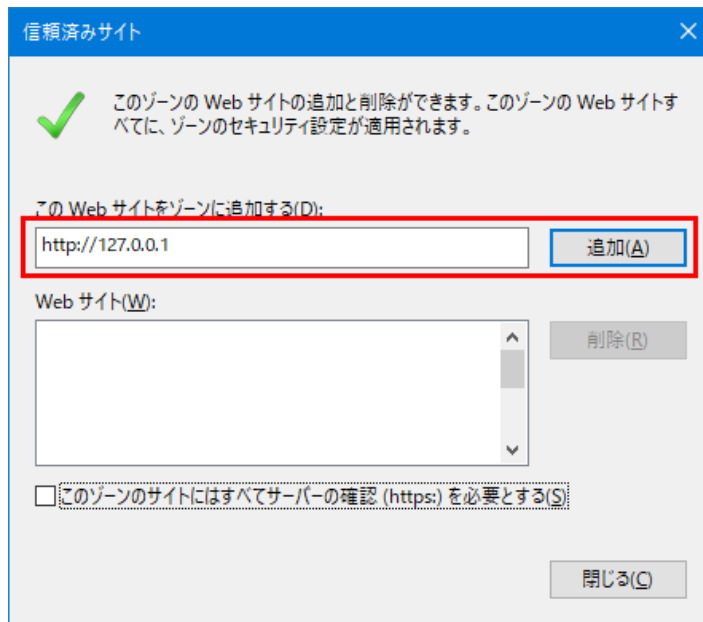
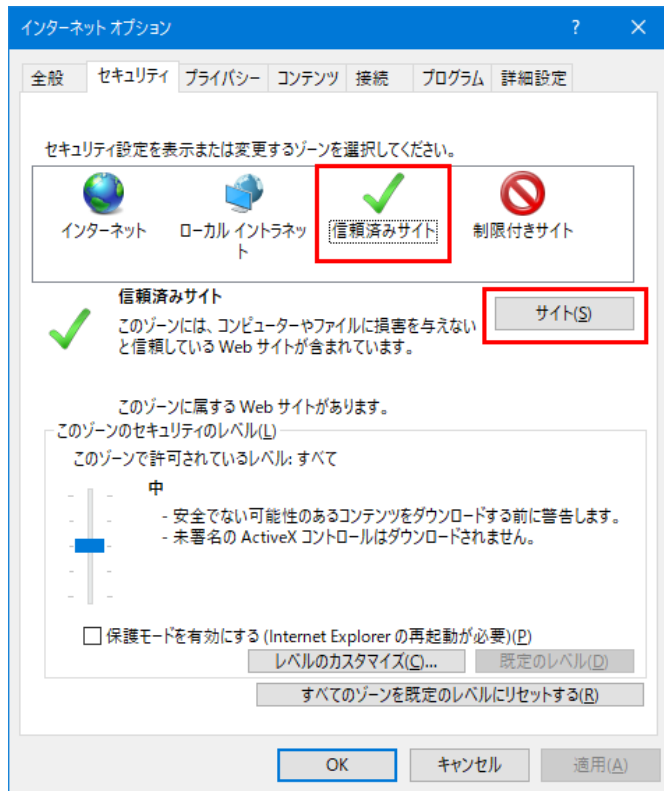
ショートカットまたは、<http://127.0.0.1/> に接続すると、ExaPadのログイン画面が表示されます。

有効なWindowsユーザーアカウントのIDとパスワードを入力してログインしてください。（典型的には、Administrator ユーザーでログインできるはずです）

セキュリティ設定が厳格な場合には、インターネットオプションの信頼済みサイトに127.0.0.1を追加してください。

- インターネットエクスプローラを開く > ツール（歯車マーク） > インターネットオプション
- コントロールパネル > ネットワークとインターネット > インターネットオプション





## 初期設定値

何も指定なくインストールを完了したときに作成される各種フォルダです。

各種フォルダ	フォルダパス
プログラムフォルダ	C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0 プログラムが保存されるフォルダで、本マニュアルでは[インストールフォルダ]という略称を使用します。
データフォルダ	C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Data データ類が保存されるフォルダで、本マニュアルでは[ AppData] という略称を使用します。
ドキュメントルートフォルダ	C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot
プレビュー保存フォルダ	C:\ProgramData\ExaPad_data\Preview
インデックスデータ	C:\ProgramData\ExaPad_data\SearchIndex
アクセスログ	C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Data\AccessLog\Log [インストールフォルダ]\Data\AccessLog\Log
インデックスサーバーログ	C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Data\Log\IdxSvrLog [インストールフォルダ]\Data\Log\IdxSvrLog
Webサーバーログ	C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Data\Log\WebLog [インストールフォルダ]\Data\Log\WebLog

### 3.2.1.1 サービス

ExaPadをインストールすると 次のサービス（常駐プログラム）が自動的にインストールされます。

このサービスが正常に稼働していないと ExaPadは正常に動作しません。

## サービス構成

ExaPadをインストールすると 次のWindowsサービスが登録されます。

サービス名	プロセスのイメージ名	使用TCPポート	スタートアップの種類	機能
FbIndexer	TpldxSvr.exe	1980	自動	ファイルの変更検知、プレビュー、検索インデックス作成を行います。
FbSolr	Fb3Solr.exe	8181	手動（ 1 ）	ファイルの検索や変更検知を行います。
FbWeb	jQueryServer.exe	80（ 2 ）	自動	Web サーバー
FbPostgresql	PostgreSQL.exe	6788	手動（ 1 ）	ExaPad固有の設定情報を保存します

このうち FbIndexer を「ExaPad サーバー」、FbWeb を「Web サーバー」と呼んでいます。

- FbWebのポート番号は80番ですが、ExaPad管理ツールで変更することもできます。
- FbSolrサービスは、FbIndexerの開始・停止に連動して自動的に開始・停止します。

FbIndexerおよびFbWebサービスは、スタートアップの種類を自動に設定してあるため、Windows OS の再起動時には両サービスも自動的に起動し、連動してFbSolrも起動します。

### 3.2.2 ドキュメントルートフォルダを設定する

## ドキュメントルートフォルダについて

ExaPadでユーザーに公開する、トップレベルのフォルダが、「ドキュメントルートフォルダ」です。

ExaPadをインストールすると、標準のドキュメントルートが自動的に設定されます。

別のローカルフォルダや、リモートコンピュータのフォルダをドキュメントルートとして設定することもできます。

ExaPadのインストール後は、まず標準のドキュメントルートフォルダにファイルを入れて動作確認することをおすすめします。

その後、既存フォルダや新規作成フォルダをドキュメントルートに登録してください。

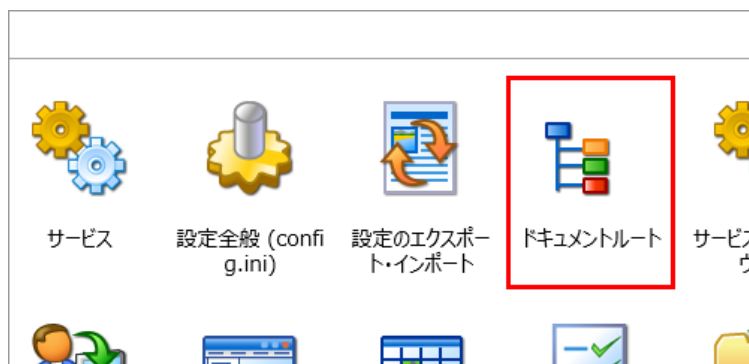
## ドキュメントルートの設定について

## 設定手順

1. システム設定画面を開きます。

ExaPad画面 > システム設定 を開きます。

2. ドキュメントルートを選択します。



3. 初期設定のドキュメントルートを選択します。



4. 各項目に適切な情報を入力します。

ドキュメントルート

C:\ProgramData\data\DocRoot

プレビュー保存フォルダ

C:\ProgramData\data\Preview

エイリアス

DocRoot

表示名

DocRoot

フォルダ変更検知

☒

Patterns

インデクサーサーバーのURL

OK

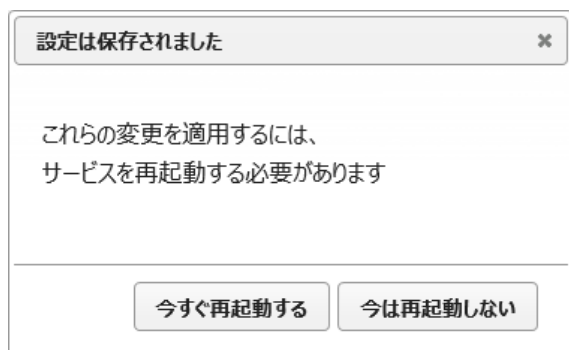
キャンセル

設定項目	説明
ドキュメントルート	ExaPadが検索・閲覧の対象とするフォルダを指定します。
プレビュー保存フォルダ	作成されるプレビュー画像や、抽出されるテキスト情報を保存する場所を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>全ユーザーが読み取り可能であることが必須です</li> <li>ドキュメントルート配下のフォルダを指定できません</li> </ul>
エイリアス	半角英数の文字列で指定します。 ExaPadで用いられるファイルパスとして使用されます。
表示名	ExaPadで表示されるフォルダ名を指定します。 全角・半角文字が使用でき、省略するとエイリアスが表示名として使用されます。

設定項目	説明
Patterns	<p>ドキュメントルートパターンを設定します。</p> <p>ドキュメントルートフォルダがUNCパス(\\server\share)で指定されている場合、このドライブレターパス(T:\share)を登録しておくことで両パターンが同一視されます。</p>

【注意】ネットワークドライブのフォルダをドキュメントルートに設定する場合、[ネットワークドライブのフォルダを対象にする](#)もお読みください。

5. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。



## 複数のドキュメントルートを設定する

複数の別階層のフォルダや、複数のファイルサーバーをドキュメントルートに設定することができます。

1. ExaPad画面 > システム設定 > ドキュメントルートを開きます。
2. 「追加」ボタンを選択します。



- 設定方法は1つのドキュメントルートの設定と同じです。
- 各ドキュメントルートは互いに独立したフォルダ階層である必要があります。(ドキュメントルート配下のフォルダを別のドキュメントルートに設

定することはできません）

- 「プレビュー保存フォルダ」、「エイリアス」、「表示名」は、各ドキュメントレートで同じ値にできません。
- プレビュー保存フォルダは実在のフォルダを指定してください。
- 仮想の親フォルダ「トップ」（仮想ドキュメントレート）が自動的につくられ、その配下にドキュメントレートに設定した実在のフォルダが表示されます。

## 設定変更後のインデックス構築について

- 以下の設定変更を行ったときは、インデックス再構築の実行が必要です。インデックス再構築の実行方法は[こちら](#)をご覧ください。
  - ドキュメントレートのフォルダを変更または追加したとき
  - エイリアスを変更したとき
- ドキュメントレート設定を変更後にインデックス再構築が必要になる場合、不要なインデックスデータを削除してください。そのままにしておくと、文書数としてカウントされたり、インデックスデータの肥大化要因になります。
  - 不要なインデックスデータのみ削除するには、「[インデックスの掃除](#)」を実行します。（長時間を要する場合があります）
  - インデックスデータ全体を削除するには、「[インデックスの初期化](#)」を実行します。（初期化の方が簡単に再構築が早い場合があります）

### 3.2.2.1 ネットワークドライブのフォルダを対象にする

ExaPadは、ネットワークドライブで接続されたコンピュータの共有フォルダを、ドキュメントレートに複数指定することができます。

## 前提事項

- ExaPadを稼働させるサーバーとファイルサーバーが、同一マシンであるか、同一Windowsドメインに所属している必要があります。
- WORKGROUP環境の場合、ExaPadサーバー（Windowsローカルユーザーアカウント）とファイルサーバーのユーザーアカウントを完全一致させることで利用できます。  
ユーザー数が増えると運用が困難になることが予想されます。この場合、ExaPadサーバーのローカルドライブをドキュメントレートに設定して運用することをおすすめします。
- ネットワークドライブのフォルダが共有設定されている必要があります。

## ドキュメントルートフォルダの指定方法

ドキュメントルートは指定するフォルダのパスは、ドライブ文字を使わずにUNC形式で指定します。

例) Tドライブに割り当てているネットワークドライブ\\Server\share を指定する場合

× ドキュメントルート = T:\

ドキュメントルート = \\Server\share

## サービス実行ユーザーアカウントの変更

インデックス構築やプレビュー作成をするためには、インデクサー (FbIndexer) がドキュメントルートにアクセスできなければなりません。

既定のサービス実行ユーザーアカウントは、ローカルシステムアカウント (SYSTEM) です。

SYSTEMは、C: ドライブなどローカルドライブに対して全アクセス権限を持っていますが、ネットワークドライブへのアクセス権限を持っていないため、そのままではネットワークドライブのフォルダにアクセスできません。

そこで、サービス実行ユーザーアカウントを「ネットワークドライブにアクセス権限を持つアカウント」に変更する必要があります。

[次のページ](#)の手順にしたがって、実行ユーザーアカウントを変更してください。

### 3.2.2.2 サービスの実行ユーザーアカウントを変更する

ネットワークドライブのフォルダをドキュメントルートに指定する場合、インデクサー (FbIndexer) の実行ユーザーアカウントの変更が必要です。

## サービス実行ユーザーアカウントの準備

ネットワークドライブのフォルダを対象とする場合、条件を満たすユーザーアカウントを用意してインデクサー (FbIndexer) の実行ユーザーアカウントとして登録します。

- ドキュメントルート配下の検索対象となる全ファイルに対する読み取り権限
- ExaPadサーバーの全リソースへのアクセス権限とサービス起動特権 ([参考](#))



## サービス実行ユーザーアカウントの変更

### 実行アカウントの確認

1. 画面下部のシステム設定 > サービス実行アカウントを開きます。



2. チェックをつかえて、アカウント名とパスワードを入力します。

- 既定はローカルシステムアカウントに設定されています。
- ドメインを使用している場合は[ ドメイン名\ユーザー名 ]の形式で入力します。

システム設定 > サービス実行アカウント

保存する キャンセル

インデクサー (Fb3Indexer) サービスの実行アカウントの設定

☒ ローカルシステムアカウント

☐ アカウント:  (入力例) domain\userid

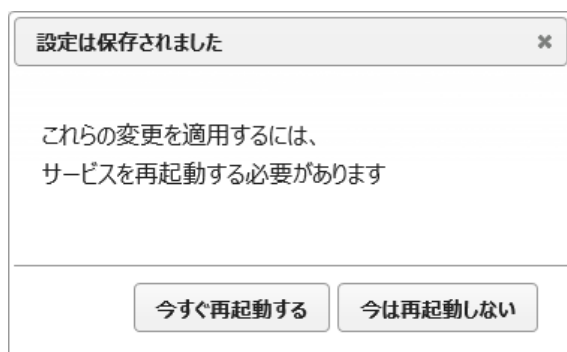
パスワード:

※以下のフォルダ権限を持つアカウントを設定してください

- ・ドキュメントルートフォルダ: Read
- ・プレビュー保存フォルダ: Read/Write
- ・インデックス保存フォルダ: Read/Write

FileBlogサーバーのローカルAdministratorsグループに追加し  
サービス起動のための特権を与えてください

3. 「保存する」を選択し、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を実行します。



## サービス実行ユーザーアカウントに必要な権限（参考）

### インデクサー（FbIndexer）の実行アカウントに必要な権限

サービス実行ユーザーアカウントは、次の権限が必須です。

1. ドキュメントリードに指定したフォルダに対する読み取り権限
2. 環境設定ファイル（config.ini）に対する読み取り権限
3. プレビュー保存フォルダに対する読み取り、書き込み権限
4. [ インストールフォルダ ] \Data に対する読み取り、書き込み権限
5. ExaPadサーバーのローカルグループ「Administrators」への所属（サービス起動特権が必要です）
6. レジストリ HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\BroadLeaf\ExaPad\4.0 への読み取り、書き込み権限

ほとんどは 1 と 5 が満たされれば残りの権限も満たされます。

### WEBサーバー（FbWeb）の実行アカウントに必要な権限

ローカルシステムアカウント（SYSTEM）以外での起動はできません。（変更は不要です）

#### 3.2.3 プレビュー作成の設定をする

### プレビューの種類

種類	説明
----	----

サムネイル	ファイルの先頭ページを縮小変換した画像です。（100px）
PDF プレビュー	ファイルがPDFに変換されて表示されます。
HTML プレビュー	ファイルがHTMLに変換されて表示されます。
標準 プレビュー	ファイルが画像に変換されて表示されます。（640px）
拡大 プレビュー	ファイルが画像に変換された表示されます。（1440px）

本マニュアルでは、サムネイルや各種 プレビューを総称して「プレビュー」と記載します。

## プレビュー作成設定について

- プレビュー作成定義は標準定義のほか、新規作成できます。
- 定義は、フォルダ・ファイル単位で作成できます。
- 子フォルダは一つ上の親フォルダの定義を継承します。  
階層途中のフォルダに新たに定義を設定すると、その配下は新しい定義を継承します。
- 同じファイル種類（拡張子）に対して複数のフォルダで異なる定義が設定されている場合、継承した定義、または当該フォルダに設定された定義が有効になります。
- 定義に指定されていないファイル種類のファイルは、プレビュー作成されません。
- プレビュー画像が作成済みのファイルをプレビュー作成しない（もしくは作成するページを減らす）定義にした変更した場合、インデックス再構築の実行により不要なプレビューが削除されます。
- プレビュー作成に対応していないファイル種類を、定義で指定してもプレビューは作成されません。

## 既定のプレビュー作成設定

- 事前作成は「先頭サムネイルのみ」、随時作成は「PDF\_HTML」の設定になっています。
  - インデックス構築やファイル更新時にサムネイルが作成されます。
  - ファイルが閲覧される（プレビュー画面が開かれる）と各種プレビューが作成されます。  
作成された各種プレビューは保存され、再び閲覧のないまま一定期間が過ぎると削除されます。
- 初回閲覧時にプレビューが作成されるまでは時間を要しますが、次のユーザーは既に作成されたプレビューを直ぐに閲覧することができます。

## 設定方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > プレビュー作成設定 を開きます。



2. プレビュー作成条件を設定する画面が開きます。

← システム設定 ▶ プレビュー作成設定

保存する キャンセル

事前作成設定: PDF\_HTML

以下のタイミングで使用するプレビュー作成設定です

- ☒ フォルダスキャンによるプレビュー再構築時 (選択必須)
- ☒ ファイルの変更検知時
- ☒ ファイル一覧の表示時

随時作成設定: PDF\_HTML

以下のタイミングで使用するプレビュー作成設定です

- ☒ プレビュー再作成 メニューの実行時 (選択必須)
- ☒ ファイル閲覧時

保存期限: 120

インデックス・プレビュー掃除の際に、保存期限を過ぎたプレビュー・サムネイルのうち事前作成設定の対象以外を削除します。  
保存期限を無期限にしたい (削除したくない場合)、-1 を設定してください。  
保存期限は最後にファイルを表示してから経過日数で判定します。

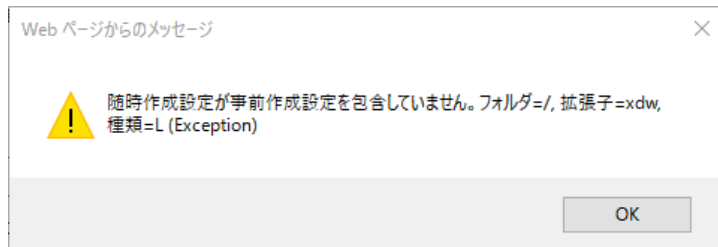
プレビュー作成設定を編集する

項目	説明
事前作成設定	インデックス再構築が実行されたとき、ファイルの更新を検知したとき、フォルダを開いてファイル一覧したときプレビューが作成されます。
随時作成設定	プレビュー画面を開いたとき、操作メニューからプレビュー再作成を実行したときにプレビューが作成されます。

保存期限	プレビューデータの保存期限です。 最後にファイルを閲覧された日から期限が過ぎたプレビューデータは、インデックスの掃除が実行されると削除されます。（事前作成で作成されたデータは削除されません）
プレビュー作成設定を編集する	新規にプレビュー作成定義を設定することができます。 フォルダやファイル種類（拡張子）ごとに定義をつくることができます。

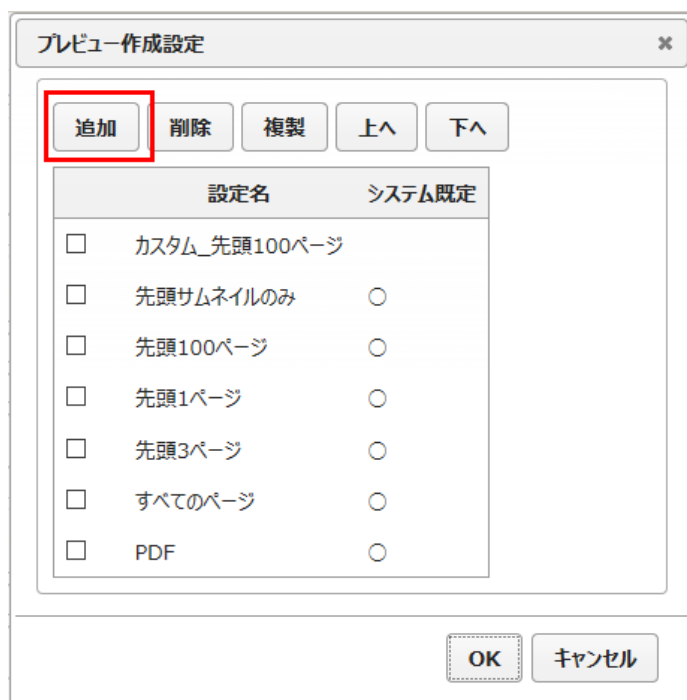
## 注 意

- 随時作成設定が、事前作成設定を包含しない設定を行うと設定を保存できません。
- 包含関係に不整合があると、プレビュー掃除とインデックス再構築の処理で、プレビューデータを削除したり再作成したりと無駄な処理が繰り返されるためです。



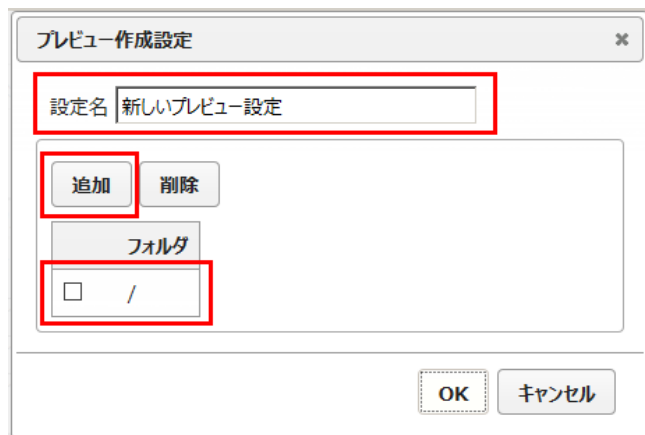
## プレビュー作成設定を編集する

1. プレビュー作成設定の画面で、「プレビュー作成設定を編集する」を選択します。



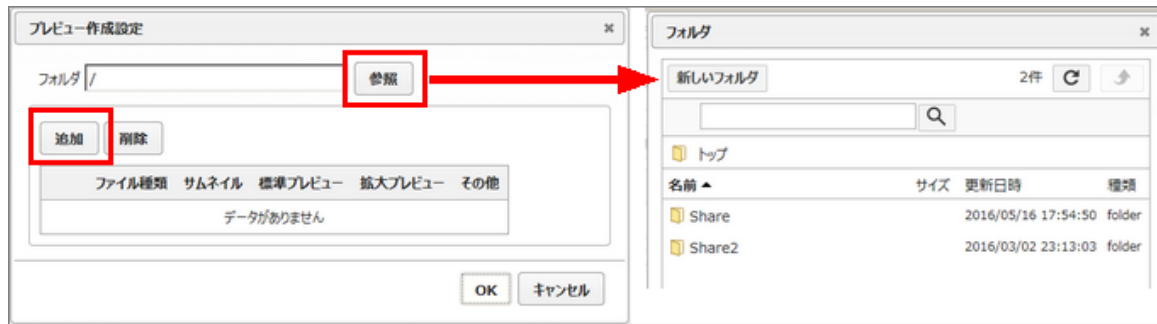
- 新規にプレビュー作成定義を設定する場合には、「追加」ボタンを選択します。
- 既存の作成定義を選択すると内容を編集できます。（既定の作成定義は閲覧できますが、編集はできません）

## 2. 設定名（定義名）や対象フォルダを設定します。



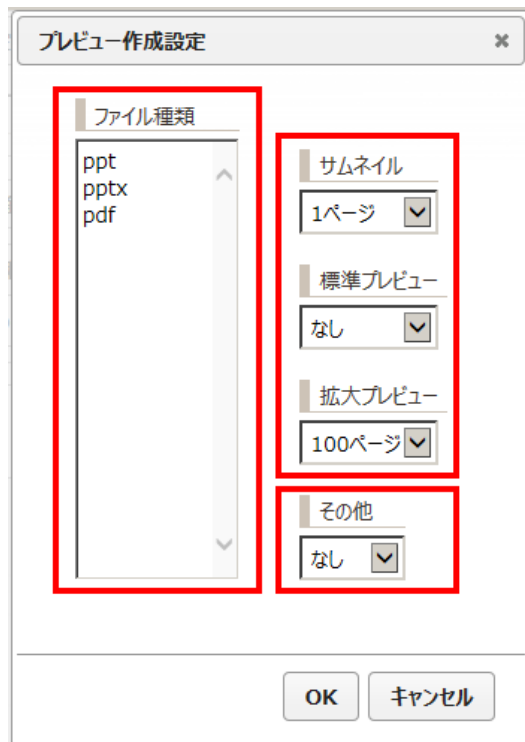
- 設定名を編集します。
- 「追加」ボタンを選択すると、新規に対象フォルダと対象拡張子を設定できます。
- 既定フォルダ「 / 」を選択すると内容を編集できます。（「 / 」は、全てのドキュメントルート（トップ）を表します）
- 対象フォルダを複数追加して、それぞれに異なる設定ができます。

3. 対象フォルダを選択し、対象ファイル種類（拡張子）を設定します。



- 「参照」ボタンを選択して、対象をフォルダを指定します。
- 「追加」ボタンを選択するとファイル種類の設定ができます。

4. 対象ファイル種類（拡張子）、プレビュー種類、ページ数を指定します。



項目	説明
ファイル種類	拡張子を改行区切りで入力します。（ピリオドは不要です）
サムネイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>• それぞれに作成ページ数を指定します</li> </ul>
標準プレビュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サムネイルは、ファイル一覧のサムネイル表示や、ファイルプレビュー時のサムネイル一覧で表示されます。</li> </ul>

拡大プレビュー	<p>(標準 拡大プレビューと同数をおすすめします。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準プレビューは、閲覧時に拡大表示すると粗くなります。(640px)</li> <li>拡大プレビューは、ある程度の拡大表示には耐えられます。(1440px) <ul style="list-style-type: none"> <li>標準 拡大プレビューの両方が作成されている場合は、拡大プレビューが優先的に表示されます。(標準プレビューの作成は不要です)</li> <li>標準プレビューの作成数より、拡大プレビューの作成数が多い場合は、標準プレビューの作成は不要です。</li> <li>画像、CAD、DTPファイルなど単数ページのファイルは、複数ページ作成を指定しても1ページしか作成されません。</li> </ul> </li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDFは、ファイル全体をPDF形式に変換してプレビューできるようにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Word・Excel・PowerPointファイル、CADファイルのみに設定できます。</li> </ul> </li> <li>HTMLは、ファイル全体をHTML形式に変換してプレビューできるようにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Word・Excelのファイルのみに設定できます。</li> </ul> </li> <li>PDF・HTMLプレビューは、標準 拡大プレビューが作成されていても優先されます。</li> </ul>

5. 「OK」ボタンで設定を保存し、必要に応じて条件を追加作成していただき、設定ダイアログを閉じていき、最初の「プレビュー作成設定」まで戻ります。

6. 設定したプレビュー作成条件を選択します。



- 事前作成設定、随時作成設定に作成条件を指定します。
- 保存期限に日数を入力します。  
「-1」を入力すると無期限になります。

7. 保存ボタンを選択し、表示される「今すぐ再起動する」を選択するとサービス再起動が行われて設定が反映されます。

## プレビューの再作成

- 初回時は、インデックス初期構築が済んでからプレビュー作成を実行してください。  
プレビュー作成の方がインデックス構築より長時間を要するため、インデックス初期構築を先に完了させることをおすすめします。
- プレビュー作成設定を保存するだけでは、プレビュー作成は行われません。  
新しい設定によるプレビュー作成を行うには、設定後に「プレビューの再作成」を行ってください。
- プレビューの再作成を行うと、新しいプレビュー作成設定に従ってプレビューが再作成（作成・削除）されます。
- 設定を行った後に追加もしくは更新されたファイルについては、変更検地により自動的にプレビュー作成されます。

## プレビュー再作成の方法

プレビュー再作成の方法は2つあり、全体的または部分的に実行できます。

1. インデックス構築状況画面で実行する（全体的に実行されます）

- ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況 を選択します。
- 「インデックス再構築」ボタンを選択します。
- 「プレビュー抽出を行う」にのみチェックを入れて「再構築」を選択します。

2. フォルダを選択して実行する（選択したフォルダ配下に対して実行されます）

- フォルダを右クリック > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築  
または、フォルダを開いて操作メニュー > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 を選択します。
- 「プレビュー抽出を行う」にのみチェックを入れて「再構築」を選択します。

### 3.2.3.1 動画ファイルのサムネイルを作成する

## 動画プレビュー作成に関するおことわり

ExaPadの動画プレビュー生成機能は、オープンソースの動画コンバーター「FFmpeg」に依存して実現します。

FFmpegおよび組み込まれる各種コーデックについては、それぞれに知的所有権の権利者が存在するため、配布や利用の許諾条件についてはお客様ご自身でご確認のうえ、自らの責任においてFFmpegを導入・使用してください。

弊社では、ExaPadがFFmpegを適切に呼出すための設定方法についてサポートいたしますが、動画ファイルのプレビュー作成を含むFFmpeg自体の動作については保証しかねます。

また、FFmpegおよび各種コーデックの使用許諾についても弊社は関知いたしません。

## 動画ファイルの対応フォーマット

- flv, mp4, avi, mov, asf, rm, wmv, ogv, mpeg, mpg のプレビュー作成ができます。
- 画像プレビューに対応した動画形式であることをあらかじめ確認してください。  
対応フォーマットは、「FFmpegがデコード可能な動画コーデックで構成されたファイルフォーマット」になります。
- なお、動画ファイルはサムネイルのみ作成されます。（標準・拡大プレビューは作成されません）

## 設定方法

### FFmpeg.exe を配置する

- [インストールフォルダ]\Bin\Toolsに FFmpeg.exe を配置します。
- FFmpeg.exe は、ExaPadインストーラーに含まれていないので別途ご用意ください。

### FFmpeg.exe の入手方法

- FFmpeg公式ページなどからダウンロードしてください。

### FFmpegの使用とライセンスに関して

- FFmpeg がデコードやエンコードするコーデックは一部を除いてライセンスフリーではありません。
- 詳しくは FFmpegの [license and legal considerations](#)（英語ページ）をご確認ください。

### 注意事項

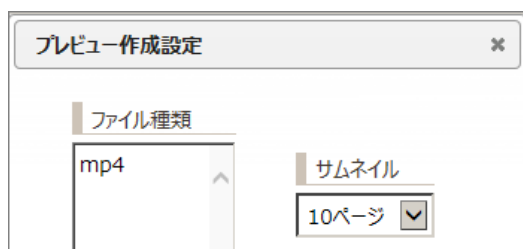
- 拡張子が同じでも、特殊な形式の動画ファイルではプレビューが作成できない場合があります。
- FFmpegのバージョンによってはうまく動作しない場合があります。その場合には弊社までご連絡ください。
- FFmpegのライセンスは弊社ではサポートできないため、あらかじめご了承のうえご使用ください。

## プレビュー作成を設定する

### 1. 動画プレビューを作成するための設定

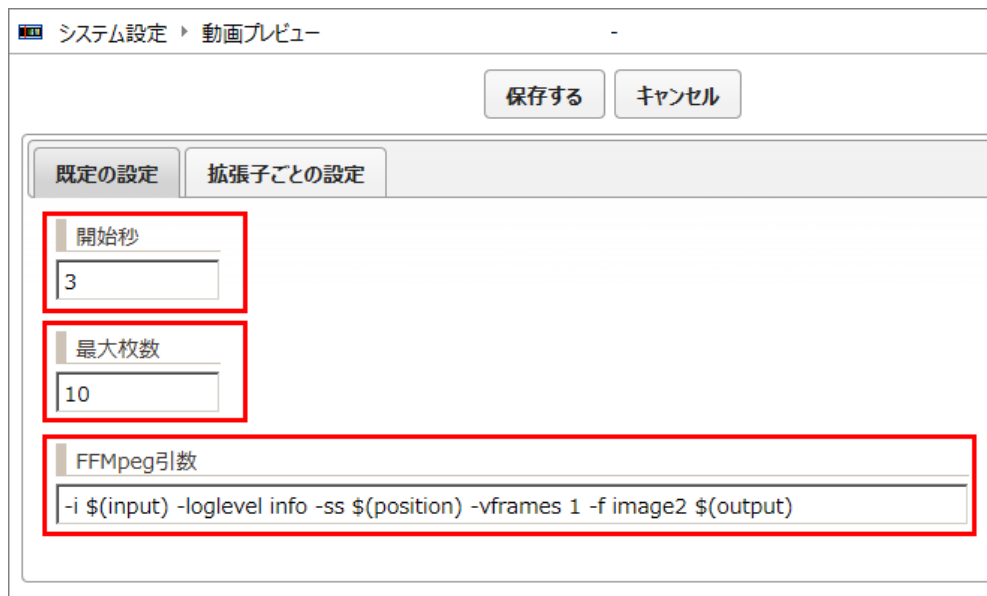
プレビュー作成設定画面を確認して、動画ファイルの拡張子を追加登録してください。

標準設定では動画ファイルのプレビューは作成しません。



## 2. プレビュー作成の詳細設定

- ExaPad画面 > システム設定 > 動画 プレビュー を開きます。



- 開始秒  
サムネイルの先頭1枚目を再生開始からの秒数で設定します。
- 最大枚数  
作成するサムネイル枚数を設定します。再生時間を設定値で分割して作成します。
- FFMpeg引数  
ffmpeg.exe を実行する時のパラメーターを変更できます。  
ファイル種類によってはパラメーター順番を入れ替えるとプレビュー作成速度が速くなる場合があります。
  - mpeg も抽出できるが遅い( i を前に持つてくる) デフォルト  
-i \$(input) -loglevel info -ss \$(position) -vframes 1 -f image2 \$(output)
  - mpegが抽出できないが早い( i を後に持つてくる)  
-ss \$(position) -vframes 1 -i \$(input) -loglevel info -f image2 \$(output)
 loglevelパラメーターを変更しないでください。プレビュー抽出できなくなる場合があります。

3. 「OK」ボタンで設定を保存し、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行います。
4. ファイル種類（拡張子）ごとに設定する。  
サムネイルをファイル種類（拡張子）ごとに設定できます。
  - 1) 「拡張子ごとの設定」タブを選択します。
  - 2) 「追加」ボタンを選択すると設定ダイアログが表示されます。



動画プレビュー

ファイルタイプ (拡張子)

flv

開始秒

5

最大枚数

15

FFMpeg引数

-i \$(input) -loglevel info -f image2 \$(output)

OK キャンセル

## 最大プレビュー抽出ファイルサイズを設定する

プレビュー作成できるファイルサイズには上限があり、標準では32000（約32Mbyte）に設定されています。

上限値を超えたファイルのプレビューは作成されません。

1. ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般（config.ini）を開きます。
2. 絞込ボックスに max\_extract と入力します。

← システム設定 ▶ 設定全般 (config.ini)

保存する キャンセル

絞込  ユーザー設定のみ表示 ☐

パラメータ名	設定値	説明
max_extract_page_file_size_kb	32000	この値（単位：KB）より大きなサイズのファイルはプレビュー画像が抽出されません。-1を指定すると、無制限になります。

3. max\_extract\_page\_file\_size\_kb を選択します。

max\_extract\_page\_file\_size\_kbの設定

値

OK キャンセル

4. 設定値を変更します。単位はKBです。

- max\_extract\_page\_file\_size\_kb の値を大きくすると、動画ファイル以外のファイルの上限値にも反映されます。
- これを防ぐには、max\_extract\_page\_file\_size\_kb\_extlist にてファイル種類毎にプレビュー作成の上限値を設定します。

5. max\_extract\_page\_file\_size\_kb\_extlist の設定方法

- 拡張子 (カンマ) 拡張子: (コロン) サイズ: (セミコロン) 拡張子 (カンマ) 拡張子: (コロン) サイズ: (セミコロン) の形式で指定します。

例) flv,mp4:320000;avi:640000;mov:720000

6. 「保存する」ボタンで設定を保存し、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行います。

### 3.2.4 インデックスを構築する

## 検索インデックス・プレビューの初期構築

ExaPadでは、文書を検索できるように各文書のインデックスを検索エンジンに登録する必要があります。

あらかじめ、サムネイルやプレビュー画像を作成しておくと、ユーザーがフォルダやファイルを開くと直ぐにプレビュー閲覧できるようになります。

この検索インデックスおよびプレビューの初期構築は、文書量や文書種類、サーバー性能により長時間を要することがあります。

初期構築をスムーズに完了させるために、インデックス初期構築の期間中は、ユーザーにExaPadの利用を公開せず、初期構築に専念させることをおすすめします。

## フォルダ変更検知の一時停止

ExaPadは、ドキュメントルートフォルダの変更をリアルタイムで監視し、変更を検知すると検索インデックスを更新します。

インデックス初期構築期間中もファイルサーバーは通常通りに利用されると考えられ、ファイルの変更が頻繁に行われる可能性があります。

随時行われる検出されたファイル変更の更新処理は、インデックス初期構築・プレビュー初期作成の処理に影響を与え、処理時間の遅延する要因になることもあります。

ファイル変更が頻繁に発生する環境でインデックス初期構築を行う場合は、フォルダ変更検知を一時停止することでファイル変更の影響を受けないようになります。

平日での初期構築実行や文書量が多い環境での実行時におすすめです。

## フォルダ変更検知を有効・無効にする

- ExaPad画面 > システム設定 > ドキュメントルートを開きます。
- 設定されているドキュメントルートを選択します。
- 「フォルダ変更検知」にチェックを入れると変更検知は有効になり、チェックを外すと無効になります。  
各ドキュメントルートで有効・無効を設定します。

ドキュメントルートの設定

ドキュメントルート  
C:\\$share

プレビュー保存フォルダ  
C:\\$Preview¥P1

エイリアス  
share

表示名  
Share

フォルダ変更検知  
☒

Patterns

OK キャンセル

- 「保存する」を選択してサービスを再起動すると設定が反映されます。

## インデックス構築（初回）の実行

インデックス構築の方法は2つあります。

### トップやドキュメントルート毎に再構築する場合

- ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況 を開きます。
- そのまま「インデックス再構築」ボタンを選択すると、ドキュメントルート全体がインデックス構築の対象になります。
- 各ドキュメントルートにチェックを入れて「インデックス再構築」ボタンを選択すると、チェックを入れたドキュメントルートがインデックス構築の対象になります。

### 特定のフォルダ以下を再構築する場合

- フォルダを右クリック > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築  
または、フォルダを開いて操作メニュー > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 を選択します。
- 選択したフォルダ以下がインデックス構築対象になります。



構築ダイアログが表示されたら、「検索 インデックス登録を行う」にチェックを入れて実行します。

「プレビュー抽出を行う」にもチェックを入れると、プレビュー作成の処理も開始されます。

## インデックス構築状況の確認

インデックス構築は次のように進行していきます。

ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況 を開くと、処理の進捗状況を確認できます。

### フォルダスキャン

- ドキュメントルート全フォルダと全ファイルをスキャンして、ファイル一覧を作成します。
- スキャンするだけ処理なので高速に行われます。
- 「再表示」ボタンを選択すると、処理の進捗に応じてカウント数が更新されます。

<div> <div>再表示</div> <div>インデックス再構築</div> <div>インデックス同期</div> <div>すべてのジョブをキャンセル</div> <div>エクスポート</div> <div>絞り込み</div> <div>処理中のみ <input type="checkbox"/></div> </div>					
ドキュメントルート	カウント	検索インデックス登録数	ステータス		最終スキャン日時
<input type="checkbox"/> DocRoot	2	<div>取得</div>	すべて 処理が完了しています		2018/07/07 02:00:02
<input type="checkbox"/> share	207	<div>取得</div>	すべて 処理が完了しています		2018/07/07 02:00:03

### 検索インデックス構築

- スキャンが完了すると、テキスト抽出および検索インデックス登録の処理がスタートします。
- この処理では、フォルダとファイルを読み取ってテキストを抽出し、抽出したテキストを検索エンジンに登録します。
- 文書数に応じて数時間～数十時間を要します。

検索インデックス登録の残件数は、テキスト抽出した後キュー（待ち行列）に登録されるため、一様に減少していくわけではありません。

### インデックス登録数の確認

インデックス登録数を確認するには、「取得」ボタンを選択します。文書数欄の「取得」ボタンを選択するとドキュメントルート全体の登録数が表示されます。

文書数

ライセンスで許可されている上限文書数    カウント    検索インデックス登録数

10,000,000    209    **取得**

処理中

再表示    インデックス再構築    **インデックス同期**    すべてのジョブをキャンセル    エクスポート    絞込     処理中のみ ☐

	ドキュメントルート	カウント	検索インデックス登録数	ステータス	最終スキャン日時
<input type="checkbox"/>	DocRoot	2	<b>取得</b>	すべて 処理が完了しています	2018/07/07 02:00:02
<input type="checkbox"/>	share	207	<b>取得</b>	すべて 処理が完了しています	2018/07/07 02:00:03

## インデックスの同期

- 検索エンジンは（初期状態は）メモリにキャッシュしたインデックスを2000件に1回のタイミングでディスクへ書き込みます（検索エンジンに登録します）。  
タイミングによってはインデックスが登録されていないように見えることがあります。
- 書き込みを手動で行うには「インデックス同期」ボタンを選択します。  
その後に「取得」ボタンを選択すると登録数を確認できます。

再表示    インデックス再構築    **インデックス同期**    すべてのジョブをキャンセル    エクスポート    絞込     処理中のみ ☐

	ドキュメントルート	カウント	検索インデックス登録数	ステータス	最終スキャン日時
<input type="checkbox"/>	DocRoot	2	<b>取得</b>	すべて 処理が完了しています	2018/07/07 02:00:02
<input type="checkbox"/>	share	207	<b>取得</b>	すべて 処理が完了しています	2018/07/07 02:00:03

## 処理完了まで待ちきれないときは？

- インデックス構築処理の実行途中でも、検索エンジンを停止することができます。
- 検索エンジンを再起動すると、中断地点からインデックス構築処理を自動的に再開します。
- 処理の途中で中断し、パフォーマンスのチューニングを行うこともできます。
- また、サーバー（OS）を再起動した場合も、再起動後に中断した地点からインデックス構築処理を自動的に再開します。

## サーバーのコンソールがフリーズして困ったら

インデックスの初期構築は、大変負荷の重い処理です。

インデックス構築処理がCPUを100%近く占有した場合、マウスカーソルが動かなくなったり、キーボード入力が受け付けられなくなったりするこ

とがあります。

このような症状を予防するには次の方法が有効です。

- ExaPadにログインするためのWebブラウザは、サーバーマシンとは別の端末から行う方が安全です。
- サーバーのコンソールでは、不要なアプリケーションを起動しないようにしてください。

## サービスの停止方法

万一、コンソールが入力を受付けなくなった場合には、リモートマシンからサーバーで稼動する検索エンジン（インデクサーサービス）を停止することで、サーバーの負荷を落ち着かせることができます。

- コマンドプロンプトで次のコマンドを実行してください。

```
> sc \\ServerName stop FbIndexer
```

- 「sc」コマンドで、サーバー（ServerName）のFbIndexerサービス（インデクサー）に停止要求を送ることができます。
- 「ServerName」の部分は実際のコンピュータ名に合わせてください。

- 停止要求の受け付けの可否は次のコマンドで確認できます。

```
> sc \\ServerName query FbIndexer
```

- STATUS: RUNNING                      停止要求をまだ受付けていません。
- STATUS: STOP\_PENDING                停止中。「STOPPED」は停止状態です。

## プレビュー抽出

プレビュー抽出処理は、負荷の大きな処理ですので、特に初回構築時には長時間を要します。

印刷処理と同等のため、1ページあたり1秒程度を要します。

## ファイル変更検知の再開

プレビュー作成まで完了したら、ファイルの変更検知を再開します。

この設定以降に変更、追加されたフォルダとファイルは、検索インデックスとプレビューが自動的に更新されます。

- ExaPad画面 > システム設定 > トキュメントトレートを開きます。
- 設定されているトキュメントトレートを選択します。
- 「フォルダ変更検知」にチェックを入れます。

- 「保存する」を選択してサービスを再起動すると設定が反映されます。

## インデックス再構築（2回目）の実行

ファイル変更検知を有効化した後に、もう一度インデックス再構築を実行します。

これにより、1回目のインデックス構築期間中にユーザーが変更したファイルを含め、完全な検索インデックスを構築することができます。

文書の更新日時をチェックして登録済みインデックスとの差分のみを更新するため、処理時間は初期構築とくらべて大幅に短縮されます。

再構築の操作は初回と同じです。

### 3.2.5 ライセンスを適用する

## ライセンスの適用

ExaPadを製品版として正規利用するにはライセンスの適用が必要です。

ライセンスを適用するには、ExaPadプログラムへのライセンスファイルの登録と、オンラインによるライセンス認証を行います。

ライセンスの適用を反映するにはサービスの再起動が必要です。

バージョンアップや保守更新のときに、稼働中の環境に[新しいライセンスを適用する方法](#)はこちらをご覧ください。

## 評価利用について

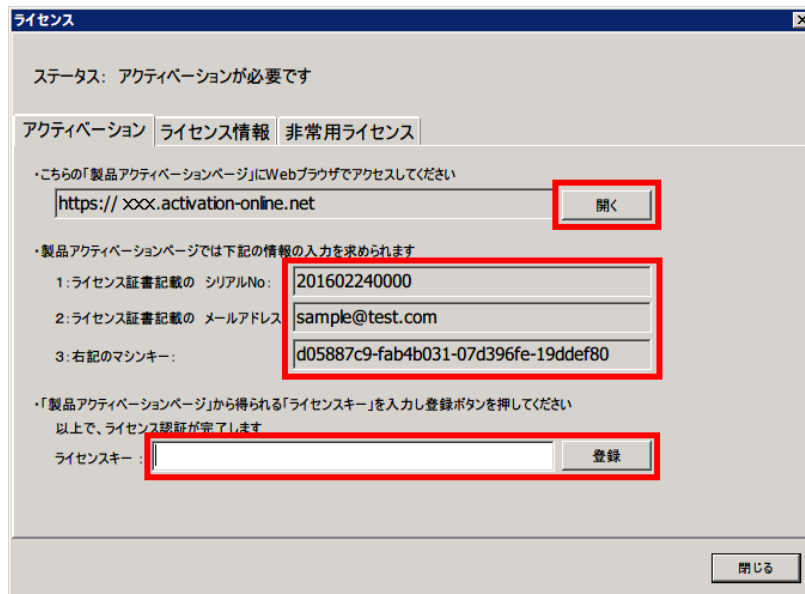
- ExaPadをインストール後の60日間は全機能が利用できます。
- 60日を経過するとExaPadは自動的に利用できなくなります。
- 正規ライセンスを適用することで、そのまま正規版として継続して利用できます。

## 評価版にライセンスを適用する方法

1. ExaPadを購入すると、「license\_201602250000.ltx」のようなライセンスファイルが発行されます。
2. ExaPad管理ツール > ライセンス を開きます。（デスクトップにExaPad管理ツールのショートカットがあります）




3. 「ライセンスファイルの適用」ボタンを選択し、発行されたライセンスファイル（.ltx）を選択してください。
4. ライセンスファイルを登録すると、アクティベーション画面が表示されます。



5. 「開く」ボタンを選択して、製品アクティベーションページに接続します。

ExaPadサーバーがインターネットに接続できないときは、[こちらの方法](#)で進めてください。



製品アクティベーションページ

シリアルNo

メールアドレス

マシンキー

認証する

6. 管理ツール画面に表示されている「シリアルNO.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力し、「認証する」ボタンを選択します。

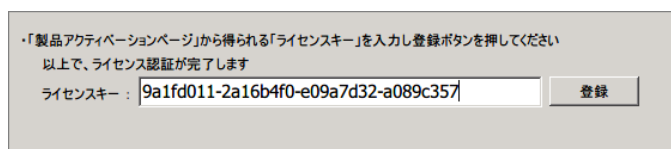


製品アクティベーションページ

認証に成功しました

ライセンスキー

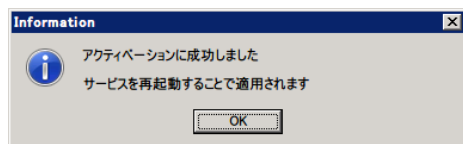
7. 表示されたライセンスキーをコピーし、管理ツールに貼り付けて「登録」ボタンを選択します。



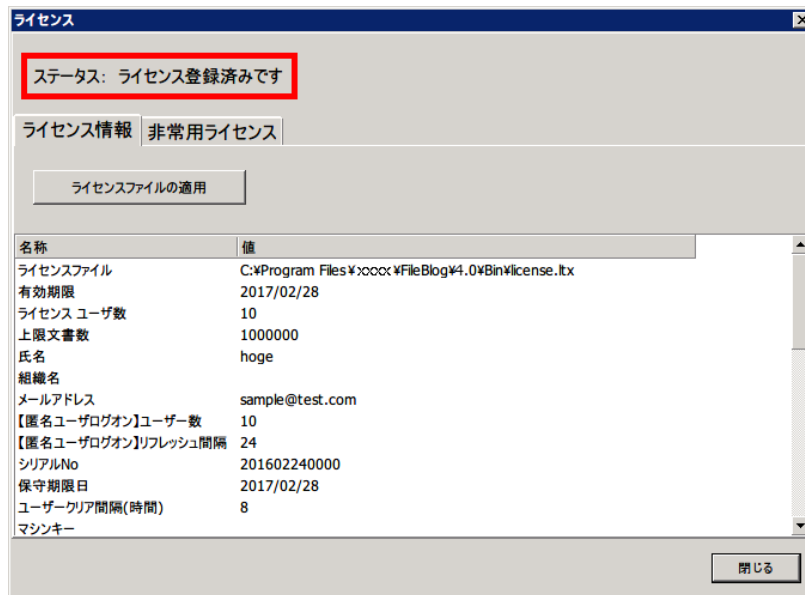
・「製品アクティベーションページ」から得られる「ライセンスキー」を入力し登録ボタンを押してください  
以上で、ライセンス認証が完了します

ライセンスキー :

8. 「アクティベーションに成功しました」のダイアログが表示されたらライセンスの適用に成功です。



9. ExaPad管理ツール > サービス を開いてサービス (インデクサー・Webサーバー) を再起動します。
10. ExaPad管理ツール > ライセンス を開いて、「ライセンス登録済みです」が表示されていればライセンス適用は完了です。

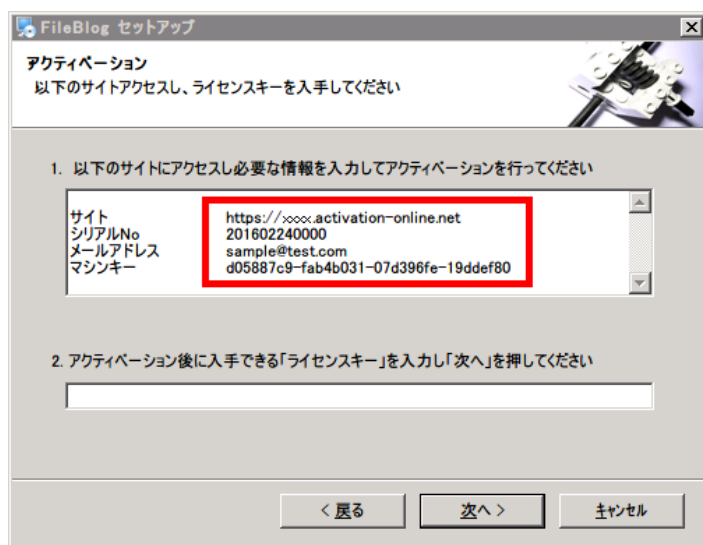


## 新しいライセンスを適用する方法

1. ExaPad管理ツール > ライセンス を開きます。
2. 「ライセンスファイルの適用」ボタンを選択し、発行されたライセンスファイル（ltx）を選択してください。
3. 「ライセンスのコピーに成功しました」というダイアログが表示されれば適用成功です。
4. ExaPad管理ツール > サービス を開いてサービス（インデクサー ¥Webサーバー）を再起動したら完了です。

## バージョンアップ時にライセンスを適用する方法

1. ExaPadの最新版インストーラーを入手します。
2. インストーラーを実行して進めいくとライセンスキーの入力画面が表示されます。



3. 表示されているURLの製品アクティベーションページに接続します。
4. 「シリアルNO.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力して認証し、ライセンスキーを入手します。
5. 入手したライセンスキーをインストーラー画面に入力して「次へ」ボタンで進みます。



6. 「ExaPadをバージョンアップします」という画面が表示されれば正しくライセンス適用ができています。
7. そのままインストールを進めて完了させてください。

## オフライン環境でライセンスを適用する方法

ExaPadのインストールされているサーバーが、インターネットに接続されていない場合のライセンス適用方法です。

1. インターネットに接続できる端末を用意します。
2. 用意した端末で製品アクティベーションサイトに接続します。
3. 管理ツールやインストーラー画面に表示されている「シリアルNO.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力します。
4. 表示された「ライセンスキー」を管理ツールやインストーラー画面に入力します。

### 3.2.6 管理者パスワードを設定する

管理者向けメニューを管理権限者ではなくユーザーから操作できないようにするため、管理者パスワードを設定することができます。

標準（インストールしたばかりの状態）では、管理者パスワードが設定されていません。



この場合、誰でも管理画面に接続でき、管理者向けメニューを操作できるようになっています。

管理者パスワードを設定してから運用を開始することをお勧めします。

こちらの[アクセス制御](#)もご参考になさってください。

## 管理者パスワードの設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > 管理者パスワードの設定 を選択します。



2. パスワードを入力して設定します。

3. 設定されたパスワードを確認します。

設定した直後は管理者としてログインした状態になっているため、一度ログアウトしてください。

「システム設定」を選択すると、パスワード入力画面が表示されます。

設定したパスワードを入力して管理画面が表示されれば完了です。

誤ったパスワードが設定されてしまった場合には、「管理者パスワードの初期化」を参考にして再設定してください。

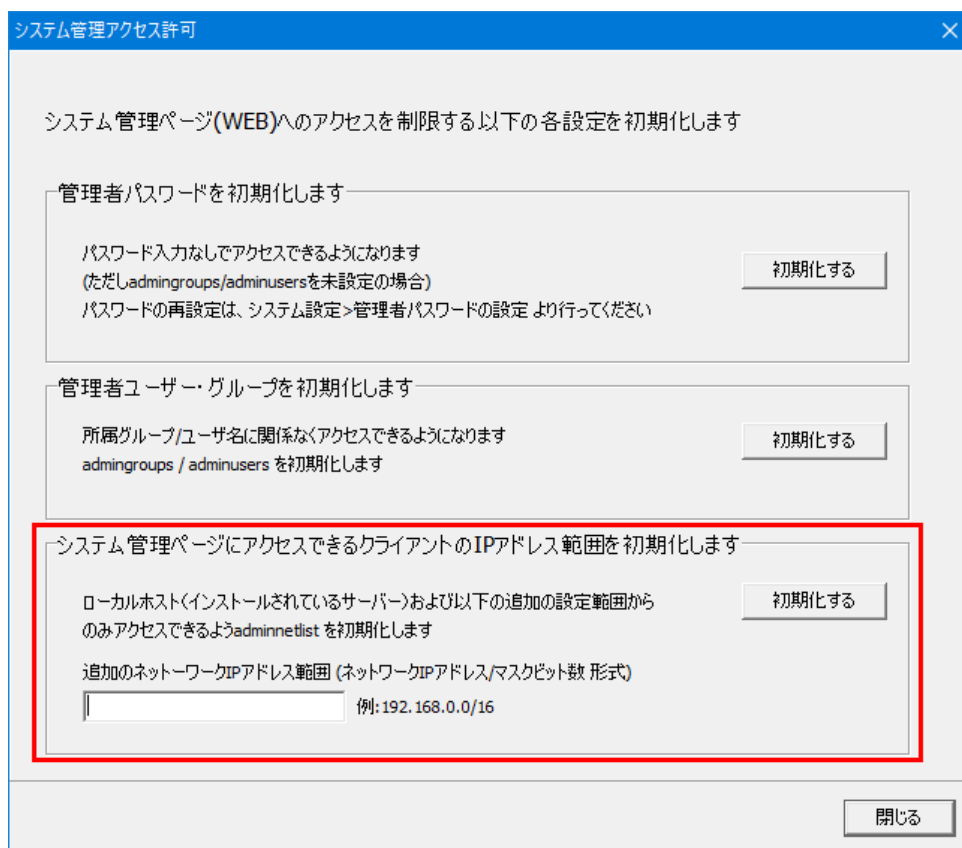
## 管理者パスワードの初期化

パスワードが不明になってしまった場合には、ExaPad管理ツールから初期化してください。

1. ExaPad管理ツール > システム管理アクセス許可 を開きます。



2. 管理者パスワード初期化の欄の「初期化」ボタンを選択すると初期化されます。



3. ExaPad管理ツール > サービス を開いて、Webサーバーを再起動します。
4. 同様に、管理者グループ・ユーザーの設定も初期化することができます。

### 3.3 詳細設定

ご利用環境に応じて設定してください。

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

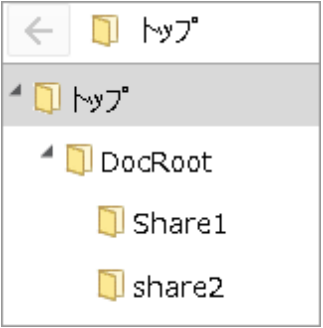
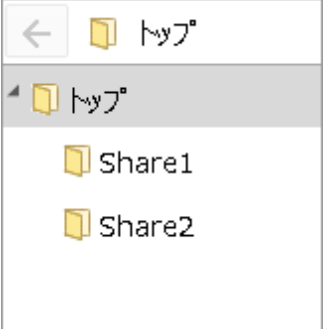
### 3.3.1 Webドキュメントルートを設定する

## Webドキュメントルートとは

ExaPadでは、ドキュメントルートに登録したフォルダを仮想的なフォルダ構成にしてユーザーに公開することができます。

仮想的に組み替えたフォルダ構成をWebドキュメントルートと呼んでいます。

例えば、以下のように階層を組み替えて表示させるようなことができます。

実際のフォルダパス	ExaPadのフォルダパス	Web表示
ドキュメントルートフォルダ C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot	ExaPadで表示される標準パス <ul style="list-style-type: none"> <li>• /DocRoot/Share1</li> <li>• /DocRoot/Share2</li> </ul>	
Webドキュメントルートフォルダを指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot\Share1</li> <li>• C:\ProgramData\ExaPad_data\DocRoot\Share2</li> </ul>	ExaPadで表示される仮想パスを指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• /Share1</li> <li>• /Share2</li> </ul>	

## 標準のWebドキュメントルートの設定

1. ExaPad画面 > システム設定 > Webドキュメントルート設定 を選択します。



2. 「追加」ボタンまたは、既存の設定を選択して編集します。



3. Webドキュメントルートの定義を作成します。

ドキュメントルートの設定 ×

仮想ルートフォルダのパス

ドキュメントルート上の対応フォルダのパス

表示パス (オプション)

フォルダ自動生成 ☐

Patterns (オプション)

OK    キャンセル

項目	説明
仮想ルートのフォルダパス	/ で始まるExaPad仮想パスを定義します。
ドキュメントルート上の対応フォルダパス	存在するドキュメントルートフォルダのパスを指定します。 / で始まるExaPadパスで入力します。
表示パス（オプション）	ExaPad画面で表示されるパス名（フォルダ名）を指定します。  省略すると「仮想ルートフォルダのパス」で指定されたパス名が画面で表示されます。
フォルダの自動生成	ユーザーがログインしたときにWebルートフォルダに指定されたフォルダが存在しなければ、親フォルダからアクセス権を継承して新規フォルダを自動作成します。
Patterns	通常は使用しないので何も入力しません。  UNCパスとドライブパスの両パターンを同一視する設定です。  「ドキュメントルート上の対応フォルダパス」で指定されているパスに対するUNCパス（またはドライブレーパス）を指定します。

4. Webドキュメントルートの定義を多数作成する場合には、「一括編集」機能を利用すると便利です。

予めExcelシート等で定義を作成し、その定義をコピーして貼り付けることによって定義を一括登録できます。

5. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

## 設定例

1. 「team」フォルダをトップの直下に表示させる

項目	設定内容
ドキュメントルートフォルダ	\\Server\Share
エイリアス	sh
「team」フォルダ	\\Server\Share\team
仮想ルートのフォルダパス	/team
ドキュメントルート上の対応フォルダパス	/sh/team

項目	設定内容
表示パス( オプション)	/チーム

## 2. トップの直下に「Sales」フォルダを作成して「team1」と「team2」のフォルダをまとめる

項目	設定内容
ドキュメントルートフォルダ	\\Server\Share
エイリアス	sh
「team1」フォルダ	\\Server\Share\team1
「team2」フォルダ	\\Server\Share\team2
仮想ルートのフォルダパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• /Sales/team1</li> <li>• /Sales/team2</li> </ul>
ドキュメントルート上の対応フォルダパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• /sh/team1</li> <li>• /sh/team2</li> </ul>
表示パス( オプション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• /Sales/チーム1</li> <li>• /Sales/チーム2</li> </ul>

## Webドキュメントルート定義で利用可能な変数

1. Webドキュメントルートの定義では、次の変数を使用することができます。

変数	説明
\$(userid)	ログインユーザのIDに展開されます
\$(userid_rstr1)	ログインユーザIDの右1文字に置換されます
\$(userid_rstr1)	ログインユーザIDの右2文字に置換されます
\$(userid_rstr3)	ログインユーザIDの右3文字に置換されます

変数	説明
\$(userid_lstr1)	ログインユーザIDの左1文字に置換されます
\$(userid_lstr2)	ログインユーザIDの左2文字に置換されます
\$(userid_lstr3)	ログインユーザIDの左3文字に置換されます

2. Webルートフォルダのキャプション定義では次の変数を使用することができます。

変数	説明
\$(HOMEFOLDER)	「個人フォルダ」（英語表示可）
\$(SHAREFOLDER)	「共有フォルダ」（英語表示可）

### 3.3.2 管理画面のアクセスを制御する

#### 管理画面へのアクセス制御の必要性

管理画面では、ExaPad サーバーの再起動・シャットダウンができるほか、対象フォルダを含めた各種の設定変更ができます。

つまり、管理画面にアクセスできれば、対象ファイルシステムに変更を加えることが潜在的にできるようになります。

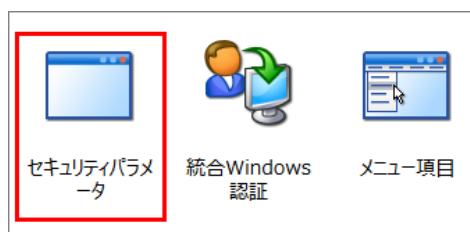
このように管理画面の利用権限は強力な権限のため、ネットワークに接続される誰もが接続できるようにすることは危険です。

そのため、ExaPadをインストールした直後の状態では、インストールしたマシンで起動するWebブラウザからの接続に限り、管理画面へのアクセスが許可されています。

このアクセス許可は設定で変更することができます。

#### ネットワーク接続による管理画面へのアクセスを許可する

1. ExaPad画面 > システム設定 > セキュリティパラメータを開きます。



2. adminnetlist を選択して、アクセスを許可するネットワークアドレス範囲を指定します。



3. 既定値では、127.0.0.0/8 が含まれるため、127.0.0.1 からの localhost 接続のみ許可されている状態です。

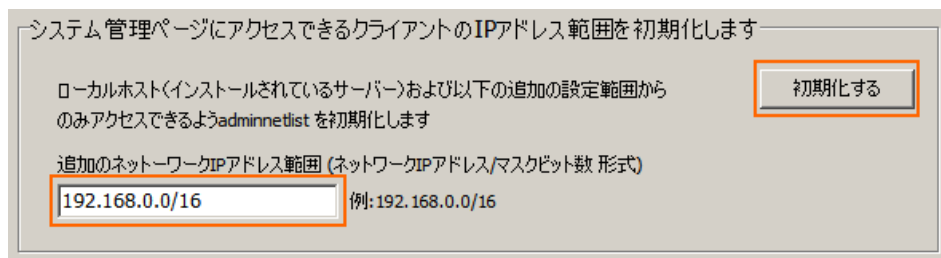
::1/128 は IPv6の localhost のことです。

4. 例えば、192.168.0.0/24 を追加すると、192.168.0.\* のネットワークからExaPadサーバーの管理画面へのアクセスが許可されます。

5. 設定を保存して、サービスを再起動すると変更が反映されます。

## Web ブラウザで管理画面にアクセスできないとき

インストールマシンのWebブラウザが使用できないときなど、管理画面に接続できない場合は、ExaPad管理ツールで設定を変更できます。



1. ExaPad管理ツール > システム管理 アクセス許可 を開きます。

2. 「追加のネットワークIPアドレス範囲」にアクセスを許可するネットワークアドレス範囲を入力し、「初期化する」ボタンを選択します。

3. サービスを再起動すると、adminnetlist に入力したネットワークアドレスが範囲が登録されます。



## 管理画面のアクセスをパスワードで制御する（管理者パスワード）

不特定多数のユーザーが利用する場合には、管理画面への接続をパスワードで保護すると安全です。

- ExaPad画面 > システム設定 > [ExaPad管理者パスワード](#)の設定を開きます。
- 管理者パスワードを設定することで、ExaPadサーバーは、管理画面にアクセスするためにパスワードの入力を求めるようになります。

## 管理画面のアクセスを特定のユーザーに限定する

パスワードを設定するほかに、管理画面へのアクセスを特定のユーザーに限定することができます。

adminusers または admingroups に指定されたユーザーのみ、「システム設定」のリンクが表示されようになり、管理画面に接続できるようになります。

管理者パスワードとの併用はできません。

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティパラメーターを開きます。
2. adminusers または admingroups を設定します。

パラメータ名	設定値	説明	状態
admingroups		adminusersのグループ名です。詳しくは、adminusersの説明を参照してください。	初期値
adminnetlist	127.0.0.0/8,::1/128	"システム管理"ページにアクセスできるクライアントのIPアドレスの範囲を改行区切りで指定します。	初期値
adminusers		管理者となる方のログインIDを改行区切りで指定します。指定されたユーザーはログインすると、管理者となり、管理者向けメニューに管理者ログインなしにアクセスできます。一方で、adminusersに指定されていないユーザーは、管理者向けメニューが非表示になります。なお、adminusersに指定がない場合には、全員に管理者向けメニューが表示されます。管理者パスワードが設定されている場合にのみ有効です。3.2以降からドメイン名を含められるようになりました（例：DOMAIN¥userid, userid@domain）。	初期値

- adminusers（管理者）、admingroups（管理者グループ）に指定するユーザーおよびグループは、Windowsで設定されているユーザーおよびグループのことです。
  - 両方を設定することはできず、両方を設定した場合には、adminusers（管理者）の設定が優先されます。
3. 改行区切りでユーザー名・グループ名を入力します。

- ドメイン名を含めて入力することも可能です。
- 例) userid@domain



4. 設定後、保存するボタンを選択し、今すぐ再起動するをクリックし、サービスを再起動すると反映されます。

#### 注意

管理者パスワードが設定されている場合、管理者グループ・ユーザーの設定を行ってもシステム設定」のリンクは全ユーザーに表示され、パスワードを入力すれば管理画面に接続できます。

## 管理画面へのアクセス許可設定をリセットする

次の場合、管理画面に接続できなくなってしまうです。

- 管理者パスワードを忘れてしまった場合
- アクセス許可ネットワークを誤って設定してしまった場合
- アクセス許可ユーザを誤って設定してしまった場合

このようなときは、ExaPad管理ツールで設定を初期化してください。

1. ExaPad管理ツール > システム管理アクセス許可 を開きます。
2. 状況に応じて設定を初期化します。

システム管理アクセス許可

システム管理ページ(WEB)へのアクセスを制限する以下の各設定を初期化します

管理者パスワードを初期化します

パスワード入力なしでアクセスできるようになります  
(ただしadmingroups/adminusersを未設定の場合)  
パスワードの再設定は、システム設定>管理者パスワードの設定より行ってください

初期化する

管理者ユーザーグループを初期化します

所属グループ/ユーザー名に関係なくアクセスできるようになります  
admingroups / adminusers を初期化します

初期化する

システム管理ページにアクセスできるクライアントのIPアドレス範囲を初期化します

ローカルホスト(インストールされているサーバー)および以下の追加の設定範囲からのみアクセスできるようadminnetlistを初期化します

追加のネットワークIPアドレス範囲 (ネットワークIPアドレス/マスクビット数 形式)

例: 192.168.0.0/16

初期化する

閉じる

### 3.3.3 ユーザー認証の設定について

ExaPadのログイン認証には、Windowsに登録されているユーザーアカウントのIDとパスワードを使用します。

- ExaPadをインストールするマシンがドメインに参加していると、インストール時に自動的にドメイン名を取得して設定します。
- ドメイン名が設定されていると、ログイン時の認証はActive Directoryドメインのユーザーアカウントで認証を行います。
- ドメイン名の設定は、インストール後でも行なうことができます。
- ExaPadでユーザーが行うファイル操作は、Webサービスの権限ではなく、ログイン認証されたユーザーアカウントの権限で行われます。

## ログイン認証動作の切り替え

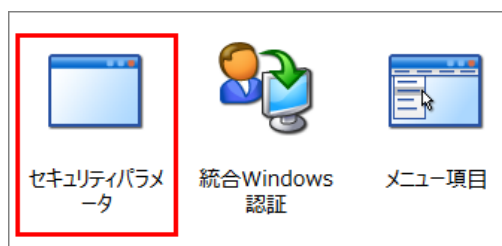
ログイン時のユーザー認証は、次の方法を選択できます。

認証方法	説明
------	----

ワークグループユーザー	ExaPad をインストールしたマシンのローカルユーザーアカウントを用いて、ログインのユーザー認証を行います。
ドメインユーザー	Active Directory に参加し、ドメインコントローラーにユーザー認証を委ねる方法です。Active Directory 環境のないと、この方法は使用できません。ExaPadをインストールするサーバーが、ドメインに参加している必要があります。信頼関係のあるドメインのユーザーアカウントもログインできるようになります。
匿名ユーザーログオン	ログイン認証なしで、誰でもアクセスできるようにする方法です。不特定多数のユーザーに対して公開する場合などお使いください。アクセス権限は全ユーザーが同一です。（Express版では使用できません）

## ユーザー認証方法を設定する

1. ExaPad画面 > システム設定 > セキュリティパラメーター を開きます。



2. windows\_domain を選択して編集ダイアログを開きます。



3. ドメイン名を指定します。



- ExaPadを使用される環境のドメイン名をセットしてください。
- ドメイン名が空白の場合、ワークグループのログイン認証を行います。
- 複数のドメインを改行区切りで指定することができます。
- ローカルマシン (ワークグループ) は半角ドット「.」を指定します。

HOGE  
FOO  
.

4. 設定を保存してサービスを再起動すると繁栄様れます。
5. ログイン画面の「ログイン先」で、ドメインまたはローカル (ワークグループ) を選択できるようになります。

ユーザー名
<input type="text" value="Windowsユーザー名"/>
パスワード
<input type="password"/>
ログイン先
<input type="text" value="CUCUMBER (ローカルログイン)"/> ▼
<input type="button" value="ログイン"/>

ドメインを指定してもログインできない場合、ExaPadをインストールしたマシンがドメインサーバーに問題なくアクセス (ログオン) できるか確認してください。

## ログインを許可するユーザーを指定する

ExaPadにログインできるユーザーのユーザーを指定することができます。

指定のないユーザーはログインできないようになります。

### 利用シーン

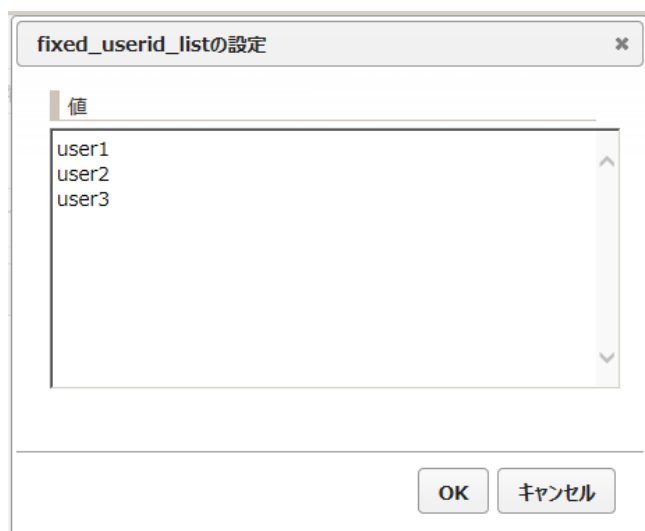
1. Active Directory（もしくはワークグループ）に登録されているユーザー数100名のうち、特定の30ユーザーアカウントだけがログインできるようにしたい。（残り70ユーザーにはログインを許可しない）
2. 特定のグループに所属しているユーザーのみログインできるようにしたい。（特定グループに所属のないユーザーはログインを許可しない）

### ユーザーIDを指定する方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > セキュリティパラメータを開きます。
2. fixed\_userid\_list を選択して設定ダイアログを開きます。

パラメータ名	設定値	説明	状態
fixed_groupid_list		ログイン可能なWindowsグループアカウントを制限します。グループIDの一覧を改行区切りで指定します。指定したいいずれかのグループに所属していないユーザーはたとえ、IDとパスワードが一致してもログインできなくなります。	初期値
fixed_userid_list		ログイン可能なWindowsユーザーアカウントを制限します。ユーザーIDの一覧を改行区切りで指定します。指定したいいずれかのユーザーIDでないとログインできなくなります。	初期値

3. ユーザーIDを改行区切りで指定してします。

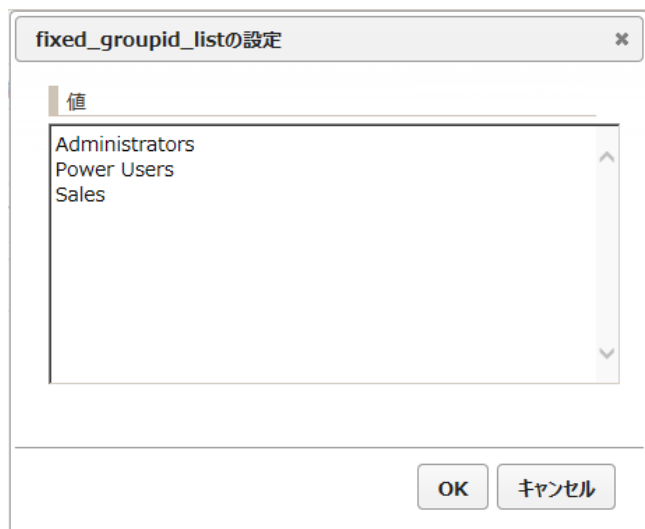


user1  
user2  
user3

4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。
5. 指定したユーザーのみがログインできることを確認してください。

## グループ名を指定する方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > セキュリティパラメーター を開きます。
2. fixed\_groupid\_list を選択して設定ダイアログを開きます。
3. 許可するグループを改行区切りで指定します。



```
Administrators
Power Users
Sales
```

4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。
5. 指定したグループに所属するユーザーのみがログインできることを確認してください。

## 複数ドメインが設定されているとき

複数のドメインがされている場合は、ドメイン名の指定が必要です。

- グループ名の後に、@ドメイン名を指定します。
- ワークグループは、「.(半角ドット)」を使います。

```
groupA@HOGE
.groupB
users@FOO
```

ドメイン名の形式は、HOGE のような NetBIOS 名と hoge.com のような完全修飾名 (FQDN) がありますが、[ドメイン設定](#)に指定した形式で統一してください。

## 備考

- 標準では、「fixed\_userid\_list / fixed\_groupid\_list」(ログイン許可リスト) は未設定です。
- ログイン許可リストは、Windows に登録されているユーザーIDのうち、ExaPad にログインできるユーザーIDを指定する設定です。
- ログイン許可リストが定義されていない場合には、ログインユーザーIDの制限は行われません。
- 「fixed\_userid\_list / fixed\_groupid\_list」の両方が設定されている場合、どちらかに指定されているユーザーが許可対象になります。

### 3.3.4 アクセスログ出力について

## アクセスログの出力先フォルダ

ExaPad をインストールすると、アクセスログが出力されるフォルダも自動的に作成されます。

ログは、1 つのテキストファイルに 1 日分が出力されます。



- 標準の出力先フォルダ

C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Data\AccessLog\Log

- インストール時にインストールフォルダを指定した場合

[インストールフォルダ] \Data\AccessLog\Log

## 出力の確認

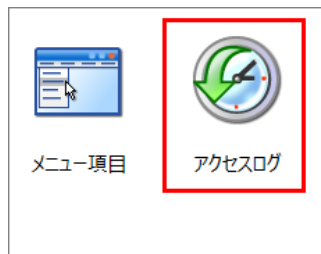
- ExaPadにログインして、ファイル操作をします。
- アクセスログのフォルダに [yyyymmdd]\_u.log というファイルが出力されます。

## ログファイルの保存日数を設定する

1日に1ファイルずつ出力されるアクセスログが保存される期間を設定できます。

標準は150日間保存する設定になっており、期限の過ぎたログファイルは自動的に削除されます。

- ExaPad画面 > システム設定 > アクセスログを開きます。



- accesslog\_duration を選択して設定ダイアログを開きます。



- 保存する日数を指定します。
- 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

### 3.3.5 定期実行タスクを設定する

ExaPadは、Windows ファイルシステム ( NTFS ) のフォルダを監視しているので、追加 変更されたファイルを検知して自動的にデータを更新します。

しかし、ネットワーク状況やファイル操作のタイミングによって、まれに自動登録できないことがあるため、定期的に全フォルダをスキャンして更新を行うことをおすすめします。

## 定期実行するタスクについて

ExaPadのインストール後は標準で設定されている定期実行です。

タスク	内容
インデックス・プレビュー再構築 ( クロール処理 )	<ul style="list-style-type: none"><li>ドキュメントルートフォルダをスキャンし、登録済みのインデックス更新日時より更新し、更新日時のファイルがあれば、最新情報をインデックスに登録します。</li><li>毎週、毎日など短期の間隔で実行することをおすすめします。</li><li>クロール処理は文書量に応じて時間を要するため、数百万文書の規模ではご相談ください。</li></ul>
インデックス掃除 ( パージ処理 )	<ul style="list-style-type: none"><li>インデックスに登録されている全ファイル一覧をスキャンして、ドキュメントルート ( ファイルサーバー ) からなくなった文書があれば、そのファイルのインデックスデータを削除します。</li><li>パージ処理の実行間隔が長期になっても検索漏れが起こることはありませんが、不要なインデックスデータの蓄積は検索性能に影響を及ぼします。</li><li>2ヶ月に1回程度の実行をお勧めします。</li></ul>
プレビュー掃除 ( パージ処理 )	<ul style="list-style-type: none"><li>ドキュメントルートからなくなったファイルがあれば、そのファイルのプレビューデータを削除します。</li><li>プレビュー保存フォルダのあるドライブの空き容量に余裕がある場合は、頻繁に実行する必要はありません。</li><li>2ヶ月に1回程度の実行をおすすめします。</li></ul>
設定をバックアップ	<ul style="list-style-type: none"><li>各種設定が記録されているプログラムファイルをZipファイルにまとめて出力します。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 万一のときに出力されたZipファイルを所定の方法で戻すことで、設定内容を復旧できます。</li> <li>• 標準の出力先フォルダ C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Data\Backup</li> </ul>
プロパティのバックアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ExaPadで登録したタグやプロパティ情報をテキストファイルにして出力先します。</li> <li>• 万一のときに所定の方法でテキストファイルを戻すことで、登録情報を普及できます。</li> <li>• 標準の出力先フォルダ C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Data\Backup\property</li> </ul>

## 標準設定のタスクを変更する

1. ExaPad画面 > システム設定 > タスクスケジューラを開きます。



2. 各タスクを選択すると設定ダイアログが表示されます。

ExaPadの利用状況や環境に応じて、実行時刻や頻度の設定を変更してください。



- 1回の処理にかかる時間が、タスクの周期より大きいと無限に処理し続けてしまいます。  
実行された翌日などに、ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況を開いて確認してください。  
処理の残数が増え続けているようであれば処理時間がタスク周期より大きいと考えられます。
  - タスクの実行中はサーバーに負荷がかかるため、パフォーマンスが落ちることが想定されます。  
利用者の少ない時間帯や業務時間外に設定することをおすすめします。
3. 設定ダイアログで変更します。

タスクの設定

名前: プレビュー掃除

有効にする: ☒

アクション スケジュール

追加 削除 一括編集

アクション	パス
<input type="checkbox"/> プレビュー掃除	

OK キャンセル

- 「アクション」と「スケジュール」のタブを切り替えて、それぞれ設定します。
- 「有効にする」のチェックを外すと、タスクは実行されません。

## 新しいタスクを登録する

1. ExaPad画面 > システム設定 > タスクスケジューラを開きます。  
「追加」ボタンを選択して設定ダイアログを開きます。

← システム設定 > タスクスケジューラ

保存する キャンセル

追加 削除 複製

有効	名前	トリガ	次回の実行時刻	前回の実行時刻	前回の実行結果
<input type="checkbox"/> ○	設定をバックアップ	土	2019/10/26 01:50:00	2019/10/19 01:50:00	この操作を正しく実行しました

2. 「名前」を入力して「追加」ボタンを選択します。  
「有効にする」にチェックが入っていないとタスクが実行されません。

タスクの設定

名前: プレビュー掃除

有効にする: ☒

アクション スケジュール

追加 削除 一括編集

アクション	パス
<input type="checkbox"/> プレビュー掃除	

OK キャンセル

4. 「アクション」でタスクを選択します。  
実行対象のフォルダを選択できます。

アクションの設定

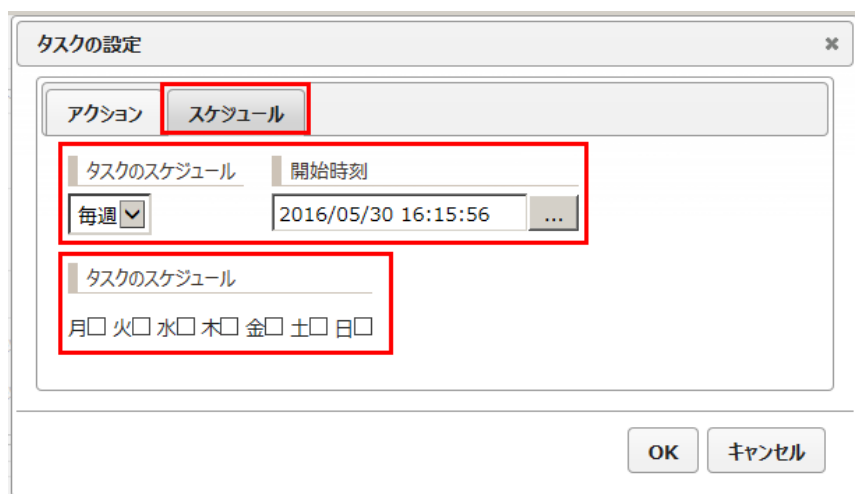
アクション  
プレビュー掃除

パス  
すべてのフォルダ 変更

コマンド  
fn=crawler.crawl  
index.update=true  
index.force=false  
text.update=true  
text.force=false  
preview.update=true

OK キャンセル

5. 「スケジュール」タブを開いて日時を指定します。



6. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

### 3.3.6 ポート番号とIPタイプを変更する

ExaPadのWebサーバー（FbWebサービス）が使用するポートとPタイプを変更することができます。

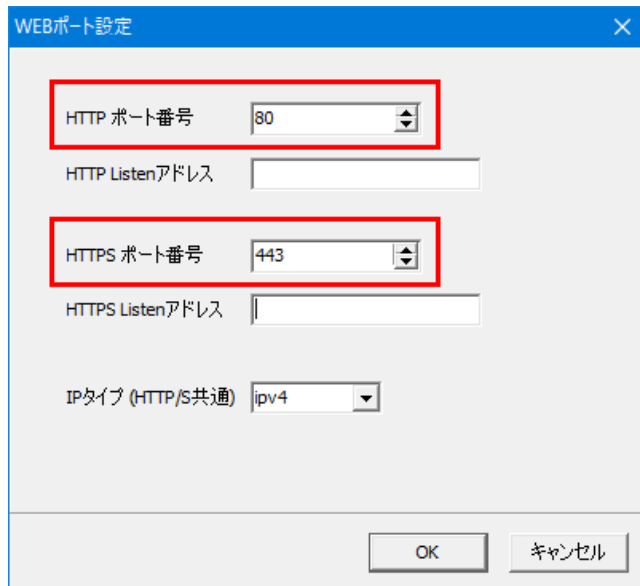
標準では、ポート：80/443番、IPタイプ：IPv4 を使用しています。

## ポートを変更する

1. ExaPad管理ツール > WEBポート設定 を開きます



2. HTTP ポート番号を81など別の番号に変更します。  
SSL通信の場合は、HTTPS ポート番号を変更します。



3. ExaPad管理ツール > サービス を開いて、Webサーバーを再起動します。

4. URLに変更したポート番号を付けて接続します。

- `http://localhost:81/ExaPad/`
- `http://サーバー名:81/ExaPad/`

## 既にポート80番が使用されていてインストールできないとき

インストール中に他のアプリケーションがTCP80番ポートを使用しているためインストールを続行できません」と表示され、インストールが続行できなくなることがあります。

### 原因

- 別のWebサーバーアプリケーションなどがTCP80番ポートを使用している。
- インターネットセキュリティソフトなどがTCP80番ポートを監視している。
- TCP80番ポートを使用しているアプリケーションが存在しないにもかかわらず、このメッセージが表示された場合は、Skype やセキュリティソフトなどが使用している場合があります。

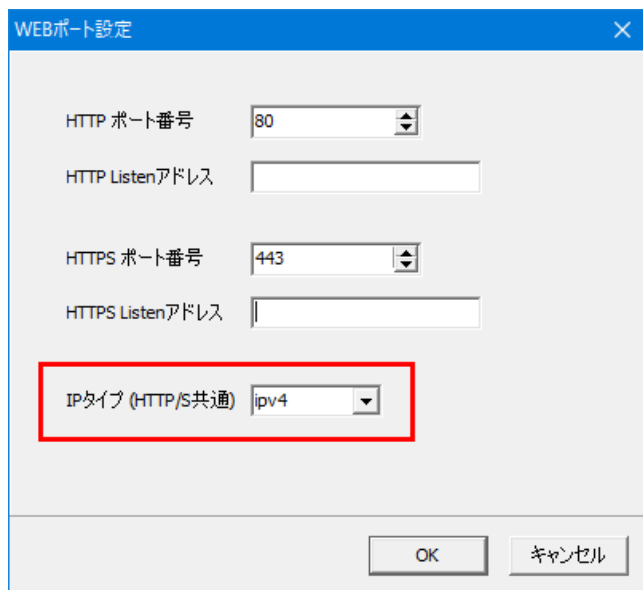
原因不明の場合にはお問い合わせください。

### 解決方法

1. 80番ではないポートを使用する。  
別のアプリケーションがTCP80番ポートを使用している場合、インストール時にポート番号を変更することができます。
2. TCP80番ポートを使用している別のアプリケーションを停止してから、ExaPadをインストールします。

## IPタイプを変更する

1. ExaPad管理ツール > WEBポート設定 を開きます。



2. IPタイプ(HTTP/S共通)を変更します
  - ipv4 IPv4 のみ接続を有効にします
  - ipv6 IPv6 のみ接続を有効にします
  - ipboth IPv4 とIPv6 の接続を有効にします
3. 「OK」を選択し、Webサーバー（FbWeb）を再起動します。

### 3.3.7 検索エンジン(Solr)について

ExaPadでは、検索エンジン（Solr）の設定を変更できるようにしてありますが、一部を除いては標準設定のままを推奨します。

設定のほかに、インデックス初期化などいくつかの操作ができるようになっています。

## 検索エンジンの設定を変更する

1. ExaPad画面 > システム設定 > Solr（検索エンジン）を開きます。





2. 下記を参考に各種設定値の変更や操作を行ってください。
3. 変更後は、設定を保存してサービスを起動すると反映されます。

## 検索エンジンの設定

<
検索
システム設定
> Solr(検索エンジン)

設定
インデックスの初期化
ステータス
サービス

保存する
キャンセル

IPアドレス
ポート番号
ポート番号 (停止用)

127.0.0.1
8181
8282

初期ヒープメモリサイズ (MB)
最大ヒープメモリサイズ (MB)

512
512

更新/削除のタイミング

以下のいずれかの条件が満たされた時に検索エンジンへアップロードします

最大秒数: 20
最大件数: 100
最大サイズ(byte): 10485760

同期(hard commit)のタイミング

以下のいずれかの条件が満たされた時に同期します

最大秒数: 300
最大件数: 2000
最大サイズ(byte): 20971520

セキュリティ情報を埋め込む (adsearch)
☒

項目	説明
最小 / 最大ヒープメモリサイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>検索エンジンが占有するメモリの容量です。</li> <li>この値が小さいと検索性能等に影響がおよぶため、導入時から文書数が多い場合や、使用中に文書数が増加した場合には変更が必要です。</li> </ul>
更新 / 削除のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>インデックス再構築 / インデックス掃除 / ファイルの変更検知（追加 / 更新 / 削除）のいずれ</li> </ul>

	<p>れかの処理により、検索インデックスを登録もしくは削除しますが、複数ファイルのインデックス情報をまとめて検索エンジン内のメモリにキャッシュさせることで、処理性能を向上させています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次のいずれかの条件に合致したときに、検索エンジンにインデックス情報をキャッシュします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>最大秒数（既定値 = 20秒）</li> <li>最大件数（既定値 = 1000件）</li> <li>最大サイズ（既定値 = 10485760 byte = 10 MB）</li> </ul> </li> <li>検索エンジンに登録されれば、その直後から検索可能になります。</li> </ul>
同期(hard commit)のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記の「更新・削除のタイミング」では、まだ検索エンジンにキャッシュされているだけの状態のため、同期（検索インデックスファイルへの書き込み）が必要です。</li> <li>次のいずれかの条件に合致したときに、自動的に同期（hard commit）が行われます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>最大秒数（既定値 = 300秒）</li> <li>最大件数（既定値 = 2000件）</li> <li>最大サイズ（既定値 = 20971520 byte = 20 MB）</li> </ul> </li> <li>同期のタイミングは、更新・削除のタイミングより少ない頻度で実行されるように設定して下さい。</li> </ul>
セキュリティ情報を埋め込む (aclsearch)	<ul style="list-style-type: none"> <li>検索インデックスにアクセス権などのセキュリティ情報も一緒に登録します。</li> <li>検索時の応答性能を向上させます。</li> </ul>

### ファイルが変更されてから検索が可能になるまでの流れ

1. ドキュメントレイトにあるファイルが変更され、ExaPadがその変更を検知します。
  2. 変更されたファイルから全文テキストを抽出し、検索エンジンに登録（アップロード）します。
  3. 検索可能ができるようになります。
- 同期(hard commit)が実施されていなくても、メモリ上にキャッシュされたインデックスも検証対象となるので、アップロード直後から検索可能になります。
- これは Solr のsoft commit 機能による効果です。

### 検索インデックスの初期化

「インデックスの初期化」タブを選択すると表示が切り替わります。

<
システム設定 ▶ Solr(検索エンジン)

設定
インデックスの初期化
ステータス
サービス

インデックス保存フォルダ
\$(APPDATA)\SearchIndex
インデクサーサーバーから参照可能なWindowsパスを指定してください。変更しても既存インデックスはコピーされません

インデックステンプレート (zip)
init\_solr7\_uni.zip

インデックスの初期化

項目	説明
インデックス保存フォルダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>既定値 = \$(APPDATA)\SearchIndex \$(APPDATA) = インストールフォルダ (標準 C:\Program Files\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Data) です。</li> <li>インデックス保存フォルダの変更方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>インデクサー (FbIndexer) サービスがアクセス可能な実在のフォルダを用意します</li> <li>システム設定 &gt; サービス &gt; インデクサー を停止します。</li> <li>1 のフォルダに \$(APPDATA)\SearchIndex 内のファイルをコピーします。</li> <li>システム設定 &gt; Solr(検索エンジン) &gt; インデックスの初期化 を開いて、インデックス保存フォルダに1 のフォルダパスを入力します。</li> <li>設定を保存してサービスを再起動すると、設定が反映されます。</li> <li>インデックス構築や検索の動作に問題のないことが確認できたら、\$(APPDATA)\SearchIndex 内のファイルを削除してかまいません。</li> </ol> </li> </ul>
インデックステンプレート (zip)	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常変更する必要はありません。</li> <li>検索エンジン (Solr) のバージョンに対応する検索インデックスの型です。</li> <li>将来、検索エンジン (Solr) がバージョンアップしたときには変更が必要になる可能性があります。(テンプレートの変更時にはインデックスの初期化が必要になる場合もあります)</li> </ul>
インデックスの初期化	<ul style="list-style-type: none"> <li>構築済みの検索インデックスを初期化します。(インデックスデータを削除します)</li> </ul>

## 検索エンジンのステータス

検索エンジンの簡単な状況を確認することができます。

← システム設定 ▶ Solr(検索エンジン)					
設定	インデックスの初期化	ステータス	サービス		
ノード	JVM Memory	インデックスサイズ	登録文書数	コレクション数	過去の推移
127.0.0.1:8181_solr	9.5% 47.7 MB / 499 MB	5.91 KB	1	1	<a href="#">idxsvr.logから抽出</a>

項目	説明
ノード	検索エンジンが稼働しているマシンです。
JVM Memory	割り当てたヒープメモリ容量に対する使用量です。
インデックスサイズ	構築済みインデックスデータの容量です。
登録文書数	インデックスとして登録されている文書数です。
コレクション数	設定済みコレクション(インデックスデータ)の数です。 大規模環境では各ドキュメントレコードに対して1つのインデックスデータを構築するように設定します。このとき、インデックスデータ=コレクションと表現します。
過去の推移	ログ情報から検索エンジンの状態を抽出して出力します。

## 検索エンジンのサービス

← システム設定 ▶ Solr(検索エンジン)		
設定	インデックスの初期化	ステータス
サービス	状態	操作
 Solr	開始	<div>停止</div> <div>開始/再起動</div>

- 検索エンジンのサービス（FbSolr）の停止と再起動を操作できます。
- 検索エンジンサービス（FbSolr）は、インデクサーサービス（FbIndexer）の開始/停止に連動するため、通常は操作しません。

### 3.3.7.1 テキスト情報の抽出について

## IFilterについて

- ExaPadは、検索インデックスに登録するためのテキスト情報を抽出するのに、xdoc2txt または IFilter プログラムを使用しています。
- 標準のテキスト抽出エンジンは、xdoc2txt ですが、ファイル種類によっては Microsoft などの各メーカーが提供する IFilter を用いることができます。
- Microsoft IFilter は、Microsoft が提供するテキスト抽出エンジンで、Microsoft Office などファイルのテキスト抽出に向いていて、xdoc2txt に比べて高速（当社比）に処理することができます。
- Microsoft Outlook メッセージ形式ファイル（msg）や、Microsoft Visio の全文検索を行う場合には、Microsoft IFilter のインストールが必須です。

Outlook msgファイル用IFilter、Visio用IFilterを含む「Microsoft Office 2010 フィルタパック」のダウンロード先はこちらです。  
（2019年8月現在）

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17062>

- 「Microsoft Office 2010 フィルタパック」の「FilterPack64bit.exe」を選択してください。（ExaPadは、Windows 64bit系OSのみ対応のため）
- Microsoft IFilter を使用するには、Microsoft Searchサービスの起動が必要です。

## 使用方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > ファイル種類 を開きます。



## 2. IFilter を使用するファイル種類を指定します。

Word、Excel ファイルなどは標準で IFilter 利用に登録されています。



## 3. 「全文検索」と「IFilter利用」に同じ拡張子を登録します。

- 「全文検索」に指定がしないと全文検索の対象になりません。
- 「IFilter利用」に指定がないと標準の xdoc2txt が使用されます。  
対応する IFilter がインストールされていない場合も xdoc2txt が使用されます。

## 4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

項目	説明
全文検索	ここに登録されるファイル型式（拡張子）は、全文検索用のインデックスの構築対象になります。 <a href="#">仕様</a> 外のファイル形式を登録してもインデックスは構築されません。
IFilter利用	インデックス構築のために、ファイルからテキストデータを抽出するためには IFilter を使用するファイル形式を指定します。新たにファイル形式を登録する場合には、同時に対応する IFilter のインストールが必要になることもあります。
テキスト形式（ascii）	全文検索対象のファイルのうち、ここで指定されたファイル形式については、専用コンバーターを使用せずにファイル内容をそのまま検索インデックスとして構築します。該当するファイルが多い場合、検索インデックスの構

築処理速度が速くありません。

### 3.3.8 検索インデックスから除外する

## 除外ファイル設定について

ExaPadでは、特定のファイルやフォルダを検索対象から除外することができます。

除外すると検索インデックスやプレビューが作成されず、ライセンスの文書数からも除外されます。

### 3つの除外設定の違い

処理対象	除外パス	テキスト抽出 全文検索除外 パス	検索除外パス
ファイル名検索	対象外×	対象	対象外×
全文検索時のファイル本文	対象外×	対象外×	対象外×
プレビュー サムネイル	作成しない×	作成する	作成する
ライセンス文書数のカウント	なし	あり	なし

- 検索とプレビューをできないようにする  
除外パス」に設定してください。（文書数にはカウントされません。）
- 全文検索のみをできないようにする  
テキスト抽出 全文検索除外パス」に設定してください。（文書数にカウントされません。）
- 検索をできないようにする  
検索除外パス」に設定してください。（文書数にはカウントされません。）

## 除外パスの設定方法

ここでは、除外パス」の設定方法を説明します。

ほか2つの除外設定も同じ方法なので説明は省略いたします。

- ExaPad画面 > システム設定 > 除外ファイル設定 を開きます。



2. 改行区切りで条件を正規表現で指定します。

条件が複雑でない場合には「入力ツール」を使用すると簡単です。

検索対象にしないと判断されるようなファイル等は標準で条件が設定されています。



3. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

4. インデックス構築後に設定を行った場合には、インデックス掃除処理の実行が必要です。

インデックスを初期化してから再構築した方が早い場合があります。

## 入力する行の仕様

- タブ区切りの2列で構成されます。

[ 1列目 ] タブ [ 2列目 ]

- 1列目には、除外したいファイル種類を指定します。  
ファイル種類を特定しない場合や、フォルダを指定する場合には半角 \* を指定してください。
- 2列目には、除外したいファイルパスを正規表現ルールで指定してください。(Perl5.8互換の正規表現を使用できます)
- 1つのファイル種類について複数の条件を設定できます。(1つでも条件に当てはまれば除外されます)



## 除外パスの例

ドキュメントルート C:\DocRoot

エイリアス Doc

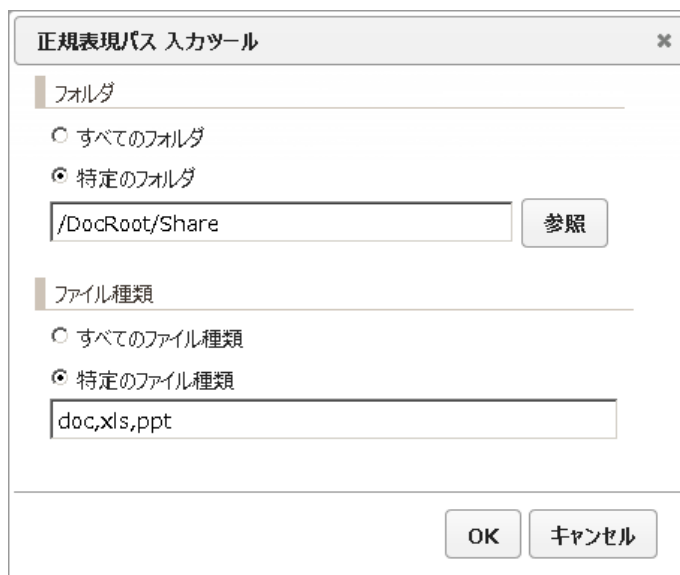
jpg	.*\.jpg\$
html	.*\.html\$
gif	^/Doc/images/.*\.gif\$
*	^/Doc/temp(/.)*?\$

- 1 行目: すべてのドキュメントルートに存在する、拡張子が jpg のファイル、を除外します。
- 2 行目: すべてのドキュメントルートに存在する、拡張子が html のファイル、を除外します。
- 3 行目: C:\DocRoot\images 以下に存在する、拡張子が gif のファイル、を除外します。
- 4 行目: C:\docroot\temp 以下に存在する、全てのファイル・フォルダ、を除外します。

## 入力ツール

入力ツールを使用するとパスの正規表現が簡単に記述できます。

1. 「入力ツール」ボタンをクリックします。
2. フォルダとファイル種類を指定します。
  - フォルダは、参照ボタンでツリーから選択するか、エイリアスで始まるパスを入力します。
  - ファイル種類は、カンマ区切りで拡張子を入力します。



The dialog box titled "正規表現パス 入力ツール" (Regular Expression Path Input Tool) contains two main sections. The first section, "フォルダ" (Folder), has two radio buttons: "すべてのフォルダ" (All folders) and "特定のフォルダ" (Specific folder). The "Specific folder" option is selected, and a text box below it contains the path "/DocRoot/Share". A "参照" (Reference) button is located to the right of the text box. The second section, "ファイル種類" (File type), also has two radio buttons: "すべてのファイル種類" (All file types) and "特定のファイル種類" (Specific file type). The "Specific file type" option is selected, and a text box below it contains the file extensions "doc,xls,ppt". At the bottom of the dialog are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

3. 条件が正規表現で入力されます。

除外パス	テキスト抽出・全文検索除外パス	検索除外パス	パスの判定ツール
<input type="text" value="*/^/DocRoot/Share/.*/.*.{doc xls ppt}\$"/>			

## パスの判定ツール

入力した条件が適切に機能するか、テストして確認することができます。

想定する結果にならない場合には、条件の記述に誤りがあります。

1. 「パスの判定ツール」タブを選択します。
2. テストしたいファイルパスを入力します。
3. 「判定する」ボタンを選択します。
4. 結果が表示されます。

除外パス	テキスト抽出・全文検索除外パス	検索除外パス	パスの判定ツール
<p>パス: <input type="text" value="/share/test.txt"/> <input type="button" value="判定する"/></p> <p>判定結果  <input type="radio"/> (インデックス対象です)  <input checked="" type="radio"/> (テキスト抽出対象外です。テキスト抽出・全文検索除外パスに含まれています)</p>			

### 3.3.9 詳細設定について

## すべての設定項目

環境設定の全項目を編集できる管理メニューです。

ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般(config.ini) で開きます。



## パラメーターの検索

絞り込みにパラメーター名にある文字を入力すると、絞り込まれた候補が表示されます。



例えば、user と入力すると、user が含まれるパラメーターが絞り込まれます。(キーワードは部分一致します)

絞り込

user

パラメータ名	設定値	説明	状態
accesslog_exclude_user_domain	OFF	ドメインを使用していない場合はこのパラメータは使用されません。	初期値
adminusers		管理者となる方のログインIDを改行区切りで指定します。指定されたユーザーはログインすると、管理	初期値

## 設定値の変更

- 各パラメーターの内容については、説明欄を参照してください。
- パラメーターの行を選択すると、編集ダイアログが開きます。
  - 真偽型は、チェックをいれると「ON」になります。
  - 入力型は、数値や指定する値（文字列）を入力します。
- 設定を保存してサービスを再起動することで反映されます。

## 3.4 セキュリティ設定

ExaPadのセキュリティに関する設定の説明です。

### 3.4.1 アクセス権限について

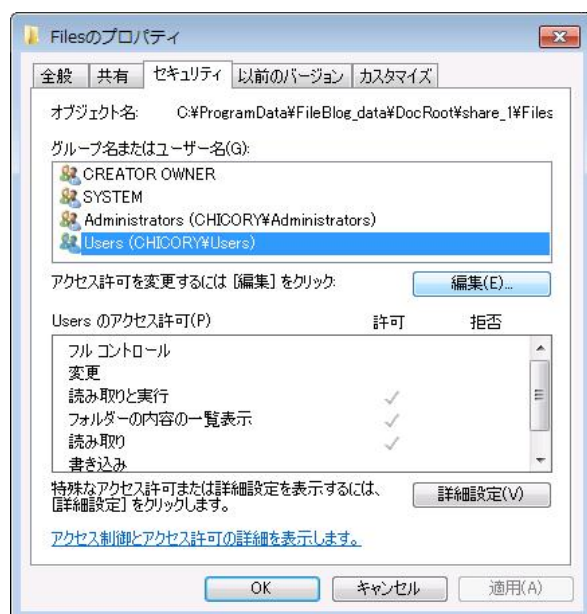
#### ExaPadのフォルダセキュリティ(アクセス権限)

- ExaPadでの操作には、Windows OSのファイルシステムに設定されたセキュリティがそのまま適用されます。  
したがって、既存のファイルサーバーを検索対象にする場合には、新たにアクセス権限を設定することはほとんどないと思われます。
- なお、既存のアクセス権限の設定不備により想定外の検索結果となる可能性がないとも言えないため、大規模なファイルサーバーやフォルダ階層が深くなっている場合などは、既存のアクセス権限の見直しを実施した方がよいかもしれません。
- セキュリティの変更は、Windowsのエクスプローラーを利用して行います。
- ExaPadでは、Windowsのセキュリティを設定することはできません。

## セキュリティの設定方法

Windows OSでセキュリティを設定する方法とまったく同じです。

1. Windowsエクスプローラーを起動します。
2. セキュリティを設定するフォルダを右クリック > プロパティを開きます。
3. セキュリティのタブを選択します。
4. 各グループ、ユーザーアカウントごとに、権限を設定します。



### 3.4.2 セキュリティ拡張設定について

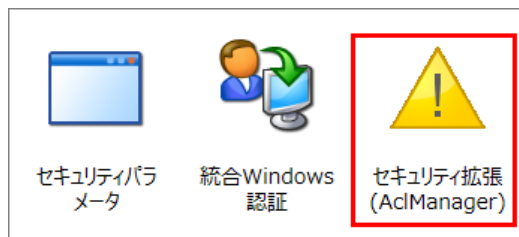
ExaPadでは、Windowsのセキュリティ設定に連動してファイルやフォルダに対するアクセス権限が決定されます。

しかし、それだけでは不便な場合もあり、Windowsのセキュリティに加えて、ExaPad独自のセキュリティ機能（セキュリティ拡張）で制御することができます。

インストール後の標準のセキュリティ設定は、全ユーザーはWindowsで設定されたセキュリティに準じたアクセス権限で操作できます。

## セキュリティ拡張を設定する

1. 画面下部のシステム設定 > セキュリティ拡張（AclManager）を開きます。



2. 新しいアクセス権限を追加します。  
追加」ボタンを選択して、新しいアクセス権の設定を編集します。



3. 「フォルダパス」に、新たなアクセス権を設定したいフォルダを指定します。  
参照」ボタンにてフォルダを指定すると簡単です。  
フォルダパスを指定したら、「追加」ボタンを選択します。

セキュリティ

フォルダパス / 参照

追加 削除

種類	ユーザー/グループ	IPアドレス
データがありません		

OK キャンセル

4. 各種アクセス権限を設定します。

設定

タイプ

☒ 許可 ☐ 拒否

ユーザー名もしくはグループ名

IPアドレス範囲  
(ネットワークIPアドレス/マスクビット数)

アクション

☒ 読み取り  
☒ 書き込み  
☒ 概要・コメント・タグの書き込み  
☒ ダウンロード  
☒ 管理者向け機能

OK キャンセル

5. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。



項目	説明
	書き込み： ファイルの上書き、削除、名前の変更、アップロード、タグ・プロパティ編集、メモ・フォルダの新規作成 が制御されます。
	コピーは、コピー先のフォルダに書き込みの許可が必要です。
	移動は、移動元と移動先のフォルダに書き込みの許可が必要です。
	概要・コメント・タグの書き込み： タグ・プロパティ変種が制御されます。
	ダウンロード： ファイル・フォルダのダウンロードが制御されます。
	管理者向け機能： インデックス再構築などの管理者用の操作が制御されます。

## 設定のポイント

- フォルダのセキュリティは、対象フォルダから最も近い親（もしくは先祖）フォルダのセキュリティ設定が適用されます。
- トップフォルダ「/」に対して必ずセキュリティを設定する必要があります。
- 本機能を設定する場合、全ユーザー・グループの全フォルダに対する権限が「拒否」された状態からの設定となります。したがって、全ユーザー・グループの全フォルダに対する「許可」のセキュリティを必ず設定してください。
- 例えば、ドキュメントルートが \\share と \\share2 のときに、\\share2\projects にのみセキュリティを設定する場合は、次の2つの設定が必要です。
  - トップフォルダ「/」 全ユーザーに対して「許可」の設定
  - /share/projects → 任意のアクセス権の設定

## 設定の注意

- Windowsで拒否されている操作は、本機能で許可の設定を行っても拒否対象のままです。
- Windowsで許可された操作を本機能で拒否することはできます。
- 設定を誤ると、全ユーザーが接続できなくなる場合がありますため、ご不明な点はサポートにお問い合わせください。

## マクロ機能

マクロ機能を使うことによって、仮想的なグループを作成することができます。

例えば \$(USERS) という名前に、複数のユーザー名を定義しておく、制限したフォルダに \$(USERS) を指定するだけで済みます。

1. 「マクロ」タブの「追加」を選択します。



保存する キャンセル

セキュリティ マクロ

追加 削除 上へ 下へ

名前	値
データがありません	

## 2. 名前と値を設定します

- 名前には、半角英数字で任意の文字列を指定します。
- 値には、実際のユーザー名やグループ名、またはIPアドレス範囲を指定します。

マクロ

名前

AdminGr

値

admin1  
admin2  
admin\_gr1

OK キャンセル

## 3. 例として、「AdminGr」という名前に、「admin1, admin2」というユーザー名と「admin\_gr1」というグループ名を割り当てたマクロが1つ登録されました。

保存する キャンセル

セキュリティ マクロ

追加 削除 上へ 下へ

名前	値
<input type="checkbox"/> AdminGr	["admin1","admin2","admin_gr1"]

#### 4. マクロを使う

- ユーザー名に名前を指定します。\$(名前) と入力します。
- 実行時に \$(AdminGr) が、admin1, admin2, admin\_gr1 に展開されます。
- IPアドレスも同様にマクロを使用することができます。

5. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

## 操作毎に必要なアクション

各操作に必要なアクションの一覧です。

ExaPadでの各操作を実行するのに必要なアクションに が付いています。

分類	操作	読み取り	書き込み	概要・コメント・タグ	ダウンロード	管理者向け機能
----	----	------	------	------------	--------	---------

ファイル/フォルダ 操作	閲覧			-	-	- 1	-
	コピー	移動元フォルダ		-	-	-	-
		移動先フォルダ			-	-	-
	移動	移動元フォルダ			-	-	-
		移動先フォルダ			-	-	-
	削除				-	-	-
	ファイル/フォルダ名変更			-	-	-	-
	上書き更新				-	-	-
	ダウンロード			-	-		-
	タグ	表示		-	-	-	-
		更新		-		-	-
	プロパティ	表示		-	-	-	-
		更新			-	-	-
	直接開く			-	-	-	-
	THHTML（メモ）更新				-	-	-
	アップロード				-	-	-
	プレビュー再作成			-	-	-	-
	一覧出力			-	-	-	-
	新規メモ				-	-	-
	新規フォルダ				-	-	-
管理者向け機能 2	インデックス/プレビュー再構築			-	-	-	

1 画像ファイル、PDFファイルは、閲覧時にダウンロード権限が必要です。

2 システム設定画面での操作には、管理者向け機能権限は影響しません。

### 3.4.3 セッションタイムアウトについて

## セッションタイムアウトについて

ExaPadにログインした状態で、Webブラウザを終了すると自動的にログアウト状態となります。

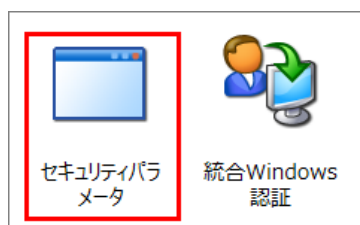
再びExaPadに接続するとログイン画面が開き、ID/パスワードの入力が求められます。

一定時間内はWebブラウザを切断・再起動を繰り返してもセッションを継続し、ログイン操作を必要としないよう設定することができます。

セッション情報はWebブラウザのCookieに保存されますが、標準では有効期間が0に設定されておりブラウザを閉じるとセッション情報は削除されます。

## タイムアウト時間を変更する

1. ExaPad画面 > システム設定 > セキュリティパラメータを開きます。



2. stay\_logged\_in\_after\_closing\_browser を開きます。

session_lifetime_seconds	7200	一定時間アクセスの無いSessionを無効化します。単位は秒です。	初期値
stay_logged_in_after_closing_browser	OFF	ブラウザを閉じてもログインしたままの状態にします。	初期値

3. 値にチェックを入れて有効 (ON) にします。



4. 続けて、session\_lifetime\_seconds を開き、セッションが有効となる期間 (Cookieの有効期間) の値を指定します。

session_lifetime_seconds	7200	一定時間アクセスの無いSessionを無効化します。単位は秒です。	初期値
stay_logged_in_after_closing_browser	OFF	ブラウザを閉じててもログインしたままの状態にします。	初期値

5. 期間を秒単位で指定します。

例えば、7200 に設定すると、最後にログインしてから2時間はブラウザを閉じて再接続しても、ログイン操作なしにログインすることができます。

6. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

### 3.4.4 パスワードオートコンプリートについて

Webブラウザのオートコンプリート機能を使用すると、ログイン時のユーザーIDやパスワードの入力操作を省くことができ、便利な面もありますが、セキュリティについては問題となる場合もあります。

ExaPadでは、パスワードのオートコンプリート機能を制御することができます。

**オートコンプリートの設定には各種Webブラウザ側の仕様や設定が優先されるため、ExaPadの設定が有効にならない場合があります。**

## 設定方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > セキュリティパラメーターを開きます。

絞込

パラメータ名	設定値	説明	状態
autocomplete_login_password	ON	ログインフォームのパスワードボックスのautocompleteをOn/OFFします	ユーザー設定
autocomplete_login_userid	ON	ログインフォームのユーザーIDボックスのautocompleteをOn/OFFします	初期値

2. autocomplete\_login\_password を開いてチェックを入れます。  
有効（ON）にするとパスワードがWebブラウザに保存されるようになります。
  3. autocomplete\_login\_userid を開いてチェックを入れます。  
有効（ON）にするとユーザーIDがWebブラウザに保存されるようになります。
- オートコンプリートを有効にする場合は、両方とも有効にしてください。
  - 片方が無効になっていると、WebブラウザによってはID・パスワードともに保存されない場合があります。
4. 設定を存してサービスを再起動すると反映されます。

## 注 意

- 標準では、autocomplete\_login\_password は無効（チェックなし）に設定されています。
- オートコンプリートが有効な状態の時に保存されたパスワードが、本機能を無効にしても自動入力されるWebブラウザがあります。（Firefoxなど）
- 有効から無効に設定を変更する場合は、Webブラウザの履歴情報やCookie情報を全て消去してから利用してください。
- ExaPadで推奨していないWebブラウザでは、本機能を利用できない場合があります。（Operaなど）

### 3.4.5 ネットワーク環境について

ExaPadをインターネットから利用するには、ExaPadサーバーをインターネットへ公開する必要があります。

ExaPadの共有フォルダを拠点間で共有するには、ExaPadサーバーを拠点間ネットワークへ公開する必要があります。

## 固定IPアドレスの付与

- ExaPadをインターネットに公開するには、インターネットにおける固定IPアドレスが必要です。
- 固定IPアドレスは、プロバイダーを通じて取得したり、クラウドサービスで仮想マシンや仮想ネットワークノードに対して取得します。

## DNS名の付与

- ExaPadにアクセスするURLをわかりやすくするため、IPアドレスに対してDNS名（ホスト名・コンピュータ名）を付与します。
- DNS登録は、お客様が所有するドメインのドメイン名登録サービスのコントロールパネルなどで行います。
- お客様が独自ドメインを所有していない場合は、既存の別ドメインに間借りしたり、独自ドメインを購入したりなどをご検討ください。

## ファイアウォール・ルーターなどの設定

- ExaPadサーバーを公開する場合、安全のため極力最低限の通信だけを許可します。
- ExaPadサーバーに対する外部ネットワークからのインバウンドの通信は、SSL証明書のインストール後であれば、ほぼHTTPSに限定するのが安全です。
- クラウド環境の仮想サーバーの場合など、管理用にリモートデスクトップサービスなどを許可しておくことは必要です。

### 3.4.6 SSL設定について

#### 概要

HTTPS通信でExaPadへ接続するためには、WebサーバーにSSLサーバー証明書をインストールする必要があります。

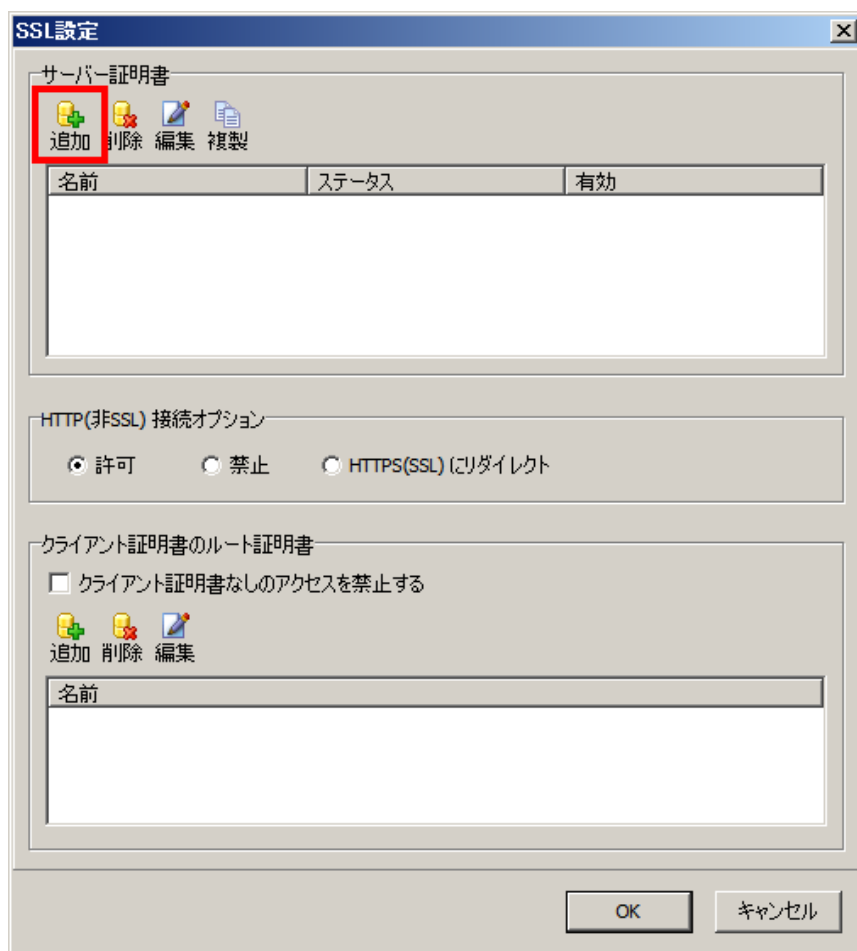
SSLサーバー証明書を入手してインストールする方法は2つあります。

1. 証明書発行業者（認証局）に、SSLサーバー証明書の発行を申請して、クレジットカードなどで購入する
2. 自己署名証明書を、自分で勝手に作成し、各端末に配布して使う（費用はかかりませんが、端末への証明書配布の手間があります）

## 認証局の発行した証明書で設定する

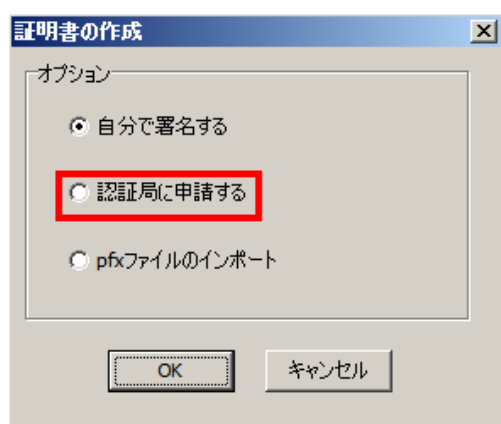
### サーバー証明書の申請を準備する

1. ExaPad管理ツール > SSL設定 を開き、'追加'を選択します。



2. 認証局に申請するを選択します。(自己署名証明書の場合は[こちら](#)をご覧ください)





3. 各項目にサーバー証明書の申請内容を入力します。

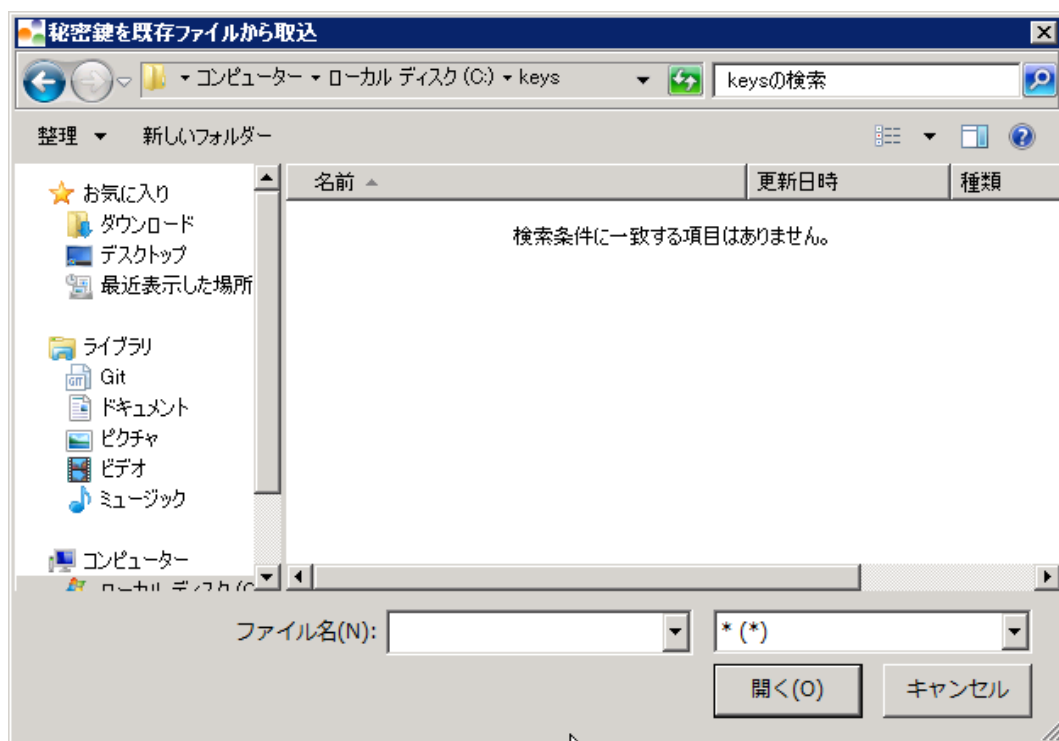
既存の秘密鍵をインポートする場合は、「秘密鍵を自動生成する」のチェックを外します。

A screenshot of a "証明書の申請" (Certificate Application) form. The form has several text input fields, each with a label and an example value: "一般名 (Common Name)" (例. www.kantei.go.jp), "組織 (Organization Name)" (例. Cabinet Secretariat), "組織単位 (Organizational Unit Name)" (例. Cabinet Public Relations Office-1), "市区町村 (Locality Name)" (例. Chiyoda-ku), "都道府県 (State or Province Name)" (例. Tokyo), and "国 (Country Name)" (JP in a dropdown menu). At the bottom left, there is a checked checkbox labeled "秘密鍵を自動生成する" (Generate private key automatically). To the right of the checkbox are two buttons: "作成" (Create) and "閉じる" (Close).

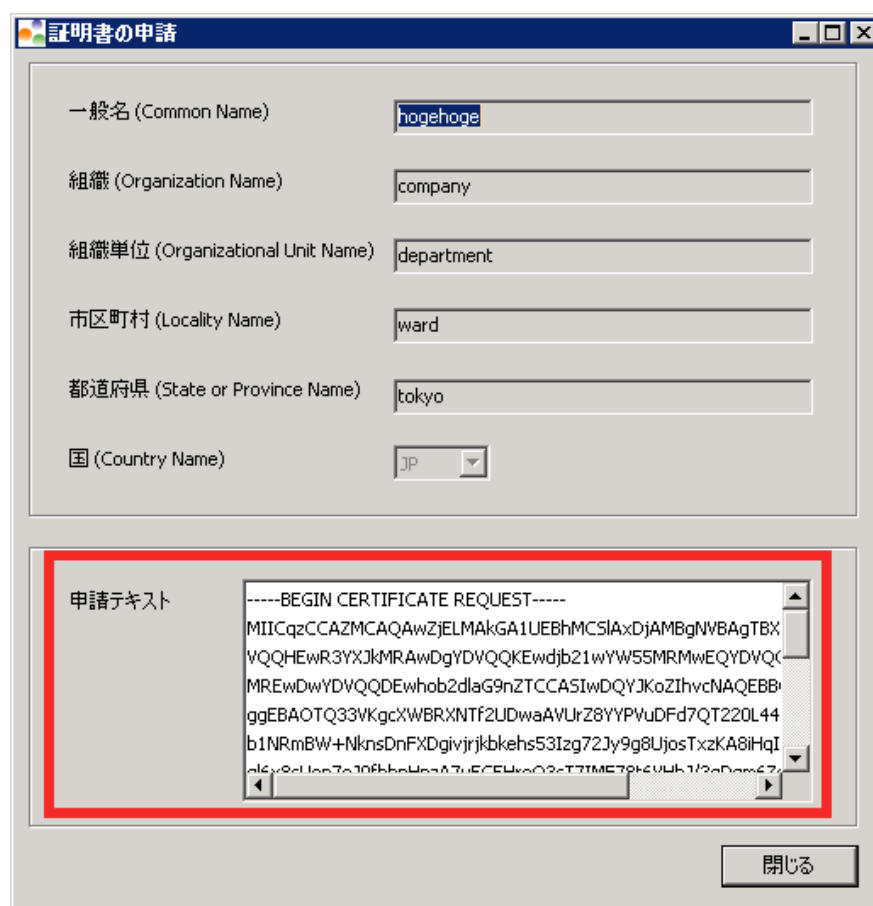
4. 「秘密鍵を自動生成する」のチェックを外した場合、秘密鍵を選択する画面が表示されます。

既存の秘密鍵を選択してインポートします。

「秘密鍵を自動生成する」にチェックを入れた場合には、5 に進みます。



5. SSL証明書発行ベンダー（レジストラ）への証明書発行の申し込みのときに、この申請テキストが必要です。  
申請テキストは、あとからでも管理ツールで再表示できます。  
RSA秘密鍵は2048bitで作成されます。



証明書の申請

一般名 (Common Name) hoge hoge

組織 (Organization Name) company

組織単位 (Organizational Unit Name) department

市区町村 (Locality Name) ward

都道府県 (State or Province Name) tokyo

国 (Country Name) JP

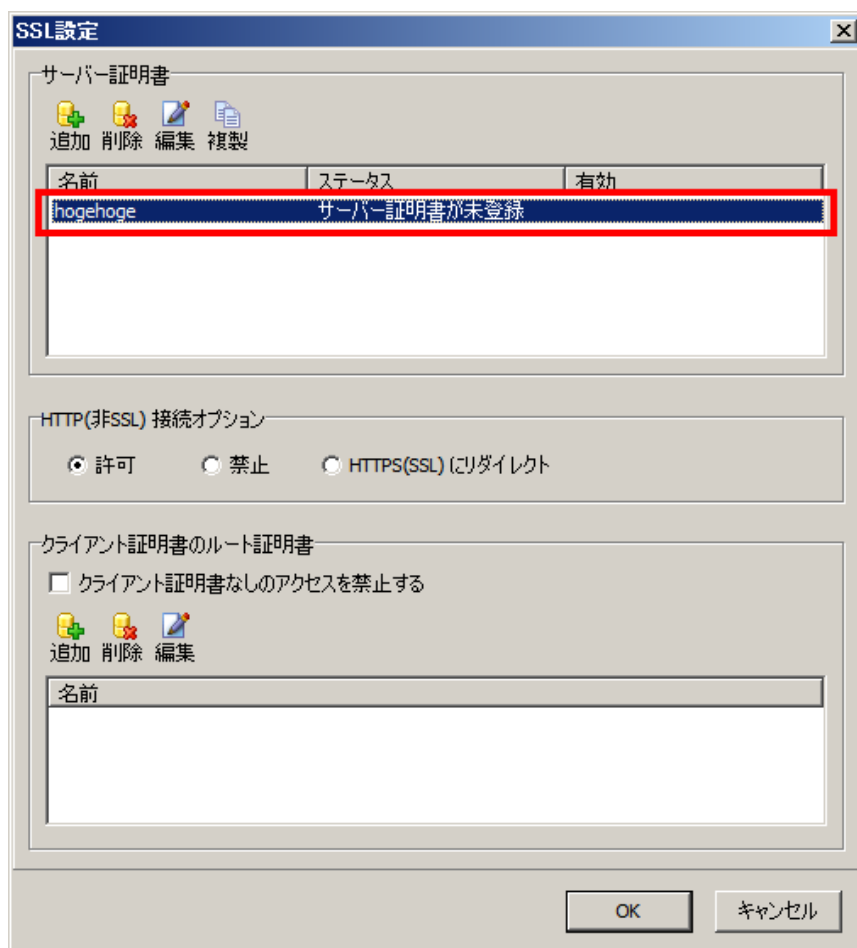
申請テキスト

```
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
MIICqzCCAZMCAQAwZjELMAkGA1UEBhMCIAxDjAMBgNVBAgTBX
VQQHEwR3YXJkMRAdBgYDVQQKEwdjb21wYW55MRMwEQYDVQ
MREwDwYDVQQDEWhob2dlaG9nZTCCASIwDQYJKoZIhvcNAQEB
ggEBAOTQ33VKgcXWBRXNTf2UDwaAVUrZ8YYPVuDFd7QT220L44
b1NRmBW+NknsDnFXDgivrjkbkehs53Izg72Jy9g8UjosTxzKA8IHqI
c6fy8d1ap7a10fhhH4aA7u5CEHx03eT7IME78f6VUh1/3eDm67
-----
```

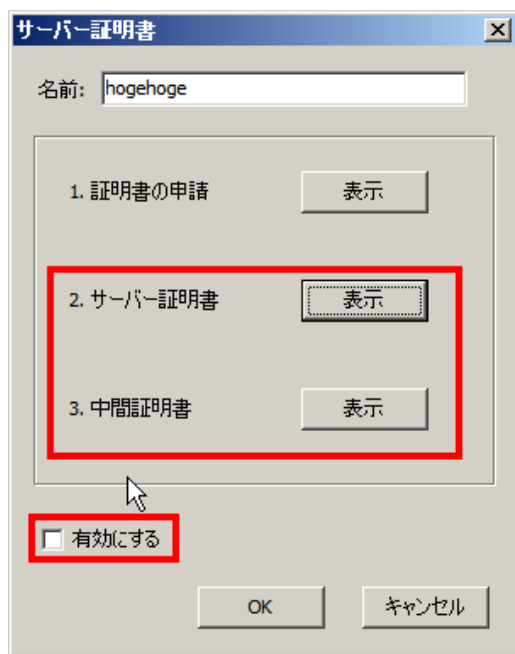
開じる

## サーバー証明書の登録

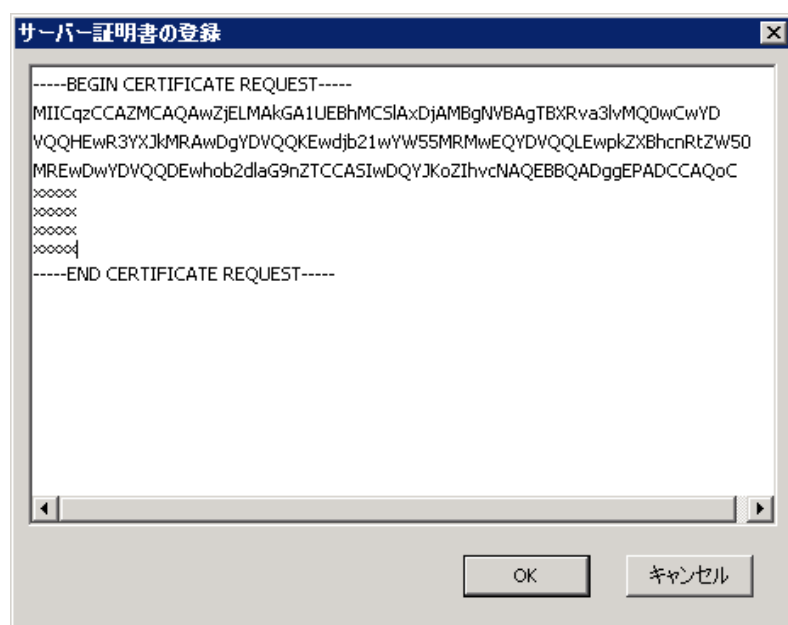
1. レジストラから証明書を受け取った後、未登録のサーバー証明書を選択します。



2. 「サーバー証明書」と「中間証明書」の内容をそれぞれ登録します。



- 「表示」ボタンを選択して、証明書内容を登録してください。

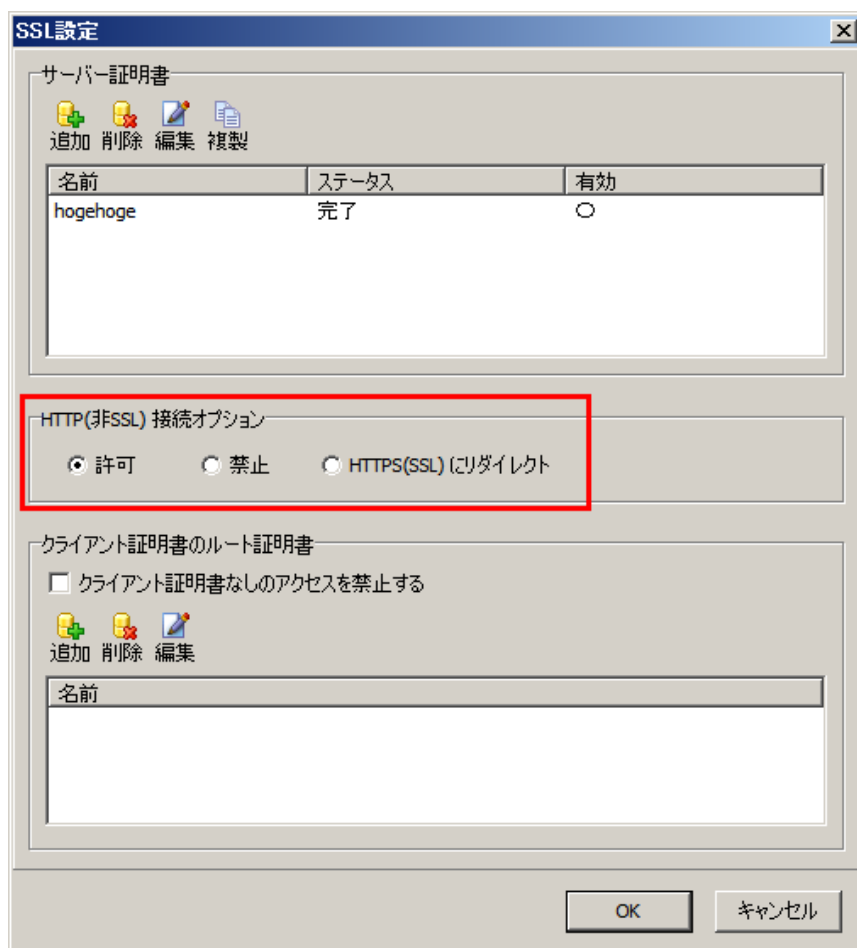


- 「有効にする」にチェックを入れます

## サービスの再起動

1. HTTP接続の許可 / 禁止 / リダイレクトを選択します。

通常は `http://SeverName/ExaPad` での接続をできないようにするため、「禁止」か「HTTPS(SSL)にリダイレクト」を選択します。



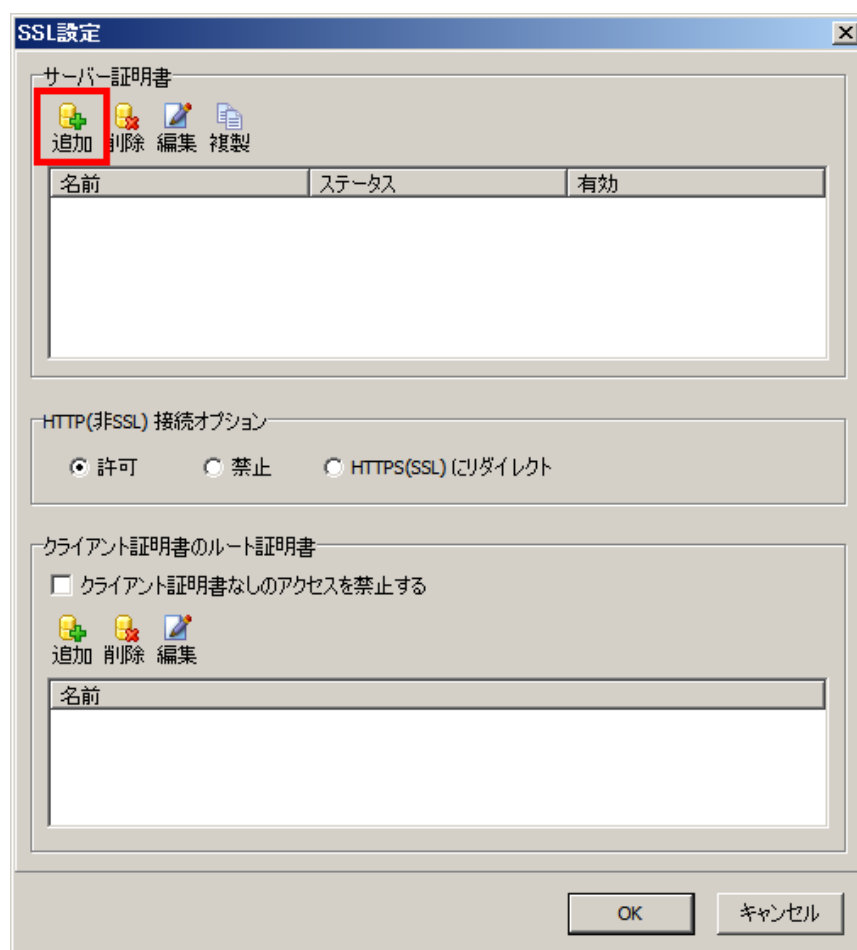
2. OK を選択して設定を保存します。
3. ExaPad管理ツール > サービス を開き、Webサーバーを再起動します。

## 接続確認

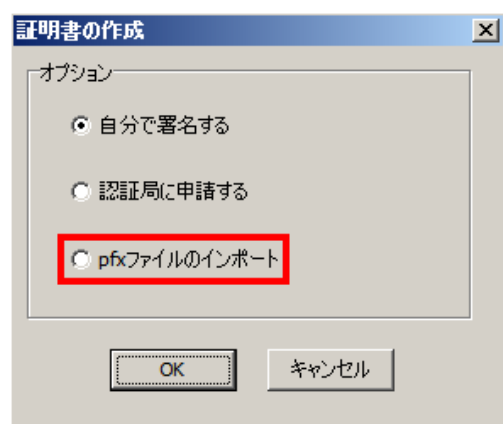
1. Webブラウザで、https://SeverName/ExaPad にアクセスして接続できるか確認します。
2. HTTP接続を禁止にした場合は、http:// ~ での接続ができないことも確認します。

## pxf ファイルをインポートする

1. 管理ツール > SSL設定 を開き、'追加'を選択します。



2. pfx ファイルのインポートを選択します。



3. 表示されたダイアログで、pfx ファイルを選択するとインポートされます。

## 備考

管理ツールで設定した情報は、C:\ProgramData\BroadLeaf\ExaPad\4.0\Dat\Config\ssl に保存されています。

### 3.4.6.1 自己証明書の作成について

SSL自己署名証明書の作成方法の説明です。

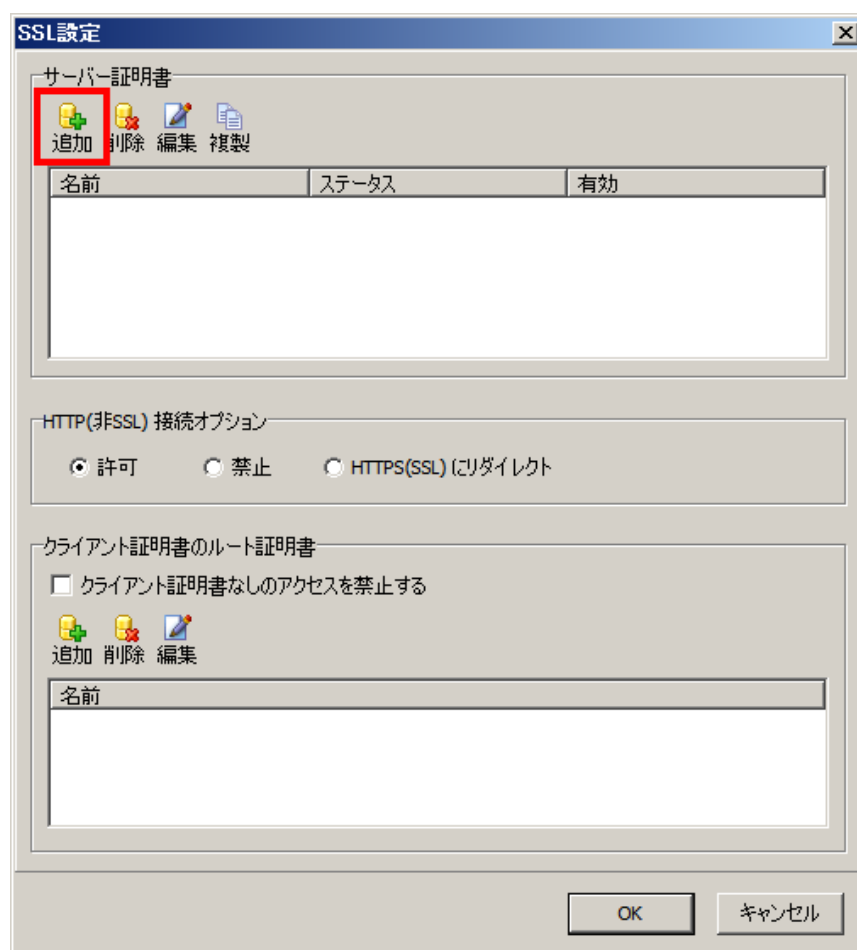
## 設定

### サーバー証明書の申請をする

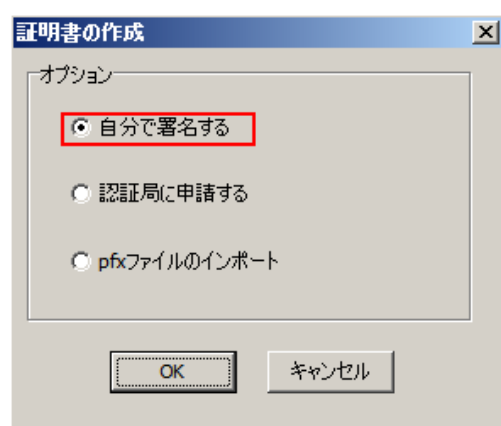
1. 管理ツール > SSL設定 を開き、「追加」を選択します。







2. 自分で署名するにチェックを入れます。



3. 項目にサーバー証明書の申請内容を入力します。

秘密鍵を自動生成する」はチェックを入れたままにします。

証明書申請

一般名 (Common Name)  例. www.kantei.go.jp

組織 (Organization Name)  例. Cabinet Secretariat

組織単位 (Organizational Unit Name)  例. Cabinet Public Relations Office-1

市区町村 (Locality Name)  例. Chiyoda-ku

都道府県 (State or Province Name)

国 (Country Name)  JP

☒ 秘密鍵を自動生成する

作成 閉じる

5. 以上で証明書が作成されます。

登録された証明書を開くと、サーバー証明書の内容を確認できます。

サーバー証明書 (自己証明書)

名前  hoge hoge

1. 証明書の申請

2. サーバー証明書

☒ 有効にする

OK キャンセル

6. 作成された証明書を使ってSSL通信するには、クライアント側のWebブラウザに証明書のインポートが必要です。

### 3.4.6.2 クライアント認証について

認証局が発行するルート証明書を登録して、クライアント証明書に基づく 端末認証 / ユーザー認証 ができます。

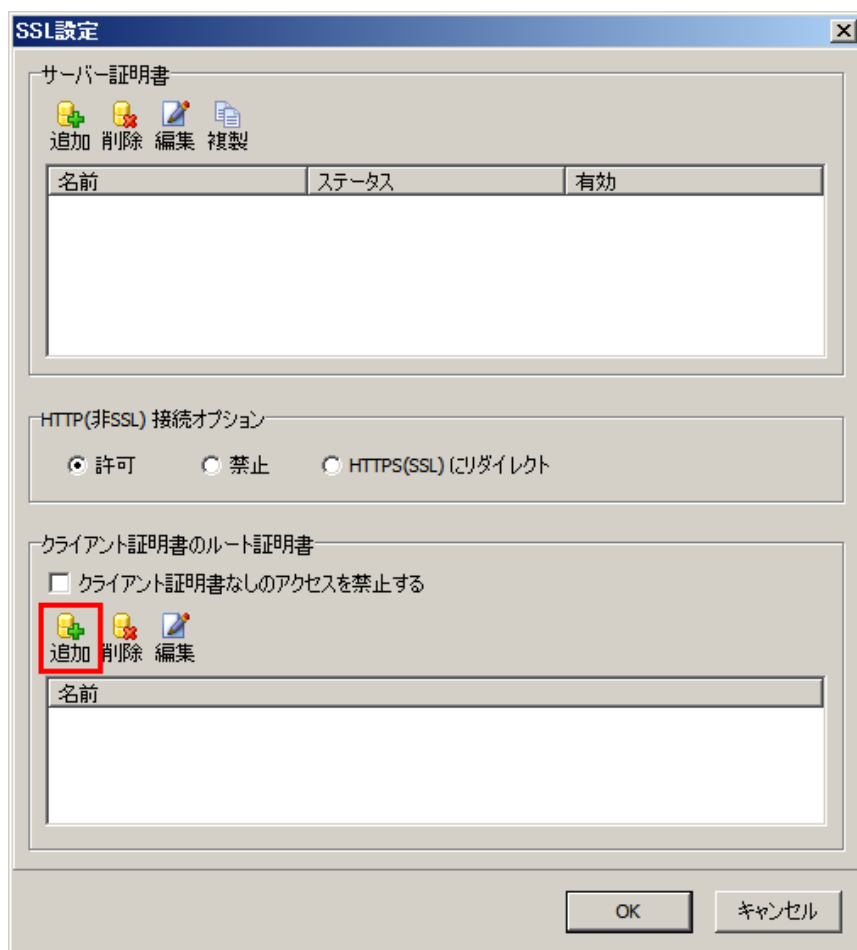
Windows Active Directory証明局などの外部の認証局が発行した証明書に対応します。

## クライアント証明書を設定する

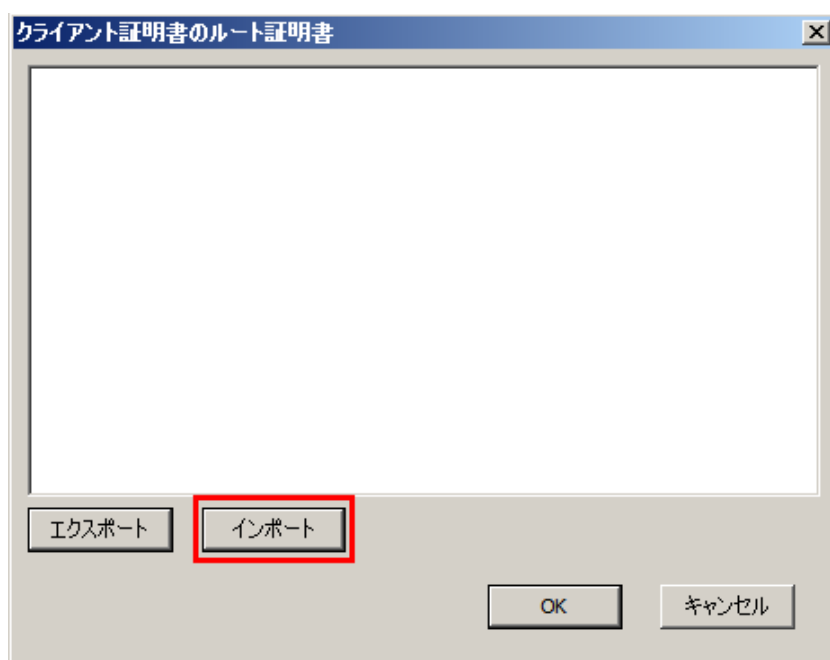
1. 管理ツール > SSL設定 を開きます。



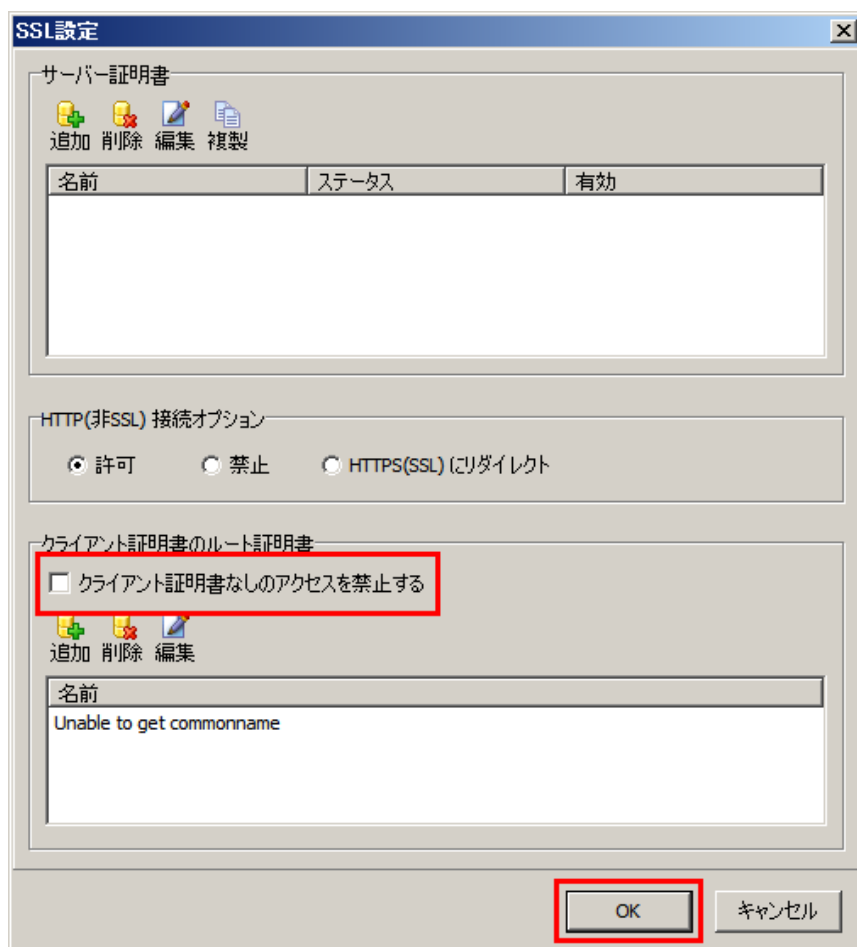
2. クライアント証明書のルート証明書 > 追加 を選択します。



3. インポートを選択して証明書ファイルを読み込みます。



4. 「クライアント証明書なしのアクセスを禁止する」を選択すると、クライアント証明書がなくてもログインできるようになります。



5. 設定を保存します。

6. ExaPad管理ツール > サービス を開いてWEBサーバーを再起動します。
7. 証明書をインポートしたクライアント（Webブラウザ）で接続を確認してください。

### 3.5 オプション機能について

ExaPadのオプション機能についての説明です。

オプション機能を使用するには、オプションライセンスの購入が必要です。

評価版の利用時には全てのオプション機能を使用することができます。

#### 3.5.1 ファイルを直接開く

### ファイル直接オープン機能について

操作メニューの「直接開く」を選択すると、サーバーからファイルをダウンロードすることなく、ファイルを直接開くことができます。

Windowsエクスプローラーでファイルをダブルクリックして開くと同様に、ファイルサーバーのファイルをPCのアプリケーションで開き、編集後に上書き保存ができます。

この機能はオプションライセンスが必要です。（評価版ではライセンスなしに使用できます）

### 注意事項

- この機能はローカルエリア内のWindows PCでのみ使用できます。
- PCに専用プログラムのインストールが必要です。
- Windowsエクスプローラーで対象ファイルの参照ができない場合は、本機能の使用ができません。
- タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末では、本機能は使用できません。
- Mac OSの端末では本機能を使用できません。
- 64bit版のWebブラウザでは、本機能は動作しません。（64bit OSで使用されているWebブラウザは、ほとんど32bit版です）

### クライアントPC側の準備

PCに専用プログラム（fbclient.exe）をインストールします。

1. ExaPadにおいて任意のファイルで、操作メニューの「直接開く」を選択します。



2. Webブラウザで「直接開く」の初回実行時に、ExaPadクライアントインストーラのダウンロード案内が表示されます。

**直接ファイルオープンツールのインストール・設定をお願いします**

【STEP1】以下の手順によってインストールして下さい。

1. 「ダウンロード」ボタンからインストーラプログラム(zipファイル)を適当なフォルダにダウンロードして、展開します。
2. 開いている全てのブラウザを終了して下さい。ブラウザが開いていると、インストールが正常に行われない可能性があります。
3. exeファイルのアイコンをダブルクリックします。
4. 画面指示に従って 直接ファイルオープンツール のインストールを行います。
5. ブラウザを改めて起動し、ファイルを選択して「直接開く」で、もう一度この画面まで来て下さい。

【STEP2】二度目にこの画面に来たら

先ほどの手順で、直接ファイルオープンツールのインストールは成功しましたか？  
エラーなく終了したら「はい」を押してください。元の画面に戻りますが、これ以降はファイルが直接開かれるようになります。

3. STEP1の操作方法にそって、ExaPadClientInstaller.zip をダウンロードします。  
ダウンロード後はWebブラウザを終了して下さい。
4. ExaPadClientInstaller.exeを実行し、fbclient.exeをインストールします。  
fbclient.exeをインストールするためには管理者権限が必要です。
5. Webブラウザを起動してExaPadにログインし、任意のファイルで「直接開く」を実行します。  
再び、ExaPadクライアントインストーラのダウンロード案内が表示されます。
6. STEP2の「はい」を選択します。  
以降は、「直接開く」を選択すると、ファイルが直接開くようになります。

#### 直接ファイルオープンツール (fbclient.exe) をアンインストールした場合の注意

- アンインストール後に「直接開く」を選択してもツールのダウンロード画面が表示されない場合は、ブラウザのCookieを削除してから操作を行ってください。

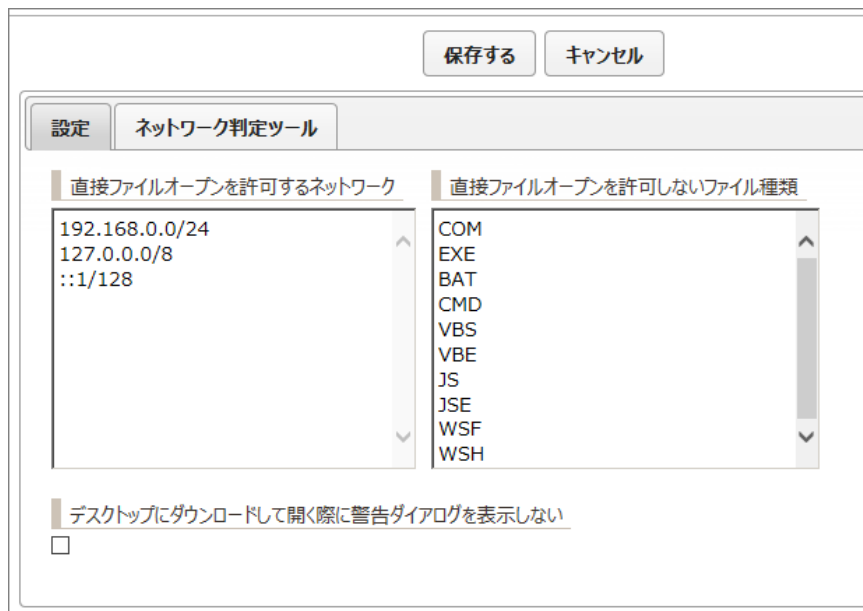
- または、画面右上に表示されている「ログインユーザー」を選択してもダウンロード画面を開くことができます。

## サーバ側の準備

1. ExaPad画面 > システム設定 > 直接オープン を開きます。



2. 「直接ファイルオープンを許可するネットワーク」に、本機能を許可するIPアドレス範囲を指定します。



- ネットワークアドレスを指定しておくことで、Webサーバー（FbWeb）サービスに対する接続が、ローカルエリア内からかどうか判定します。
- ローカルエリアに割り当てられたネットワークアドレス（IPアドレスのホスト部を0にしたもの）と、ビットマスクをスラッシュ（/）で繋げたものを指定します。
- 改行区切りで複数の範囲を指定できます。
- ローカルループバック「127.0.0.0/8」を必ず設定してください。
  - 例1）ローカルエリアにグローバルIPアドレス（例：134.56.xxx.xxx）が割り当てられている場合

```
134.56.0.0/16
127.0.0.0/8
```

- 例2) LANをプライベートアドレス ( 192.168.0.xxx ) で管理している場合

192.168.0.0/24  
127.0.0.0/8

3. ネットワークアドレス範囲の設定後、許可・拒否のIPアドレスをチェックします。

- 「ネットワーク判定ツール」タブを開きます。
- IPアドレスを入力し、「判定」ボタンを選択します。
  - 「マッチしました」 IPアドレスは許可されています。(直接開く機能します)
  - 「マッチしません」 IPアドレスは許可されていません。(直接開く機能しません)
- 4. 「直接ファイルオープン」を許可しない「ファイル種類」にファイル拡張子を登録すると、そのファイルは「直接開く」で開くことはできません。
- 5. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

## ドキュメントルートフォルダがローカルドライブの場合

ドキュメントルートにC:\share のようにサーバーのローカルドライブを指定している場合、クライアントPCからはWindowsエクスプローラーで接続できないため、ファイルを直接開くことができません。

本機能の使用には、クライアントPCからファイルサーバーにあるファイルをWindowsエクスプローラーで参照できるパスで、ドキュメントルートへの指定が必要です。

## フォルダの共有設定を行う

- ドキュメントルートに指定するフォルダをWindowsの共有設定で公開します。  
(フォルダの共有化によりWindowsエクスプローラーで接続可能になる場合があるため、適切にセキュリティを設定してください)
- フォルダ共有の設定後に、ドキュメントルートフォルダの指定も変更します。  
\\Server\share のように変更し、サービスを再起動してください。



- ドキュメントレートの変更後、インデックスの再構築を実施します。

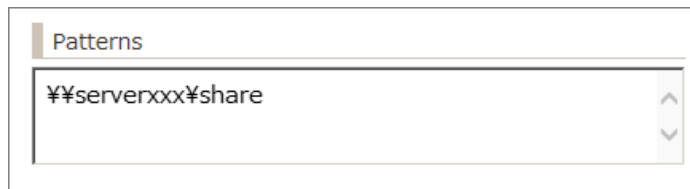
大規模環境で、既にインデックスを構築済みの場合にはおすすめしません。以下の設定を実施してください。

## ドキュメントレートパターンを設定する

ドキュメントレートフォルダは変更しないで、公開フォルダのパスパターンだけを追加する方法です。

ドキュメントレートの変更が難しい場合には、この方法をとってください。

- ExaPad > システム設定 > ドキュメントレートの設定において、Patterns に共有フォルダのパス（例 \\serverxxx\share）を登録します。



- ここで登録するパスは、ドキュメントレートで指定しているローカルフォルダと同一の場所が指定されるようにしてください。
- 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

### 3.5.2 CADファイルのプレビュー

## CADファイルのプレビューについて

DWG、DXFなどのCADファイルのプレビューができます。（対応するファイル種類は[こちら](#)をご参照ください）

この機能はオプションライセンスが必要です。（評価版ではライセンスなしで使用できます）

## プレビュー作成設定について

PDF プレビューと画像プレビューの両方に対応しています。プレビュー作成設定でどちらかを選んでください。

インストール後の標準設定では、CADファイルはPDFでプレビューできるようになっています。

設定の変更については、[こちら](#)をご覧ください。

## SHX フォントに対応しています

ExaPadサーバーの所定フォルダにSHXフォントを保存することで、プレビューにSHXフォントを使用できます。

CADファイルに使用されているフォントがExaPadサーバー存在しない場合は、システムのフォントで代替します。

次のフォルダにSHXフォントを保存してください。

- [インストールフォルダ] \Data\Config\ShxFonts
- ShxFonts フォルダは新規に作成してください。

## PDF プレビューについて

CADファイルをPDFに変換してプレビュー表示します。(Ver3.7以上のバージョンで使用できます)

PDFなので表示の拡大 縮小を行っても表示の乱れが少なく見やすいのが特徴です。

A1サイズ等の大きなファイルについては、Webブラウザの描画性能によっては表示できないこともあります。

この場合はAdobe Readerでの表示をおすすめします。設定についてはご相談ください。

CADファイル内のテキストは全文検索対象ですが、PDFプレビュー内での検索には対応していません。

## 背景色の変更

PDFプレビューにおいて、標準のデフォルト背景色は黒、文字色は白に設定されています。

設定で変更することができます。

- ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般(config.ini) を開き、絞込ボックスに "cad" を入力します。
- cad\_background\_color            背景色を #000000 のようにRGBで指定します
- cad\_default\_color                既定色 (文字、線色など) を #ffffff のようにRGBで指定します

## Ver3.7より前のバージョンをご利用中のお客様

Ver3.7より前のバージョンをご利用中のお客様はPDFプレビューを使用できません。

本機能を使用するには最新版へのバージョンアップが必要です。

バージョンアップの方法はお問い合わせください。

## 画像プレビューについて

CAD ファイルをJPEG 画像に変換してプレビュー表示できます。

以前は、CAD ファイルにおいては画像プレビューのみの対応でしたが、現在ではPDF プレビューが標準設定となっております。

画像プレビューは、図面サイズや描画サイズによっては表示が見づらくなったり、拡大縮小を行うと粗くなってしまうという短所があります。

### 拡大プレビューのサイズを大きくしています

CAD ファイルは、一般的にオフィスファイルなど比べて解像度が高く設定されています。

そのため、標準の 1440px では見づらくなることがあり、またプレビューサイズを過度に大きく変更してしまうと、Web ブラウザによっては表示できないこともあるため、標準の拡大プレビューサイズを 2560px に設定しています。

プレビューサイズの変更方法は[こちら](#)をご覧ください。

この拡大プレビューについては、PDF プレビューを用いている場合には関係ありません。

### 背景色について

CAD ファイルの背景色の設定はCAD アプリケーション側で設定されているため、ExaPadのプレビューの背景色は透過にして、ビューワーの背景色を変更できるようにしています。

背景色を変更方法は[こちら](#)をご覧ください。

### 3.5.3 DTPファイルのプレビュー

#### DTPファイルのプレビューについて

AI、EPS などのDTP ファイルのプレビューができます。（対応するファイル種類は[こちら](#)をご参照ください）

この機能はオプションライセンスが必要です。（評価版ではライセンスなしで使用できます）

## プレビュー作成設定について

画像プレビューのみに対応しています。

インストール後の標準設定でプレビューが作成されるようになっています。

設定の変更については [こちら](#)をご覧ください。

## 備考

- サムネイルやプレビューは、各ファイルに埋め込まれている画像データ等を抽出して作成しています。
- 埋め込み画像データのないファイルについては、サムネイルやプレビューを作成できません。
- 古いバージョンのアプリケーションで作成されたファイルについては、サムネイルやプレビューを作成できない場合があります。
- 複数レイヤーで構成されるファイルでもプレビューは全レイヤーを合わせた表示になります。
- Indesignファイル ( INDD ) について
  - ファイルに埋め込まれている小さなサムネイル用画像をもとにプレビュー画像を作成しているため、プレビュー表示は粗いものになります。
  - 複数ページで構成されるファイルであっても、プレビュー表示は先頭ページのみです。

### 3.5.4 ポータル機能

## 概要

ファイル一覧画面にポータルページのような画面を表示させる機能です。

この機能はオプションライセンスが必要です。（評価版ではライセンスなしで使用できます）

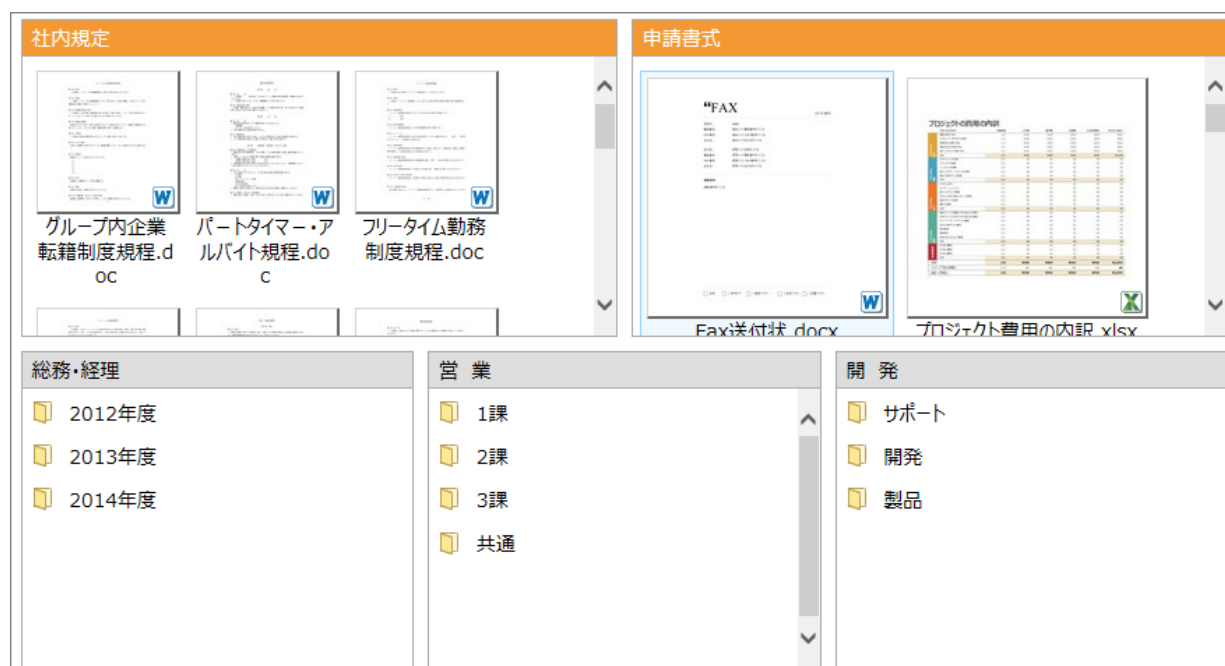
index.html という名前のテキストファイルをドキュメントレートの任意のフォルダに置くことで、そのフォルダにアクセスした時にポータルが表示されるようになります。

index.html は HTML や JavaScript で編集します。

サンプルコードをご希望の場合にはお問い合わせください。

## ポータル表示の例

最近更新されたPDF			最近更新されたWord		
	1-2-6.pdf PDF	2013/04/16 17:06:04		会議開催通知.doc demo	2013/04/17 11:15:08
	1-2-5.pdf PDF	2013/04/16 17:05:52		1997-05-21_土地売買契約書.doc...	2013/04/17 11:14:22
	1-2-4.pdf PDF	2013/04/16 17:05:27		O14_ふりがな.docx demo	2013/04/17 11:12:37
	1-2-3.pdf PDF	2013/04/16 17:05:06		請負契約書.doc demo	2013/04/17 11:11:29
	1-2-2.pdf PDF	2013/04/16 17:04:51		お客様各位.doc demo	2013/04/17 11:11:17
<a href="#">結果をさらに表示</a>			<a href="#">結果をさらに表示</a>		



## index.html ファイルの配置

### ドキュメントレートの各フォルダに配置できます

index.html という名前のテキストファイルを作成して、ドキュメントレートの任意のフォルダに保存します。

index.html ファイルがあるフォルダを開くとポータルページ（index.html の内容）が表示されます。

Windowsエクスプローラーで、index.html を「隠しファイル」属性に設定すると、ExaPadでもファイル自体を非表示にできます。

## トップにポータルを表示させる

トップフォルダやドキュメントルートフォルダにポータルを表示させる方法です。

表示される場所	パス
トップフォルダ	[インストールフォルダ]\Data\Config\Htdocs\custom\top.html  ファイルは top.html です。
ドキュメントルートフォルダ	[インストールフォルダ]\Data\Config\Htdocs\custom\portal_root\ドキュメントルートのエイリアス名\index.html  ドキュメントルートフォルダにindex.html を直接置いてもポータル表示できますが、ドキュメントルートフォルダに置きたくない場合には、この方法で設定します。

エイリアス名については[こちら](#)をご覧ください

## index.html ファイルの形式

HTML形式で編集します。

拡張タグを使用することで、ExaPad独自の機能を使用できます。

外部 Javascript や CSS の読み込み、<script> タグの実行などは、レイアウトが崩れたり、他の機能の不具合を引き起こしたりするなどの可能性があります。

## ランキングの表示

検索キーワードランキング、閲覧ランキング、ダウンロードランキングを表示できます。

ポータル機能でランキングを表示させるには、あらかじめアクセスログ集計を行う必要があります。

ランキングのデータは、アクセスログ集計時の順位です。（ポータルを表示した時点での順位ではありません。）

アクセスログ集計機能を使用するにはオプションライセンスが必要です。（評価版ではライセンスなしに使用できます）

**ダウンロードランキング**

出力済みのアクセスログを集計して、ファイルのダウンロード回数の多い順にランキングを表示します。

#1	 20160711_つながる文書管理.pdf	FileBlog_Documents	13 回
#2	 fileblog-top-kv.jpg	01_sample	13 回
#3	 DocPlug.jpg	01_sample	12 回
#4	 M V - 2 2 オスプレイ-米海兵隊の最新鋭の航空機-.pdf	PDF	8 回
#5	 20150916_つかえる文書管理.pdf	FileBlog_Documents	8 回
#6	 FileBlogV32_mgd説明.pdf	various	6 回
#7	 A4_FileBlogリーフレット.pdf	Leaflet	6 回
#8	 20140401_FileBlogV33特長六頁.pdf	FileBlog_Documents	6 回
#9	 20140509_ポータル機能概要.pdf	Option	6 回
#10	 耕作放棄地の現状について.pdf	PDF	4 回

結果をさらに表示

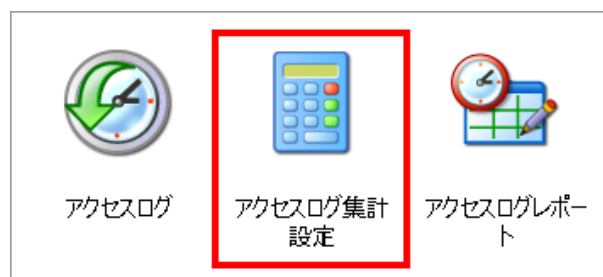
### 3.5.5 アクセスログ集計機能

アクセスログ集計機能は、アクセスログを集計してExaPadの利用状況を簡易的に表示できるようにします。

この機能はオプションライセンスが必要です。（評価版ではライセンスなしに使用できます）

## アクセスログレポートの集計

1. ExaPad画面 > システム設定 > アクセスログ集計設定 を開きます。



2. 出力したいレポートを選択してください。

- 月の初め      月単位のレポートで使用され、月の開始日を指定します。
- 週の初め      週単位のレポートで使用され、週の開始曜日を指定します。

☒ 月の初め  

1

☐ 週の初め  

月

集計

ランキング

☐ ユーザー別ログイン状況[日単位]

☒ ユーザー別ログイン状況[週単位]

☒ ユーザー別ログイン状況[月単位]

☐ 端末別ログイン状況[日単位]

☒ 端末別ログイン状況[週単位]

☒ 端末別ログイン状況[月単位]

☒ ユーザー別利用状況[週単位]

☒ ユーザー別利用状況[月単位]

☐ 週別利用状況推移

☐ 月別利用状況推移

種類	意味
ユーザー別ログイン状況[日単位]	1 日間におけるユーザーのログイン回数のレポート
ユーザー別ログイン状況[週単位]	1 週間におけるユーザーのログイン回数のレポート
ユーザー別ログイン状況[月単位]	1 月間におけるユーザーのログイン回数のレポート
端末別ログイン状況[日単位]	1 日間における端末のログイン回数のレポート
端末別ログイン状況[週単位]	1 週間における端末のログイン回数のレポート
端末別ログイン状況[月単位]	1 月間における端末のログイン回数のレポート
ユーザー別利用状況[週単位]	1 週間におけるユーザーのログイン/ファイル参照 検索の実行回数のレポート
ユーザー別利用状況[月単位]	1 月間におけるユーザーのログイン/ファイル参照 検索の実行回数のレポート
週別利用状況推移	過去 4 週間における週別のログインユーザー、ログイン、参照、検索、ダウンロードの数のレポート
月別利用状況推移	過去 3 月間における月別のログインユーザー、ログイン、参照、検索、ダウンロードの数のレポート

3. アクセスログ集計の実行処理をプログラムをタスクスケジューラに登録します。

- ExaPad画面 > システム設定 > タスクスケジュール を開きます。

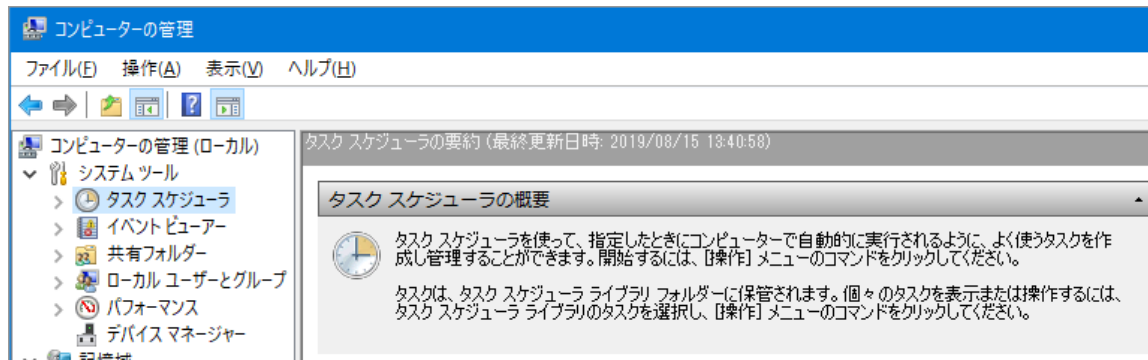


- 「追加」ボタンを選択して、新しいタスクとして「アクセスログ集計」のアクションを登録します。（登録方法は[こちら](#)をご覧ください）

## Windowsタスクスケジューラに登録する場合

アクセスログ集計の実行処理は、Windowsタスクスケジューラに登録して実行させることもできます。（ExaPadのタスクスケジューラに登録しない場合）

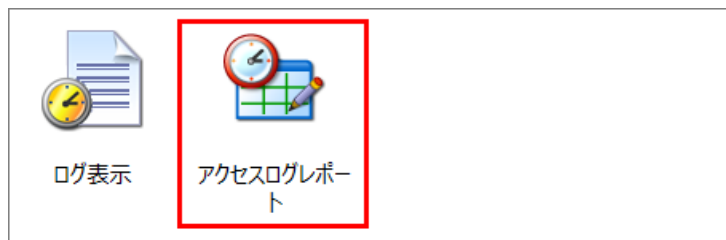
- Windowsスタートメニュー > コンピュータの管理ツール > タスクスケジューラを開きます。



- 新しいタスクにFbAccessLogSummarizer.exeの実行を登録します。  
FbAccessLogSummarizer.exeは [インストールフォルダ] \Bin にあります。
- 毎朝未明に実行するように設定します。
- タスクの実行ユーザーは、ローカルマシンの管理者権限を有するユーザーに設定してください。（通常はAdministratorユーザーです）

## アクセスログ集計（レポート）を閲覧する

1. ExaPad画面 > システム設定 > アクセスログレポート開きます。



2. レポート種別を選択すると集計種類を絞り込みます。

アクセスログレポート一覧		
レポート種別: <span>全て</span>		
<a href="#">1</a> <a href="#">2</a> <a href="#">3</a> <a href="#">4</a> <a href="#">次へ</a>		
期間	レポート種別	出力日時
2016/05/30-2016/06/05	ユーザ別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:42:52
2016/05/30-2016/06/05	端末別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:40:49
2016/05/30-2016/06/05	ユーザ別利用状況[週単位]	2016/06/10 15:40:00
2016/05/23-2016/05/29	ユーザ別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:42:52
2016/05/23-2016/05/29	端末別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:40:58
2016/05/23-2016/05/29	ユーザ別利用状況[週単位]	2016/06/10 15:40:00
2016/05/16-2016/05/22	ユーザ別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:42:52
2016/05/16-2016/05/22	端末別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:41:17
2016/05/16-2016/05/22	ユーザ別利用状況[週単位]	2016/06/10 15:40:00
2016/05/09-2016/05/15	ユーザ別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:42:52
2016/05/09-2016/05/15	端末別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:41:34
2016/05/09-2016/05/15	ユーザ別利用状況[週単位]	2016/06/10 15:40:00

### 3. レポートを選択します。

システム設定 ▶ アクセスログレポート					
ユーザ別利用状況[月単位] [2016/05/01 - 2016/05/31]					
<a href="#">一覧に戻る</a>					
ユーザーID	ログイン回数	ファイル参照回数	検索回数	ファイル参照(先頭ページのみ)回数	ダウンロード回数
user1@hoge.co.jp	377	118	74	111	41
user2@hoge.co.jp	222	154	209	140	152
user3@hoge.co.jp	218	122	63	122	51
user4@hoge.co.jp	79	34	15	34	143
user5@hoge.co.jp	3	0	0	0	0

## アクセスログランキング

1. ExaPad画面 > システム設定 > アクセスログ集計設定 の「ランキング」タブを開きます。

月の初め

週の初め

集計

ランキング

追加

削除

ユニークID	ランキング種類	ランキング数	期間(日数)
データがありません			

2. 「追加」を選択して、集計するランキングを設定します。

アクセスログ集計
✕

基本設定

ファイル/フォルダ絞込

ネットワークアドレス絞込

ユーザー名/ドメイン名絞込

検索ワード

ユニークID

ランキング種類  
☒ ファイル参照  
 ☐ 検索  
 ☐ ダウンロード

上位N件を取得する

期間日

項目	説明
ユニークID	ユニークなるIDを指定します。この値がポータル機能で使用するID属性です。
ランキング種類	出力するランキングの種類を選択します。
上位のN件を取得する	上位何番目までをランキングするか指定します。（上位50位など）
期間日	集計日からどのくらいの期間を集計対象にするか指定します。（過去180日間など）
絞り込み	「基本設定」以外の設定タブでは、正規表現を用いて集計の「対象」「対象外」を指定できます。

3. ランキングに出力する対象を絞り込むことができます。

- 絞り込みの設定には、システムファイルパスの正規表現を使用して指定します。
- 入力ツールを利用すると便利です。

The screenshot shows the 'File/Folder Selection' tab in the ExaPad configuration window. The 'Target File/Folder' and 'Exclude File/Folder' buttons are highlighted with red boxes. Below them is a text area for specifying file paths and a red box around the 'Input Tool' button. The 'Basic Settings' tab is also visible at the top.

## 絞り込み設定について

### ファイル/フォルダ絞り込み

対象ファイル/フォルダ、または 除外ファイル/フォルダを指定します。

対象ファイル/フォルダが指定されていない場合は、全ての「ファイル/フォルダ」が集計対象となります。

```
/share2/Projects/.*$
```

「Projects」フォルダ以下、全ファイルの指定です。

```
/share2/Projects/2016年度/*.doc|docx)$
```

「2016年度」フォルダ配下、doc と docx ファイルの指定です。

検索・ランキングの集計では、絞り込み対象が「対象ファイル/フォルダ」+「検索キーワード」という形式になります。

```
/share2/Projects/いろいろ
```

「Projects」フォルダ以下、キーワード「いろいろ」の指定です。

### ネットワークアドレス絞り込み

対象ネットワークアドレス、または 除外ネットワークアドレスを指定します。

対象ネットワークアドレスが指定されていない場合は、全ての「ネットワークアドレス」が集計対象となります。

- 192\168\0\.\*\$  
192.168.0.0~192.168.0.255 の指定です。

## ユーザー名 / ドメイン名絞り込み

対象ユーザー名 / ドメイン名、または 除外ユーザー名 / ドメイン名を指定します。

対象ユーザー名 / ドメイン名が指定されていない場合は、全ての「ユーザー名 / ドメイン名」が集計対象となります。

- .\*@company.co.jp  
ドメイン「company.co.jp」の全ユーザーを指定です。

ドメイン名は、パラメーター「windows\_domain」で指定した値を使用してください。

## 検索ワード

検索ランキング集計時に対象となるキーワードを正規表現で指定します。

- 対象検索ワード...特定のキーワードが含まれる検索ログを集計する場合。
- 除外検索ワード...特定のキーワードが含まれない検索ログを集計する場合。

キーワードが対象検索ワードと除外検索ワードの両方に指定されている場合は、除外検索ワードが優先されます。

- ^テスト-  
テストで始まる場合に、対象または、除外となります。

## 3.6 いろいろな機能

ExaPadのいろいろな機能について説明します。

### 3.6.1 操作メニューを無効にする

ExaPadでは各操作メニューを無効にして使用できないようにすることができます。

無効にしたメニューは非表示になり、全ユーザーがその機能を使用できなくなります。

## 操作メニューの設定について

1. ExaPad画面 > システム設定 > メニュー項目 を開きます。

2. パラメーター名を選択して設定値を変更します。

チェックを外すとメニューが無効になって機能が使用できなくなります。(メニューは非表示になります)

絞り込み

パラメータ名	設定値	説明	状態
menu_addcomment	ON	「コメントを追加」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_backup	ON	現在使われていません。	初期値
menu_copy	ON	「コピー」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_delete	ON	「削除」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_deletecomment	ON	「コメントを削除」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_directopen	ON	「直接開く」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_download	ON	「ダウンロード」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値

3. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

## 「ダウンロード」メニューの無効化について

ダウンロードを禁止するために menu\_download を無効にすると、ファイルのダウンロードだけでなく、次の動作も実行できなくなります。

- GIF、PNG ファイルのプレビュー表示
- SWF (Flash) ファイルの表示
- プレビュー画像の作成されていない JPEG ファイルのプレビュー表示

これらの動作は、ファイル自体を表示するために Web ブラウザのダウンロード動作なるからです。

## 「ダウンロード」メニューを非表示にするだけの設定について

メニューを非表示にするだけで、ダウンロード動作は制限しない方法です。

次のように設定します。

- menu\_download                      有効
- menu\_downloadbutton              無効

この設定では、メニューが表示されないためユーザーは容易にダウンロードすることはできなくなりますが、完全にダウンロードが禁止されたわけではありません。

（詳細は伏せますが技術的にはダウンロードが可能な状態です）

### 3.6.2 ファイルのクリック動作について

ファイル一覧画面でファイルをクリックして選択したときの動作を変更することができます。

標準では、クリック後にファイルのプレビューページが開きますが、ファイルのダウンロードやファイルを直接開く動作に変更することができます。



## クリック動作の設定方法について

1. ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
2. 絞込ボックスにgrid を入力し、gridview\_pathlink\_type を開きます。

絞込

パラメータ名	設定値	説明	状態
gridview_pathlink_type	showview	ファイル一覧の各ファイルのパスのクリック時の動作を指定します。	初期値

## 3. 動作 (ID) を指定します。



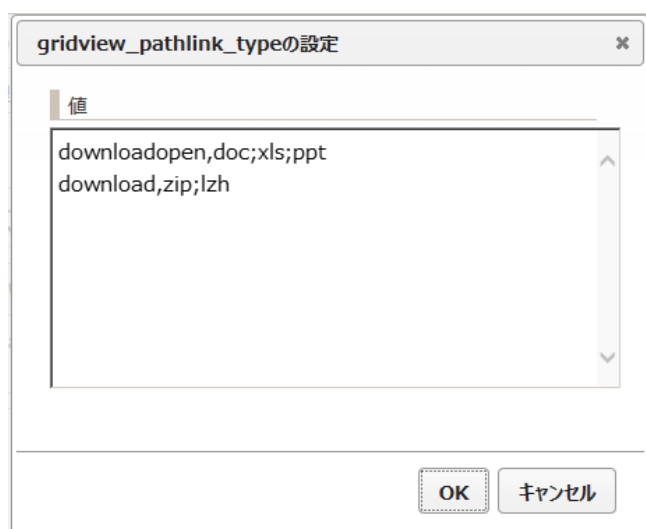
ID	意味
showview	ファイルのプレビューページにジャンプします。(標準設定)
download	ファイルをダウンロードします。
downloadopen	ファイルを一時フォルダにダウンロードしてWebブラウザ内で表示します。 Webブラウザで直接開くことのできないファイル種類はダウンロードの動作になります。
directopen	ファイルを端末のアプリケーションで直接開きます。(ファイル直接オープンオプションが必要です)
shownewview	ファイルのプレビューページを別のウィンドウで開きます。
file	fileスキーム(file:///**)でファイルを開きます。fileスキームについては <a href="#">こちら</a> をご覧ください

## 4. ファイル種類ごとに指定することができます。

- [動作ID] [カンマ] [ファイル種類] [セミコロン] [ファイル種類] ... の形式で記述します。(カンマやセミコロンの前後に半角スペースは入りません)
- 例1) doc、xls、ppt はdownloadopen、zip とlzh はdownload を指定する場合

```
downloadopen,doc;xls;ppt
download,zip;lzh
```





- 例2) フォルダ ( folder ) は showview、それ以外は directopen にする場合

```
directopen  
showview,folder
```



モバイル端末の場合は、directopen など使えない機能があり、その場合は showview で動作します。

ダウンロードできないファイル形式では、エラーメッセージが表示される場合があります。

## fileスキームについて

fileスキーム(file://)でファイルを直接開くことができます。

例)

file  
showview, folder

いくつかの制限があります。

- Internet Explorer11であること(他のWebブラウザでは開くことができません)
- インターネットオプションにて信頼済みサイトに登録すること
- ドキュメントルートフォルダをネットワークフォルダパスで登録するか、Patternにネットワークフォルダパスを登録すること
- アクセスログは出力されません

### 3.6.3 タグ機能について

ExaPadでは、ファイルやフォルダにタグとして属性情報を登録することができます。

登録されたタグ情報はNTFSのプロパティ拡張領域に保存され全文検索の対象になります。

Ver3.15.0より前のバージョンで、概要、コメント、Officeプロパティを使用されている場合、最新版では全てタグに統合されます。

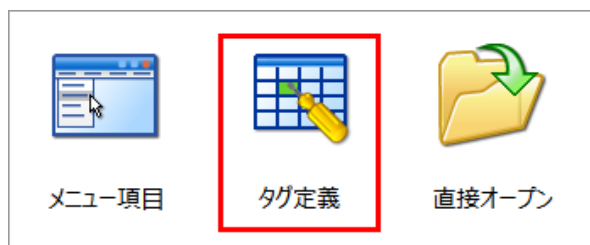
最新版では、Officeプロパティは無効化されています。有効化するには[こちら](#)をご覧ください。

## タグの設定方法について

タグ項目はいくつでも定義することができます。

全てのファイル/フォルダに同じタグ項目が表示されます。

1. ExaPad画面 > システム設定 > タグ定義 を開きます。



2. 「追加」ボタンを選択して新しいタグ定義を登録します。  
標準では「概要」と「コメント」の2つが登録されていますが削除することもできます。

	フィールド名	表示名	カテゴリ	データ型	編集方式	プロパティパネルでの表示を、読み取り専用にする
<input type="checkbox"/>	tfb_description	概要		文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ
<input type="checkbox"/>	tfb_comment	コメント		文字列 (text_cjk_uni)	コメント追記型	いいえ

### 3. 各パラメーターの値を入力します。

タグの設定
✕

フィールド名

表示名

カテゴリ

データ型

文字列 (text\_ngram) ▼

編集方式

テキストボックス ▼

複数行入力を許可する
☒

入力制限 (空白=制限なし)

正規表現

メッセージ

プロパティパネルでの表示を、読み取り専用にする
☐

項目	説明
フィールド名	システム内で使用されるフィールド名です。半角英数のみ入力できます。ほかのフィールド名と重複しないようにしてください。
表示名	画面に表示されるタグ名です。
カテゴリ	タグをグループ化します。同じカテゴリ名のタグがグループ化されます。カテゴリを《半角スラッシュ》で区切ると階層を持たせることもできます。

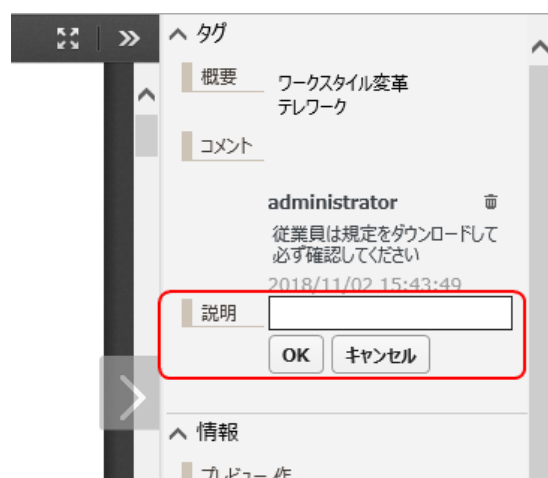
	<p>例)</p> <p>基本 概要</p> <p>基本 コメント</p> <p>注文 発行日</p> <p>注文 アクセスNo</p>
データ型	<p>文字列 / 日付 / 真偽値 / 整数値 / 浮動小数点 のいずれかを指定します。</p> <p>文字列は text_ngram / text_cjk_uni / 完全一致 / 完全一致 空白区切りから選択します。</p>
編集方式	<p>テキストボックス(標準)は、ユーザーに直接入力された場合に指定します。</p> <p>データ型を文字列に指定した場合に「選択式」を指定できます。ユーザーに選択された文字列の候補を複数指定します。</p> <p>選択式は=(半角イコール)を使用すると表示名を変更することができます。</p> <p>例)</p> <p>公開=pub</p> <p>非公開=sec</p> <p>その他=oth</p> <p>コメント追記型は、テキストを追加していくことができます。</p>
テキスト編集も可能にする	<p>選択式を指定した場合に、テキスト入力をできるようにします。</p>
複数行入力を許可する	<p>編集方式をテキストボックスにすると、値に改行を入力できるようにします。</p>
候補値(検索用)	<p>データ型が整数、浮動小数点の時に使用されます。</p> <p>値の範囲=表示名のようなフォーマットで指定します。詳細検索時に候補として選択できるようになります。</p>
入力制限	<p>文字列の場合は、正規表現による入力制限を指定できます。空白は無制限となります。</p> <p>整数、浮動小数点の場合は、最小値、最大値を設定できます。</p>
プロパティパネルでの表示を読み取り専用にする	<p>ユーザーによる変更を禁止します。</p>

文字列	説明
-----	----

text_ngram	<p>インデックス登録はファイル名検索と同じ方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全文検索（全角文字）：部分一致検索</li> <li>全文検索（半角文字）：部分一致検索（要ワイルドカード）</li> <li>型番やIDなどの1行テキストの入力に向いています</li> <li>文字量が増えるとインデックスサイズも大きくなります</li> </ul>
text_cjk_uni	<p>インデックス登録はの全文検索と同じ方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全文検索（全角文字）：部分一致検索</li> <li>全文検索（半角文字）：単語や文字列の塊</li> <li>コメントやフリーテキストの入力に向いていて長文テキストも可能</li> </ul>
完全一致	<p>インデックス登録は完全一致の方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全文検索（全角文字）：部分一致検索（要ワイルドカード）</li> <li>全文検索（半角文字）：完全一致</li> <li>自由入力を禁止し、選択肢で「分類」を入力するものに向いています</li> <li>インデックスサイズが小さいです</li> </ul>
完全一致 空白区切り	<p>上記の完全一致と異なり、空白で単語を区切ります。</p>











設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

4. ファイル/フォルダの情報パネルに追加したタグが表示されます。



## タグ一覧

ファイル一覧でタグ一覧を表示できます。

🔍 ファイルを検索										
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	概要	タイトル	表題	作成者	カテゴリ	キーワード	コメント	サイズ	更新日時	種類
<input type="checkbox"/>  IMGP0986.JPG				okd	サンプル			612 KB	2019/04/01 15:46:04	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP0991.JPG		たいとるです		okd	サンプル			601 KB	2019/04/01 15:46:04	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP0992.JPG				okd	サンプル			626 KB	2019/04/01 15:46:03	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP0994.JPG	がいようです			okd	サンプル			626 KB	2019/04/01 15:46:03	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP1004.JPG				okd	サンプル			641 KB	2019/04/01 15:46:03	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP1006.JPG				okd	サンプル			622 KB	2019/04/01 15:46:03	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP1009.JPG				okd	サンプル			623 KB	2019/04/01 15:46:03	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP1010.JPG				okd	サンプル			633 KB	2019/04/01 15:46:03	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP1011.JPG				okd	サンプル			588 KB	2019/04/01 15:46:03	jpg
<input type="checkbox"/>  IMGP1013.JPG				okd	サンプル			605 KB	2019/04/01 15:46:04	jpg

- 一覧表示されるタグの定義です。
  - 文字列型（ただし複数行入力が許可されていないもの）
  - 文字列型以外
- 列の表示順は、タグ定義の順番通りです。

## 既定プロパティから選択して追加（旧Office プロパティの有効化）する

最新版では、Office プロパティはタグに統合されます。

標準では無効化されているので、有効化するには設定が必要です。

1. 「既定プロパティから選択して追加」をクリックします。

← システム設定 ▶ タグ定義

保存する キャンセル タグインポート (CSV形式)

追加 削除 上へ 下へ 既定プロパティから選択して追加 一括編集

	フィールド名	表示名	データ型	編集方式	プロパティパネルを開覧モードで表示
<input type="checkbox"/>	tfb_description	概要	文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ
<input type="checkbox"/>	tfb_comment	コメント	文字列 (text_cjk_uni)	コメント追記型	いいえ

2. 有効にするプロパティ項目を選択します。  
Ctrl、Shiftキーで複数選択ができます。

既定プロパティから選択して追加 ✕

概要 (tfb\_description)  
コメント (tfb\_comment)  
タイトル (PID\_TITLE)  
表題 (PID\_SUBJECT)  
作成者 (PID\_AUTHOR)  
カテゴリ (PID\_CATEGORY)  
キーワード (PID\_KEYWORDS)  
コメント (PID\_COMMENTS)

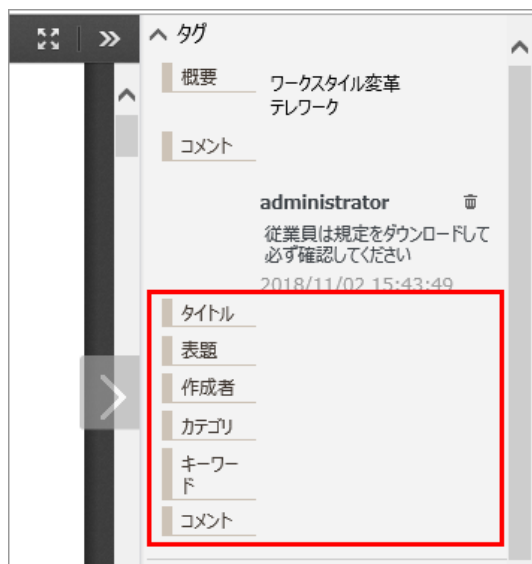
OK キャンセル

3. プロパティの行を選択すると定義内容の変更ができます。

追加 削除 上へ 下へ 既定プロパティから選択して追加 一括編集

	フィールド名	表示名	データ型	編集方式	プロパティパネルを開覧モードで表示
<input type="checkbox"/>	tfb_description	概要	文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ
<input type="checkbox"/>	tfb_comment	コメント	文字列 (text_cjk_uni)	コメント追記型	いいえ
<input type="checkbox"/>	PID_TITLE	タイトル	文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ
<input type="checkbox"/>	PID_SUBJECT	表題	文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ
<input type="checkbox"/>	PID_AUTHOR	作成者	文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ
<input type="checkbox"/>	PID_CATEGORY	カテゴリ	文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ
<input type="checkbox"/>	PID_KEYWORDS	キーワード	文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ
<input type="checkbox"/>	PID_COMMENTS	コメント	文字列 (text_cjk_uni)	テキストボックス	いいえ

4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

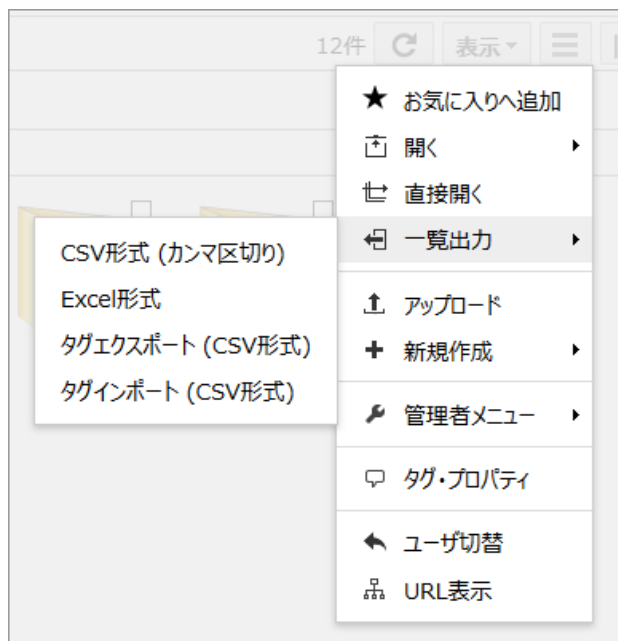


## タグ情報のエクスポート/インポート

複数ファイルのタグの値をCSV形式で一括してエクスポートしたり、反対にインポートしたりすることができます。

フォルダのファイル一覧や、検索結果の一覧で出力できます。

- 操作メニュー > 一覧出力 > タグエクスポート/インポート(CSV形式) を実行します。





## 備考

- タグエクスポート (CSV形式) で出力した CSV ファイルのフォーマットをインポートに使用します。
- CSV ファイルのエンコーディングは、ShiftJIS、UTF8 に対応しています。
- CSV ファイルには必ず「PATH列」が必要で、/ から始まる相対パスを指定する必要があります。
- 「PATH列」以外は、タグ定義にて定義された「表示名」を列名として使用します。
- 途中の行で取り込みに失敗した場合、その行以降の取り込みはキャンセルされます。
- 途中の行で取り込みに失敗した場合、その行より前の行の取り込み結果を元に戻すことはできません。
- 途中の行で取り込みに失敗する原因の例です。
  - ファイルに対してプロパティのアクセス権・書き込み権がない場合
  - 型変換に失敗した場合（真偽型に"ABC"などを設定）
  - PATH列の値が、不正な形式の場合
  - 存在しないファイルのパスを指定した場合
- 真偽型はエクスポートすると、"TRUE"・"FALSE" に変換されます。画面表示では、"はい"・"いいえ" です。
- 日付型は、エクスポートするとシステム日付形式 (jaならyyyy/mm/dd) で出力されます。インポート時には同じ形式もしくはUTC形式（例：2016-10-23T15:00:00Z）を指定できます。
- 空白値を指定した場合、そのタグ情報は削除されます（文字列型以外の場合に限ります）
- インポートが正常に完了した場合、メッセージを表示することなくダイアログが閉じられます。
- インポートに失敗するか中断された場合、エラーメッセージを表示した後にダイアログが閉じられます。CSV ファイルを修正して、再度 CSV ファイルをアップロードしてください。

### 3.6.4 画面のカスタマイズについて

ExaPadでは、画面の一部をカスタマイズすることができます。

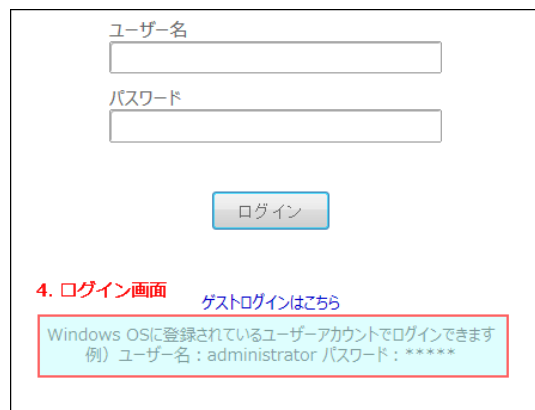
## カスタマイズできる部分

### 1. ヘッダー

2. ロゴ画像
3. フッターメニュー
4. ドキュメントルートフォルダのアイコン



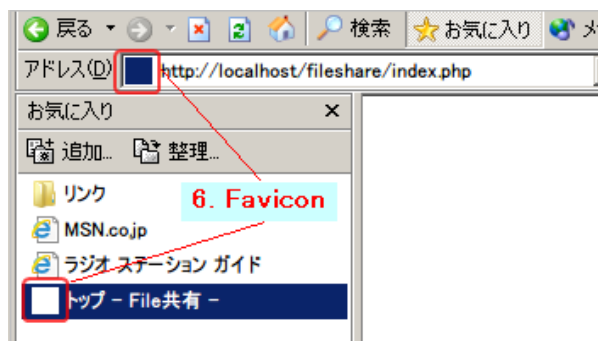
5. ログイン画面



6. モバイル端末のホーム画面用アイコン



7. Favicon (ブラウザのURLやお気に入りに表示されます)



8. 直接ファイルオープンツールのダウンロード画面

## ヘッダー (fbclient\_install\_header.html)

## 直接ファイルオープンツールのインストール・設定をお願いします

【STEP1】以下の手順によってインストールして下さい。

1. 「ダウンロード」ボタンからインストールプログラム(zipファイル)を適当なフォルダにダウンロードして、展開します。
2. 開いている全てのブラウザを終了して下さい。ブラウザが開いていると、インストールが正常に行われない可能性があります。
3. exeファイルのアイコンをダブルクリックします。
4. 画面指示に従って 直接ファイルオープンツール のインストールを行います。
5. ブラウザを改めて起動し、ファイルを選択して「直接開く」で、もう一度この画面まで来て下さい。

ダウンロード

キャンセル

## 【注】動作環境

Macintoshでは直接オープン機能は使用できません

## フッター (fbclient\_install\_footer.html)

9. 文言のカスタマイズ ( 企業名や製品名など)

10. スタイルシートのカスタマイズ ( ExaPadで使われているスタイルシートを上書きできます。)

- カスタマイズ内容は、バージョンアップしてもそのまま反映されます。
- カスタマイズしたファイルや設定は、バージョンアップ時に削除・上書きされることはありません。

## ホスト名ごとのカスタマイズ

Web サーバーに複数のホスト名が割り当てられている場合に、各ホストごとに異なるカスタマイズができます。

### 3.6.4.1 ヘッダーとロゴ画像

#### ヘッダーを編集する

1. [ インストールフォルダ ] \Data\Config\Htdocs\custom フォルダに header.php というテキストファイルを配置します。  
( custom フォルダのない場合は作成します )
2. header.php を編集します。

内容はHTML形式で自由に記述できます。

```
<h1>共有フォルダ</h1>
<span style="color:red;">
```

### 3. ファイルのエンコーディングをUTF-8（BOMなし）形式で保存します。

Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付きになるため、別のエディターアプリを使用してください。

## ロゴ画像を変更する

- [インストールフォルダ] \Data\Config\Htdocs\custom フォルダに logo.png という画像ファイルを配置します。（customフォルダのない場合は作成します）
- 標準のロゴ画像サイズは、145× 34 px です。次のURLで標準のロゴ画像を表示できます。

[トップページのURL]/img/logo.png

例）http://localhost/ExaPad/img/logo.png

- ロゴ画像はGIF形式にも対応しています。  
ファイル名、ファイル形式の優先順位は下記の通りです。

1. custom / logo.png
2. custom / logo.gif
3. custom / fblogo.gif
4. ExaPad 標準の logo.png

標準の画像サイズと極端に異なると、レイアウトが正常に表示されなくなる場合があります。

### 3.6.4.2 フッター

## フッターを編集する

1. [インストールフォルダ] Data\Config\Htdocs\custom フォルダに footer.php というテキストファイルを配置します。（customフォルダのない場合は作成します）
2. 内容は、次のテンプレートを参考にして編集してください。

```
<div class="footer-body">
```

```

<a href="http://www.broadleaf.co.jp/">BroadLeaf</a>
- <a href="http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/contact.php">お問い合わせ</a>
- <a href="about.php">ExaPadについて</a>
- <a href="http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/">ヘルプ
- <a class="menu" href="javascript:(function(){$.fb.openOptionDialog();})();">オプション</a>
- <a href="adminindex.php">システム設定
</div>
<div class="footer-bottom">
    Copyright 2000-2019 BroadLeaf Co.Ltd.
</div>

```

### 3. ファイルのエンコーディングを UTF-8（BOMなし）形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では UTF-8で保存するとBOM付きになるため、別のエディターアプリを使用してください。

## ログイン画面のカスタマイズ

1. [インストールフォルダ] Data\Config\Htdocs\custom フォルダに loginfooter.php というテキストファイルを配置します。  
( custom フォルダのない場合は作成します)
2. 内容は、次のテンプレートを参考に編集してください。(HTML タグが使用できます)

```
<p>Windows OSに登録されているユーザーアカウントでログインできます</p>
```

### 4. ファイルのエンコーディングを UTF-8（BOMなし）形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では UTF-8で保存するとBOM付きになるため、別のエディターアプリを使用してください。

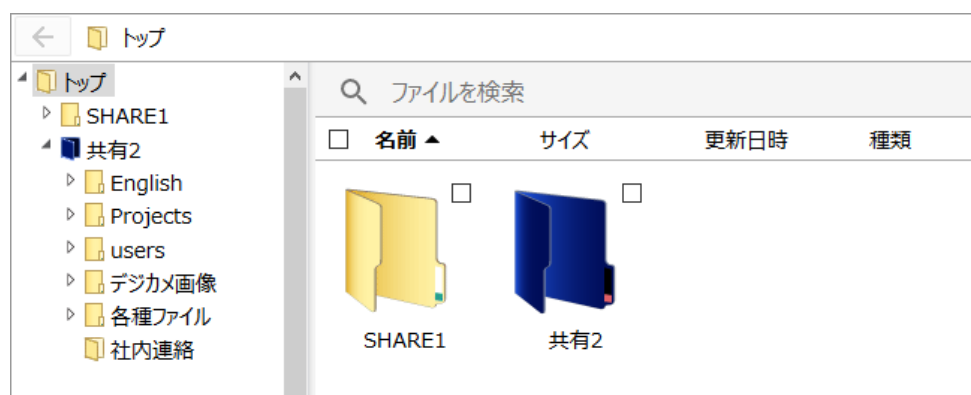
#### 3.6.4.3 フォルダアイコン

ドキュメントのフォルダアイコンを任意のアイコンに変更することができます。

ドキュメントごとく色分けしたり、デザインを変えたりすることができます。

アイコン画像ファイルは、お客様にてご用意ください。

サブフォルダのアイコンは変更できません。(各ドキュメントの1階層目のフォルダのみが対象です)



## フォルダアイコンを変更する

### アイコン用の画像ファイルについて

種類	サイズ
フォルダツリー用アイコンのサイズ	16× 16 px
サムネイル（一覧表示）用アイコンのサイズ	170× 170 px
画像ファイルの形式	.png（Portable Network Graphics）

### 設定方法について

- アイコン用の画像ファイルを用意します。（標準仕様のフォルダお3つのアイコン画像を用意しています。）
  - フォルダツリー標準アイコン
  - フォルダツリー展開用アイコン（フォルダを選択・展開したときに表示されます）
  - サムネイル（一覧表示）用アイコン
- 画像ファイルを所定のフォルダに配置します。

項目	説明
保存場所	[インストールフォルダ] \Data\Config\Htdocs\custom (custom フォルダのない場合は作成します)

項目	説明	
ファイル名  “xxxx”は任意の半角英数字（プレフィックス）です。	xxxx_icon.png	フォルダツリー（展開）
	xxxx_icon_closed.png	フォルダツリー（標準）
	xxxx_thumbnail.png	サムネイル用
	xxxx_thumbnail_large.png	サムネイル用（画像一覧 [ 大 ] ）

### 3. ExaPadの設定を変更します。

- ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般（config.ini）を開きます。



- 絞込ボックスにiconを入力して、表示されるcustom\_iconを選択します。
- ドキュメントレイトに対するアイコンを指定します。  
ドキュメントレイトのパスと 画像ファイルのファイル名をコロン（:）で結合した値を入力します。

例） /DocRoot:xxxx,/Share:yyyy

- ドキュメントレイトのパスはエイリアス名で指定します。
- ファイル名は、「任意のプレフィックス部分」を指定します。
- 複数を指定する場合は、カンマ（,）で区切ります。

### 4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

## 3.6.4.4 モバイル端末のホーム画面 /ファビコン

### iOS端末のホーム画面用アイコンを変更する



- [インストールフォルダ] \Data\Config\Htdocs\custom フォルダに apple-touch.jpg というPEG ファイルを配置します。  
（ custom フォルダのない場合は作成します）
- 標準のロゴ画像サイズは 57× 57 px です。次のURLで標準のロゴ画像を表示できます。

[トップページのURL]/img/apple-touch.jpg

例） http://localhost/ExaPad/img/apple-touch.jpg

## Faviconを変更する

[インストールフォルダ] \Data\Config\Htdocs\custom フォルダに favicon.ico という画像ファイルを配置します。（ custom フォルダのない場合は作成します）

### 3.6.4.5 ツールのダウンロード画面

## ヘッダー・フッターを編集する

### ヘッダー ( fbclient\_install\_header.html )

#### 直接ファイルオープンツールのインストール・設定をお願いします

【STEP1】以下の手順によってインストールして下さい。

1. 「ダウンロード」ボタンからインストーラプログラム(zipファイル) を適当なフォルダにダウンロードして、展開します。
2. 開いている全てのブラウザを終了して下さい。ブラウザが開いていると、インストールが正常に行われない可能性があります。
3. exeファイル のアイコンをダブルクリックします。
4. 画面指示に従って 直接ファイルオープンツール のインストールを行います。
5. ブラウザを改めて起動し、ファイルを選択して「直接開く」で、もう一度この画面まで来て下さい。

ダウンロード

キャンセル

【STEP2】二度目にこの画面に来たら

先ほどの手順で、直接ファイルオープンツールのインストールは成功しましたか？  
エラーなく終了していたら「はい」を押してください。元の画面に戻りますが、これ以降はファイルが直接開かれるようになります。

はい

キャンセル

【注】新しいブラウザを導入したら

新しいブラウザを導入する都度、本画面の手順を再度実行してください。また将来、ブラウザがバージョンアップしたり、早まって「はい」を押してしまったりで、直接ファイルオープンツールの再インストールが必要になる可能性もありますが、そのような時は、「オプション」画面から本画面を呼び出せます。

【注】動作環境

Macintoshでは直接オープン機能は使用できません

### フッター ( fbclient\_install\_footer.html )

1. [ インストールフォルダ ] \Data\Config\Htdocs\custom フォルダに次のファイルを配置します。( custom フォルダのない場合は作成します)
  - ヘッダー : fbclient\_install\_header.html
  - フッター : fbclient\_install\_footer.html
2. 内容はHTML形式で自由に編集できます。

```
<h1>直接ファイルオープンツール</h1>
<span style="color:red;">
```

3. ファイルのエンコーディングを UTF-8（BOMなし）形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付きになるため、別のエディターアプリを使用してください。

#### 3.6.4.6 その他

### 文言を編集する

1. [ インストールフォルダ ] \Data\Config\Htdocs\custom フォルダに const.php というテキストファイルを配置します。（ custom フォルダのない場合は作成します）
2. 内容は、次のテンプレートをベースに編集してください。

```
<?php
define("PRODUCT_NAME",          "ExaPad");
define("PRODUCT_MANUFACTURER",  "BroadLeaf");
define("COPYRIGHT_STRING",      "Copyright 2000-2019 BroadLeaf Co.Ltd.");
define("URL_MANUFACTURER",      "http://www.broadleaf.co.jp/");
define("URL_MANUAL",            "http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/");
define("URL_MANUAL_LOGIN",      "http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/fbmanlogin.htm");
define("URL_LICENSE",           "http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/contact.php");
define("URL_TRIAEXT",            "http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/
trialextension.php");
?>
```

例えば、PRODUCT\_NAME（製品名）と PRODUCT\_MANUFACTURER（組織名）を変更する場合は、

```
define("PRODUCT_NAME",          "ExaPad");
define("PRODUCT_MANUFACTURER",  "BroadLeaf");
```

の ExaPad と BroadLeaf の部分を編集します。他の項目についても同様です。

3. ファイルのエンコーディングは UTF-8（BOMなし）形式で保存してください。

- <?php ~ ?> の外には空白 改行を入れないで作成してください。
- Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付きになるため、別のエディターアプリを使用してください。

### スタイルシートを編集する

1. [ インストールフォルダ ] \Data\Config\Htdocs\custom フォルダに custom.css というテキストファイルを配置します。  
( custom フォルダのない場合は作成します )
2. 標準のスタイルシートはブラウザに次のURLを入力すると確認できます。

[ トップページのURL ] /main.css

例 ) http://localhost/ExaPad/main.css

## ホスト名ごとに編集する

Webサーバーに複数のホスト名が割り当てられている場合に、各ホストごとに異なるカスタマイズができます。

例えば http://hoge/ExaPad/ でアクセスするユーザーと http://foo/ExaPad/ でアクセスするユーザーとで、それぞれカスタマイズ画面を表示させることができます。

1. [ インストールフォルダ ] \Data\Config\Htdocs\custom\ホスト名 のフォルダを作成します。
2. ホスト名ごとに、それぞれのカスタマイズ用 ファイルを配置します。

- \custom\ホスト名 フォルダは、\custom フォルダの設定より優先して表示されます。
- ホスト名だけでなく IPアドレスや、ゲストドメイン名も指定可能です。
- 文言のカスタマイズ const.php はホスト名ごとにカスタマイズできません。

### 3.6.5 画像プレビューのサイズを変更する

プレビュー画面で表示する画像プレビューデータのサイズを変更することができます。

標準の画像プレビューの最大サイズは、縦横で長い方が次のように制限されています。

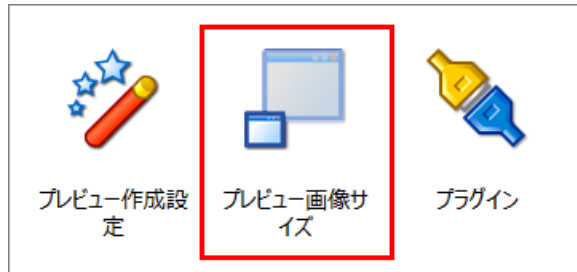
- 標準プレビュー            640ピクセル
- 拡大プレビュー           1440ピクセル

ファイル一覧のサムネイルのサイズ ( 大170px, 小100px ) は変更できません。

解像度の高いファイルが多い環境などでは、文字が小さくなり読めてしまったりする場合があります。プレビューサイズを大きくすると見やすくなります。

## 設定方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > プレビュー画像サイズを開きます。



2. 各パラメーターを変更してプレビュー画像のサイズを変更します。

絞込

パラメータ名	設定値	説明	状態
preview_l_size	640	標準プレビューのサイズ(px)を指定します。	初期値
preview_l_size_ext		標準プレビューのサイズ(px)を拡張子別に指定します。設定は拡張子1:サイズ1,拡張子2:サイズ2,..のように指定します。例)doc:2000,dwg:2880,dxf:2880。指定されていない拡張子のサイズはpreview_l_sizeになります。	初期値
preview_p_size	1440	拡大プレビューのサイズ(px)を指定します。	初期値
preview_p_size_ext		拡大プレビューのサイズ(px)を拡張子別に指定します。設定は拡張子1:サイズ1,拡張子2:サイズ2,..のように指定します。例)doc:2000,dwg:2880,dxf:2880。指定されていない拡張子のサイズはpreview_p_sizeになります。	初期値

パラメーター	説明
preview_l_size	標準プレビューのサイズを指定します。（初期値 640px）  ピクセル単位の値を入力します。
preview_p_size	拡大プレビューのサイズを指定します。（初期値 1440PX）

パラメーター	説明
	<p>ピクセル単位の値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DXF、DWG、SVGなどのCAD、ベクターファイルは preview_p_size が標準で 2560px に設定されています。</li> <li>拡大プレビューのサイズを変更する場合は preview_p_size_ext で個別に設定します。</li> </ul>
preview_l_size_ext	<p>標準プレビューのサイズを拡張子別に指定します。(px)</p> <p>[ 拡張子1 ] [ : コロン ] [ サイズ ] [ , カンマ ] [ 拡張子2 ] [ : コロン ] [ サイズ ] [ , カンマ ] ... のように、拡張子とサイズ (px) をそれぞれ指定します。</p> <p>例) doc: 2000,dwg: 2880,dxf: 2880</p> <p>指定されていない拡張子は、preview_l_size のサイズになります。</p>
preview_P_size_ext	<p>拡大プレビューのサイズを拡張子別に指定します。(px)</p> <p>設定方法は上記を同じです。</p> <p>指定されていない拡張子は、preview_p_size のサイズになります。</p>

3. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

4. 全体的またはファイル個別にプレビュー作成を実行します。(既存プレビューデータを削除してから再作成します)

- 全体的に実行する場合
  - ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況 を開きます。
  - インデックス再構築ボタンを選択して、「プレビュー抽出を行う」と同時に「削除も行う」の2つにチェックを入れて実行します。
- 個別に実行する場合
  - プレビュー画面を開いて、操作メニュー > プレビュー操作 > プレビュー再作成 を実行します。

初期値から大幅に設定値を大きくすると、プレビュー画像の容量が増えてディスク領域を圧迫する原因になります。

サイズを上げるとネットワーク環境や端末の仕様によっては、プレビューの表示に時間がかかる場合があります。

### 3.6.6 類義語検索について

ExaPadの検索は、キーワードに合致する文字列をテキスト情報として持つファイルやフォルダが検索結果として表示されます。

類義語検索機能を使用すると、類義語辞書に基づいてキーワードに関連する語句をもつファイルやフォルダの検索することができます。

なお、ExaPadは類義語辞書データを持っていないため、本機能を使用するには予め辞書の作成、登録が必要です。

## もしかして機能（サジェスト機能）について

検索結果の上部に、「もしかして…」を表示し、検索キーワードの候補を提示します。



- 表示された「もしかして…」のリンクを選択すると、選択したワードをキーワードに指定して検索が実行されます。
- 紐づくキーワードが未登録の場合は、「もしかして…」は表示されません。

## 辞書登録方法

1. [インストールフォルダ] \Data\Config のフォルダにsynonym.txt ファイル（UTF-8形式）を作成します。  
サービス再起動は不要です。
2. 1行毎に関連性をタブ区切りで入力します。
  - 一番左側の列に「もしかして…」に表示するキーワードを指定し、2列目以降に、提示するキーワードを指定します。  
\$(もしかして)TAB\$(キーワード) TAB\$(キーワード)...

GlyFX	glyph	グリフ	glyphx	icon
-------	-------	-----	--------	------

- この場合、「グリフ」や「glyph」をキーワードに検索すると、「GlyFX」が「もしかして…」に表示されます。

3. 複数の「もしかして…」を指定する場合

GlyFX	glyph	グリフ	glyphx	icon
20040919_GlyFX	glyph	グリフ	glyphx	icon

- この場合、「グリフ」や「glyph」をキーワードに検索すると、「GlyFX」と「20040919\_GlyFX」の2つが「もしかして…」に表示されます。

検索ワードの一致判定において、小 大文字、半 全角は区別されません。

## 類義語検索機能について

検索キーワードの類義語も検索結果に反映します。

たとえば、キーワード「仕事」で検索したときに、「業務」、「しごと」、「ワーク」などの類似する語句をもつファイル/フォルダも検索結果に表示されます。

## 辞書登録方法

1. [インストールフォルダ] \Data\Config のフォルダに synonyms.solr.txt ファイル (UTF-8形式) を作成します。  
サービス再起動は不要です。
2. 1行毎に関連性をカンマ区切りで入力します。

```
でんぷん デンプン 澱粉 スターチ,でん粉  
にほん にっぽん ニホン ニッポン 日本 ジャパン japan  
業務 ,しごと仕事 ,ワークwork
```

この場合、「澱粉」や「スターチ」で検索しても、「でんぷん デンプン 澱粉 スターチ,でん粉」のいずれかの語句を含むファイル/フォルダが検索結果に表示されます。

検索ワードの一致判定において、小 大文字、半 全角は区別されません。

### 3.6.7 ASCII 形式ファイルの検索について

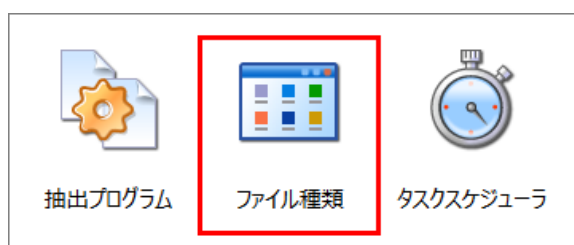
拡張子が一般的でない ASCII 形式のテキストファイル ( \*.dat, \*.bin, \*.hoge など) を、「\*.txt」ファイル同様に検索 閲覧できるようします。

## 設定方法

例として、\*.hoge ファイルをテキストファイルに指定しています。

1. ExaPad画面 > システム設定 > ファイル種類 を開きます。





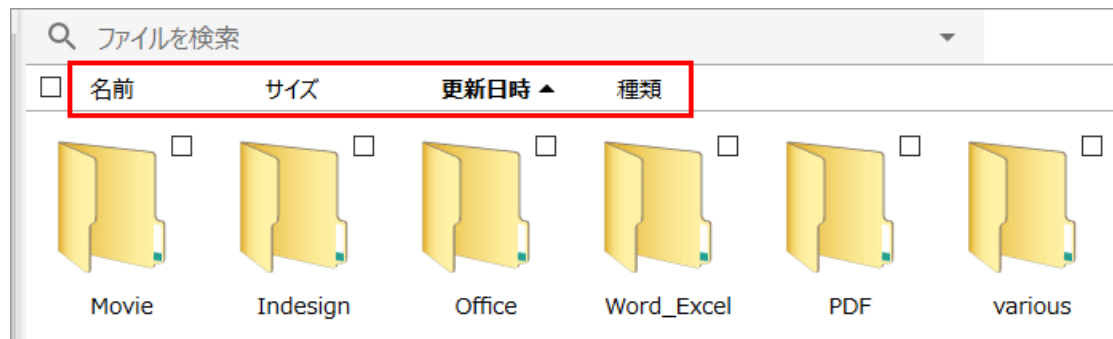
2. 「全文検索対象」に hoge を追加します。



3. 「テキスト形式 (ascii)」に HOGE を追加します。
4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

### 3.6.8 ファイル一覧の並び順を固定する

ファイルの一覧画面における一覧の並び順を固定することができます。



## 設定方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
2. 各パラメータを設定します。
3. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

## パラメータの説明

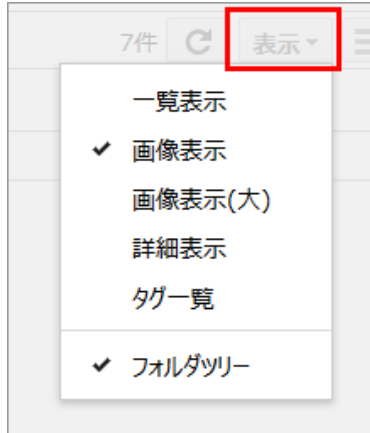
パラメーター	内容
filelist_scan_sortdescending	ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順の昇降順の設定。OFF = 昇順
filelist_scan_sortfield	ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順フィールドの設定。name、size、date、typeのいずれかを指定します。
filelist_scan_sortfix	ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順を固定する設定。OFF = 固定しない
filelist_search_sortdescending	ファイル一覧(検索結果)における標準並び順の昇降順の設定。OFF = 昇順
filelist_search_sortfield	ファイル一覧(検索結果)における標準並び順フィールドの設定。name、size、date、typeのいずれかを指定します。
filelist_search_sortfix	ファイル一覧(検索結果)における標準並び順を固定する設定。OFF = 固定しない

### 3.6.9 ファイル一覧の表示形式を変更する

ファイルの一覧画面における標準の表示形式を変更できます。

標準の表示形式とは、初めてExaPadに接続して一覧画面を開いたときの表示形式のことです。

使用中にユーザーが表示形式を変更すると、WebブラウザのCookieに状態が保存され、次回からCookieに保存されている表示形式が優先されます。



## 設定方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般 (config.ini) を開きます。
2. 各パラメータを設定します。
3. 「保存する」ボタンを選択し、「今すぐ再起動する」を選択してサービス再起動を行うと設定が反映されます。

## パラメータの説明

パラメーター	内容
filelist_scan_viewwid	ファイル一覧(検索時でない)の標準の表示形式フィールド。thumbnails、card、details、detailtagのいずれかを選択できます。ユーザーが表示形式を変更するまでの標準の表示形式です。
filelist_scan_viewwid_mobile	モバイル端末におけるファイル一覧(検索時でない)の標準の表示形式フィールド
filelist_search_viewwid	ファイル一覧(検索時)の標準の表示形式フィールド。thumbnails、card、details、detailtagのい

	ずれかを選択できます。 ユーザーが表示形式を変更するまでの標準の表示形式です。
filelist_search_viewid_mobile	モバイル端末におけるファイル一覧(検索時)の標準の表示形式フィールド

### 3.6.1 パスワード変更機能について

0

## パスワード変更機能について

ExaPadでは、Windows アカウントのパスワードを変更することができます。

Windows側でパスワード有効期限を設定しているときにExaPad画面からでもパスワードの変更ができるようにします。

パスワード変更はアクセスログに出力されます。

## パスワード変更機能を有効にする

1. ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
2. 絞込ボックスにchange を入力します。

絞込

パラメータ名	設定値	説明	状態
aspchangepassword_enabled	ON	ASPログイン時のパスワード変更を行えるようにします。	初期値
changepassword_enabled	OFF	パスワード変更を行えるようにします。初回ログイン時のパスワード変更やパスワード期限切れ時にも、ログインの直後にパスワードを変更することができるようになります。	初期値

3. changepassword\_enabled を開いて値にチェックを入れてONにします。(標準ではOFF です)

The dialog box is titled "changepassword\_enabledの設定". It contains a label "値" (Value) followed by a checked checkbox. At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

4. 設定を保存してサービスを先 けると反映されます。

## パスワードを変更する

ExaPadにログインしているユーザーは任意にパスワードを変更できます。

1. ExaPad画面 > オプション を選択します。
2. パスワード変更リンクをクリックします。

The dialog box is titled "オプション". It has a "言語" (Language) dropdown menu set to "日本語 (Japanese)". Below it, the "パスワード" (Password) section is highlighted with a red box, containing a blue "変更" (Change) link. At the bottom, there are two buttons: "設定する" (Set) and "閉じる" (Close).

3. 古いパスワードと新しいパスワードを入力します。

The form is titled "パスワードの変更". It displays the "ユーザー名" (Username) as "test1". There are three input fields for "古いパスワード" (Old Password), "新しいパスワード" (New Password), and "新しいパスワード(確認)" (New Password (Confirmation)), all highlighted with red boxes. At the bottom, there are two buttons: "変更" (Change) and "キャンセル" (Cancel).

4. 変更を選択するとパスワード変更が完了します。

## ログイン時にパスワードを変更する

Windowsのセキュリティポリシー（パスワード有効期限など）により、ログイン時にパスワード変更が必要になる場合があります。

その場合、変更画面が自動的に表示されてパスワード変更を促します。

### パスワードの変更

ユーザーは最初にログインする前にパスワードを変更しなければなりません。

ユーザー名	test1
古いパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(確認)	<input type="password"/>

## パスワードが変更できない場合

ExaPadではパスワード変更に失敗すると Windows OSが返すエラーメッセージをそのまま表示するため、原因がわかりにくい場合があります。

### エラーメッセージ例

「パスワードはパスワードポリシーの要件を満たしていません。パスワードの最短の長さ、パスワードの複雑性、およびパスワード履歴の要件を確認してください。」

このようなエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。

- パスワードに必要な文字数が不足している
- パスワードに指定できる文字数の上限を超えている
- パスワードの更新直後である
- 一意の文字が不足している
- その他、パスワードポリシーの要件を満たしていない

## 3.7 そのほかのヒント

導入時における管理者向けの内容を紹介します。

### 3.7.1 インストールできない

#### 現象

- インストーラーが実行できない、処理が途中で止まってしまうなど インストールを完了できない
- インストールが完了しても起動しない

#### 原因と対処

原因	対処
インストール権限がない	インストーラーを実行するユーザーにAdministrator権限がないと実行できません。Administrator権限を持つユーザーで実行してください。
管理者権限で実行していない	WindowsのUAC(ユーザーアカウント制御)が有効になっていると Administratorsグループに所属していても、一般ユーザーと同じ権限になっている場合があります。この場合、インストール時に管理者へ昇格するか、UACを無効にしてから実行してください。
セキュリティソフトが影響している	ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトによっては、「一時フォルダへの書き込みを制限する」「レジストリへの書き込みを制限する」「プロセスの起動を制限する」「TCP/IPポートを塞ぐ」などの機能により、インストール時の書き込み処理やExaPadの内部的な処理が阻害される場合があります。インストーラーやExaPadサーバーをセキュリティソフトの例外に追加するか、セキュリティソフトを無効化してください。
インストーラーが壊れている	インストールプログラムが壊れているかもしれません。ダウンロード時やコピー時にインストールプログラムが破損する場合があります。実行できないような場合にはインストーラーを再入手してください。

#### 原因がわからない場合

弊社サポートまでご連絡ください。

その時に次のファイルを送付していただくと、迅速な問題解決に役立ちます。（ファイルが存在しない場合はその旨もお知らせください。）

ファイル名	ファイルの場所
installer.log	[インストールフォルダ] \Data\Log\Installer\installer.log

### 3.7.2 サービスが起動しない

## 現 象

FbIndexerサービスが起動しない。

## 原 因

次の原因が考えられます。

- Windowsの設定が不完全である。
- ExaPadの設定が間違っている。
- サービスの実行ユーザーアカウントに設定されているユーザーは権限が不足している

## 原因を調べる

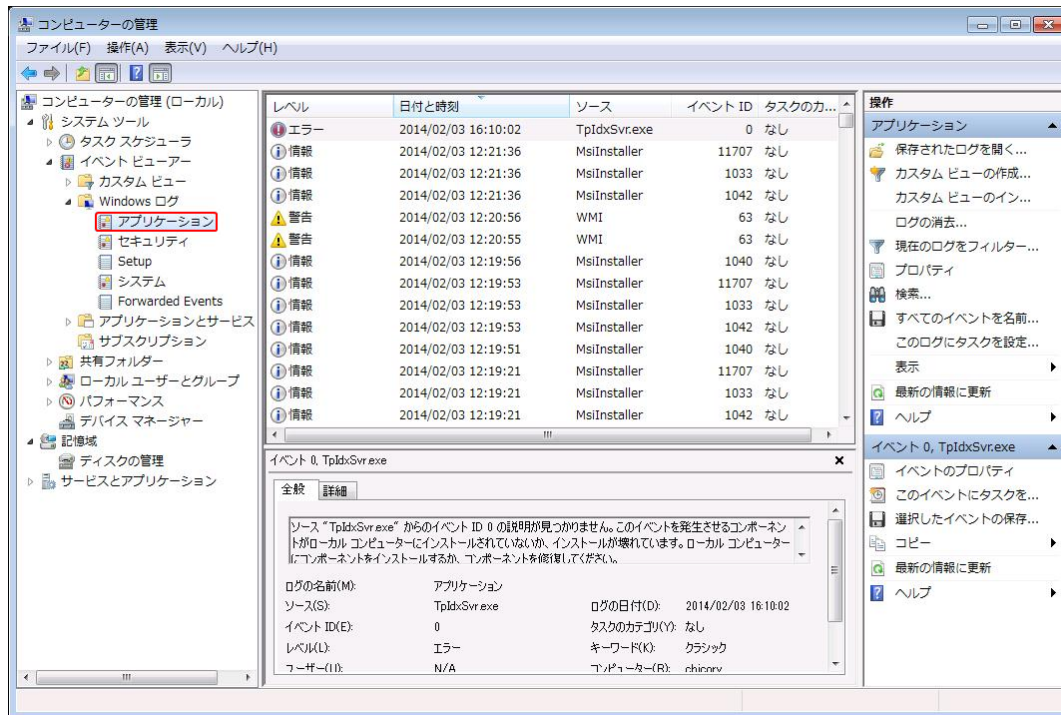
サービスの起動しない原因をbIndexerがログとして残している場合があります。

FbIndexerサービスが残したエラーログを参照する方法を説明します。

1. Windowsのイベントビューアを表示します。

Windowsで、コントロールパネル > 管理ツール > コンピューターの管理 を開きます。

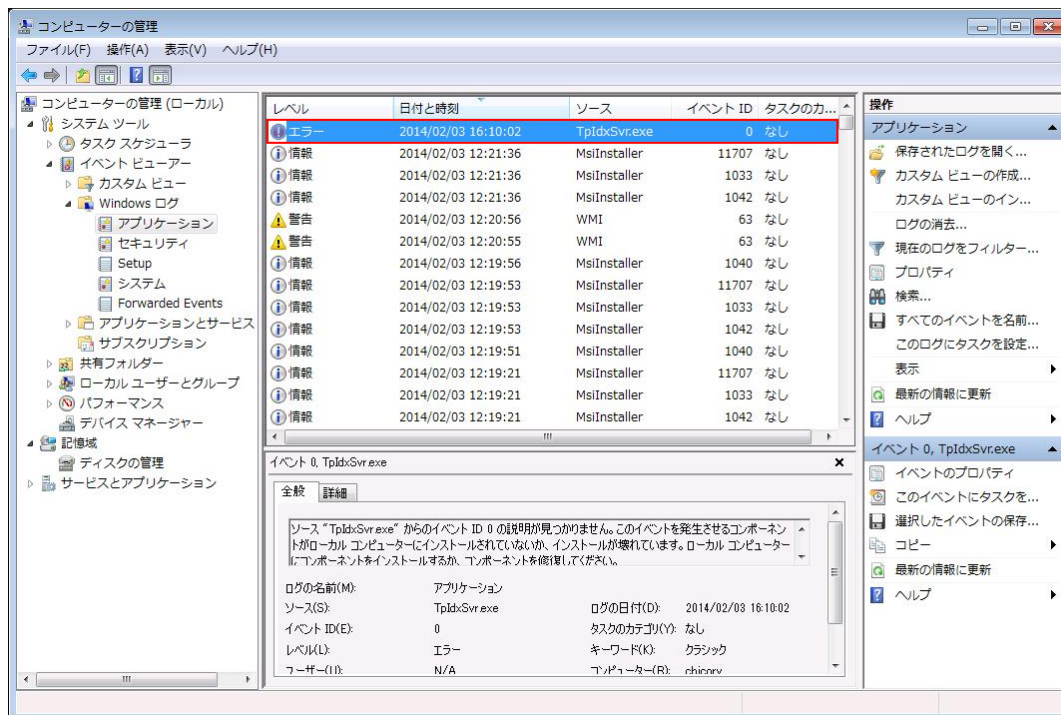




2. システムツール > イベントビューアー > Windows ログ > アプリケーション を開きます。

3. 該当するエラーを探します。

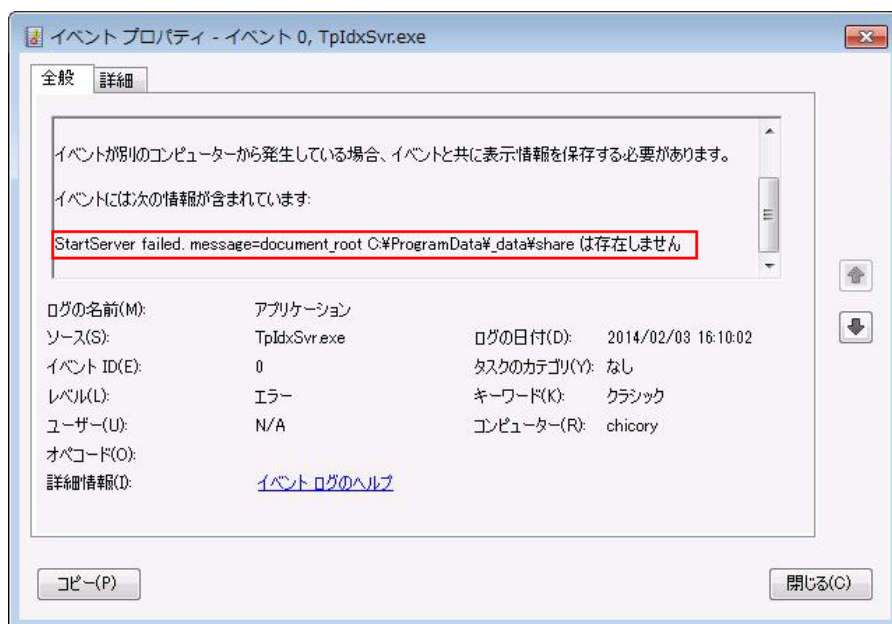
起動に失敗した時刻などをヒントに [ × エラー \*\*\*\*\* ] という行を探して選択します。



4. エラー原因を特定します。

最下行にbIndexerが出力したエラーログが表示されます。

例では、ドキュメントルート ( document\_root ) の設定が間違っているようです。



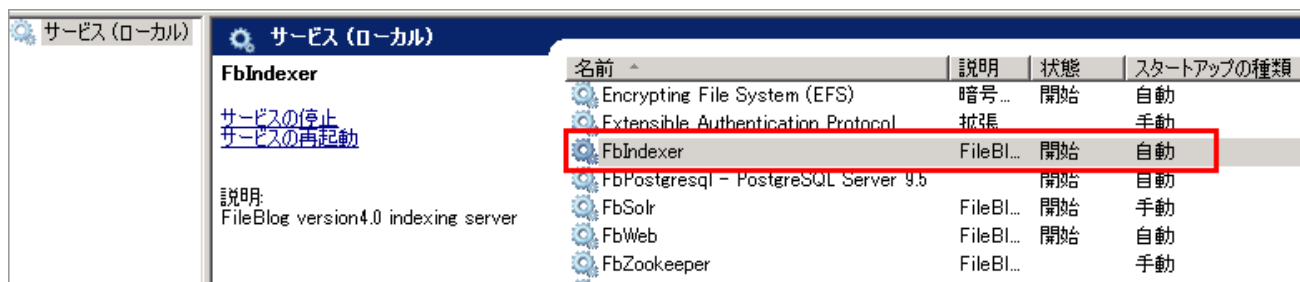
### 3.7.3 インデクサーサービスの回復

ExaPadサーバー ( Windows OS ) の再起動時に、FbIndexerサービスは自動的に起動するようになっていますが、サービスの起動に失敗する場合があります。

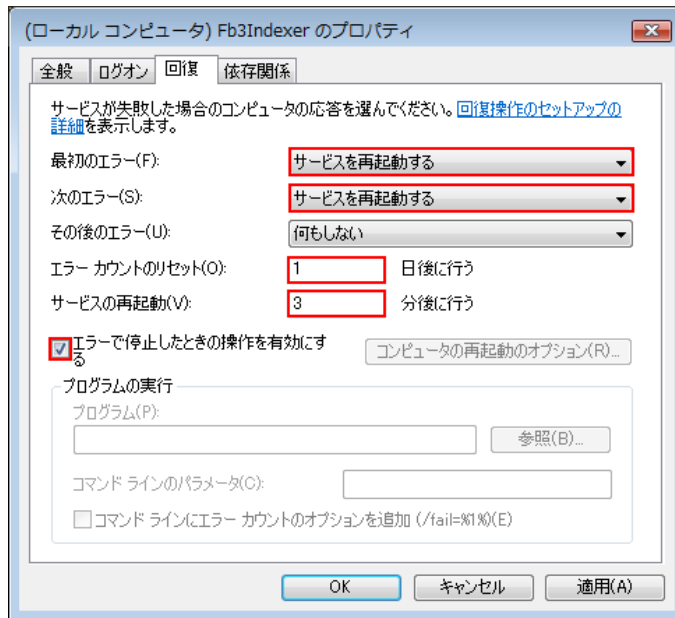
起動に失敗しても、自動的に2回、3回とサービスの起動を再試行するように設定することができます。

## サービス回復の設定方法

1. Windowsスタートメニュー > 管理ツール > サービスを開きます。  
(または、スタートメニュー > コントロールパネル > 管理ツール > サービス)



2. FbIndexerのプロパティを開きます。



- 「回復」タブを選択します。
  - 「最初のエラー」と「次のエラー」の項目を「サービスを再起動する」にします。
  - 「エラーカウントのリセット」の項目を「1日後」にします。  
ゼロに設定するとカウントのリセットが行われなため、累積で何回かエラーが発生すると二度と回復が行われなくなってしまう。
  - 「サービスの再起動」の項目で再起動までの時間を設定します。  
ここでは3分後に設定したので、サービス起動の失敗から3分後と6分後の2度、再起動が実行されます。
  - 「エラーで停止したときの操作を有効にする」にチェックを入れます。
3. FbWebサービスについても同様の設定を行うことができます。

### 3.7.4 シャットダウン・スクリプトの登録

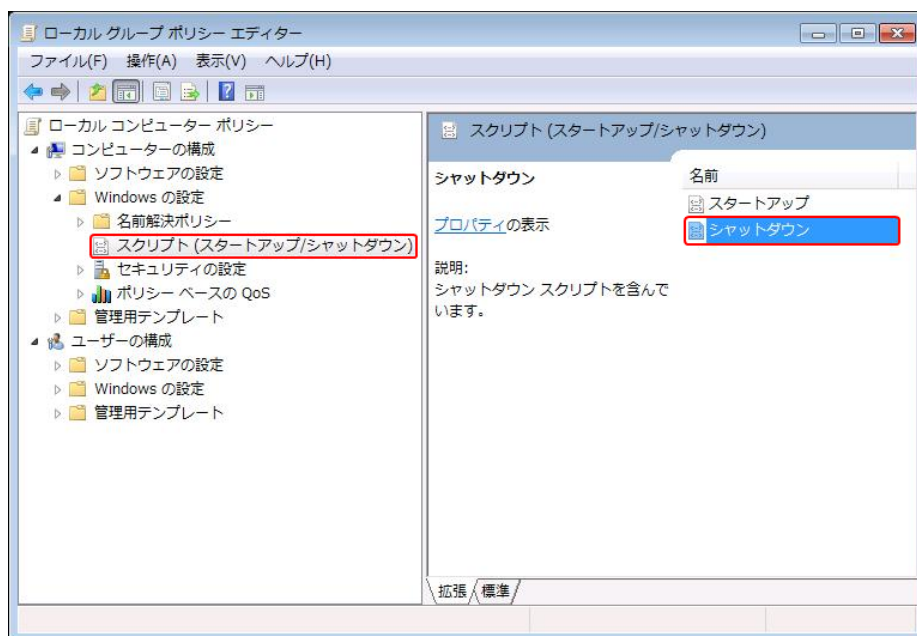
インデックス構築処理が頻繁に行われているときにWindows OSがシャットダウンされると ExaPadのサービスが30秒以内に正常に終了せず、イベントログにエラーが記録されることがあります。

30秒以内にサービスが終了しない場合でも、検索インデックスデータが破損するようなことはほとんどないため放置しても問題になりませんが、シャットダウン・スクリプトを定義することでエラーの発生を回避できます。

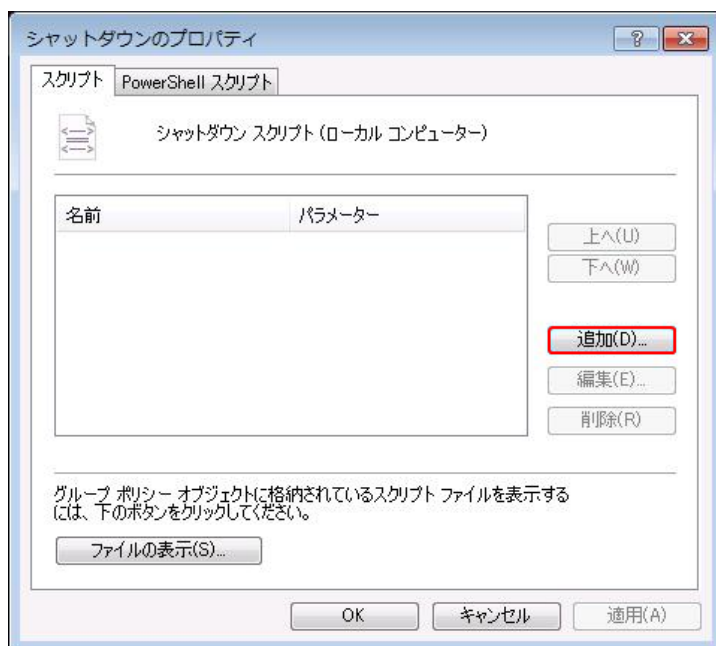
## シャットダウン・スクリプトを登録する

1. Windowsスタート > プログラムとファイルの検索 を開いて「fpedit.msc」と入力し、ローカルグループポリシーエディターを開きます。

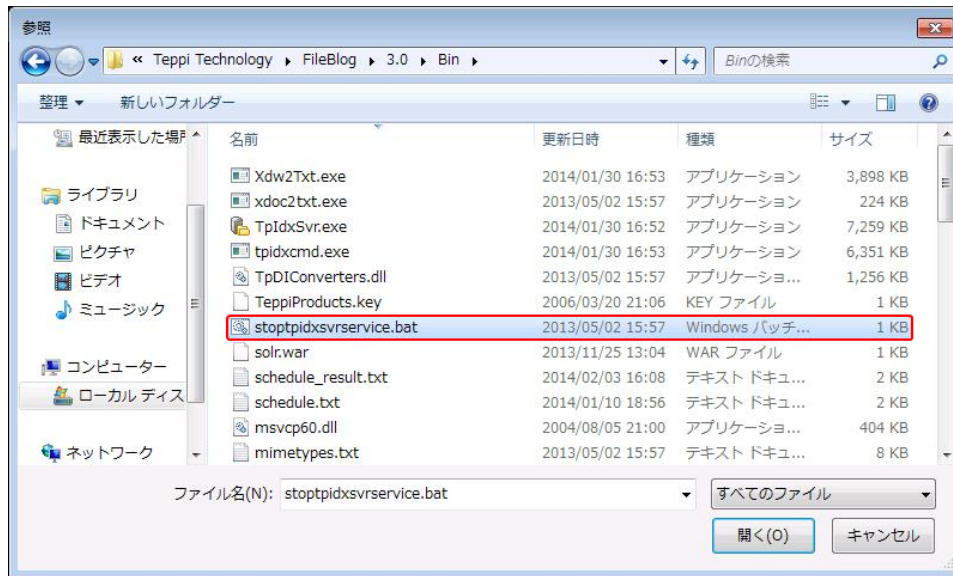
2. コンピューターの構成 > Windowsの設定 > スクリプト(スタートアップ/シャットダウン) > シャットダウン を選択します。



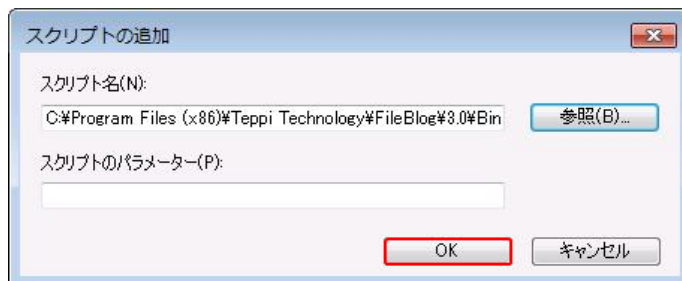
4. 「追加」を選択します。



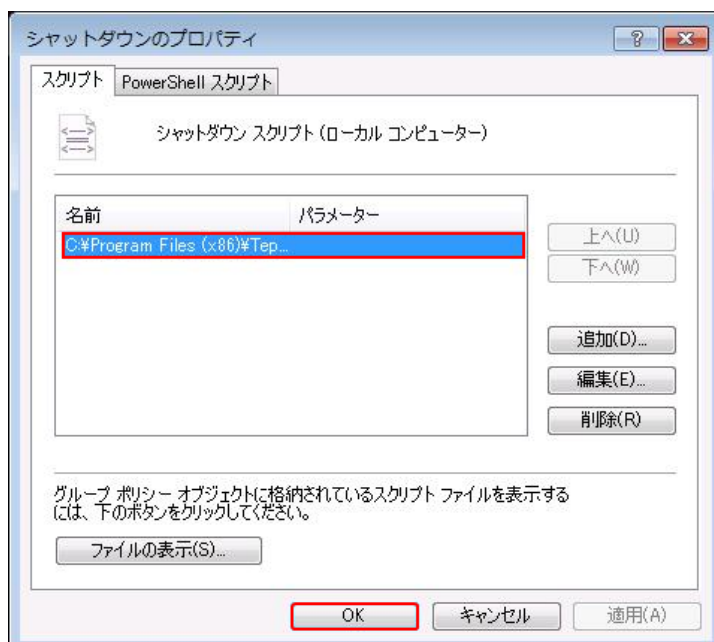
5. 参照(B)...」でファイル選択ダイアログを開きます。



6. [インストールフォルダ] \Bin\stoptpidxsrvservice.bat ファイルを選択し、OKで閉じます。  
インストールフォルダにはサンプルとして「stoptpidxsrvservice.bat」のバッチファイルが含まれています。  
サービスを停止するだけの内容ですが、そのまま使用するか、編集して使用することができます。



7. シャットダウン・スクリプトが登録されているのを確認してOKで閉じます。



8. Windows OSの環境によっては設定が反映されないことがあるため、次のコマンドを実行してグレースポリシーの設定を最新化します。  
Windowsスタート > プログラムとファイルの検索 に、GPUdate と入力して実行すると、コマンドプロンプトが起動してグレースポリシーが最新化されます。

## シャットダウン・スクリプトの実行を確認する

シャットダウン・スクリプトの設定が反映されているか確認を行います。

1. FbIndexerサービスが起動している状態で、Windows OSを再起動します。
2. Windows OSの起動後、FbIndexerの終了をログで確認します。  
[ インストールフォルダ ] \Data\Log\IdxSvrLog\idxsvr.log

成功の場合	最終行近くに、次のように終了ログが出力されていれば、正常に終了しています。( シャットダウン・スクリプトが機能しています )  time: 2019-07-26T13:41:06.536+09:00   pt: 6040.3696   lv: INFO   msg: normal end
失敗の場合	シャットダウン・スクリプトが機能せず、強制的にFbIndexerが停止されると、上記の成功ログが出力されません。

### 3.7.5 ファイルの排他的ロックについて

ExaPadサーバーがインデックス構築やプレビュー作成するとき、他のアプリケーションによってファイルが排他的にロックされていると、テキスト抽出、プレビュー作成のできない場合があります。

排他的ロックをするアプリケーションの典型的な例は、Microsoft Office関連や、コパイラ、バックアップツール、ソース管理ツール、セキュリティソフトなどです。

ExaPadにはファイルの排他的ロックにおける解決策はありませんが、以下の対応策を取ることでインデックス構築等の成功率を上げることが期待できます。

## ExaPadの対応策



## 変更検知後の抽出・登録処理を遅延させる

FbIndexerサービスがファイルの変更を検知したときに、インデックスの抽出・登録、プレビュー作成処理を一定時間遅延させます。

なお、ユーザーが明示的に抽出・登録を実行するような操作（プレビュー再作成やファイルのアップロード時など）を行ったときは遅延されません。

数秒から数分間の遅延をほむことで、他のアプリケーションがロックしているファイルが開放されるのを待ちます。

1. ExaPad画面 > システム設定 > 性能チューニングを開きます。
2. onlinequeue\_delaytime\_minutes を選択します。
3. 分単位で遅延時間を設定します。（初期値は30秒 [ 0.5 ] です。）
4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

これで、変更を検知してから指定時間経過後にインデックス構築やサムネイル作成の処理が開始されます。

## ファイルがロックされている場合に抽出を遅延させる

FbIndexerサービスがファイルの変更を検知したとき、ファイルの排他的ロックの有無をチェックしてインデックス構築を遅延させます。

ファイルが排他的ロックされている間は定期的にチェックを繰り返し、ファイルが開放された後に処理を開始します。

1. ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般 (config.ini) を開きます。
2. 絞込ボックスに filelock と入力し、filelockcheck\_extlist を選択します。
3. 排他的ロックをチェックするファイルの拡張子を改行区切りで指定します。  
例 docx  
pptx
4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

### 3.7.6 プロキシサーバーやロードバランサーからの接続について

プロキシサーバーやロードバランサー（以下まとめてプロキシサーバーと表記）を経由する接続では、ExaPadはプロキシサーバーから接続されたものとして動作します。

この状態では、アクセスログに出力されるIPアドレスや、ネットワークアドレス判定（直接ファイルを開くネットワーク判定など）が期待する動作とならない場合があります。

ExaPadでは、プロキシサーバーではなく、接続元クライアントからの接続として動作させることができます。

## 設定方法

1. ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般(config.ini) を開きます。
2. 絞込ボックスに trust を入力して、trusted-proxy を選択します。
3. プロキシサーバーのIPアドレスを指定します。
4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

### trusted-proxyの仕組みについて

HTTPヘッダの X-Forwarded-For を利用しています。

指定されたIPアドレスからの接続時に、X-Forwarded-For の一番左のIPアドレスを接続元クライアントのアドレスとして取得します。

### 3.7.7 Windowsショートカットファイルについて

## ショートカットファイルについて

ExaPadでは、Windowsのショートカットファイル（\*.lnk）に対応しています。

リンクファイルを選択すると、リンク先のファイル/フォルダにジャンプします。

ショートカットが機能するのは、リンク先がドキュメントルートフォルダに含まれる必要があります。

### ショートカットファイルの例

ドキュメントルート = C:\Docroot の場合

1. ショートカットファイルのリンク先 = C:\Docroot\sample.doc

リンク先のファイルにジャンプします。

2. ショートカットファイルのリンク先 = C:\share\test.xls



リンク先にファイルにジャンプしません。(ドキュメントルート外のファイルが指定されています)

## 共有フォルダをドキュメントルートにしている場合

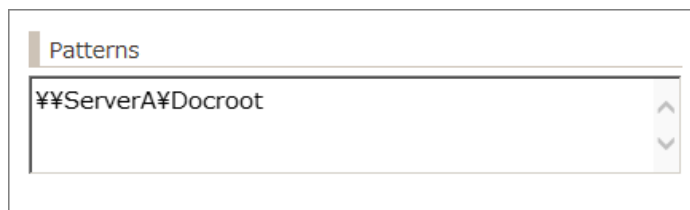
ドキュメントルートである C:\DocRoot を共有フォルダとして公開しているとき、ショートカットのリンク先が、\\ServerA\Docroot など表記されることもあります。

この場合、C:\Docroot\sample.doc では、ドキュメントルート外と判定されてしまいリンク先にジャンプすることはできません。

しかし、「ドキュメントルートパターン」を指定することで解決できます。

## ドキュメントルートパターンの指定

1. ExaPad画面 > ドキュメントルートを開きます。
2. ドキュメントルートフォルダを選択します。



3. 「pattern」にパスを登録します。

ドキュメントルート	C:\Docroot ( = \\ServerA\Docroot )
ショートカットのリンク先	\\ServerA\Docroot\sample.doc
Patterns	\\ServerA\Docroot

ExaPadサーバーは、\\ServerA\Docroot\sample.doc のショートカットを、C:\Docroot\sample.doc として扱うようになります。

4. 複数のドキュメントルートパターンを改行区切りで指定することができます。

```
\\ServerA\docroot  
\\ServerA\C$\docroot  
T:\
```

T:\ は ネットワークドライブの例です。TドライブにドキュメントルートマッピングしているPCでショートカットを作成した場合です。

### 3.7.8 ACLサーチ（高速なエンタープライズ検索）について

## ACLサーチとは

- 検索インデックスを構築するときに、アクセス権情報を含めたインデックスデータの構築を行います。
- 検索を実行するログインユーザーの権限でアクセス可能なファイルをインデックスデータのアクセス権情報をもとに検索結果として表示します。

## ACLサーチのメリット

- 検索インデックスにアクセス権情報を含めることで、検索実行時にアクセス権のあるファイルだけを高速に検索結果一覧として抽出することができます。
- ACLサーチを使用しない場合、権限の小さいユーザーが広範囲を対象に検索すると、検索結果一覧を取得しても結果のほとんどがアクセス権不足で表示できないため、ユーザーがアクセス可能な検索結果を表示する（整理する）のに時間を要します。

## ACLサーチの利用条件

ExaPadは、以下のいずれの条件において、ファイルのアクセス権を検索インデックスに格納することで高速な検索を実行されます。

1. ExaPadサーバーと、ファイルサーバーが同一のWindows Active Directory ドメインメンバーであり、ファイルサーバーのファイル/フォルダのセキュリティ設定が当該ドメインのグループに対して設定されている場合
2. ExaPadをファイルサーバー自体にインストールした場合

1、2以外の環境の場合、ACLサーチ機能を無効（OFF）にすることが必要です。

例えば以下のような環境の場合です。

- ExaPadサーバーとファイルサーバーが同一ドメインに参加していても、ファイルサーバーのローカルグループにアクセス権を付与し、そのローカルグループにドメインユーザー/ドメイングループを含めることで間接的にドメインユーザー/グループにアクセス権が与えられている。
- ExaPadサーバーまたはファイルサーバーがドメインに参加しない独立のワークグループにある。

## ACLサーチの適用範囲

- 標準設定では ACL 検索機能は有効（ON）になっています。
- Ver3.3より前のバージョンからバージョンアップすると、既存の検索インデックスにアクセス権情報は付加されません。検索インデックスを初期化して再構築する必要があります。

## ACL 検索の適用方法

ACL 検索機能が無効になっている状態から有効にして、ACL 検索機能を使用して検索できるようにする方法です。

- ExaPad画面 > システム設定 > 設定全般（config.ini）を開きます。
- 絞込ボックスにaclを入力します。

絞込

パラメータ名	設定値	説明	状態
aclsearch	ON	検索エンジンに、ACL（フォルダのセキュリティ情報）を埋め込むことで高速に検索できるようになります。※ACL検索を利用するには、ドメイン環境下、もしくはローカルフォルダをドキュメントルートにしている必要があります。※検索エンジン登録後にアクセス権がなくなった場合でも、検索後の権限チェック機構より検索にはヒットしません。ただし、検索エンジン登録後にアクセス権が付与された場合は検索にヒットしません。	初期値

- aclsearch を選択して、設定ダイアログで値にチェックをいれます。
- 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。
- [こちら](#)を参考に、インデックスを初期して再構築します。

## 3.8 導入後の運用について

定常的に確認を行うと、トラブルに早く気づくことができ対策をとることができます。

## 定常的な確認について

### インデックス構築状況の確認

インデックス構築状況を確認して、処理の残り件数が大きく増えていないことを確認してください。

- ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況 を開いて確認します。

全ての処理が完了している状態が一番安心ですが、残処理数がある場合、翌朝に残数がゼロ件あるいは大きく減少していれば問題ありません。

ExaPadサーバーの性能や残処理数によっては、翌朝になっても減少が小さい ことがあり、10万件など大量の残数のある場合はインデクサーがイングアップしている可能性があります。

その場合、放置すると検索結果に表示されるべき文書が表示されない、またはプレビューが作成されないなどの症状が発生します。

処理件数が長時間にわたって減少しないなどの状況の時はサポートまでご連絡 ください。

## 総文書数の確認

総文書数を確認してライセンス文書数の余裕を維持してください。

1. ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況 を開きます。
2. 文書数欄の「検索インデックス登録数」の取得ボタンを押して総文書数を確認します。
3. 各ドキュメントレートの「検索インデックス登録数」も確認してください。

総文書数がライセンス文書数を超過すると、それ以降は、新規ファイル等のインデックス登録処理が滞ります。

50万文書を超える場合には、検索エンジンの[ヒープメモリ割り当て容量](#)を増やす必要があります。

## ディスク容量の確認

ディスクの使用容量を定期的に確認してください。

検索インデックスデータやプレビューデータの容量は、利用するにつれて肥大化する傾向があります。

大量ファイルのアップロード・ダウンロード実行時は一時ファイル領域に大きな容量が必要のため、ディスク容量に余裕がないと操作がエラーとなる可能性が発生します。

ディスク容量が不足する前に、インデックスデータやプレビューデータ等を余裕のあるドライブへの再配置を行なってください。

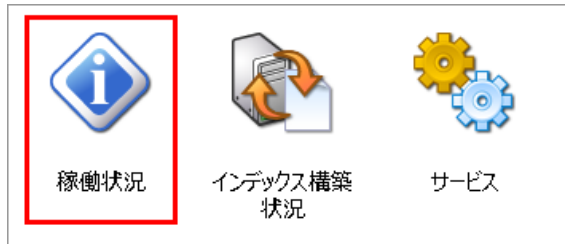
### 3.8.1 稼働状況について

稼働状況の画面では、サーバーの環境・状況の情報の確認や、その情報をサポートへ送信することができます。

トラブルが起きたときには、この稼働状況の情報がとても役立つので、サポートへ送信をお願いいたします。

## 稼働状況を開く

1. ExaPad画面 > システム設定 > 稼働状況 を開くと 次のような画面が表示されます。



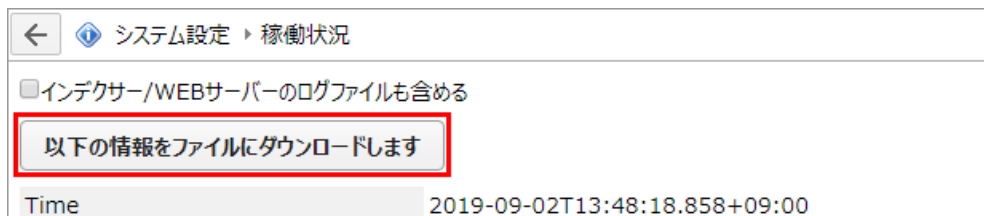
2. オンデマンドでサーバーの情報の取得するため、表示には時間を要する場合があります。  
ExaPadの情報や、ホストマシンの情報を取得して表示します。



## 稼働状況を送信する

サポートにおいて稼働状況の提出を依頼された場合には、以下の方法で送信してください。

1. ExaPad画面 > システム設定 > 稼働状況 を開く
2. 「以下の情報をファイルにダウンロードします」のボタンを選択します  
「インデクサー/WEBサーバーのログファイルも含める」にチェックを入れるとログファイルも同時にダウンロードされます。



3. Zipファイルがダウンロードされるので、必要に応じて内容を確認してください。  
稼働状況の一部には (idxsvrのログファイルなど)、ドキュメントルート以下のファイルパスが含まれることがあります。

4. EメールでZipファイルを添付して送信してください。

### 3.8.2 サービスの開始と停止

ExaPadでは、サービス（常駐プログラム）が稼働しています。（[サービスについてはこちら](#)）

設定変更を行ったときなどはサービスの再起動が必要です。

サービスは、Web管理画面と管理ツールのどちらからも操作できます。

## Web コンソール（システム設定）で操作する

ExaPad画面 > システム設定 > サービス を開きます。

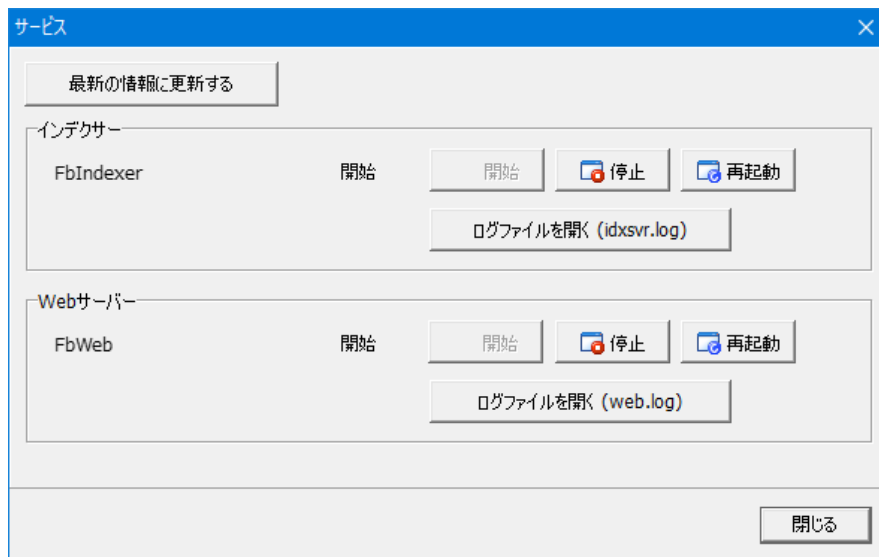
← システム設定 ▶ サービス					
サービス	状態	操作		アカウント	ログファイル
 インデクサー（FbIndexer）	開始	<button>停止</button>	<button>開始/再起動</button>	<a href="#">設定</a>	<a href="#">ログファイル (idxsvr.log)</a>
 Webサーバー（FbWeb）	開始	-	<button>再起動</button>		<a href="#">ログファイル (web.log)</a>

項目	説明
サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>「インデクサー（FbIndexer）」が停止すると、インデックス構築や検索、プレビュー作成が機能しません。</li><li>「Webサーバー（FbWeb）」が停止すると、ExaPadへの接続ができなくなります。</li></ul>
状態	<ul style="list-style-type: none"><li>「開始」になっているとサービスは稼働状態です。</li><li>「停止」になっているとサービスは停止状態です。</li></ul>
操作	サービスの開始、停止、再起動を実行します。
アカウント	「設定」を選択すると、インデクサー（FbIndexer）の実行ユーザーアカウントを設定する画面に移動します。
ログファイル	「ログファイル」を選択すると、ログファイルがダウンロードされます。

## 管理ツール（コンソールアプリ）で操作する

FbWebが停止しているときは管理ツールをご使用ください。

ExaPad管理ツール > サービス を開きます。



項目	説明
最新の情報更新する	このボタンを選択すると、最新の「状態」に更新されます。
サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>「インデクサー（FbIndexer）」が停止すると、インデックス構築や検索、プレビュー作成が機能しません。</li><li>「Webサーバー（FbWeb）」が停止すると、ExaPadへの接続ができなくなります。</li></ul>
状態	<ul style="list-style-type: none"><li>「開始」になっているとサービスは稼働状態です。</li><li>「停止」になっているとサービスは停止状態です。</li></ul>
操作	サービスの開始、停止、再起動を実行します。
ログファイルを開く	「ログファイルを開く」を選択すると、ログファイルを開きます。

### 3.8.3 運用ログについて

## 運用ログの種類

運用ログはアクセスログとは違い、インデクサー（FbIndexer）の稼働中に自動で出力されます。

各運用ログの出力フォルダは、[インストールフォルダ] \Data\Log\IdxSvrLog です。

ログファイル名	説明	プログラム
crawler.log	インデックス構築処理のために、ドキュメントルート以下のすべてのフォルダ・ファイルをスキャンします。ログファイルには、スキャンした結果のファイル数およびフォルダ数が出力されます。この数は除外設定が考慮されています。	FbCrawler.exe
housekeeper.log	古いログファイルや一時作成ファイルを削除します。ログファイルには、特に重要なログは出力されません。	FbHouseKeeper.exe
idxsevr.log	ExaPad本体のログファイルです。5分おきに稼働状況（各ジョブの残数と最終実行日時）が出力されます。	TpIdxSvr.exe
monitor.log	ドキュメントルートのファイルの変更を監視しています。ドキュメントルートフォルダが見えなくなった場合にエラーメッセージが出力されます。	FbDirMonitor.exe
preview.log	FbPreviewSvr.exeにリクエストを送ります。ログとして活用する機会は少ないでしょう。	FbPreviewExtractor.exe
previewsvr.log	ファイルからプレビューを抽出します。ログファイルには、抽出に失敗したファイルパスが出力されます。	FbPreviewSvr.exe
solr.log	検索エンジン（Solr）への登録・削除を行います。ログファイルには、検索エンジンのメモリ不足が発生したときなどに、エラーメッセージが出力されます。	FbSolrProxy.exe
solrservice.log	java.exeプロセスをリダイレクトしています。ログとして活用する機会は少ないでしょう。	FbSolrService.exe
text.log	ファイルから本文テキストを抽出します。ログファイルには、抽出に失敗したファイルパスが出力されます。	FbTextExtractor.exe
tpi.log	抽出したテキストやプレビューファイルをプレビュー保存フォルダに配置します。ログファイルには、特に重要なログは出力されません。	FbTpiProxy.exe



### 3.8.4 アクセスログについて

## アクセスログの出力フォルダ

[インストールフォルダ] \Data\AccessLog\Log のフォルダに YYYYMMDD \_u.log というファイルが1日につき1つ出力されるようになっています。

名前	更新日時	種類	サイズ
20190726_u.log	2019/07/26 14:57	LOG ファイル	1 KB
20190729_u.log	2019/07/29 15:53	LOG ファイル	13 KB
20190730_u.log	2019/07/30 20:58	LOG ファイル	1 KB
20190731_u.log	2019/07/31 19:44	LOG ファイル	1 KB
20190801_u.log	2019/08/01 20:49	LOG ファイル	1 KB

ファイル名	20190925_u.log（YYYYMMDDの日付が入ります）
ファイルエンコーディング	UTF8 BOM付き
ファイルフォーマット	LTSV形式（「名称:値」がタブ区切りで連続します）

## アクセスログの読み方

### ログの仕様

操作につき1行が出力されます。

各行は、タブ区切りで以下に示す項目から構成されます。

列名	必ず出力	説明
time		操作日付
ip		クライアントのIPアドレス
user		ユーザーID
event		操作名
useragent		クライアントのユーザーエージェント
path		アクセスしたファイルやフォルダ（ファイルやフォルダの操作時に出力）

newpath		コピー先、移動先、ファイル/フォルダ名の変更先のパス（コピー、移動、名称変更時に出力） 例） /DocRoot/dstdir/foo.docx
tpipath		プレビューファイルのダウンロード ダウンロードビュー時に出力 例） /sbc.pdf
query		検索式（検索時に出力） 例） title: あいうえお
hitcount		検索ヒット数（検索時に出力） 例） 124414
page		プレビュー閲覧で2ページ目以降を表示した場合のページ数（プレビュー閲覧時に出力） 例） 3
message		ログイン、コピー、移動などの失敗時にその原因を出力

## ログの出力例

```
time:2019-07-17T15:39:00.417+09:00    ip:127.0.0.1    user:User1    event:show-file
useragent:Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; Win64; x64) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko)
Chrome/75.0.3770.100 Safari/537.36path:/DocRoot/001.doc
```

## イベント（操作）の種類

基本的にはVer3.16以前の旧仕様と同じですが、Ver4.0で変更された部分もあります。

1. イベント（操作）名が英語表記になりました。

Ver4.0		Ver3.16以前	
通常	拒否	通常	拒否
upload	[denied]upload	アップロード	拒否 - アップロード
session-time-out	—	セッションタイムアウト	—

download	[denied]download	ダウンロード ( misc列 = download)	拒否 - ダウンロード ( misc列 = download)
download-view	[denied]download-view	ダウンロード ( misc列 = view)	拒否 - ダウンロード ( misc列 = view)
create-directory	[denied]create-directory	ディレクトリ作成	拒否 - ディレクトリ作成
delete-directory	[denied]delete-directory	ディレクトリ削除	拒否 - ディレクトリ削除
change-password	[denied]change-password	パスワード変更	拒否 - パスワード変更
copy	[denied]copy	ファイルコピー	拒否 - ファイルコピー
move	[denied]move	ファイル移動	拒否 - ファイル移動
overwrite-file	[denied]overwrite-file	ファイル更新	拒否 - ファイル更新
create-file	[denied]create-file	ファイル作成	拒否 - ファイル作成
delete	[denied]delete	ファイル削除	拒否 - ファイル削除
show-file	[denied]show-file	ファイル参照	拒否 - ファイル参照
rename	[denied]rename	ファイル名変更	拒否 - ファイル名変更
logout	—	ログアウト	—
login	[denied]login	ログイン	拒否 - ログイン
set-property	[denied]set-property	拡張属性変更	拒否 - 拡張属性変更
search	—	検索	—

download-view イベントが増えました。PDF ファイルをPDF.jsビューアでブラウザ内に表示したり、HTML ファイルから参照される画像のダウンロード時に出力されるイベントです。純粋なダウンロード操作 (download) と区別する目的で設置されました。

## ファイルシステムパスについて

ExaPad内で使用される独自のファイルパス形式を「ファイルシステムパス」と呼んでいます。

アクセスログに出力されるパス情報は、ファイルシステムパス形式です。

- ファイルシステムパスは次のルールに従って表記されます

```
'/' + [エイリアス名] + '/' + [ドキュメントルートからの相対パス]
```

相対パスの区切り記号は半角スラッシュです。

- 例えば、ドキュメントルートが C:\Share、エイリアスが SH1 に設定されている場合、C:\Share\hoge.txt は次のように表記されます。

```
/SH1/hoge.txt
```

- ファイルシステムパスを使用すると、ドキュメントルートの実際のパスが変更された場合にもExaPadは同じパスのまま使用できるというメリットがあります。

## アクセスログが出力されない操作

ファイルの一覧表示（ブラウズのみ）や、システム設定の操作などはアクセスログに出力されません。

## ログファイルのCSV変換ツールについて

Ver4.0のアクセスログファイルはCSV形式ではないため、Excelなどで表示して活用するのは不便です。

そこで変換ツールを用意しました。

1. 次のコマンドを実行すると、アクセスログフォルダ以下の全アクセスログファイルをCSVフォルダにCSV形式に変換して保存します。

```
[インストールフォルダ]\bin\FbCmd.exe accesslog tocsv
```

2. 出力先フォルダはこちらです。

```
[インストールフォルダ]\Data\AccessLog\Log\csv
```

## 古いアクセスログの削除

一定の期間が過ぎたログファイルはExaPadサーバーによって定期的に自動削除されます。

ExaPad画面 > システム設定 > アクセスログ > accesslog\_duration で保存期間（日数）を変更できます。

標準では150日間の保存です。

### 3.8.5 インデックス再構築と初期化について

手動でインデックス再構築の処理を実行する手順と、インデックスをゼロから再構築するためのインデックス初期化の手順です。

インデックス再構築を実行すると、未登録ファイルのインデックス登録や、不要なインデックスデータの削除が行われてインデックスデータが最新化されます。

ドキュメントルートフォルダの変更や、除外設定の追加などによる登録済みインデックスの半数以上の再構築を要するような場合、インデックスを初期化してゼロから再構築した方が早いこともあります。

## インデックス再構築の種類

### インデックス/プレビューの再構築

- インデックスに未登録のファイル/フォルダのテキストデータを抽出してインデックスに登録します。
- 登録済みのインデックスデータが古くなっているファイル/フォルダの最新テキストデータをインデックスに登録し直します。
- プレビューが未作成、または作成済みプレビューが古いファイルのプレビューデータを作成します。
- この処理は標準設定の定期実行タスクとして「毎土曜日 AM2:00」に登録されていますが、必要に応じて手動で実施してください。

### インデックス/プレビューの掃除

- 存在しないファイルが検索されてしまう場合、インデックスの掃除を行うとインデックスデータが更新され、不要なインデックスデータが削除されます。
- 存在しないファイルのプレビューデータを削除します。
- この処理は標準設定の定期実行タスクとして登録されていますが、必要に応じて手動で実施してください。
  - インデックスの掃除 偶数月の第2日曜日 AM2:00
  - プレビューの掃除 奇数月の第2日曜日 AM2:00

## インデックス再構築の実行方法

インデックス/プレビューの再構築と掃除は同じ手順で実行することができます。

### 全体またはドキュメントルートを対象に指定して実行する

1. ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況を開きます。

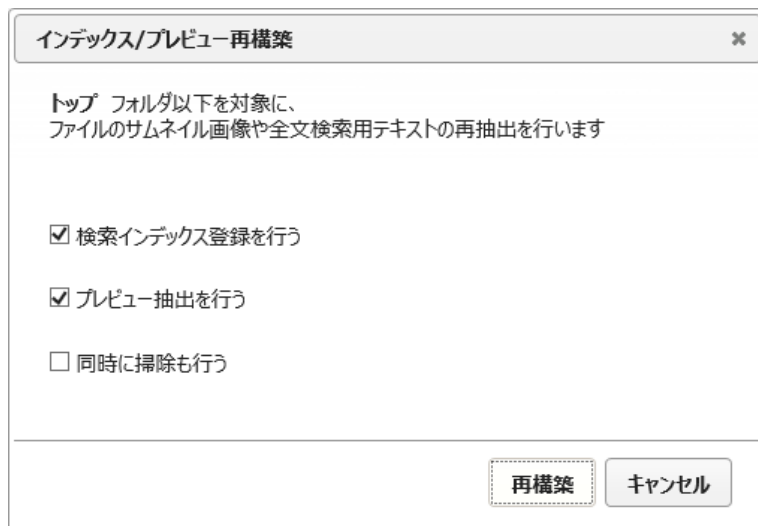


2. インデックス再構築を実行します。

- 全体を対象にする場合は、そのまま「インデックス再構築」ボタンを選択します。
- 実行対象のドキュメントルートを選択する場合には、ドキュメントルートにチェックを入れてから「インデックス再構築」ボタンを選択します。



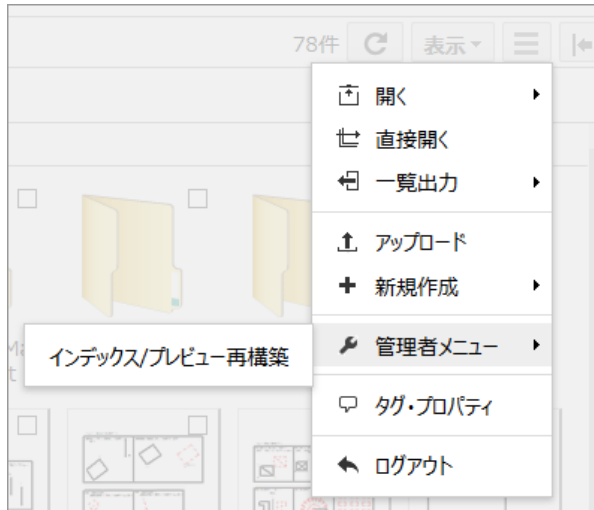
3. 実行する処理にチェックを入れて「再構築」ボタンを選択すると処理が実行されます。



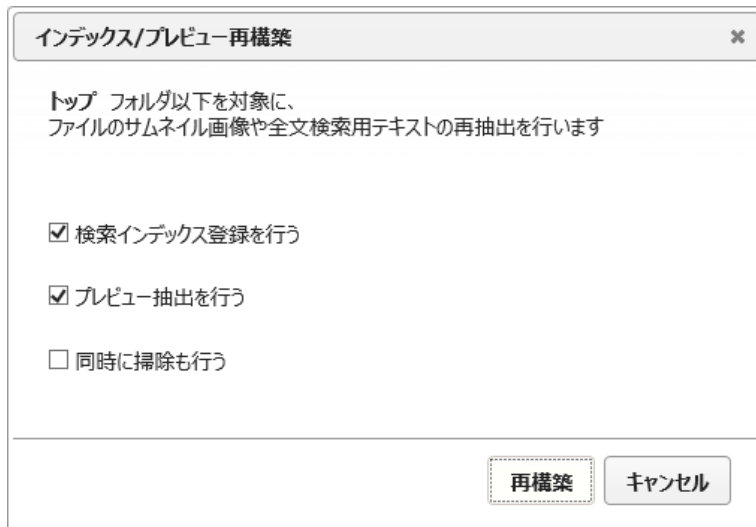
- 検索インデックス登録を行う      インデックスデータの更新を行う場合にチェックを入れます。
- プレビュー抽出を行う      プレビューデータの更新を行う場合にチェックを入れます。
- 同時に削除も行う      不要なインデックス/プレビューデータの削除を行う場合にチェックを入れます。

## 対象フォルダを指定して実行する

1. 操作メニュー > 管理者メニュー > インデックス/プレビュー再構築 を開きます。
  - a. ExaPad画面で対象にするフォルダを開き、右上のファイルボタンを選択して操作メニューを展開します。
  - b. ExaPad画面で対象をフォルダを右クリックして操作メニューを展開します。



4. 実行する処理にチェックを入れて「再構築」ボタンを選択すると処理が実行されます。



## インデックス再構築の進捗を確認する

インデックス再構築に実行後、処理の進捗を確認することができます。

1. ExaPad画面 > ステム設定 > インデックス構築状況 を開きます。



2. ステータスの欄に進捗が表示されます。

処理中					
再表示	インデックス再構築	インデックス同期	すべてのジョブをキャンセル	エクスポート	絞込 <input type="text"/> 処理中のみ <input type="checkbox"/>
ドキュメントルート	カウント	検索インデックス登録数	取得	ステータス	最終スキャン日時
<input type="checkbox"/> 共有	1,670	取得		すべて 処理が完了しています	2019/03/19 15:47:10
<input type="checkbox"/> 共有 2	1,213	取得		すべて 処理が完了しています	2019/03/19 15:47:14
<input type="checkbox"/> TEMP	-	取得		すべて 処理が完了しています	未スキャン

3. インデックスの同期が行われるとインデックス登録が完了します。同期は検索エンジンによって定期的に自動処理されますが、手動で実行することもできます。

同期を手動で実行する場合には、「インデックス同期」ボタンを選択します。

## インデックスを初期化する

1. ExaPad画面 > システム設定 > Solr(検索エンジン) を開きます。

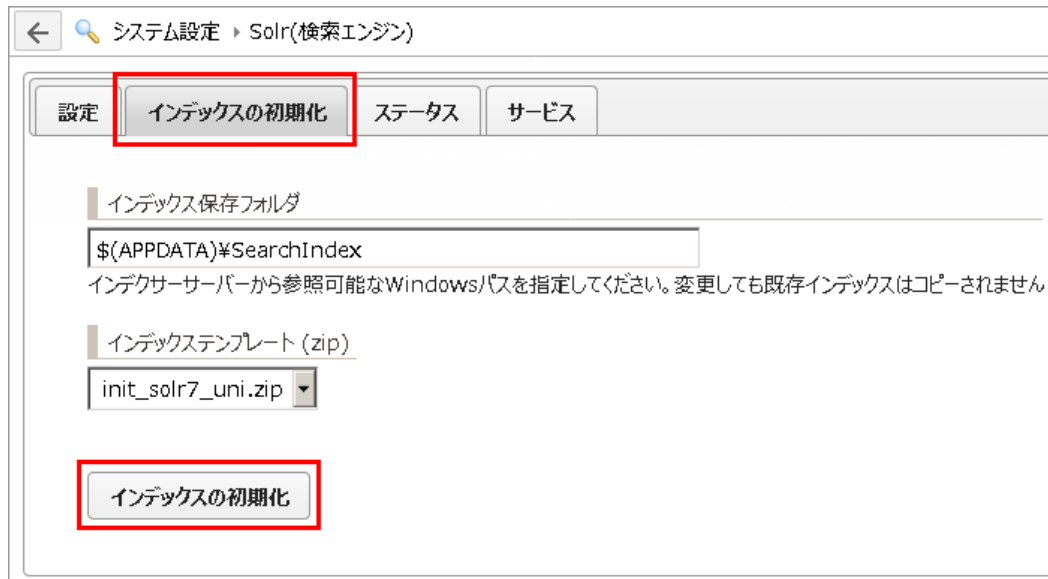


2. 「サービス」タブを開いて、Solrサービスを停止させます。





3. 「インデックスの初期化」タブを開いて、「初期化ボタン」を選択して初期化を実行します。



4. 「サービス」タブを開いて、Solrサービスを開始させます。
5. インデックス再構築を行なってください。

## ドキュメントレート毎の処理件数を集計する

「フォルダスキャン」検索 インデックス登録 処理のログファイルから、ドキュメントレート別の処理時間、処理件数を集計してテキストファイルとしてダウンロードできるようになりました。

1. ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況 を開きます。



2. 稼働状況欄の「ドキュメントレート集計」を選択するとファイルがダウンロードされます。

## 稼働状況

Fb3Indexerサービス	稼働中			ログファイル ジョブ進捗数のみを抽出
フォルダスキャン	稼働中	一時停止	ジョブのキャンセル	ログファイル ドキュメントルート集計
変更検知	稼働中		ジョブのキャンセル	ログファイル
プレビュー/テキスト抽出 サーバー	稼働中			ログファイル
テキスト抽出	稼働中	一時停止	ジョブのキャンセル	ログファイル
プレビュー抽出	稼働中	一時停止	ジョブのキャンセル	ログファイル
TPI処理	稼働中	一時停止	ジョブのキャンセル	ログファイル
検索インデックス登録	稼働中	一時停止	ジョブのキャンセル	ログファイル ドキュメントルート集計

### 3.8.6 バックアップについて

ExaPadシステムが生成するデータやその保存領域のバックアップについて説明します。

## 設定ファイル・プロパティデータのバックアップ

### 設定ファイル

システムの設定情報が登録されているファイル群です。

設定ファイル群は定期的（毎週土曜AM1:50）にエクスポートするように標準設定されているので、エクスポート先のフォルダをバックアップしておくことをおすすめします。

エクスポート先フォルダ（標準）： [インストールフォルダ] \Data\Backup

バックアップしておいた設定ファイルをインポートすることによって、以前の設定環境を復元できます。

### プロパティデータ

ExaPadで登録されたタグ情報（プロパティデータ）は、元の各ファイル/フォルダのあるNTFSファイルシステムの代替データストリーム領域に保存されます。

基本的にはファイルサーバー（NTFSファイルシステム）をバックアップしておくことで、代替データストリーム領域（タグ情報）もバックアップされるはずですが、バックアップツールやバックアップコマンドの仕様によっては代替データストリーム領域がバックアップ対象に含まれないことがあります。

そのため、タグ機能を使用して多くのファイル管理をしている場合には、プロパティデータもバックアップしておくことをおすすめします。

プロパティデータは標準で定期的（毎週土曜AM2:15）にエクスポートするように設定されています。

エクスポート先フォルダ（標準）： [インストールフォルダ] \Data\Backup

## 定期タスクの設定変更

スケジュールの変更方法は[こちら](#)をご参考になしてください。

1. ExaPad画面 > システム設定 > タスクスケジューラを開きます。
2. 既存の設定を選択します。
3. 「スケジュール」タブを開いてスケジュールを編集します。
4. 設定を保存してサービスを再起動すると反映されます。

## インデックスデータ・プレビューデータのバックアップ

インデックスデータとプレビューデータは、ファイルサーバーのデータさえ残っていれば後からでも再構築ができます。

大規模環境においては再構築処理にそれなりの時間を要するため、インデックス/プレビューデータをバックアップしておくことで万一のときのダウンタイム期間を短縮するのに役立ちます。

- インデックスデータの保存フォルダ（標準）： [インストールフォルダ] \Data\SearchIndex
- プレビューデータの保存フォルダ： ドキュメントレート設定して指定したプレビュー保存フォルダ

## ドキュメントレート（ローカルフォルダ）のバックアップ

ExaPadをインストールしたWindowsサーバーのローカルフォルダにファイルを保存して共有していたり、ドキュメントレートに指定していたりする場合には、そのフォルダもバックアップしておくことをおすすめします。

### 3.8.7 ユーザー数ライセンスの消費数について

ExaPadのライセンスは、ユーザー数と文書数で使用上限を設けています。

一定期間にログインするユニークなユーザーの数がライセンス上限に達すると、次にログインを試みるユニークユーザーは上限超過のためログインができなくなります。

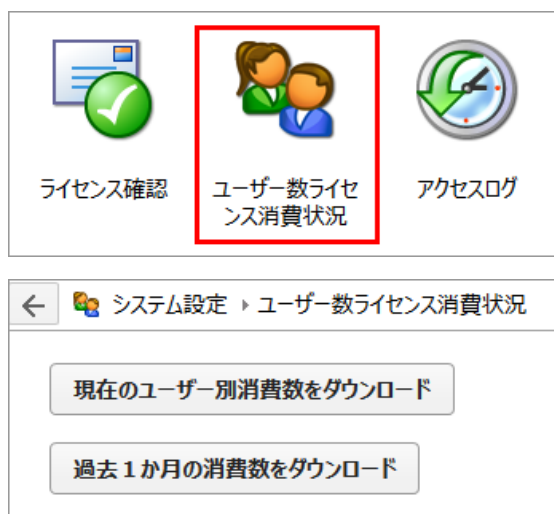
ユーザー数ライセンスの消費数を以下の方法で確認することができます。

## ユーザー数ライセンスの消費数の定期出力について

- Webサーバーを起動させておくと、1時間に1回の間隔でユーザー数ライセンスの消費数を出力します。
- 出力ファイル： [ インストールフォルダ ] \Data\Log\UserLicenseLog\yyyymmdd.log
- ログファイルはタブ区切り形式で、1列目が出力日時、2列目がユーザー数ライセンス消費数です。

## 現在のユーザー数ライセンスの消費状況を出力する

ExaPad画面 > システム設定 > 最新アクセスセッションを開きます。



## 現在のユーザー別消費数をダウンロード

- 現在のユーザー別消費数をダウンロードを選択すると、消費数を出力したCSVファイルがダウンロードされます。
- CSVファイルの出力例

UserID (ユーザーアカウント名)	CountConsumed (ライセンス消費数)	Ip (接続に使用したPアドレス)
./user1	1	127.0.0.1, 192.168.0.10
Domain/user2	2	192.168.0.9, 192.168.0.11, 192.168.0.12, 192.168.0.13,

## 過去1ヶ月の消費数をダウンロード

- 「過去1ヶ月の消費数をダウンロード」を選択すると、定期出力しているログファイルの1ヶ月分をまとめたZipファイルがダウンロードされます。
- ログファイルはタブ区切り形式で、1列目が出力日時、2列目がユーザー数ライセンス消費数です。

## 3.9 あれっ？と思ったら

よくあるトラブルの解決のためのヒントです。

### 3.9.1 ログインできない

## 現象

ExaPadにログインできない。

ログインすると拒否される。

## 原因

考えられ原因です。

1. ユーザーID・パスワードが間違っている。
2. ログイン先のドメイン（もしくはWorkGroup）の設定が間違っている。
3. パスワードが127文字を超えている。

## 解決のヒント

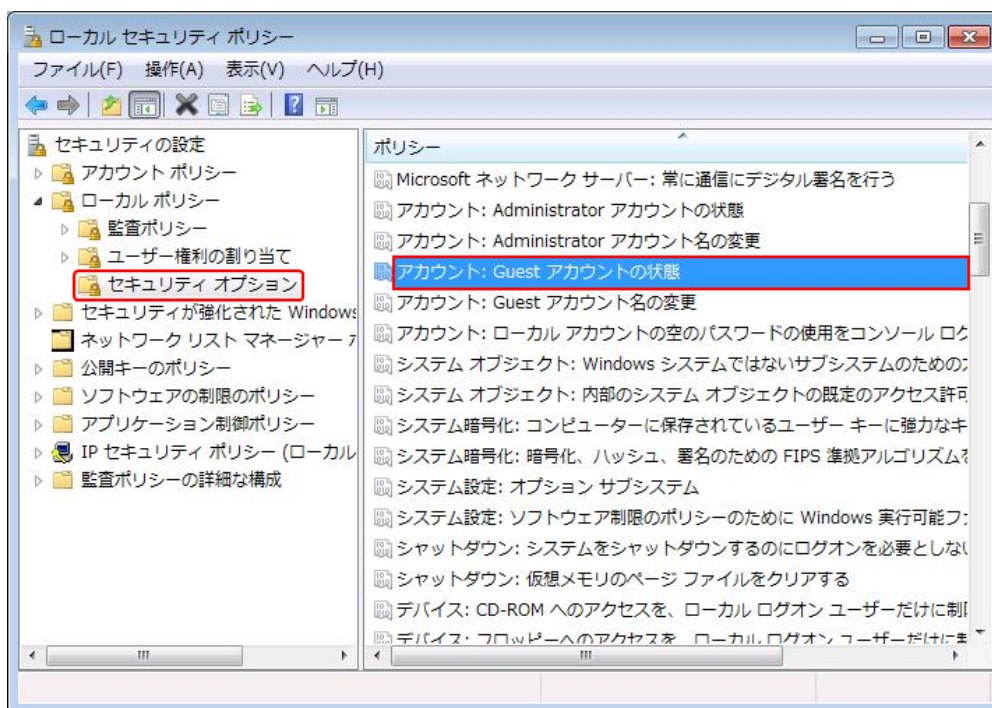
### 1. ユーザーID・パスワードが間違っている

- ExaPadは、Windows に登録されているユーザーアカウントのID/パスワードでログインします。
- ログイン先のドメインを確認してください。
  - ログイン画面のユーザーID/パスワードの入力ボックスの下に表示されます。
  - 表示されていない場合は、ワークグループ（ローカルユーザーアカウント）が該当します。

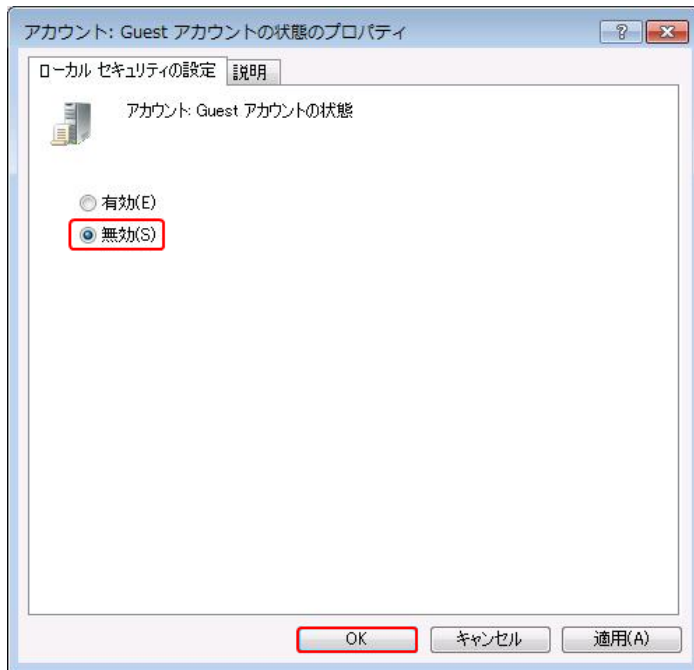
- ログインに使用するユーザーIDがドメインに登録されていることを確認してください。
  - ログイン先が WORKGROUP の場合には、ローカルユーザーのユーザーIDであることを確認してください。
- Caps Lock キーが有効になっていないことを確認してください。

## 2. ログイン先のドメイン（もしくはワークグループ）の設定が間違っているケース

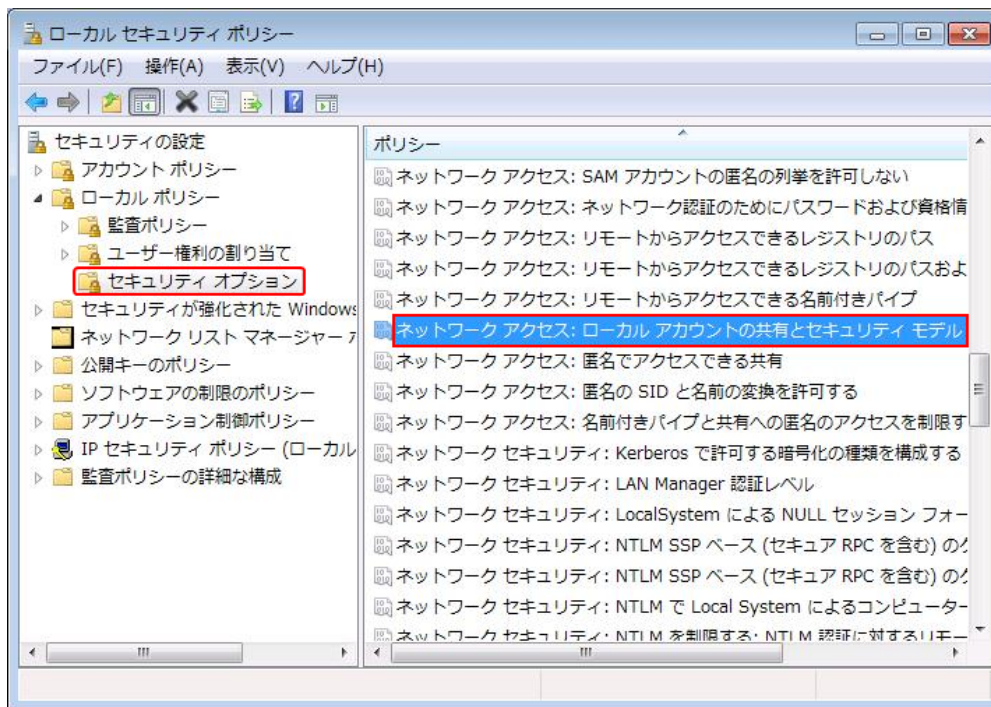
- ログイン先のドメインを確認してください。
  - ログイン画面のユーザーID/パスワードの入力ボックスの下に表示されます。
  - 表示されていない場合には、ワークグループ（ローカルユーザー）が該当します。
- ユーザーアカウントの設定で Guest アカウントを無効にしてください。
- ローカルセキュリティポリシーの Guest アカウントを無効に設定してください。
  1. スタート > コントロールパネル > 管理ツール > ローカルセキュリティポリシー を開きます。
  2. ローカルポリシー > セキュリティオプションを開きます。
  3. 「アカウント: Guest アカウントの状態」を開きます。



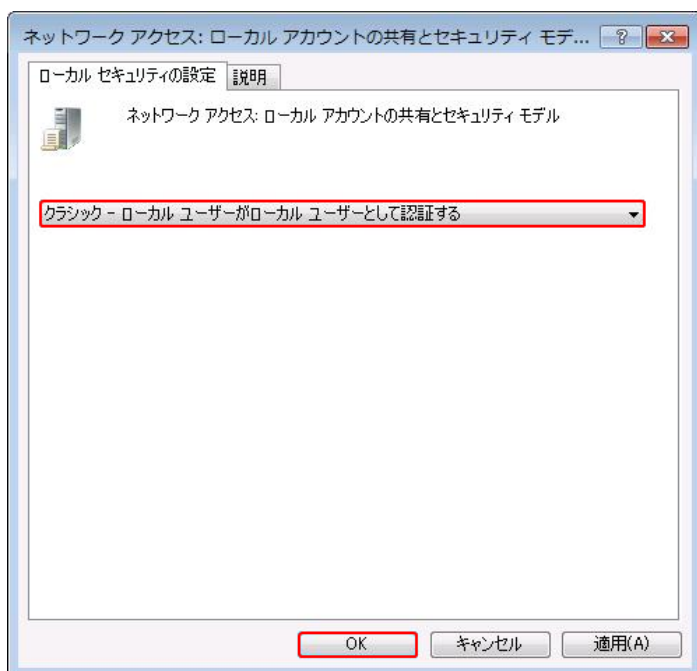
4. 「無効(S)」にチェックを入れOKをクリックします。



5. 「ネットワークアクセス: ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル」を開きます。



6. 「クレンシック - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証する」を選択します。



7. 念のためOSの再起動をおすすめします。

### 3. パスワードが127文字を超えているケース

ExaPadでは127文字を超えるパスワードを使用できません。

パスワードを127文字以下に設定してください。

#### 3.9.1.1 ローカルログオンを許可する

##### 現象

「ログオン失敗: 要求された種類のログオンは、このコンピュータではユーザーに許可されていません。」というエラーが表示される。

これは、ログインしようとしているユーザーが、ExaPadがインストールされたWindowsサーバーにて、「ローカルログオンを許可されていない」ことが原因です。

通常、Windowsサーバー（ワークグループおよびドメインメンバーのサーバー）においては、ローカルログオンの許可は「ローカルセキュリティポリシー」で設定されます。

ドメインコントローラーの役割を務めるWindowsサーバーにおいては、「ドメインコントローラーポリシー」の編集が必要です。

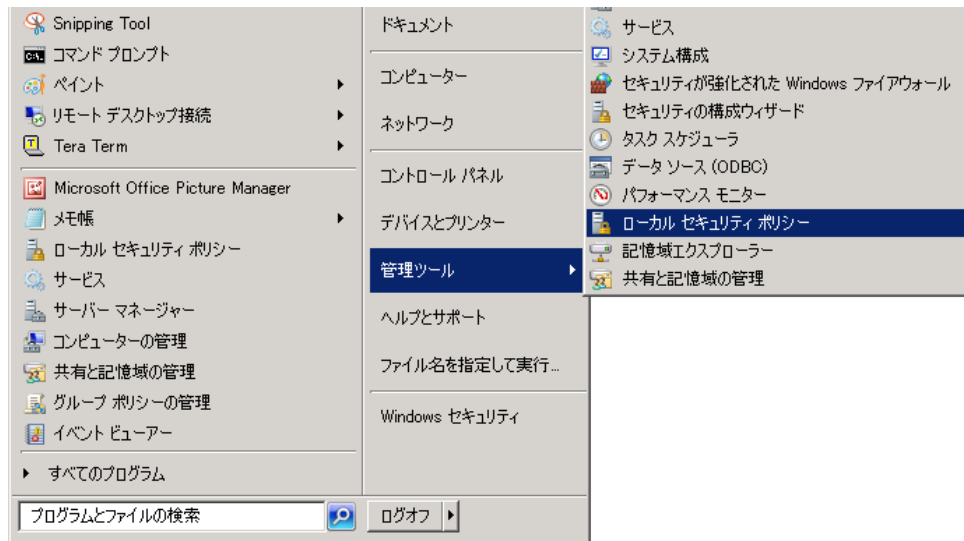


ローカルセキュリティポリシーより、ドメインコントローラーポリシーの設定が優先されるためです。

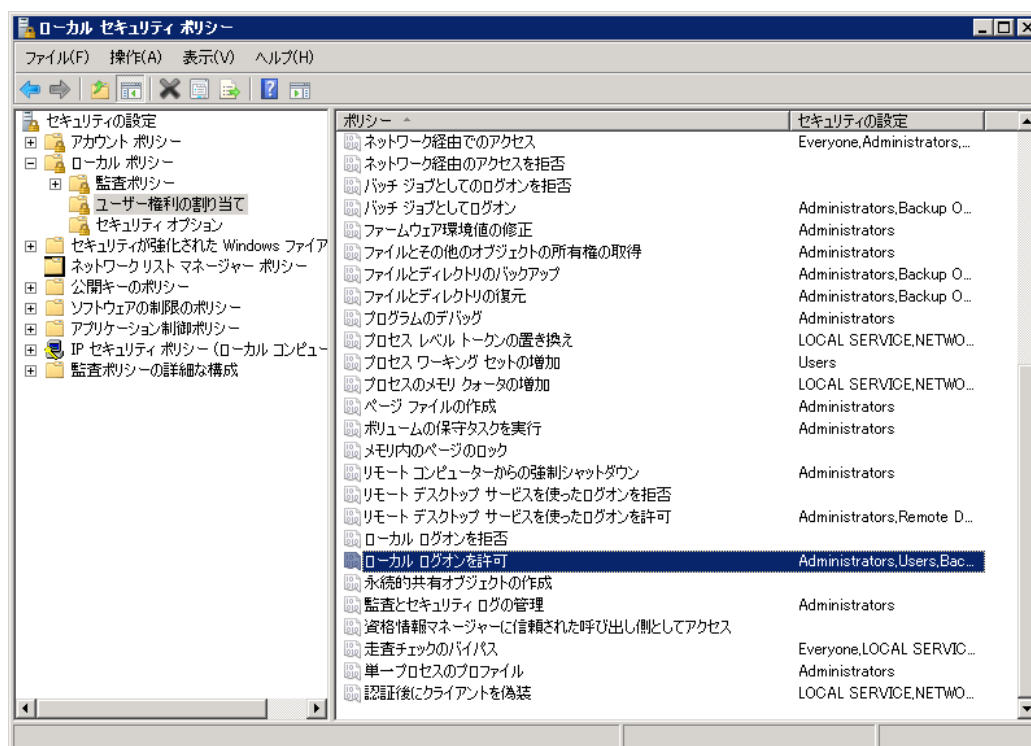
## ポリシーの設定方法

### Windows Server 2008 R2 ~ 2016 の場合

1. スタートメニュー > 管理ツール > ローカルセキュリティポリシー を開きます。

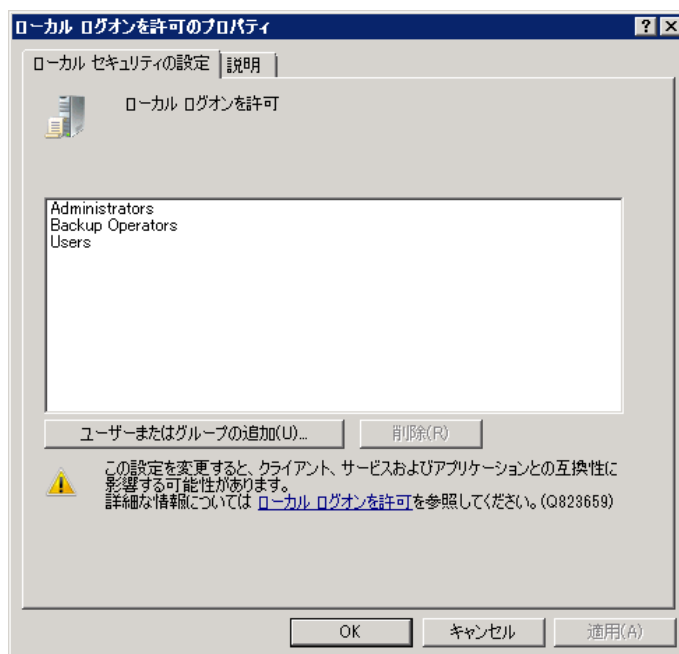


2. ローカルポリシー > ユーザー権利の割り当て を開きます。
3. 「ローカルログオンを許可」を開きます。



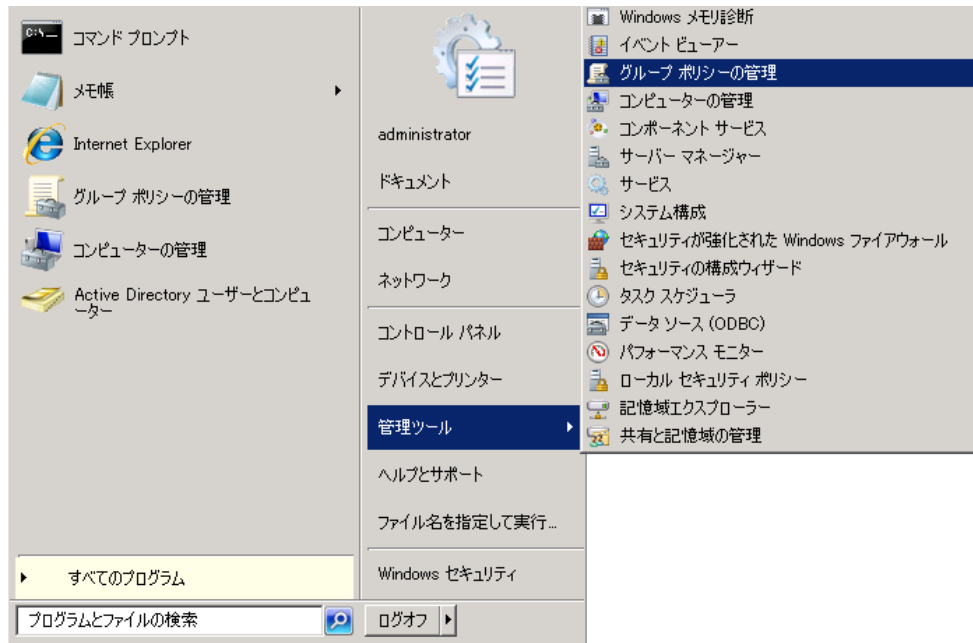
#### 4. ログオンを許可したユーザーもしくはグループを追加します。

ユーザー単位、グループ単位で追加することができます。

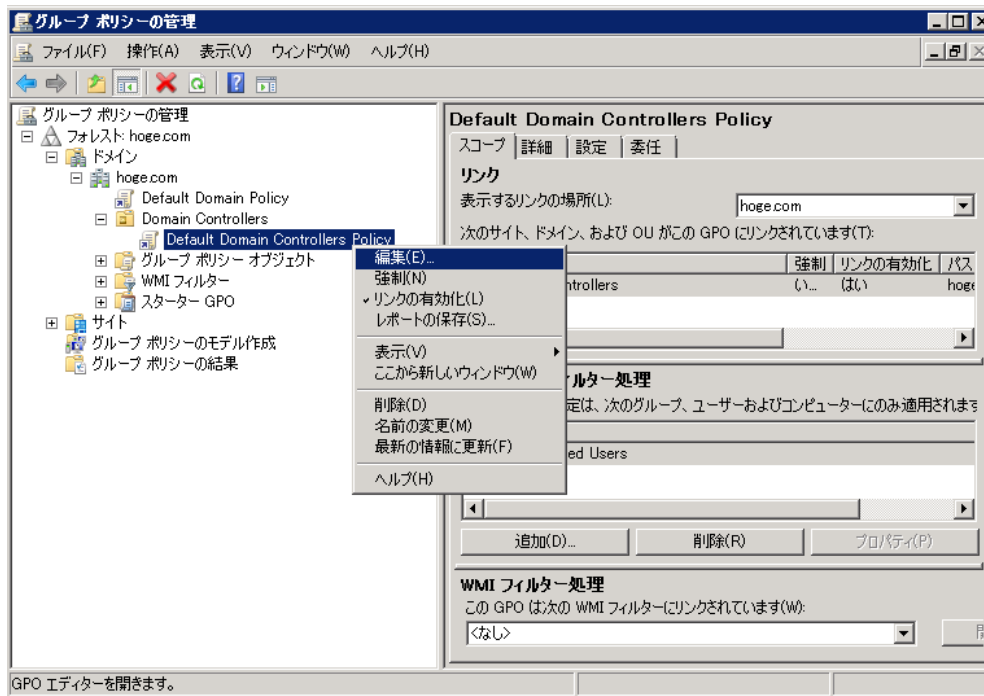


## Windows Server 2008 R2 ~ 2016 ドメインコントローラーの場合

### 1. スタートメニュー > 管理ツール > グループポリシーの管理 を開きます。

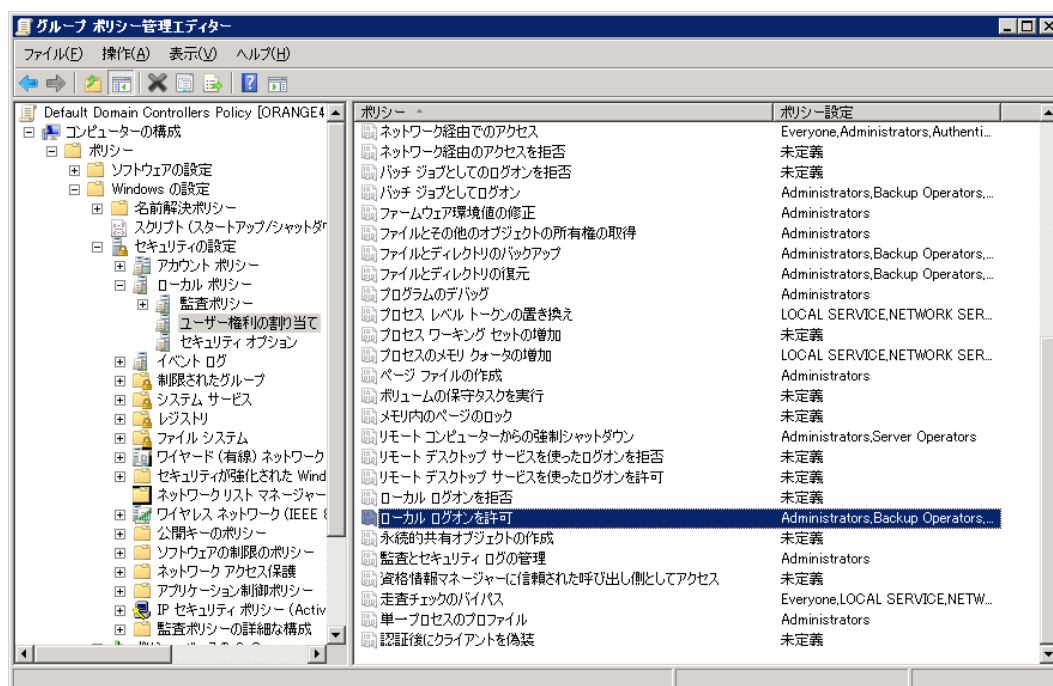


5. Default Domain Controllers Policy を右クリック > 編集 を選択します。

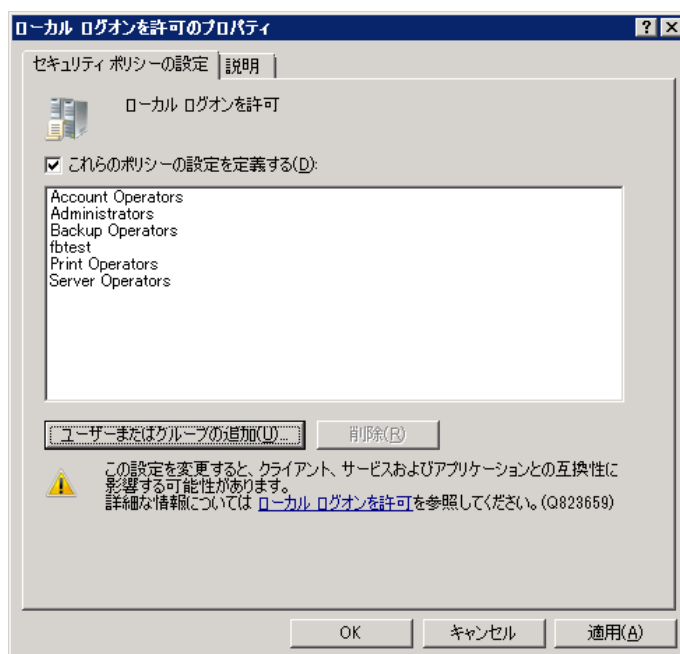


3. コンピューターの構成 > ポリシー > Windows の設定 > セキュリティの設定 > ローカルポリシー > ユーザー権利の割り当てを開きます。

4. 「ローカルログオンを許可する」を開きます。



5. ログオンを許可したユーザーもしくはグループを追加します。



- ユーザー単位、グループ単位で追加することができます。
- ActiveDirectory環境の場合には、グローバルグループを追加できないので注意してください。（追加可能なのはローカルグループです）  
既存のグループがグローバルグループの場合には、ExaPad用にローカルグループを作成し、そのメンバーとしてグローバルグループを所属させ、作成したExaPad用ローカルグループをローカルセキュリティポリシーの「ローカルログオンを許可する」に追加するようにします。

### 3.9.1.2 LANのPCでログインできない

## 現象

LANで接続されているローカルエリアネットワーク内の端末からExaPadにログインできない。

インストールしたサーバーのローカル環境からは正常に接続できる。

## 原因

次の原因が考えられます。

1. IPアドレスが間違っている。
2. サーバー名が間違っている。
3. IPアドレス、端末名のいずれも正しい場合は、Windowsファイアウォールにより遮断されている。

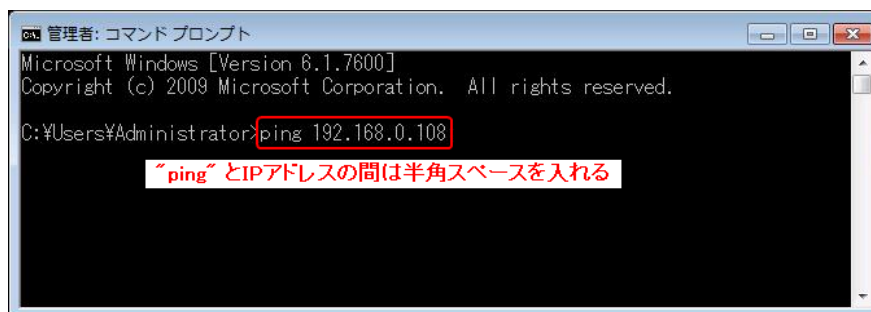
## 解決のヒント

### 1. IPアドレスが間違っている

ping コマンドを用いて、ExaPadサーバーから応答があるか確認します。

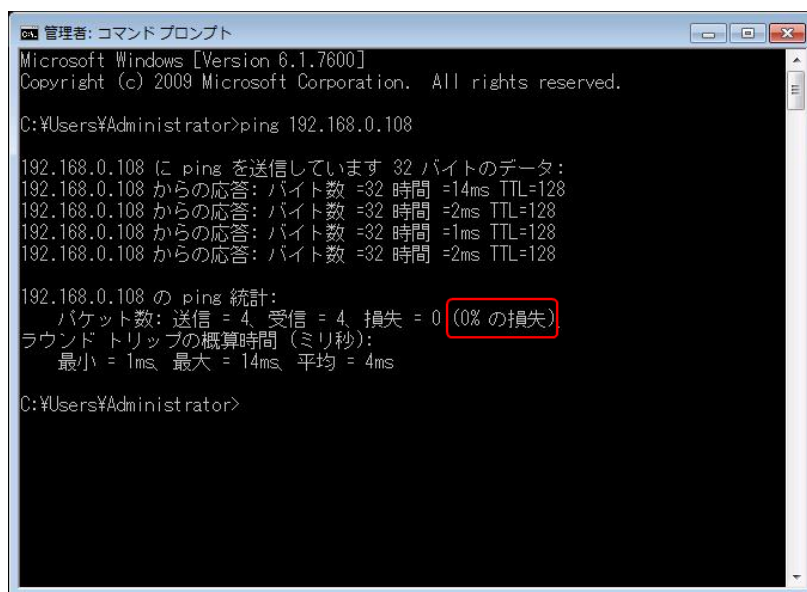
1. スタート> プログラムとファイルの検索 に「cmd」と入力して コマンドプロンプトを起動します。
2. ping コマンドを入力し、Enterキーを押します。

例) ping 192.168.0.12



3. 次のように（0% の損失）と表示されれば、サーバーマシンは稼動しています。
  - （100% の損失）と表示された場合はサーバーマシンとの間のネットワークが遮断されています。

- 相手先ホストに到達できません。」となる場合には、入力したIPアドレスに誤りがあります。



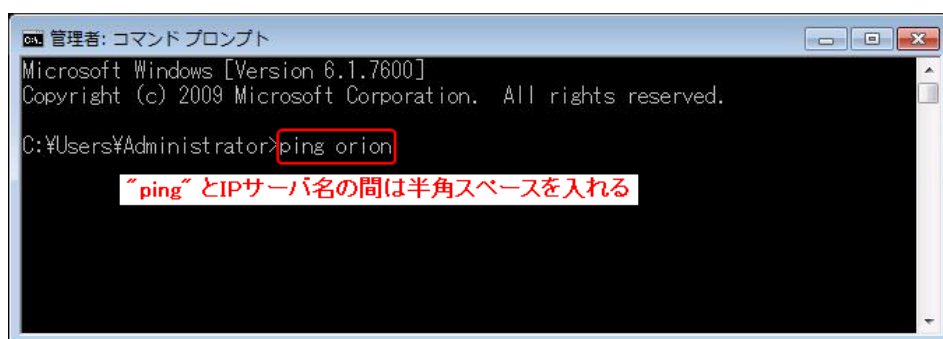
## 2. サーバー名が間違っている

pingコマンドを用いて、ExaPadサーバー稼働を確認してからサーバー名を確認します。

1. スタート > プログラムとファイルの検索に「cmd」と入力して コマンドプロンプトを起動します。
2. Windowsのコマンドプロンプトが表示されますので、「ping サーバー名」を入力して、Enterキーを押します。

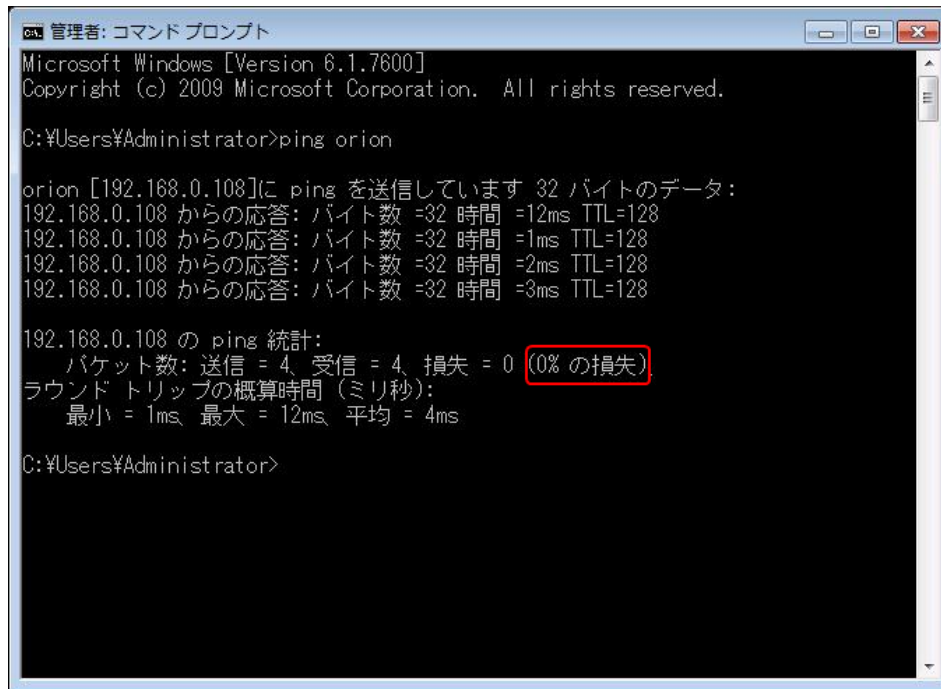
例) サーバー名がonion の場合

ping onion



3. 以下のよう、(0%の損失)と表示されれば、サーバーマシンは稼働しています。
- (100% の損失) と表示された場合はサーバーマシンとの間のネットワークが遮断されています。
  - 「ping 要求ではホストxxx が見つかりませんでした。ホスト名を確認してもう一度実行してください。」となつた場合、サーバー名に誤りがある

ります。

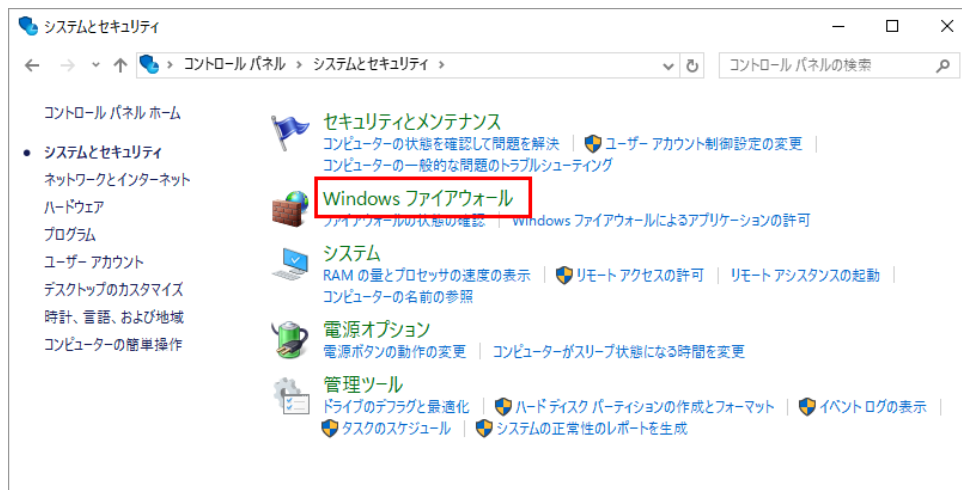


### 3. Windows ファイアウォールによって遮断されている

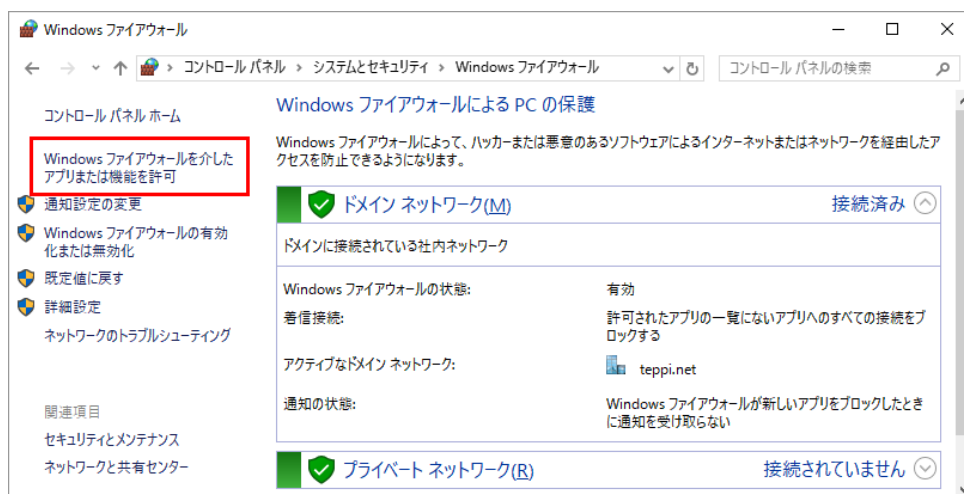
Windows ファイアウォールで HTTP や FbIndexer の通信が遮断されていると、外部の端末から ExaPad に接続できません。

Windows ファイアウォールに通信を許可する設定をしてください。

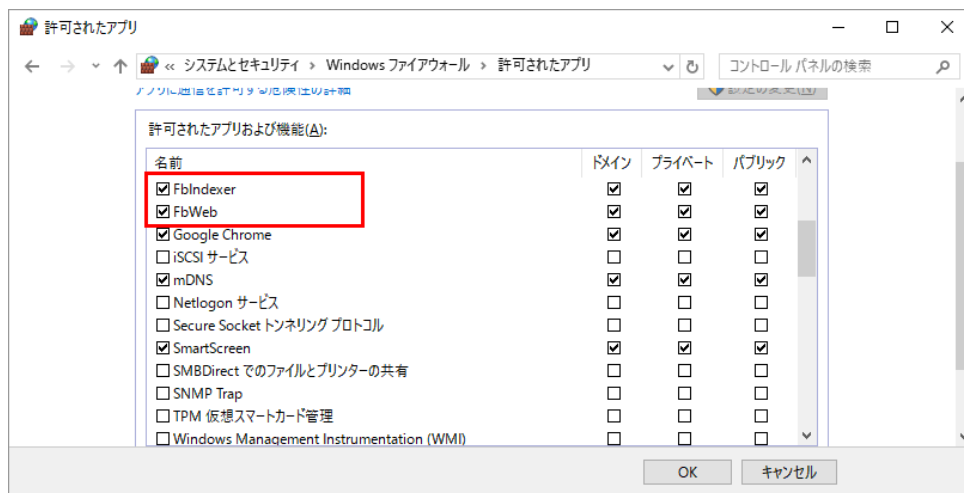
1. スタート > コントロールパネル > システムとセキュリティ > Windows ファイアウォール を開きます。



2. 「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」を開きます。



3. FbWeb (Webサーバー) および FbIndexer (インデクサー) の両方にチェックを入れてOKで閉じます。



4. 設定完了後に、ログインテストを行ってください。

### 3.9.2 フォルダが存在しない・読み取り権限がない

## 現象

ログイン直後や、ログイン後にフォルダ/ファイルを選択すると「[ / / ] は存在しないか、読み取り権限がありません」と表示される。

## 原因

- フォルダ/ファイルに対して、ログインユーザーにアクセス権限がない。



- Windowsの共有設定（共有フォルダ）のアクセス許可に、ログインユーザーが含まれていない。
- ExaPadの[セキュリティ拡張（AclManager）](#)の設定で、フォルダ/ファイルに対してログインユーザーの読み取りが許可されていない。
- フォルダ/ファイルが存在しない。

## 解決のヒント

- Windowsエクスプローラーでフォルダ/ファイルに接続してユーザーのアクセス権を確認し、権限が不足している場合は適切な権限を付与してください。
- Windowsのフォルダの共有設定では、通常のアクセス権設定とは別に「共有のアクセス権設定」が必要です。共有のアクセス権設定で、適切なユーザー/グループに許可を与えてください。
- システム設定 > [セキュリティ拡張（AclManager）](#) を開いてアクセス権設定を確認してください。不要なアクセス権が設定されている場合は、適切なアクセス権設定に変更してください。
- ファイルサーバー（ドキュメントルートフォルダ）に、フォルダ/ファイルが存在するか確認してください。

### 3.9.3 検索結果が多すぎる・少なすぎる・表示されない

## インデックス構築状況の問題

### 現象

検索結果に、目的のファイルが表示されない。

### 原因

次の原因が考えられます。

- 目的のファイルが全文検索インデックスに、まだ登録されていない。（登録待ちの状態）
- 目的のファイルが全文検索インデックスに、登録されていない。（登録もれの状態）

## 解決のヒント

- 検索インデックスの登録処理状況は、「ExaPad画面 > システム設定 > インデックス構築状況」で確認できます。処理中のステータスの各項目で処理状況を確認してください。完了していない場合は、全ての処理が完了してから検索を再度行ってください。

い。

- 検索インデックスの登録処理が完了しているのに検索結果に表示されない場合は、目的のファイルが保存されているフォルダをExaPadで開いて、「ファイルボタン > 管理者メニュー > インデックス/プレビュー再構築」で、インデックスの再構築を行ってください。
- インデックス登録にもれてしまったファイルは、インデックスの再構築で改善されます。

## 検索キーワードの問題

### 現象

「あれ、なんで見つからないの?」「なんでこんなファイルが検索されるの?」など、全文検索の結果に違和感がある。

### 原因

ExaPadが採用している検索方法の特性により、検索結果が予期したものと異なってしまう場合があります。

### 解説

#### 全文検索の特性

- 全角文字列と半角英数文字列は区別して扱われます。
  - 例文) 英語で「おはよう」はGood morningです。」
  - これは、英数文字列「Good morning」部分と、その他に分けて扱われます。
- 半角文字列は、原則として単語全体の一致で検索します。
  - 例文では、「Good」や「morning」で検索できますが、「Goo」や「ng」などの部分的な文字列では検索できません。
  - また、ID番号や日付などの数字の文字列では、部分一致の検索はできません。
  - 例えば、「20100615」は、「2010」では検索できません。
  - ただし、アンダースコア( \_ )やハイフン( - )などの記号で区切られた文字列の場合、記号で区切られた文字列で検索ができます。
  - 例えば、「2010\_0615」は、「2010」と「0615」で検索できます。
- 半角英数の前方一致、後方一致検索は[ワイルドカード](#)を使用すると検索できます。
  - 例えば、「20100615」では、「2010\*」や「\*0615」で検索できます。

#### ファイル名検索の特性

- ファイル名検索では、文字が半角全角にかかわらず部分的な文字列で検索できます。
- 全文検索では検索できない半角文字列も部分一致の検索ができるように、ファイル名検索用の検索インデックスを構築しています。
- ファイル名検索用のインデックスでは、ファイル名の単語分割に文字列長 1～15 のNグラム方式を採用しています。
- 15文字を越えるキーワードで検索する場合、キーワードが一つであれば検索できます。

### 全文検索・ファイル名検索の共通特性

- 英数・カタカナについては、全角・半角の区別なく検索することができます。
- 例文）『Good morning.』はグッド モーニング、『123.』はワンソースリーです。』
- 「g o o d.」、「MORNING.」、「グッド.」、「1 2 3.」、「ワンソー」などで検索できます。

## 3.9.4 検索できなくなった

### 現象

- 全文検索サービスからの応答がありません」と表示されます。
- 「1件も見つかりませんでした」と表示されます。

### 原因

次の原因が考えられます。

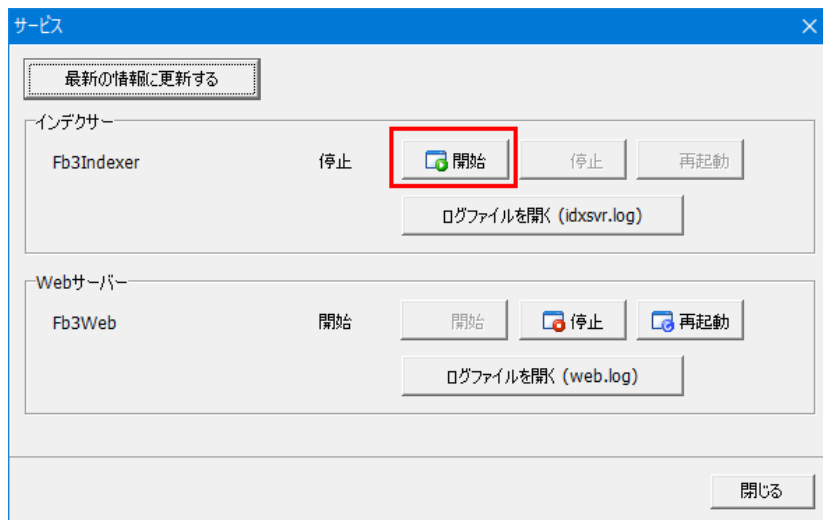
- たまたま検索サービスが起動していなかった。
- メモリ不足により検索サービスが不安定な状態にあつたり、停止したりしている。
- インデックスデータが壊れている。
- ACLサーチ機能が使用できない。

### 解決のヒント

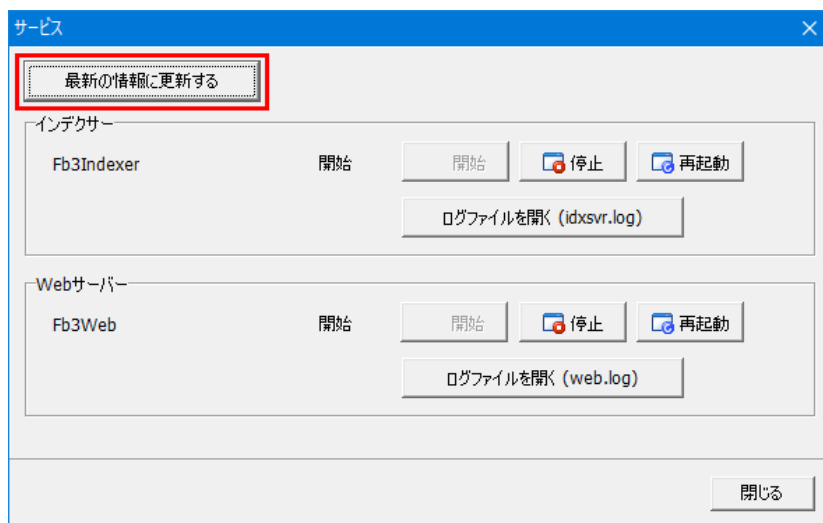
## 検索サービスを再起動する

たまたま検索サービスが停止している場合、再起動させることで復旧します。

1. ExaPad管理ツール > サービス を開きます。
2. インデクサー ( FbIndexer ) の 開始 または 再起動 を選択します。



3. サービスが開始したら30秒 ~ 1分ほど待って、最新の情報に更新する」を選択します。



4. サービスが停止の状態にならなければサービスは稼働状態にあります。  
検索を試してみてください。
5. 停止状態になってしまう場合には、以下について確認 ください。

## メモリ不足を解消する

検索エンジンへの割り当てメモリ容量が不足すると検索サービスが不安定になり、検索結果を返すことができなかつたり、停止や起動を繰り返したりするようになります。

これは、標準設定では割り当てメモリ容量を小さく設定してあるため、検索対象文書が増えるにつれて標準の割り当てメモリ容量では対応できなくなるからです。

このとき、solr.log に「OutOfMemory」と出力されることが多いです。（[インストールフォルダ] \Data\Log\IdxSvrLog\solr.log）

[こちら](#)を参考に、検索エンジンの割り当てメモリ容量を変更してください。

## 検索インデックスが壊れている場合

インデックスデータが壊れていると、サービス再起動や割り当てメモリ容量の変更を行っても検索サービスは起動しません。

この場合、インデックスの初期化が必要です。

[こちら](#)を参考にインデックスを初期化して、インデックス再構築を行ってください。

なお、インデックスを初期化しても抽出テキストデータが残っているため、ゼロからインデックス初期構築を行うよりもインデックス構築の所要時間は短いです。

## ACL サーチ機能が使用できない場合

アクセス権限をもつていて設定にも不備のない場合に、検索結果に「1件も見つかりませんでした」と表示される場合には、ACL サーチ機能が影響している可能性があります。

ドメイングループを包含しているローカルグループにアクセス権限が設定されている場合や、ドメイン環境にてドメインに参加しないワークグループのファイルサーバーを検索対象にした場合などの環境では、ACL サーチ機能の影響で検索できません。

[こちら](#)を参考にACL サーチ機能を無効（OFF）にしてください。

### 3.9.5 プレビューが表示されない

## 現象

プレビューがサムネイルが表示されない。

- ファイルを選択して開いてもプレビューが表示されない（エラー表示やアイコン表示のみである）
- ファイル一覧でサムネイルが表示されない（アイコン表示のみである）

## 原因

次の原因が考えられます。

- 機能が不足している
- プレビュー表示に対応していないファイル種類である
- プレビューデータが作成されていない
- アクセス権限が不足している
- ファイルに原因がある
- 設定が不足している
- 他のアプリケーションが影響している

## 解決のヒント

### 機能が不足している

#### ライセンスが不足している

AutoCADやIllustrator、Photoshop等のファイルのプレビューにはオプションライセンスが必要です。

#### .NET Framework がインストールされていない

- .NET Framework がインストールされていない環境では、DOC・XLS・PPTなどのファイルはプレビューできません。  
.NET Framework の有効化が必要です。
  - Word, Excel, PowerPoint, Visioから画像を抽出する場合には、.NET Framework4が必要です。  
他フォーマットのプレビューにつきましてはお問い合わせください。
  - .NET Frameworkのインストール状況は、ExaPad画面 > システム設定 > 稼働状況 で確認できます。
  - 設定完了後にプレビュー再作成を行います
- 必要なプログラムがインストールされていない。
  - DocuWorks ファイルのプレビューには、DocuWorks プログラムのインストールが必要です。
  - 動画 ファイルのサムネイル作成には、オープンソースプログラム [FFmpeg](#) のインストールが必要です。

## プレビューに対応していないファイル種類である

- 拡張子のないファイルは対応していません。（Macで作成したファイルなど）
- [プレビュー仕様](#)に対応していないファイル種類（拡張子）である。
- ファイルが古いバージョンのアプリケーションで書かれている。（Microsoft Office 95以前のファイルなど）

## プレビューデータが作成されていない

- プレビュー作成のプログラムが実行されていない
- プレビューデータ作成中である
  - ExaPadサーバーの性能によってはプレビュー作成に時間を要する場合があります。
  - インストール後の初期構築や一度に大量のファイルを移動 / コピーした場合など、プレビュー作成に時間を要する場合があります。

## アクセス権限が不足している

- ユーザーのアクセス権が不足している。
  - ファイルに対するアクセス権限が不足している。  
ファイルに対する一覧権限はあるが読み取り権限を持っていないなどの場合があります。
  - プレビュー保存フォルダに対するアクセス権限が不足している。
- インデクサー（FbIndexer）サービスの実行ユーザーアカウントのアクセス権限が不足している。
  - 実行ユーザーアカウントは、プレビュー保存フォルダに対して読み取り権と書き込み権が必要です。

## ファイルに原因がある

- ファイルが壊れている。
- ファイルにパスワードが設定されている。
- ファイルが暗号化されている。
- ファイル内容の一部にコンバータープログラムで読み込めない文字やオブジェクトがある。

## 設定が不足している

- プレビュー作成の設定が行われていない。
- ファイルサイズ上限により制限されている。

- コンバータプログラムへの割り当てメモリが不足している。
- コンバータプログラムへの割り当て時間が不足している。
- erroru.txt ファイルが残っている。
  - プレビュー作成に一度失敗するとerroru.txt が作成され、プレビュー作成を実行してもスキップされます。( [こちら](#)をご覧ください )

## 他のアプリケーションに原因がある

- 他のアプリケーションによりファイルが暗号化されている。
- ウイルス検知等のセキュリティ対策ソフトによりファイルの読み取りが阻害されている。

### 3.9.5.1 プレビューが作成されない

## 現象

プレビューが表示されない。

- 「このファイルはプレビューを作成できませんでした。 - 原因を表示」と表示されファイルをプレビューできない。
- プレビューが作成されない原因を取り除いた後、インデックス再構築をしてもプレビューが作成されない。

## 原因

- ファイルのプレビュー作成に失敗すると、ファイルごとに失敗した原因をerroru.txt というファイルに出力します。
- erroru.txt は、プレビュー保存フォルダの当該ファイルの場所に保存されます。
- erroru.txt が存在するファイルは、プレビュー再作成を行ってもプレビュー抽出をスキップされます。  
そのため原因を取り除いただけでは、プレビュー作成を再実行してもプレビューは作成されません。

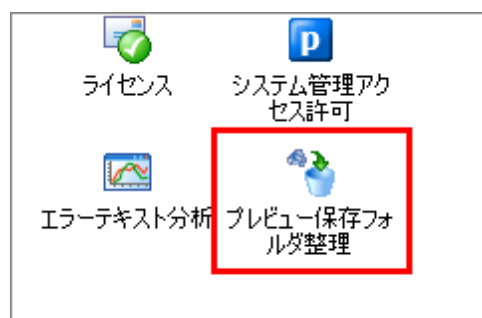
## 解決のヒント



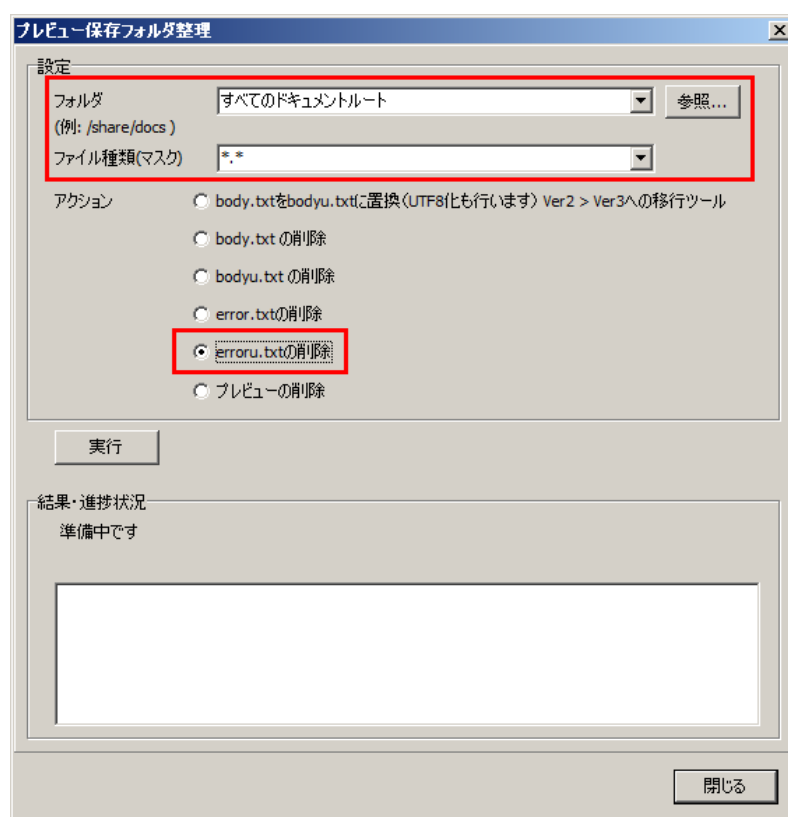
原因を取り除いたあとに、プレビュー保存フォルダの当該ファイルの場所からerroru.txt ファイルを削除し、その後にプレビュー作成を行います。

プレビュー作成に失敗したファイルが複数ある場合は、次の方法でerroru.txt を一括削除することができます。

1. ExaPad管理ツール > プレビュー保存フォルダ整理 を開きます。



2. erroru.txt を削除します。



- 「すべてのドキュメントルート」を選択するか、参照」ボタンで対象フォルダを選択します。
- ファイル種類を選択します。（「 \*.\* 」は全ファイル種類が対象になり 手入力することもできます）
- 「erroru.txtの削除」をチェックします。

- 「実行」ボタンを選択します。
3. 削除完了後に プレビュー作成を行います。

**Part**

---

**IV**

## 4 仕様

### ExaPad 使用上の注意

#### 有効なファイル名について

ExaPadは、Windowsのファイルシステムに保存されているファイル/フォルダを参照し、ExaPadでアップロードしたファイル/フォルダはWindowsのファイルシステムに保存します。

そのため、ExaPadを使用するにあたり次の制限があります。

- パスの長さExaPadとしての制限はありませんが、Windows NTFSにおいて有効なパスの最大長は32,767文字です。
- ただし、長いファイル名（文字数259文字、文字長512バイトを超えるフルパス）を持つファイルの場合、タグ変更などの一部機能が制限されます。

#### ユーザー数の制限

- ExaPadにログインできるユーザー数には制限があります。
- ユーザー数は、「同時アクセスユーザー数」ではなく「おおよそ1日あたりの累積ユニークユーザー数」を基準に制限されます。
- ExaPadサーバーを起動してから、1つの新しいユーザーアカウントでログインすること、ログインできるユーザー数の残数が1つずつ消費されます。

#### ExaPad サービス起動中の電源操作

- ExaPadサービス起動中は、サーバーの電源をスタンバイや休止状態にしないでください。
- ExaPadは、原則として24時間稼働のサーバー機で動作することを前提に設計されています。
- FbIndexerサービスを稼働しているマシンではファイルやフォルダの変更を常時監視しているため、インデックス更新中にスタンバイや休止状態になると、インデックス更新に漏れが生じたり、インデックスが壊れたりする可能性があります。（マシンによって休止状態の動作が異なり問題ない場合もあります。）
- 評価目的などで一時的にノートPCなどにインストールする場合、スタンバイや休止状態にする前にFbIndexerを停止してください。（FbIndexer を停止すると、検索エンジンのプロセスも自動的に停止されてインデックスのディスク同期が安全に行われます）

## 4.1 動作環境

### サーバー

OS	<p>Windows Server 2008 R2 ~ 2019</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザー数分のWindows CALが必要です。</li> <li>• 評価利用環境として、Windows 7 / 8.1 / 10 でも稼働します。（64bit版のみ）</li> </ul>
CPU	4コア以上の最新世代マルチコアCPUを推奨します。（詳細はお問い合わせください）
メモリ	8GB以上
ディスク容量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プログラムのインストール先ドライブに5GB以上の空き容量が必要です。</li> <li>• インデックスデータ等のExaPadが生成するデータ容量のための必要な空き容量は、対象のデータ件数およびファイルサイズにより大きくなります。（詳細はお問い合わせください。）</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 快適な利用のために大容量メモリの搭載を推奨します。</li> <li>• ExaPadの稼働に必要な次のプログラムもインストール時に一緒にインストールされます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ Java ランタイム</li> <li>◦ Jetty</li> <li>◦ Apache Solr</li> <li>◦ Postgre SQL（標準では使用しませんがカスタマイズにおいて使用する場合があります。）</li> <li>◦ .Net Framework4（.Net Framework4がインストールされていない環境には導入できません） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Word、Excel、PowerPoint のプレビュー画像作成には、.Net Framework 4が必要です。</li> <li>▪ Excel形式の一覧出力を行うには、.NET Framework 4が必要です。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• サーバーの画面の色数は、16ビット以上を設定してください。（ExaPadで表示されるサムネイルやプレビュー画像の色数に影響します）</li> <li>• Windowsドメイン環境で運用する場合には、あらかじめインストール先のサーバーをドメインに参加させてください。</li> </ul>

## クライアント

### PC

Webブラウザ	<ul style="list-style-type: none"><li>• Internet Explorer 11</li><li>• Chrome、Firefox、Safari、Edge の最近のバージョン<ul style="list-style-type: none"><li>○ Internet Explorer 6, 7, 8, 9, 10 はサポート対象外です。</li><li>○ 64bit版のWebブラウザでは、ファイル直接オープン機能は動作しません。（64bit OSでもWebブラウザは32bit版が大多数を占めています）</li></ul></li></ul>
PC本体	<p>上記のWebブラウザが動作可能な機器</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ChromeとFirefoxは、なるべく最新のものを推奨します。</li><li>• Firefoxは、Windows版のみ対応しています。（Mac版では一部の機能が動作しない可能性があります）</li><li>• ファイル直接オープン機能用のExaPad Clientプログラムは、Windows OS のPC のみに対応します。（Mac、iOS、Androidでは使用できません）</li></ul>

### モバイル

Webブラウザ	<ul style="list-style-type: none"><li>• iOS Safari</li><li>• Android Chrome</li></ul>
モバイル本体	<p>上記のWebブラウザが動作可能な機器</p> <p>iPhone、iPad、Androidの端末各種など</p>

## Internet Explorerのサポート

ExaPadのInternet Explorerへのサポート対応は、基本的にMicrosoft社のサポート期限に準じます。

Window OS	IEバージョン	サポート期限
Vista	IE 9	2017年4月12日（終了）
7	IE 11	2020年1月15日
8.1	IE 11	2023年1月23日
10	IE 11	2025年1月15日
Server 2008 R2	IE 11	2020年1月15日
Server 2012	IE 10	2023年1月11日
Server 2012 R2	IE 11	2023年1月11日

## 4.2 全文検索対応形式

ExaPadの検索エンジンはUnicodeに対応しています。

Microsoft OfficeなどUnicode対応のドキュメントについては、日本語・英語に限らず世界中の言語・文字コードの文書を検索することができます。

なお、各国別文字コードで編集されたテキストファイルなどについては正しく検索されないことがあります。

## ファイル名検索について

全てのファイル名とフォルダ名は検索対象です。

ファイル形式によって検索できないということはありません。

隠し属性の付いている（ExaPad画面に表示されない）ファイルとフォルダは検索対象外です。

## 全文検索に対応するファイル形式

表中の拡張子をもつファイルは全文検索の対象です。

拡張子	説明
rtf	リッチテキスト
docx / docm	Microsoft Word 2007 / 2010 / 2013 / 2016

xlsx / xlsxm / xlsb	Microsoft Excel 2007 / 2010 / 2013 / 2016
pptx / pptm	Microsoft PowerPoint 2007 / 2010 / 2013 / 2016
doc	Microsoft Word ver5.0 / 95 / 97 / 2000 / XP / 2003
xls	Microsoft Excel ver5.0 / 95 / 97 / 2000 / XP / 2003
ppt	Microsoft PowerPoint 97 / 2000 / XP / 2003
vsd	Microsoft Visio 2003 / 2007 / 2010
sxw / sxc / sxi / sxd	OpenOffice.org
odt / ods / odp / odg	Open Document
jaw / jtw	一太郎 ver5
jbw / juw	一太郎 ver6
jfw / jvw	一太郎 ver7
jtd / jtt	一太郎 ver8 / 9 / 10 / 11 / 12
oas / oa2 / oa3	OASYS/Win
bun	新松 松5/松6
wj2 / wj3 / wk3 / wk4 / 123	Lotus 123
wri	Windows3.1 Write
pdf	Adobe PDF
ai	Adobe Illustrator
mht	Webアーカイブ
html	HTML
eml	OutlookExpress のエクスポート形式
txt	テキストファイルなどの ASCII 形式ファイル
dxf / dwg / dwf	AutoCAD
svg	SVG(Scalable Vector Graphics) ファイル
msg	Microsoft Outlook メッセージ形式ファイル
ibooks	電子書籍 iBooks
md	Markdown
zip	Zipアーカイブ アーカイブ内のファイル名でのみ検索可能
jww	JW_CAD

- 新しいバージョンで全文検索対象に追加されたファイル形式は、バージョンアップ後に手動で検索対象ファイル種類に追加しないと検索できません。
- 全てWindows OSのマシンで作成されたファイルが前提です。
- 一部のPDFファイルや表に記載されているファイル形式でも、全文検索できないファイルがある可能性があります。
- 暗号化されたファイルは全文検索（テキスト抽）できません。
- TXT形式以外でも、ASCII形式のファイルは全文検索できます。
- Microsoft Outlookメッセージ形式ファイル（msg）のテキスト抽出には、IFilter のインストールが必要です。



## オプションで対応可能なファイル形式

拡張子	説明
xdw / xbd	XEROX DocuWorks文書

- XEROX DocuWorks 7 以降の製品版をExaPadサーバー環境にインストールする必要があります。
- Windows OSに対するDocuWorks自体のサポート状況はメーカーにお問い合わせください。

### 4.3 プレビュー対応形式

ExaPadでは、次のファイル種類のサムネイル表示やプレビュー表示に対応しています。

専用のビューワーは不要です。

## プレビューについて

- サムネイルは、ファイルの先頭1ページ目の印刷イメージを縮小して画像表示します。
- プレビューには、PDF形式・画像形式・HTML形式の3種類があり、ファイル形式によって対応するプレビュー形式が異なります。

## プレビューに対応するファイル形式（標準）

表中の拡張子をもつファイルは3つのプレビュー形式のいずれかに対応します。

種類	拡張子	説明
単ページ画像	bmp / gif / jpeg / jpg / png	
	ico	
単ページ図形	emf / wmf	
複数ページ図形	tif / tiff	

デジタルカメラ RAW画像形式	arw / sr2	ソニー
	crw / cr2	キヤノン
	dcr	コダック
	dng	Adobe
	mrw	ミルタ
	nef	ニコン
	orf	オリンパス
	pef	ペンタックス
	raf	富士フイルム
PDF	pdf	Adobe Acrobat
オフィス文書 (Office97以降)	doc / docx / docm	Microsoft Word
	xls / xlsx / xlsx / xlsb	Microsoft Excel
	ppt / pptx / pptm / pps / ppsx / ppsm	Microsoft PowerPoint
図面	vsd	Microsoft Visio
	m3d	3D オフィスデザイナー / 3D マイホームデザイナーファイル
テキストファイル	txt / xml / html / mht	テキストファイル、WEB ページ、Web アーカイブファイル
電子書籍	ibboks	Apple iBooks サムネイルがあるもの
動画ファイル	flv / mp4 / avi / mov / asf / rm / wmv / ogv / mpeg / mpg	<ul style="list-style-type: none"> <li>サムネイル作成についてであり、動画再生とは無関係です。</li> <li>別途 ffmpeg.exe が必要です。</li> <li>対応フォーマットは「FFmpegがデコード可能な動画コーデックで構成されたファイルフォーマット」です。</li> <li>列挙されたファイル以外で対応可能なファイルフォーマットもあれ</li> </ul>

		ば、特殊なコーデックを使った動画の場合は、対応フォーマット一覧にあっても対応できないケースもあります。
--	--	---

## オプションでプレビューに対応するファイル形式

種類	拡張子	説明
DocuWorks ファイル	xdw / xbd	XEROX DocuWorks文書。 DocuWorks 7 以降の製品版をExaPad サーバー環境にインストールする必要があります。
CAD 図面	cxf / dwg / dwf / svg / hpgl / cgm / plt / jww	AutoCAD、プロッタファイル、JW_CAD図面ファイル <ul style="list-style-type: none"> <li>AutoCAD 2013、SHX フォントに対応しています。</li> <li>Jwwファイルに対応しています。</li> </ul>
DTP関連ファイル	psd / ai / indd / eps	Adobe PhotoShop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign  ファイル本体に埋込みのTIFF プレビューが必要など一部制限があります。

## オフィス文書（Word・Excel・PowerPoint）に関する注意

- ファイル内容に埋め込まれたOLEオブジェクト（たとえば、PowerPoint ファイルに埋め込まれたExcelワークシートなど）は、正確にプレビュー表示できない場合があります。
- Wordアートはプレビューできない可能性があります。
- プレビューの作成には、文書の全ページを印刷するのと同等の処理時間が必要です。
- 対象のファイル数が膨大な場合、全ファイル全ページのプレビュー作成には長時間を要します。
- プレビューの作成は、フォルダ毎・ファイル種類毎に設定できます。

## 動画ファイルのサムネイルに関する注意

- 動画ファイルのサムネイル作成機能は、オープンソースの動画コンバーター FFmpeg に依存して実現します。
- FFmpeg および組み込まれる各種コーデックについては、それぞれに知的所有権の権利者が存在します。
- 配布や利用の許諾条件についてはお客様ご自身でご理解のうえ、自らの責任においてFFmpeg を導入して利用してください。
- 弊社では ExaPadがFFmpeg を適切に呼出するための設定方法についてサポートいたしますが、動画ファイルのサムネイル作成を含むFFmpeg 自体の動作については、一切の保証をいたしかねます。
- FFmpeg および各種コーデックの使用許諾についても弊社は関知いたしません。

## CADファイルについて

- CADファイルのプレビューを画像形式で作成したとき、拡大プレビューは背景が透過されるため、[こちら](#)を参考にお使いのCAD環境に合わせてビューワーの背景色を変更してください。

## その他の注意

- 拡張子のないファイルはプレビューを作成できません。
- サムネイルやプレビューの作成に失敗したり、レイアウトが元のファイルと一致しないなどの場合があります。
- Word、Excel、PowerPoint、Visioファイルから画像を抽出する場合には、Net Framework4が必要です。
- Illustratorファイル( ai )については、PDF形式が埋め込まれているファイルのみプレビューが可能です。
- 暗号化されたファイル、パスワードロックされたファイルのプレビューは作成できません。

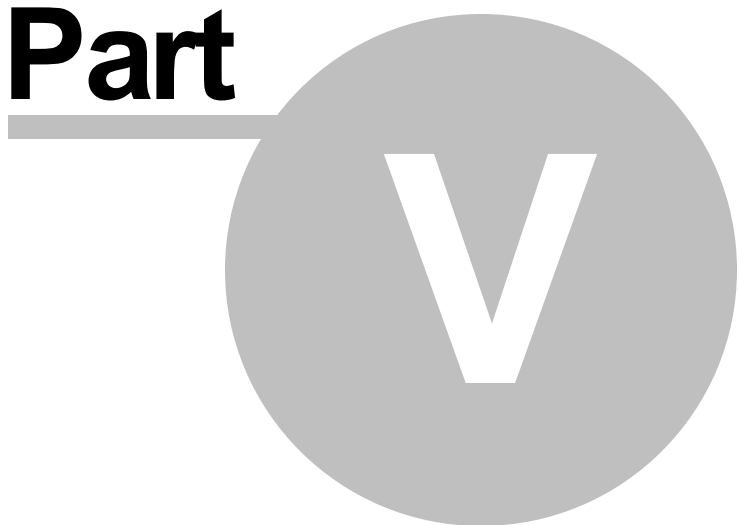
### 4.4 データ使用領域について

## データの使用領域

ExaPadでは大まかに次のデータ領域を使用します。

項目	説明
ドキュメント領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通常のWindows NTFS ファイルシステムで、ファイルサーバーの共有フォルダとしてそのまま併用することができます。</li> <li>• ExaPadのドキュメントトレートに指定もできます。</li> <li>• 管理対象の文書を保存する場合には、この領域はバックアップすることをおすすめします。</li> </ul>
検索インデックス領域 (Express版には存在しない領域です)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 検索を高速にするために使用するインデックスデータが保存される領域です。</li> <li>• 標準の保存フォルダ: [インストールフォルダ] \Data\SearchIndex</li> <li>• ドキュメントトレートのデータが残っていれば再構築できます。 バックアップをしておくことでダウンタイムの期間を短縮することができます。</li> </ul>
ファイル拡張データ領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルのプレビューデータや、ファイルから抽出したテキスト情報が保存される領域です。</li> <li>• 標準の保存フォルダ: [インストールフォルダ] \Data\Preview (プレビュー保存フォルダ)</li> <li>• ドキュメントトレートのデータが残っていれば再構築できます。 バックアップをしておくことでダウンタイムの期間を短縮することができます。</li> </ul>

**Part**



## 5 バージョンアップに関する重要な情報

ExaPadのバージョンアップについての情報をお知らせします。

### 5.1 バージョンアップの注意事項

#### バージョンアップについて

ExaPad のプログラムは、機能改善および追加、不具合修正によるプログラム更新が随時行われ最新版として公開されます。

重要な更新情報は、お客様に通知も行っております。

#### バージョンアップの権利を保有するお客様

次に該当するお客様は、バージョンアップの権利を有しています。

- ExaPad 売り切りライセンスをご購入され、年間保守サービスの期間内である。
- ExaPad 年間ライセンス（期限付きライセンス）をご利用中である。（年間ライセンスには年間保守サービスが含まれています）

#### バージョンアップに必要なライセンスファイル

##### ライセンスファイルの入れ替えについて

バージョンアップを行うには対応するライセンスファイルの入れ替えが必要です。

ただし、以下に該当する場合はライセンスファイルの入れ替えは不要です。

- Ver.4.x から Ver.4.y にバージョンアップする場合は、ライセンスファイルの入れ替えが必須です。
- Ver.4.x.x から Ver.4.x.y にバージョンアップする場合は、ライセンスファイルの入れ替えは不要です。

新しいライセンスファイルの入手について弊社サポートまでお問い合わせください。

#### 現在稼働中の ExaPad バージョンの確認方法

バージョン番号の確認方法は2つあります。

1. ExaPad画面 > システム設定 > 稼働状況 を開きます。
  - 基本環境 > ExaPadバージョン番号 を確認してください。
2. ExaPad画面 > ExaPadについて を開きます。
  - 画面左上に表示されるバージョン番号を確認してください。

## 稼働中バージョンによってバージョンアップの難易度が異なります

### ExaPad Ver. 3.7より古い環境から最新版へバージョンアップを行う場合

- 最新版との機能差が大きいため、インストーラーを実行するだけではバージョンアップできません。  
一旦アンインストールしてからExaPad最新版の新規インストールが必要です。
  - ある程度の設定の移行は可能なため弊社サポートにご相談 ください。
- 定期実行タスクをWindowsタスクスケジュールに登録している場合
  - 最新版ではExaPadのスケジュール機能に移行して、Windowsに登録しているタスクは削除してください。

### ExaPad Ver. 3.8～Ver. 3.15の環境から最新版へバージョンアップを行う場合

2段階のバージョンアップ作業が必要です。

- 一旦、Ver. 3.16の最終版にアップしてから、最新版へのアップを行います。
- 詳細は弊社サポートまでお問い合わせください。

### ExaPad Ver. 3.16の環境から最新版へバージョンアップを行う場合

- 最新版のインストーラーを実行することでバージョンアップできます。
- 最新版 インストーラーの入手について弊社サポートまでお問い合わせください。

## バージョンアップの手順

### ライセンスファイルの確認

バージョンアップ前に、ライセンスファイルの入れ替えの必要性について確認をしてください。



確認方法は2つあります。

1. ExaPad画面 > システム設定 > 稼働状況 を開きます。
  - MajorNo とMinorNo の番号を確認します。
  - 例えば Ver.3.16 の場合、MajorNo = 3、MinorNo = 16 となります。
2. ExaPad管理ツール > ライセンス を開きます。
  - MajorNo とMinorNo の番号を確認します。(番号の見方が上記と同じ)

## インストーラーの実行

最新のインストーラーを入手して実行してください。

バージョンアップ時は、データのバックアップは必要ありません。

バージョンアップ時は、新規インストール時とは違い、各種設定項目はそのまま引き継がれます。

## 5.2 更新内容の一覧

### 各バージョンで追加・変更・修正された内容の一覧

一覧内容は ExaPad Ver.3.2.2以降に更新された内容です。

2019/04/08 ver.3.16.1.17

#### 不具合修正

- インデックス再構築処理の際に、アクセス権情報の読取・比較の処理中で一時的に利用されるセキュリティ識別子 (SID) オブジェクトの解放漏れ (メモリーク) がありました。  
インデクサーが異常終了する場合がありますが、本問題を修正しています。

2019/04/08 ver.3.16.1.16

#### 不具合修正

- PDF ファイルを扱うライブラリを最新化しました。画像を多く含むPDF ファイル (スキャナから画像形式で取り込んだPDF ファイルなど) のテキスト抽出処理が高速化されました。

- SSL ライブラリを最新化しました。
- ログイン時に「複製した項目は使用できません」というエラーが出る不具合を修正しました。  
複数の同名グループ(WindowsローカルグループやActiveDirectoryグループ)に所属するアカウントでログインした場合にのみ発生する不具合でした。
- 全文検索エンジンの起動に時間がかかる場合において、solr.logに「項目が見つかりません」というエラーが報告されてしまう不具合を修正しました。

2019/04/08 ver.3.16.1.1

### 不具合修正

- pdfjs\_option=disabled を設定し、Acrobat ReaderなどのNativeビューアーを使ってプレビューを表示するモードが機能しない不具合を修正しました。
- 更新インストール時に、既存の類義語辞書ファイル(synonyms.solr.txt)が上書きされてしまう不具合を修正しました。
- [SolrCloud] エラーメッセージが表示されてしまい「ExaPad管理ツール」の「SolrCloud」メニューを開けない不具合を修正しました。
- [SolrCloud] Slaveサーバーにおいて更新インストールすると、Fb3Solrサービスの起動モードが「手動」になってしまう不具合をインストール前の「起動モード」が維持されるように修正されました。
- 「直接開く」クライアントのインストーラーはログイン済みでなくともダウンロードできるように修正しました。

2019/04/08 ver.3.16.0.40

### 不具合修正

- フォルダやファイルを開くとURLに不要な文字列(skip=0)が埋め込まれてしまう不具合を修正しました。

2019/04/08 ver.3.16.0.39

### 新機能

- 全文検索エンジン Apache Solr を、Ver.5 Ver.7にバージョンアップしました。ただし、バージョンアップした場合にはVer5のまま動作します。
- 複数のタイムゾーンにまたがる環境でご利用している場合に、各クライアント端末の現地時間でファイルのタイムスタンプが表示されるようになりました。
- オープン中のファイルの一覧をドキュメント別別に一覧できる機能が追加されました。システム管理者向けの機能となります。システム管理 > 開いているファイル」メニューから利用できます。

- Office文書やPDFファイルの閲覧画面（pdfjs形式）の拡大率設定がブラウザに記憶されるようになりました。これにより一度変更した拡大率設定が他のファイルを開いた後も維持されるようになります。
- 検索結果の一覧の親フォルダリンクに「親フォルダを直接開く」が追加されました。これにより親フォルダをエクスプローラーで直接開けるようになります。なお、「直接オープンオプション」ライセンスが必要です。
- 「管理ツール> SSL証明書 > サーバー証明書 > 追加」にて、pfx形式の証明書（秘密鍵含む）を取り込めるようになりました。
- ファイル一覧の表示形式として「タグ一覧」を選択できるようになりました。「システム設定 > タグ定義」で設定されているタグを一覧できます。
- 未登録（値が入力されていない）のタグを検索できるようになりました。検索条件の入力ダイアログでいずれかのタグを選択した後、右端にある「..ボタン」を押し「未登録」を選択して検索してください。
- タグのバックアップ機能が実装されました。
- システム設定 > タグ定義」にて数値型を定義できるようになるなど機能が追加されました。

## 仕様変更

- 一覧表示した際の並び替えする列はフォルダを開くたびに「名前昇順」でリセットするように仕様変更されました。変更前は、前回開いたフォルダで並び替えていた列が記憶される仕様でした。
- 「ファイル > プロパティ」メニューの名称が「ファイル > タグ・プロパティ」に変更され、ダイアログのデザインが修正されました。
- PC向け画面の左側に表示されるフォルダツリーの表示速度が改善されました。
- ライセンスの有効期限「保守期限」が30日以内になると警告バーが表示されますが、それ以前（30日以上365日未満）にシステム設定に同様の警告を表示されるようになりました。これによりシステム管理者様はシステム設定にアクセスすることでより早く期限日を確認できるようになります。
- Zipファイルの展開時にzipファイル名のフォルダを作らないオプション(extract\_zip\_in\_folder)が追加されました。
- フォルダのプロパティには、更新者と作成者が表示されるようになりました。

## 不具合修正

- 「管理ツール > エラーテキスト分析」にて「error.txtを削除」を実施しても、実施の度に1件ずつしか削除されない不具合を修正しました。
- システム設定 > プレビュー作成設定」にて、随時作成設定を「プレビューなし」にできない不具合を修正しました。
- Zipファイルを解凍しても、Zipファイルに含まれる「空のフォルダ」が作成されない不具合を修正しました。
- 大きいサイズのファイル(100MB程度以上)の上書き更新に失敗する不具合を修正しました。

2018/11/06 ver.3.15.0.13

## 新機能

- クライアント証明書認証に対応しました。ExaPad管理ツール> SSL設定にて設定できます。
- クライアント証明書や統合シングルサインオン基盤と連携しシングルサインオンできるようになりました。本機能を利用するためにはシングルサインオンオプションが必要になります。
- jpg, jpeg, tif, tiffファイルのEXIFプロパティを全文検索できるようになりました。抽出対象のプロパティ名の一覧は「システム設定 > 設定全般」のexif\_propertiesで変更できます。
- HTTPS(SSL)接続を有効にしている場合に、HTTP接続をHTTPS接続へリダイレクトできるようになりました。ExaPad管理ツール> SSL設定にて設定できます。
- 検索バーに /DocRoot /folder/文書 docx のようにフルパスを入力して実行すると、検索する代わりに直接そのファイル(もしくはフォルダ)を開けるようになりました。
- モバイル端末からPDFビューアを表示した場合に、モバイル専用のツールバー(ボタンを押しやすい高さを大きくし不要なメニューを除外)が表示されるようになりました。
- システム設定 > インデックス構築状況において、「フォルダスキャン」検索インデックス登録処理のログファイルから、ドキュメント別処理時間、処理件数を集計しテキストファイルとしてダウンロードできる機能を追加しました。
- SolrCloud利用環境において、Solrサービスの再起動をタスクスケジューラーから登録できるようになりました。
- FbClient(直接オープンクライアント) およびFbDriveのインストーラーがサイレントインストールに対応しました。

## 仕様変更

- ExaPad拡張プロパティ( filepropertydef.cfg)機能が廃止され、タグ定義に統合されました。この仕様変更により、従来は標準で表示・編集が可能であった「Office文書プロパティ」はシステム設定 > タグ定義にて設定が必要になります。なお、「概要」と「コメント」は既定でタグ定義に設定されます(既定の設定のまま表示・編集が可能です)。
- 各種WebAPIは従来POSTメソッドにしか対応していませんでした。本バージョンからGETメソッドを利用できるようになりました。
- 巨大なテキストファイルを連続してテキスト抽出・インデックス登録処理を行った場合に、サーバーのメモリの空き状況に応じてメモリが不足する(「メモリが足りません」というメッセージがログに出力)症状が確認されました。本不具合が発生しにくくなるよう、利用できるメモリの上限を設定できるようになりました。
- 検索結果の各ファイルの親フォルダへのリンクをクリックした時、直接親フォルダを開くのではなくメニューを表示させるようにしました。本修正は、本当はファイルを開いたつもりなのに、誤って親フォルダを開かれてしまう問題への対応です。
- ファイル一覧のエクスポート処理を高速化しました。
- システム設定 > プレビュー作成設定において、随時作成設定が事前作成設定を包含していない場合には保存できないようにしました。
- システム設定 > タスクスケジューラーが改良されました。スケジュール種別に「1回」を設定できるようになりました。開始時刻の初期値の時・分・秒が00:00:00にセットされるようになりました。などです。
- SolrCloud構成環境において、zookeeper\dataフォルダが肥大化しないようトランザクションファイルの1ファイルあたりの上限サイズを小さくしました。

## 不具合修正

- 一部のWordファイルで「オブジェクト参照がオブジェクト インスタンスに設定されて いません」というエラーが発生しプレビューを抽出できませんでした。本不具合を修正しました。
- システム設定 > 最終アクセスセッションの一覧が 最終アクセス日時降順に並ばない 不具合を修正しました。
- アクセスログファイルに出力されるIPアドレスが、Proxyサーバーのアドレスになってしまう不具合を修正しました。Proxyサーバーから提供されるX-Forwarded-Forヘッダ値を代わりに出力するよう修正されました。なお、この修正の影響はProxyサーバーを経由してExaPadにアクセスしていない 場合に限定されます。
- タスクスケジューラーなどでほぼ同時刻にインデックス削除とプレビュー削除を実行させると 片方のジョブが実行されない 場合がありました。本不具合を修正しました。
- 統合Windows認証時に直接オープンが失敗する不具合を修正しました。
- 統合Windows認証 でログインしたセッションが、システム設定 > 稼働状況にアクセスしてもLoadingのままになってしまう場合がありました。本不具合を修正しました。

2018/07/13 ver.3.14.0.5

## 新機能

- システム設定 > インデックス構築状況 において、再構築を行うドキュメントリストを選択できるようになりました。
- API[/system/status]が追加されました。
- 64bit版IFilterを使用してテキスト抽出できるようになりました。
- プレビュー抽出エンジン(doc,xls,ppt,vsd) を最新化しました。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、アクセスログ集計 が追加されました。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、プレビュー再構築(検索式) が追加されました。検索式を設定することでプレビュー再構築対象を絞り込みます。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、フォルダスキャン処理停止、再開 が追加されました。
- JW-CADのファイル(拡張子jwwのみ対応) のプレビュー、全文検索に対応しました。ただし、プレビューにはCADプレビューオプションが必要です。

## 仕様変更

- 一覧出力 > CSV形式 において、ダウンロードされるCSVファイルのエンコーディングがShift\_JISからUTF8(BOM)に変更されました。
- ファイルの検索中に待機中アイコンが表示されるようになりました。

- システム設定 > セキュリティ拡張(AclManager) において、ダウンロードが許可されていない場合でもPDF形式のプレビュー表示およびPDFファイル表示できるように変更されました。
- システム設定 > セキュリティ拡張(AclManager) において、ダウンロードが許可されていない場合にはダウンロードボタンを非表示にしました。
- インデックス再構築ダイアログにおいて、チェックボックスの選択状態をクッキーに記憶するように変更されました。
- システム設定 > 現在ログイン中のユーザー 機能は廃止され、代わりに「最新アクセスセッション」が追加されました。
- プレビューフォルダ( tpi\_root)フォルダの読み取りは、Fb3Webサービスの実行アカウントで行うよう修正されました。この修正により、プレビューフォルダのアクセス権は、Fb3Webサービスの実行アカウントに対して読み取り権限を、Fb3Indexerサービスの実行アカウントに読み書き権限を許可すれば動作するようになります。

## 不具合修正

- システム設定 > サービス実行アカウントにおいて、アカウント名が16文字以上の場合にエラーになる不具合を修正しました。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、処理停止(fn=suspendagent)、処理開始(fn=resumeagent)アクションの実行時にすべてのエージェントが停止、開始してしまう不具合を修正しました。
- システム設定 > タスクスケジューラー において、複数のタスクを追加した場合に、全てのスケジュールが同一になってしまう不具合を修正しました。
- ドキュメントルートが複数設定されていて且つ、一つ目のエイリアスが"default"になっている場合に、2つ目以降のドキュメントルートにアクセスできない不具合を修正しました。
- Apple iPad/iPhoneでHTML プレビューやhtmlファイルの閲覧時に画面がスクロールできなくなる不具合を修正しました。
- PDFファイルのプレビュー作成処理がタイムアウト等で強制終了された場合にWindowsTemporaryフォルダに一時ファイルが残ってしまう現象が確認されました。定期的に不要ファイルを削除するように修正されました。
- WEBドキュメントルートのトップでインデックス再構築した場合に、ログインユーザー権限でアクセス権のチェックをしてしまう不具合を修正しました。
- 詳細検索において、サブフォルダ指定時に特定の文字「[];」がエスケープされない不具合を修正しました。
- Internet Explorer11において、ファイルのドラッグ&ドロップができない不具合を修正しました。この不具合はVersion3.12においてのみ発生します。
- Androidにおいて画面のフッターに空白が表示されてしまう不具合を修正しました。
- 複数ファイルの一括ダウンロード時に、巨大なファイルをダウンロードできない不具合を修正しました。
- インデックス再構築時にプレビューのみを選択した場合にも検索インデックス登録が行われてしまう不具合を修正しました。
- システム設定 > タグ定義 において、編集方式を「選択式」にした場合に値をクリアできない不具合を修正しました。クリアできるようにするためには、まず「候補値」に空白行を追加していただき、この設定しておけば、空白行を選択することで値をクリアできるようになります。複数入力を許可する」にチェックを入れている場合にも同様の効果があります。

- 統合Windows認証を利用中で、Internet Explorerを利用時に、フォルダ作成や概要更新などの操作を行うと"action not found" というエラーが発生する場合がありますが、修正されました。
- 統合Windows認証を利用中で、ポータルオープン用ファイル(index.html,top.htmlなど)を表示すると読み込み中のままになる場合がありますが、修正しました。
- 統合Windows認証を利用中で、ドキュメントトレートリモートフォルダを指定している場合、Windows Active Directoryの「Kerberosの制限付き委任におけるネガティブ キャッシュ」が原因でそのフォルダ以下を表示できなくなる症状が、Windows 2012 Server以降で確認されました。この問題の回避機能（S4UCacheTimeout）を実装しました。

2018/03/09 ver.3.12.0.16

### 新機能

- ドラッグ& ドロップによるファイルの上書き更新に対応しました。
- 情報パネルのデフォルトの表示状態を設定できるようになりました。config.ini[default\_infopanel\_visibility\_of\_folder(\_file)]を設定してください。
- PDFビューアのデフォルトの表示倍率を設定できるようになりました。config.ini[pdfjs\_option]をzoom = 100のように指定します。
- 選択した複数フォルダ以下のファイルを検索できるようになりました。ファイル一覧にて複数のフォルダを選択した時の右クリックメニューに「選択フォルダ内で検索する」が追加されています。
- max\_files\_per\_folder(既定値: 2000)を超えるファイル/フォルダはその表示に時間がかかるため一覧できないように制限されていますが、代わりに検索を行うことで一部を列挙できるようになりました。
- システム設定 > インデックス構築状況のドキュメントトレートの稼働状況をエクスポートできるようになりました。
- システム設定からプラグインの追加・削除・設定が可能になりました。
- アクセスログ集計・キーワードランキングにおいて検索ワードを除外指定できるようになりました。

### 仕様変更

- ファイル・フォルダの検索時におけるURLとアクセスログの仕様が変更されました。
- トップからのインデックス再構築処理は、各ドキュメントトレート毎の再構築ジョブに分散させるようにしました。
- 0kbのファイルでもアップロードできるようになりました。
- システム設定 > 設定全般(config.ini)におけるエクスポート機能を、いずれのブラウザであってもファイルとしてダウンロードできるように修正しました。
- WebApiに機能が追加されました。
- システム設定 > 稼働状況 > 設定の送信/ダウンロードの対象にplugins フォルダ（プラグインファイル）が追加されました。



- システム設定・インストーラー 管理ツールの一部が英語対応されました。
- ブラウザ外からドラッグ&ドロップしてファイルをアップロードする際にマウスカーソルに表示される文言を「移動」から「コピー」に修正しました（ただしブラウザによります）
- システム設定 > タグ設定にて、数値型を定義できるようになりました。
- システム設定 > タグ設定にて、文字列型が複数値入力に対応しました。選択した各値は半角空白で区切られた文字列として入力されます。
- ポータル（index.html, top.html等）を使用しているフォルダにおいて、フッターを表示するように変更されました。なお非表示にするにはshow\_footer\_in\_portalをoffにして下さい。

## 不具合修正

- 一部のinddファイルでプレビュー作成に失敗する不具合を修正しました。
- 統合認証の不具合が修正されました。「ログインできない」、「一定時間放置してから操作するとフォルダツリーの展開やポータル画面の描画において不具合が出る」といった症状が、統合認証使用時に発生していましたが、解消されました。この問題はすべての環境で起こるわけではなく Windows2000互換のActiveDirectory環境や古いInternet Explorerから接続した場合に再現していました。

2017/11/27 ver.3.11.0.2

## 新機能

- 検索ツールバーで使えるファイル名検索ショートカットを追加しました。「キーワード入力 + Ctrl + Enter」でファイル名検索できます。
- インデックス構築状況画面を刷新しました。
- ファイル名がピリオドで始まるファイルやフォルダを非表示にする機能を追加しました。config.ini[hide\_dotfile]をONにしてください。
- ファイルの作成日時及びサイズで検索できるようになりました。
- 特定のファイル種類を除いた検索ができるようになりました。type: -docxのように拡張子の前に半角ハイフンを付けて検索してください。
- 日付範囲検索で、N日以上前やN年以上前 などの検索ができるようになりました。
- タスクスケジューラーに「設定をバックアップ」アクションが追加されました。config.ini[config\_backup\_directory]で指定したフォルダにバックアップされます。

## 変更点

- Fb3Indexerサービスの終了にFb3Solrサービスを停止しないように修正しました（設定で変更可能です）
- 除外パスもしくは検索除外パスに設定されているフォルダでは、検索ツールバーが表示されなくなりました。
- システム設定 > 除外ファイル設定 の仕様を変更しました。



- インデックス/プレビューの再構築や掃除時に常にサブフォルダが含まれるようになりました。
- 一覧出力に、作成日時とタグ情報が出力されるようになりました

### 不具合修正

- inddファイルのプレビュー抽出処理を改良しました。
- テキスト抽出/全文検索除外パスに設定されているASCII系テキストファイルが、全文検索できてしまう不具合を修正しました。
- システム設定 > 設定全般において「ユーザ設定のみ表示」チェックを入れても絞り込まれない不具合を修正しました。
- 除外 検索対象パスにおいて、フォルダやテキスト抽出対象でないファイルが除外されない不具合を修正しました。
- menu\_overwriteをOFFにすると、新規アップロードできない不具合を修正しました。
- システム設定 > ドキュメントルートにて、TPI フォルダに共有フォルダパスを指定していると存在しているのに警告が表示され保存できない不具合を修正しました。

2017/05/11 ver.3.9.0.4

### 不具合修正

- 一部のセキュリティソフトがfbOpenWeb.exeのマルウェア感染を誤検知する問題を回避

2017/05/01 ver.3.9.0.3

### 新機能

- Zipファイルの展開先を選択できるようになりました

2017/04/27 ver.3.9.0.2

### 新機能

- ファイル検索ユーザーインターフェースを改良しました
- Internet Explorer以外でも統合Windows認証でログインできるようになりました
- トップ フォルダの名称を変更できるようになりました
- ドキュメントルートのフォルダアイコンを変更できるようになりました
- WEBシステム設定ユーザーインターフェースを改良しました。メニュー階層を無くし一覧性を向上させました。

- 管理ツールのユーザーインターフェースを改良しました。メニュー階層を無くし一覧性を向上させました。
- RTF (リッチテキストフォーマット) ファイルのプレビューができるようになりました
- ExaPad API V3を公開しました
- 一部の情報管理のためにPostgresqlデータベースを利用するようになりました

## 変更点

- Windows Vistaがサポート対象外OSになりました
- Windows Server 2016 がサポート対象OSになりました
- .Net Framework 4 が導入されていないマシンへはインストールできなくなりました
- 32Bit OSへはインストールできなくなりました
- WindowsOSのInternet Explorer9,10サポート終了に伴い、Internet Explorer9,10がサポート対象外ブラウザになりました

## 不具合修正

- 2GBを超えるファイルの通常アップロード(JAVAアップロードでない) に失敗する不具合を修正しました

2017/01/26 ver.3.8.0.2

## 新機能

- 内部で使用しているWebサーバーがApache HTTP Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバーへ変更されます
- デフォルトの表示形式を変更できるようになりました
- 特定のフォルダを検索対象外 ( 検索対象除外パス ) に設定できるようになりました
- Google Chromeにてフォルダのドラッグ& ドロップによりファイルのアップロードができるようになりました
- MHT ファイルの閲覧ができるようになりました。 javascriptが使用されているmhtファイルなど一部のファイルは表示できません

## 変更点

- SSL設定にて複数の証明書を有効にできるようになりました
- Ver3.7.0にて無効化されていた統合Windows認証が使用可能になりました
- DWG ファイルにおいて、コントロールコードの検索ができるようになりました
- Microsoft Wordファイルのプレビューファイルに変更履歴が埋め込まれなくなりました

- Microsoft Excelファイルのプレビューファイルに非表示タブが埋め込まれなくなりました

2016/11/17 ver.3.7.0.12

### 新機能

- ユーザーインターフェース (UI) を刷新して使い勝手をより良くしました
- md(Markdown) ファイルの閲覧 編集に対応しました
- Acrobat Readerを使わずにPDF ファイルをプレビューできるようになりました
- CAD ファイルをPDF形式でプレビューできるようになりました
- ログイン画面のユーザー名入力ボックスのヒントを非表示にできるようになりました。システム設定 > 設定全般 ( config.ini ) > [hide\_userid\_hint\_in\_login] をONに設定してください
- ファイル一覧において並び順を固定できるようになりました
- ファイルやフォルダにタグ ( ExaPad独自のメタ情報 ) を付加できるようになりました

### 不具合修正

- 管理ツール > サーバー証明書 設定画面の幅が狭くなる不具合を修正しました
- フォルダパス(breadcrumbs)やフォルダツリーにて「一覧出力」右クリックメニューが表示されない不具合を修正しました

### 変更点

- 統合Windows認証 機能を一時的に無効化します
- 他の人が追加したコメントは削除できなくなりました
- 「新しいテキスト」「新しいメモ」にてファイル作成時に、更新者と作成者を保存するようにしました

2016/09/29 ver.3.6.1.6

### 新機能

- ファイルのクリック時にfileスキーム(file:///\*\*)でファイルを開けるようになりました

### 不具合修正

- インデクサーのクロール時に、アクセスできないフォルダがあるとクロール処理が停止してしまう不具合を修正しました。これはVer3.5.1.1から含まれる不具合です

- ショートカットファイル(\*.lnk)が開けられない不具合を修正しました。これはVer3.6.0.1から含まれる不具合です

## 変更点

- ポータルページにおいて検索ボックスのデフォルトの表示状態を変更できるようになりました。システム設定 > 設定全般(config.ini) > [show\_searchbar\_in\_portal] を設定してください

2016/07/07 ver.3.6.0.1

## 新機能

- 環境設定をWebブラウザから変更できるようになりました
- ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードできるようになりました
- ExcelファイルをHTMLプレビューする時の最大行数を変更できるようになりました。システム管理 > 高度な設定 > その他全設定項目(config.ini) > [xls\_max\_rowcount] を設定してください
- テキスト抽出するファイルのサイズ上限を拡張子毎に変更できるようになりました。システム管理 > 高度な設定 > その他全設定項目(config.ini) > [max\_extract\_text\_file\_size\_kb\_extlist] を設定してください
- HTMLファイルプレビューにおいて電話番号リンク(href="tel:電話番号")を使用できるようになりました

## 不具合修正

- ログイン時のパスワードをWebブラウザに記憶できない不具合を修正しました
- ファイルのタイムスタンプを過去日付に戻した場合に、検索インデックスに反映されない不具合を修正しました
- ドキュメントレートが一つの場合に、そのドキュメントレートに隠し属性を割り当てても中身を一覧できてしまう不具合を修正しました

## 変更点

- ドキュメントレートのエイリアス名は省略できなくなりました
- ドキュメントレートが1つの場合でも必ずトップが表示されるようになりました
- 初回インストール時に使用していた初期化ウィザードが廃止されました

2016/02/29 ver.3.5.1.1

## 新機能

- ファイルのパスを直接入力できるようになりました

- ファイルリストとフォルダツリーにて、Windowsエクスプローラーと同様のキーボード操作でファイルが閲覧できるようになりました
- ExaPad管理者パスワードをクリアすることができるようになりました
- アップロード可能なファイルの拡張子を制限できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [uploadable\_extlist]に拡張子をカンマ区切りで指定してください
- 直接オープンインストール画面をカスタマイズできるようになりました
- SSLの自己署名証明書を作成できるようになりました

## 不具合修正

- ファイル名検索において半角スペースを含むファイルがヒットしない不具合を修正しました
- iOS9 Safariにおいて画像の全画面表示時にツールバーが表示されない不具合を修正しました
- ログイン時にWindowsアカウントのパスワード変更ができない不具合を修正しました
- Internet Explorerにおいてファイル検索でヒットしたExcelファイルを閲覧時にページを切り替えるとファイル検索条件がクリアされてしまう不具合を修正しました
- webtempdirに設定されている一時フォルダのリフレッシュが実行されない場合がある不具合を修正しました

## 変更点

- アクティベーション（ライセンス認証）が必要になりました
- Internet Explorer8がサポート対象外ブラウザになりました
- Microsoft Edgeがサポート対象ブラウザになりました
- Windows8.0がサポート対象外OSになりました。Windows8.1は引き続きサポート対象となります
- ExaPadが使用するApache, Java, Jettyのバージョンを最新化しました。（Apache=2.2.31, Java=8.0.740.2, jetty=9.3.6.v20151106）
- adminusers/admingroupsが指定されてかつExaPad管理者パスワードが設定されていない場合に、管理者でないユーザーは管理者メニューが表示されなくなりました
- Javaアップローダーの証明書を更新しました
- Javaアップロード機能の非対応ブラウザにGoogle Chrome, Microsoft Edgeが追加されました

2015/11/26 ver.3.5.0.7

## 新機能

- ロードバランサーやプロキシサーバー経由でExaPadにアクセスした場合に、本来のクライアント端末のIPアドレスでネットワークアドレス判定ができるようになりました
- 統合Windows認証ログイン後に、別ユーザーでもログインできるようになりました

## 変更点

- 「フルパスを表示」にて表示されるファイルのパスを、ドキュメントルートパターンを考慮したパスで表示するように変更されました
- 不具合修正
- 管理ツールにてSolr(検索エンジン)のヒープメモリサイズ(MB)を10000以上に設定できない不具合を修正しました
- ExaPadと関係のないローカルディスクの残容量警告が出力される不具合を修正しました

2015/11/12 ver.3.5.0.4

## 不具合修正

- Javaアップローダー画面やシステム設定画面において、custom/header.phpがロードされてしまう不具合を修正しました

2015/11/03 ver.3.5.0.3

## 新機能

- xdoc2txt(全文テキスト抽出コンバーター)がUnicode文字を抽出できるようになりました
- Office文書に定義されたユーザー定義プロパティを全文検索できるようになりました
- ファイルダウンロード時のチャンク(分割)サイズを変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [download\_chunksize]から設定できます
- 変更点
- URLおよび各種パスの形式が変更されました。バージョンアップの際には影響がありますので必ず事前にご確認ください
- ファイル/フォルダの削除を検知した際にその親フォルダをインデックス再構築する仕様が削除されました

## 不具合修正

- 除外設定(exclude.txt)されているファイルが閲覧画面にて「プレビュー作成中です」と表示されてしまう不具合を修正しました。これはver.3.3.2.59から含まれる不具合です
- 除外テキスト抽出パス(exclude\_extracttext.txt)に指定されたファイルが検索インデックスに載らない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です

- htmlやhtmlファイル内のハイパーリンクがURLエンコードされている場合にリンク先を参照できない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です
- リートフォルダ上のショートカットファイルが開けない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です

2015/10/19 ver.3.4.1.9

#### 変更点

- フォルダのコピーや移動時に、フォルダ内の一部のファイル・フォルダが原因で中断した場合、そのパスもアクセスログに出力されるようになりました

#### 不具合修正

- 読み取り権限のないドキュメントレートが表示されてしまう不具合を修正しました。これはver.3.4.1.1からver.3.4.1.5にのみ含まれる不具合です
- ドキュメントレートまたはそのファイルのコピーや移動時に更新日が継承されない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です
- Internet ExplorerにてJavaアップロード完了後にファイル一覧が更新されない場合がある不具合を修正しました

2015/10/01 ver.3.4.1.5

#### 不具合修正

- ファイルやフォルダの削除を検知した際に、その親フォルダがクローलされてしまう不具合を修正しました。これはver.3.4.1.1からver.3.4.1.3にのみ含まれる不具合です

2015/09/17 ver.3.4.1.3

#### 変更点

- ツリービュー内のドキュメントレートの順番が五十音順から 管理ツール > 基本設定 > ドキュメントレートに変更されました。ver.3.4.0.4にて五十音順に変更されましたが、ver.3.3.4.19までと同様の表示順になるようにしました

#### 不具合修正

- 管理ツール タスクスケジューラの「インデックス・プレビュー再構築」アクションが実行されない不具合を修正しました

2015/08/31 ver.3.4.1.1

### 新機能

- 統合Windows認証に対応しました。Internet Explorerでのアクセス時に自動でログインできるようになりました
- 管理ツールにSSL(https接続)導入支援機能を追加しました

### 変更点

- Windows XP, 2003のサポートが終了しました。今バージョンから本体および直接オープンクライアントは左記OS上にはインストールできなくなりました
- Webサーバーサービスはlocal system以外のアカウントでは起動できなくなりました
- 同じドキュメント内でのファイルおよびフォルダの移動時に、移動先のWindowsセキュリティ権限が引き継がれるようになりました。従来は移動元のWindowsセキュリティが引き継がれていました
- 直接オープンクライアントのインストール方法が変更されました
- "新しいテキスト、新しいメモ、テキスト編集、メモ編集"のいずれかによって保存したファイルの改行コードがLFからCRLFに変更されました。Windowsのメモ帳で開いても改行として表示されるようになります

### 不具合修正

- テキスト抽出上限サイズの設定値 ( max\_extract\_text\_size\_kb ) が設定値より小さいサイズしか抽出されない不具合を修正しました
- ドキュメントにローカルドライブ(C:\やD:\などを指定できない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4からver.3.4.0.14にのみ含まれる不具合です

2015/07/02 ver.3.4.0.14

### 新機能

- ファイル名のソート順を単純な50音順に切り替えられるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [no\_strcmp\_logical]にチェックを入れてください

### 不具合修正

- ドキュメントが1つのみ設定されている場合に、ポータル機能の検索キーワードランキングが表示されない不具合を修正しました
- システム設定において、インデックス構築状況、現在ログイン中のユーザー、アクセスログレポートの時刻が12時間形式で表示されてしまう



不具合を修正しました

- installer.logが読み取り専用である場合にバージョンアップインストールを開始できない問題を修正しました
- ACLサーチが有効な場合に長いファイル名(260文字以上)のファイル、フォルダの検索ができない問題を修正しました

2015/05/28 ver.3.4.0.7

### 不具合修正

- 設定パラメーター[filelist\_maxsize\_mb]の値を2048(2Gバイト)以上に設定できない不具合を修正しました
- 一括ダウンロードに失敗する場合がある不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4にのみ含まれる不具合です

2015/05/11 ver.3.4.0.4

### 変更点

- クラシック表示機能が廃止されました。これによりInternet Explorer6,7はサポート対象外となります。
- ツリービュー内のドキュメントレートの順番が管理ツール > 基本設定 > ドキュメントレートの順番から、五十音順に変更されました
- アクセスログファイル内のファイルパス表記が変更されます
- /resへの参照が無くなりました
- フォルダコピー時のアクセスログが親フォルダのログのみになりました。旧バージョンではフォルダ内の全てのファイル・フォルダについて出力されていました
- FbStorage.exe, FbProperty.exe, FbAclManager.exe のサポートを終了いたします
- ユーザー招待機能が廃止されました

### 新機能

- ファイル一覧画面をクリック時に別ウィンドウで開く機能が追加されました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [gridview\_pathlink\_type]にshownewviewを指定してください。
- ファイルアップロード時にプログレスバーが表示されるようになりました。(Google Chrome, Firefox, Internet Explorer10以降で対応しています)
- Jw\_cadファイル(jwwのみ)のプレビュー、テキスト抽出に対応しました。(Ver3.14以降、外部プログラムなしで抽出できるようになりました。)
- XDW(DocuWorks)ファイルのアノテーション(テキスト、付箋)の全文検索に対応しました。PDFプレビューにも対応しました

- Excelファイルのhtmlプレビューの最大ページ数を変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [xls\_max\_sheetcount]から設定できます
- プレビュー未作成のファイルを閲覧時にプレビューが作成されたかを問い合わせる間隔を変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [preview\_reload\_interval]から設定できます
- ダウンロードできるファイルの種類を制限できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu\_download\_extlist]から設定できます
- Javaアップロードメニューを非表示にできるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu\_javaupload]から設定できます
- Javaアップロード時の分割時サイズを変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [javaupload\_chunksize]から設定できます
- 検索ボックスを非表示にできるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu\_search]から設定できます
- ファイルコピー処理の終了を待機できるようになりました。旧バージョンではコピー処理に時間がかかる場合にブラウザがタイムアウトしてました

## 不具合修正

- 除外テキスト抽出パスに指定されているファイルのテキストが抽出されてしまう不具合が修正されました
- 管理ツールの数値エディットで2147483648(32bit整数)以上を設定できない不具合が修正されました
- 異なるドライブが指定されているドキュメントレート間でのファイルの移動に失敗する不具合を修正しました
- ファイルのリネーム時に大文字小文字のみの変更をした場合にファイルが削除されてしまう不具合を修正しました。(フォルダのリネーム時は発生しません)

## 2015/02/24 ver.3.3.4.19

- ドキュメントレートのファイルサーバー上でバックアップサービス(WindowsServer DFSレプリケーション等)が稼働している場合で一定サイズ以上のファイルをJavaアップローダーでアップロードすると失敗する問題を修正しました

## 2014/12/01 ver.3.3.4.10

- ファイルの画像プレビューの全画面閲覧中にブラウザの「戻る」ボタンを押すとフリーズしてしまう不具合を修正しました
- Javaアップロードにおいて同名ファイルが存在するときに「スキップします」にチェックが入っているにもかかわらず、「アップロード」ボタンを2回押すことで上書きされてしまう不具合を修正しました

## 2014/11/27 ver.3.3.4.8

- 管理ツールにてドキュメントルートを変更した場合に、ユーザーID/パスワード入力を促して読み取り権限のチェックを行えるようになりました
- プレビューが作成途中のファイルを閲覧時に、すでに作成されたプレビューを「すぐ見る」ボタンを押さずに自動で表示できるようになりました
- 検索時における詳細表示ビューの親フォルダへのリンク表示を見やすくしました
- 一覧出力メニューを非表示にできない不具合を修正しました。（管理ツール 基本設定 WEBアプリ メニュー menu\_getcsvlist から設定できます）
- フォルダに対して削除権限のないユーザーが新規アップロードできるようになりました。（ただし、上書きアップロードは従来どおり失敗します）

2014/08/28 ver.3.3.3.34

### 新機能

- Microsoft Office ファイルの表示・編集に対応しました（別途ライセンスが必要）
- 初期導入ウィザード機能が追加され、インストール作業が簡単になりました

### 変更点

- 内包するWebサーバー(Apache)のバージョンが新しくなりました。これによりIPv6に対応されました（HTTPポートを80番以外でご利用されているお客様は必ずご確認ください）
- 複数ファイルアップロードに対応しました
- パスワード付きZipファイルの展開ができるようになりました
- ファイル閲覧画面において、プレビュー作成が完了した場合に自動で再表示されるようになりました
- システム設定 -稼働状況- から設定ファイルを一括でダウンロードできるようになりました

### 不具合修正

- Google Chromeにてログアウトできない不具合を修正しました
- ファイルパスが260文字を超えるファイルのアップロードに失敗する不具合を修正しました

2014/06/30 ver.3.3.2.71

- キーワード「\*」で検索を繰り返すとWebサーバーがフリーズしてしまう不具合を修正しました

2014/04/03 Ver.3.3.2.59

## 新機能

- 一覧出力がEXCEL形式に対応しました
- テキストファイルの編集ができるようになりました
- Zip ファイルの展開ができるようになりました
- pps, ppsm, ppsx, docm, pptm, xlsb, xlsx ファイルのプレビューに対応しました
- docm, pptm, xlsb, xlsx ファイルの全文検索に対応しました

## 変更点

- プレビュー作成方法が変わりました
- ブラウザ上でプレビュー作成設定はできなくなります。
- .Net Framework2.0がシステム要件に追加されました
- ファイルの閲覧画面が新しくなりました
- ビューワーが使いやすくなりました
- 背景色を変更できるようになりました
- コメント、概要を置めるようになりました
- Apple iPadでの操作レスポンスが向上しました
- システム設定画面がInternet Explorer6,7はサポートされなくなりました
- PCブラウザでは検索パネルが常時表示されるようになりました

## 不具合修正

- Javaアップロードに失敗する不具合が修正されました
- プロパティを空白で更新すると、それ以後更新できなくなる不具合が修正されました
- 特定のPDFファイルにおいて、ICC profile エラーが出てプレビュー作成に失敗する不具合が修正されました
- PHPモジュールがロードされたままになっていた不具合が修正されました
- ExaPad3.1.8.0から3.3.1.10までのバージョンへアップグレードされたお客様は、本バージョンへアップデートすることでPHPモジュールがロードされなくなります

2014/01/27 Ver.3.3.1.5

- Javaアップローダーが、最新のJava（Version 7 Update 51）に対応しました。
- Javaアップローダーにおいて、ファイル選択のチェックボックスがなくなり、反転することによって選択状態を表すようになりました。（よりWindowsエクスプローラに近づきました。）
- バージョンアップ時に、Solr（検索エンジン）のメモリ設定が引き継がれるようになりました。

2013/12/20 Ver.3.3.0.79

## 基本機能

- CADプレビューが、AutoCAD 2013に対応しました。
- DWFファイルに対応しました。
- プレビュー品質が向上しました。
- プレビューが最新でない場合、ファイル閲覧画面に、メッセージを表示するようになりました。
- EXIFのOrientationに対応しました。写真のプレビュー作成時に、向きを正しく再現できます。
- 一部のEPS形式のプレビューの背景が、黒になる事象について、プログラムの変更を行いました。
- 非常用ライセンスが新たに追加されました。有効にすると30日間、ログイン可能ユーザー数が無制限になります。
- ACLサーチがデフォルトで有効になりました。（新規インストール時のみ）
- 長いパス（255文字以上）に対応できるようになりました。ファイルの検索やプレビュー閲覧などの基本機能を使うことができます。
- DocuWorksファイルの、Date型のプロパティが化けて検索できない現象を改善しました。
- ワイルドカード検索で、大文字小文字を区別しないようになりました。

## ユーザーインターフェイス

- 全画面プレビューにおいて、マウスホイールやダブルクリックで拡大操作をする際、ポインタ位置を中心に拡大されるようになりました。
- ipadでログイン時に、パスワードを記憶することができるようになりました。（設定を変更することにより有効になります。）
- スワイプ操作でのページ送り機能が、iOS 7にも対応しました。
- セッションハイジャック対策で、直接開く場合にダウンロードして開く動作は行わなくなりました。

## インデックスサーバー

- Java 64bitに対応しました。64bit版のWindows OSの場合は、自動的インストールされます。
- デフォルトの検索インデックスのスキーマがnit\_solr\_uni.zipに変更されました。これにより、全文検索において、アンダースコア(\_)で半角文字列キーワードを分割されるようになります。また、日本語の1文字検索が可能になります。（バージョンアップの場合は、自動的に変更

更されません。)

- Apache TomcatがJettyに変更されました。
- ログファイルの形式と 保存場所が変更されました。
- インデクサーをAgent化し、負荷を分担させることで、安定性が向上しました。

## 管理ツール

- 管理ツールのメニューがカテゴリ別に分類され、新しくなりました。
- システム設定メニューの、インデックス構築状況画面を改良しました。
- ライセンスファイルの形式が変わり、マシンキーのパラメーターが増えました。(ライセンスファイルの発行時は、マシンキーをお送りいただく必要があります。)
- Tpldxサービスにスケジュール機能が付きまして、バージョンアップしたお客様は、デフォルトでは無効に設定されます。
- FbAclManager.exe (拡張セキュリティツール) は管理ツールに統合されました。

## 2013/09/19 Ver.3.2.7.5

- ファイルのプレビューやインデックスの更新条件を、「更新日時が新しい場合」から「更新日時が不一致の場合」に変更しました。
- EPSファイルのプレビュー精度が向上しました。(EPSのプレビューには、DTPプレビューオプションが必要です。)

## 2013/08/30 Ver.3.2.6.18

- ファイル一覧画面の、ファイル表示件数を変更できるようになりました。
- xls, docファイルのhtmlプレビューがハイパーリンクに対応しました。
- フォルダを除外して検索ができるようになりました。
- ファイル属性の一括編集時の対象ファイル/フォルダ数の上限値を設定できるようになりました。既定では、100ファイルになっています。
- インデックス再構築の実行画面から、「登録済チェックをスキップする」が非表示になりました。常に登録済チェックをするようになります。

## 2013/08/08 Ver.3.2.5.21

- Apache, Java, Tomcatのバージョンが新しくなりました。  
Apache httpd : 2.2.25 / Java SE : 7u25 7.0.250.17 / Apache Tomcat : 6.0.37
- パスワードオートコンプリート機能の有効化、無効化を設定できるようになりました。
- DocuWorks 8に対応しました。DocuWorksファイル( .xdw, .xbd )の全文検索、プレビュー作成を行うには、ExaPad のサーバ環境にDocuWorksの製品版がインストールされている必要がありますが、ExaPad 動作環境のすべてにおいて、DocuWorksがインストールでき

るものではありません。DocuWorksの動作環境などにつきましては、事前に富士ゼロックス様へご確認ください。

## 2013/06/28 Ver.3.2.4.20

- 全画面プレビューにおいて、マウススクロールでプレビュー画像を、拡大・縮小できるようになりました。
- ファイルプロパティの一括編集ができるようになりました。

## 2013/05/23 Ver.3.2.3.0

- Internet Explorer8では、ファイルプレビューを全画面表示しても、画面幅にフィットしたプレビュー表示しかできませんでした。この事象について、プレビューサイズが画面幅を超えている場合は、元の大きさを保持して表示するように改良を行いました。

## 2013/04/12 Ver.3.2.2.207

- XLS、PDFファイルのプレビュー生成の内部解像度が上がり、より細部まで明瞭になりました。

## 5.3 Ver3.15.0 -

**スマートカード、SSLクライアント認証、シングルサインオンなどへの対応について**

## セキュリティ機能について

### 1. スマートカード認証をサポート

Windowsログオンにおけるスマートカード認証の多くは、クライアント証明書認証の技術を応用したものです。

ExaPadにおいても、スマートカードとPIN を組み合わせたログイン認証の動作は検証済みです。

ユーザーID/パスワードの代わりに、スマートカードとPIN でログオンする環境のお客様もExaPadをお使いいただけます。

### 2. SSLクライアント認証をサポート

認証局が発行するルート証明書を登録して、クライアント証明書に基づく端末認証 / ユーザー認証 ができます。

Windows Active Directory証明局などの外部の認証局が発行した証明書に対応します。

### 3. シングルサインオンをサポート

サードパーティー製アクセス制御製品を利用したシングルサインオンを受け付ける、シングルサインオンオプション（別途有償）を提供します。

詳しくは弊社サポートまでお問い合わせください。

## 拡張プロパティが「タグ」へ統合

旧バージョンでは 拡張プロパティ（概要・コメント・Office プロパティ）と「タグ」は別々に管理されていましたが、本バージョンより全て「タグ」へ統合されました。

統合により、大きく2つの影響があります。

1. Office プロパティは標準で非表示になります。

- 非表示にはなりますが、変更していたプロパティの値は保持されています。表示するには[こちら](#)を参照してください。
- 拡張プロパティを使用していた場合は、バージョンアップ時に自動で移行されます。

2. フォルダ毎に異なる拡張プロパティの設定ができなくなります

- プラグインにて対応可能です。詳しくはサポートまでお問い合わせください。

### 5.4 Ver3.16.0 - Apache Solr を Ver.7 にバージョンアップ、その他

## 全文検索エンジン Apache Solr を Ver.5 から Ver.7 にバージョンアップ

- 新規にインストールされたお客様は Ver.7 での動作となります。
- 旧バージョンからアップデートされたお客様は引き続き Solr Ver.5 での動作となります。  
インデックスデータに互換性がないため、Solr Ver.7 への変更にはインデックスの初期化が必要です。
- Solr Ver.3 を使用している環境からのアップデート時にはインデックスデータが無効となり、サービスの起動・検索ができなくなりますのでご注意ください。
  - 必ずバージョンアップ後にインデックスを初期化して再構築してください。
  - Solr Ver.3 をご利用中の場合、インストール時に警告が表示されます。

詳しくは弊社サポートまでご連絡ください。

## タグ・プロパティを自動バックアップする定期タスクの追加



タグ・プロパティの自動バックアップ機能が追加され、バージョンアップ時に自動で毎週土曜日に実行されるようになります。

詳しくは[こちら](#)を参照してください。

## ライセンスの有効期限・保守期限の警告メッセージの仕様変更

- ユーザー画面に警告を表示する残り日数の境界を 60日から30日に変更しました。
- システム設定画面においては、それ以前(30日以上365日未満)に同様の警告が表示されるようになりました。  
これによりシステム管理者様はシステム設定にアクセスすることで、より早く期限日を確認できるようになります。  
無期限版でライセンス番号が有効な場合には、期限のないためシステム画面に警告は表示されません。

### 5.5 Ver4.0 バージョンアップの注意点

#### 概要

ExaPad Ver4.0へのバージョンアップは、メジャーバージョンアップとなります。

今までの設定を引き継ぐためにバージョンアップできますが、仕様変更もあるため詳細な部分で今までとは異なる部分もあり、バージョンアップによる何らかの影響が出る可能性があります。

- 機能面ではほとんど変更がないため、Ver3.15以前の環境を使用していて特に問題のない場合、Ver3.16最終版へのバージョンアップをおすすめします。
- 既存の環境で何らかの問題があり、それがVer4.0で解決できる場合、Ver4.0へのバージョンアップをおすすめします。
- Ver4.0にバージョンアップする場合には、必ずサポートにご連絡ください。

#### 主な変更点

#### サービス名の変更

	Ver4.0	Ver3.16以前
--	--------	-----------

インデクサー	FbIndexer	Fb3Indexer
WEBサーバー	FbWeb	Fb3Web
検索エンジン	FbSolr	Fb3Solr
ZooKeeper	FbZookeeper	Fb3Zookeeper
データベース	FbPostgresql	Fb3Postgresql

## インストール時の必要ディスク容量

インストーラプログラムの実行時に空き容量の確認ため、「必要容量：5.00GB」が表示されるようになりました。

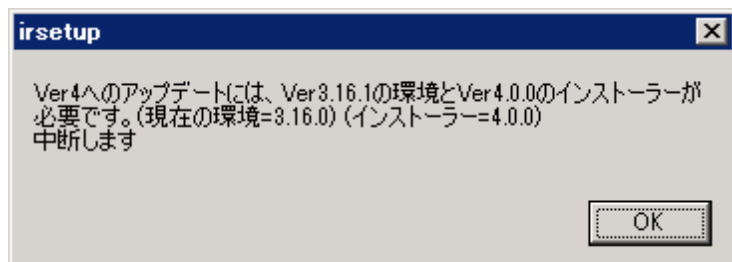
なお、インストールするドライブの空き容量が実際に不足していてもインストールを続行できるようになっています。

## Ver4.0へのバージョンアップについて

### バージョンアップ可能な前提条件

#### 1. バージョンの一致が必要です。

- Ver 3.16.1.x がインストール済みであること。（Ver.3.16.1より古い環境ではバージョンアップできません）
- Ver 4.0.0.x をインストールすること。（Ver 4.0.0.x より新しいバージョンを使って、Ver 3.16以前の環境をバージョンアップできません）
- 無期限ライセンスを適用済みの環境の場合、ライセンスファイルのバージョン番号が「4.0」のものを適用していること。
- Ver3.x のインストール先ドライブと同一ドライブに、Ver4.0 をインストールすること。（異なるドライブにインストールした場合はエラーとなります）
- これらの条件を満たしていないと次のようなダイアログが出てインストール処理が中断されます。

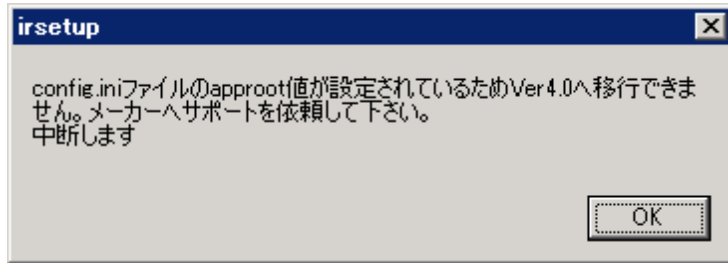


## 2. /migrateコマンドラインスイッチの指定が必要です

コマンドラインスイッチの指定がないと、エラーとなりインストールが中断されます。

## 3. approotの設定がないこと

- カスタマイズ機能利用している場合、特別な対応が必要です。
- approotの設定がある環境でインストーラーを実行すると次のようなダイアログが表示され中断されます。



## バージョンアップの方法

上記の前提条件を満たす場合には、Ver4.0.0.x のインストーラープログラムを実行すると、自動でバージョンアップされます。

プログラムの入手についてはサポートにご連絡ください。

## トラブルシューティング

インストール時のログファイルが次の場所に出力されます。

何か不具合のある場合にはこのログファイルをサポートに送って調査をご依頼ください。

C:\ProgramData\ExaPad4.0\log\Installer\installer.log

**Part**

---

**VI**

## 6 API V3 マニュアル

ここではExaPad API Version3 についてご説明いたします。

### ExaPad API とは

ExaPad Version3.9.0以降、ファイル操作などの一部の機能をAPIとして公開しています。

ExaPad APIはHTTPプロトコルを介して呼び出せるので、ユーザーはOSや端末を問わず独自のアプリケーションを簡単に構築することができます。

ExaPad API を利用するには別途ライセンスを購入する必要があります。

また、このAPIマニュアルには、機能をお求めの場合は弊社サポートまでご相談ください。

### API 呼び出しの基本

APIはExaPadサーバ稼働しているホストマシンに対して、以下のようなURLでHTTPリクエストを送信することで実行します。

```
http(s)://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/<APIグループ名>/<API名>
```

例

```
http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder
```

各APIは、いくつかの例外を除きHTTPヘッダに以下の2つのフィールドを含める必要があります。

フィールド名	値
Authorization	Bearer <アクセストークン> を指定します。<アクセストークン>は <a href="#">/auth/login</a> APIで取得します。
Content-Type	application/json; charset=utf-8 を指定します。

リクエストとレスポンスのデータは共にJSON（JavaScript Object Notation）形式で文字コードはUTF8を使用します。

### API 呼び出しの流れ

各APIは実行前にExaPadにログインして、アクセストークンを取得しておく必要があります。

以下のサンプルでは、ログイン([/auth/login](#))を実行し、取得したアクセストークンを使ってファイル一覧([/files/list\\_folder](#))を実行する流れをご説明します。

### ログイン

ログインしてアクセストークンを取得します。

#### リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/auth/login
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  userid: "test",
  password: "pass",
  domain: "ExaPad"
}
```

#### レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "access_token": "CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F"
}
```

access\_tokenに<アクセストークン>が格納されています。

## ファイル一覧

取得したaccess\_tokenを使用して[files/list\\_folder](#)を実行します。

#### リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder
Authorization: Bearer CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/"
}
```

#### レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "entries": [
    {
```

```
        "name": "DocRoot",
        "path": "/DocRoot",
        "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
        "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
        "is_dir": true,
        "size": -1
    }
]
}
```

/ ( トップ ) フォルダ内のファイル、フォルダー一覧が取得できました。

## 6.1 更新履歴

こちらではExaPad API Version3 の更新履歴についてお知らせいたします。

---

### 2018/11/07 Version3.15.0

各APIリクエストに[GETメソッド](#)を利用できるようになりました。

[/auth/login](#) にsso引数が追加されました

---

### 2018/03/09 Version3.12.0.16

[/files/view](#) を追加しました。

[/system/status](#) を追加しました。

[/files/list\\_folder](#)、[/files/search](#)、[/files/get\\_metadata](#) において、attributes/パラメータに指定できる値(pathcaption)が追加されました。

[/files/search](#) が、ファイル名、種類、日付、サイズ検索に対応しました。

[/files/download\\_tpi/create](#)、[/files/download\\_tpi/download](#) の仕様が変更されました。従来のリクエストパラメータ レスポンスパラメータで使って呼び出すことができません。

---

### 2017/08/01 Version3.10.0.4

[/files/list\\_folder](#)、[/files/search](#)、[/files/get\\_metadata](#) において、attributes/パラメータに指定できる値(openable, has\_thumbnail, page\_count)が追加されました。

## 6.2 リファレンス

/auth APIはユーザー認証に関する機能を提供します。

API名	説明
<a href="#">/auth</a>	ユーザー認証に関する機能を提供します。
<a href="#">/files</a>	ファイル操作に関する機能を提供します。
<a href="#">/system</a>	ExaPadのシステム操作に関する機能を提供します。

### 6.2.1 auth

/auth APIはユーザー認証に関する機能を提供します。

API名	説明
<a href="#">/login</a>	ExaPadにログインし、アクセストークンを取得します。
<a href="#">/logout</a>	ExaPadからログアウトし、アクセストークンを無効にします。

#### 6.2.1.1 login

ExaPadにログインし、アクセストークンを取得します。

## アクセストークンとは

アクセストークンとは、認証済みユーザーを識別するための半角英数32バイトの文字列です。

各APIは[/auth/login](#)で取得したアクセストークンをHTTPヘッダに以下の形式で指定する必要があります。

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

取得したアクセストークンはログアウト([/auth/logout](#))するか、セッションがタイムアウトするまで有効です。

万一、有効なアクセストークンが流出した場合ExaPadに不正アクセスされる危険があります。アクセストークンが不要になった場合は速やかにログアウト([/auth/logout](#))を実行してアクセストークンを無効にしてください。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/auth/login
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  userid: "test",
  password: "pass",
  domain: "ExaPad"
```



```
}
```

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
userid	String, 必須	ユーザー名を指定します。
password	String, 必須	パスワードを指定します。
domain	String	ドメイン名を指定します。デフォルトは空です。
sso	Boolean	シングルサインオン用のアクセストークンを取得する場合にTrueをセットします。取得したアクセストークンは <code>http://\$(host)/ExaPad/login.php?sessionid=\$(access_token)</code> のURLをブラウザに開かせることでシングルサインオンできます。ただし、このアクセストークンはAPI呼出しには利用できません。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "access_token": "CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F"
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson文字列で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
access_token	String	アクセストークンです。

## エラーレスポンス

その他のエラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.1.2 logout

ExaPadからログアウトし、アクセストークンを無効にします。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/auth/logout
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

## リクエストパラメータ

なし

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson文字列で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	リクエストが成功するとtrueが返されます。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2 files

/files APIはファイル操作に関する機能を提供します。

API名	説明
<a href="#">/list_folder</a>	指定したフォルダ直下のファイルもしくはフォルダの一覧を取得します。
<a href="#">/search</a>	ファイル/フォルダを検索します。
<a href="#">/get_metadata</a>	ファイル/フォルダの情報を取得します。
<a href="#">/upload</a>	ファイルをアップロードします。
<a href="#">/upload_session/start</a>	ファイルの分割アップロードを開始します。
<a href="#">/upload_session/append</a>	分割されたファイルをアップロードします。
<a href="#">/upload_session/finish</a>	ファイルの分割アップロードを終了します。
<a href="#">/download</a>	ファイルをダウンロードします。
<a href="#">/view</a>	ファイルをダウンロードします。
<a href="#">/has_folder</a>	フォルダがサブフォルダを1つ以上持つか? を調べます。
<a href="#">/create_folder</a>	フォルダを作成します。
<a href="#">/delete</a>	ファイル/フォルダを削除します。

<a href="#">/copy</a>	ファイル/フォルダをコピーします。
<a href="#">/move</a>	ファイル/フォルダを移動します。
<a href="#">/rename</a>	ファイル/フォルダをリネームします。
<a href="#">/setfiletime</a>	ファイル/フォルダの日時を変更します。
<a href="#">/comment/add</a>	コメントを追加します。
<a href="#">/comment/remove</a>	コメントを削除します。
<a href="#">/download_tpi/create</a>	プレビューファイル保存フォルダのダウンロードを準備(zip化)します。
<a href="#">/download_tpi/download</a>	zip化されたプレビューファイルの保存フォルダをダウンロードします。
<a href="#">/get_thumbnail</a>	プレビュー画像をダウンロードします。

### 6.2.2.1 list\_folder

指定したフォルダ直下のファイルもしくはフォルダの一覧を取得します。

## HTTP リクエスト

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list\_folder

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list\_folder

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/",
  attributes: "description,is_readonly"
}
```

attributesを指定したサンプル。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
----	---	----

path	String, 必須	フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> についてはこちらをご覧ください。
mask	String	ファイル、フォルダ名のマスクを指定します。デフォルトは*です。
limit	Integer	最大取得件数を指定します。デフォルトは100です。
offset	Integer	取得開始オフセット、先頭から取得する場合0を指定します。デフォルトは0です。
attributes	String	<p>追加して取得したい属性があれば指定します。カンマ区切りで属性名を列挙してください。以下で指定する属性名の他、実存する拡張属性名を指定できます。デフォルトは空です。</p> <p>description - 概要 (ExaPad)  comment - コメント (ExaPad)  physicalpath - フリパス (Windowsパス形式)  is_readonly - 読み取り専用かどうか? (NTFS)  is_hidden - 隠し属性 (NTFS)  is_sysfile - システム属性 (NTFS)  is_archive - アーカイブ属性 (NTFS)  lastaccesstime - 最終アクセス日時 (NTFS)</p> <p>Ver3.10.0.4 ~ 利用可能  openable - そのファイル/フォルダを開く権限を持っているか? (ExaPad)  has_thumbnail - サムネイル画像が生成済みか? ただし生成済みでもopenableでない場合falseが返ります (ExaPad)  page_count - ファイルのページ数。プレビュー未作成や作成対象でない場合 -1。ただしプレビュー生成済みでもopenableでない場合 -1が返ります (ExaPad)</p> <p>Ver3.12.0.16 ~ 利用可能  pathcaption - 表示用のパス文字列 (名前を含む) です。pathとname値の連結した後の同等値ですが、ドキュメントルートエイリアス値の代わりにドキュメントルート表示名が割り当てられます。</p>
orderby	String	<p>ソート (昇順) に使用するフィールド名を指定します。以下の値を使用できます。指定しない場合はファイルシステムが返した順番になります。</p> <p>name  text  strcmplogical  size  creationtime  lastwritetime  extension</p>
orderbydescending	String	ソート (降順) に使用するフィールド名を指定します。orderbyが指定されていた場合は無視されます。デフォルトはnameです。
orderpriority	String	folder,file,bothのいずれかを指定できます。昇順時においてファイルとフォルダのどちらを上にもってくるかを指定します。bothならば考慮せずファイルとフォルダを混在させます。デフォルトはfolderです。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "entries": [
    {
      "name": "DocRoot",
```

```
        "path": "/DocRoot",
        "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
        "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
        "is_dir": true,
        "size": -1
    }
],
"total_count": 1
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

attributesを指定したレスポンスは以下のようになります。

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "entries": [
    {
      "name": "DocRoot",
      "path": "/DocRoot",
      "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "is_dir": true,
      "size": -1,
      "attributes": {
        "description": "これは概要です",
        "is_readonly": false
      }
    }
  ],
  "total_count": 1
}
```

概要が見つからない場合はdescription: nullが返ります。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
entries	配列	entry(ファイル、フォルダ情報)の配列です。
name	String	ファイル、フォルダ名です。

path	String	親フォルダのパスです。
creationtime	Timestamp	作成日時(ISO8601 形式)です。
lastwritetime	Timestamp	更新日時(ISO8601 形式)です。
is_dir	Boolean	ディレクトリの場合はtrueが返されます。
size	Integer	ファイルサイズです。フォルダの場合は-1になります。
attributes		リクエスト時にattributesを指定した時にだけ(指定した属性のみ)返されます。
total_count	Integer	ヒットした件数です。entryの数ではなく条件にマッチした総数。この値を上限にlimit,offset値を指定してpagingが可能です。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.2 search

ファイル/フォルダを検索します。

## HTTP リクエスト

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/search

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/",
  query: "keyword"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	フォルダのパスを指定します。このフォルダ直下および全子孫フォルダの中から検索します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
query	String, 必須	検索文字列。  Ver3.12.0.16 ~ 利用可能 ファイル名、種類、日付、サイズ検索に対応しました。 例えば以下のようにquery値を指定することで、ファイル名、種類、日付、サイズ検索が可能です。 例) あいうえお title:xyz type:word date:today size:10MB-

		検索式の仕様は、検索ツールバーのテキストボックスに入力できる書式と同じです。詳しくは <a href="#">こちら</a> を参照してください。
limit	Integer	最大取得件数を指定します。デフォルトは100です。
offset	Integer	取得開始オフセット、先頭から取得する場合0を指定します。デフォルトは0です。
attributes	String	追加して取得したい属性があれば指定します。カンマ区切りで属性名を列挙してください。指定できる属性名については <a href="#">files/list_folder</a> を参照してください。
orderby	String	ソート（昇順）に使用するフィールド名を指定します。以下の値を使用できます。デフォルトはnameです。 name size creationtime lastwritetime extension  なお、list_folder と違い search では orderby パラメータに ext, strcmplogical を指定できない仕様になっています。
orderbydescending	String	ソート（降順）に使用するフィールド名を指定します。orderby が指定されていた場合は無視されます。デフォルトはnameです。
utcoffset	Integer	協定世界時(UTC)との差を単位: 分で指定します。サーバーとクライアントのタイムゾーンが一致する場合には指定しなくても正しい検索結果を得られますが、異なる場合には、例えば日本であれば+540のように指定してください。ただし、query に日付条件を含める場合にのみ必要です。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "entries": [
    {
      "name": "sample.txt",
      "path": "/DocRoot",
      "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
      "is_dir": false,
      "size": 1024
    }
  ],
  "total_count": 1
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
entries	配列	entry(ファイル、フォルダ情報)の配列です。
name	String	ファイル、フォルダ名です。
path	String	親フォルダのパスです。
creationtime	Timestamp	作成日時(ISO8601 形式)です。
lastwritetime	Timestamp	更新日時(ISO8601 形式)です。
is_dir	Boolean	ディレクトリの場合はtrueが返されます。
size	Integer	ファイルサイズです。フォルダの場合は-1になります。
attributes		リクエスト時にattributesを指定した時にだけ(指定した属性のみ)返されます。
total_count	Integer	ヒットした件数です。entryの数ではなく条件にマッチした総数、この値を上限にlimit,offset値を指定してpagingが可能です。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.3 get\_metadata

ファイル/フォルダの情報を取得します。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/get_metadata
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
attributes	String	追加して取得したい属性があれば指定します。カンマ区切りで属性名を列挙してください。指定できる属性名については <a href="#">files/list_folder</a> を参照してください。



## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "name": "sample.txt",
  "path": "/DocRoot",
  "creationtime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
  "lastwritetime": "2000-01-01T00:00:00.000Z",
  "is_dir": false,
  "size": 1024
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
name	String	ファイル、フォルダ名です。
path	String	親フォルダのパスです。
creationtime	Timestamp	作成日時(ISO8601 形式)です。
lastwritetime	Timestamp	更新日時(ISO8601 形式)です。
is_dir	Boolean	ディレクトリの場合はtrueが返されます。
size	Integer	ファイルサイズです。フォルダの場合は-1になります。
attributes		attributesを指定した場合にdescription, comment, physicalpathが設定されます。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.4 upload

ファイルをアップロードします。

multipart/form-data形式でアップロードしたいファイルとパラメータを送信してください。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/upload
```

```

Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----boundary

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="file"; filename="sample.txt"

<ファイルボディ>
-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="parameters"
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{path: "/DocRoot/sample.txt", mode: "add"}
-----boundary

```

パラメータ部のデータ名は "parameters" を指定してください。

ファイル本体部のデータ名は "file" を指定してください。

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	アップロード先のファイルのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
mode	String	同名ファイルが存在した場合の動作を指定します。addが指定された場合に、既存ファイルがあると上書きを失敗させます。overwriteは上書きします。デフォルトはaddです。

リクエストパラメータはファイル本体と一緒にマルチパートで送信してください。フォームデータ名は "parameters" としてください。またContent-Type: application/json; charset=utf-8を忘れず指定してください。

## レスポンス

```

HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true
}

```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	成功の場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

### modeパラメータにaddもしくはoverwrite以外の値が指定されました

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/upload\": \"parameters\" in multipart/form: unsupported mode (allowed=add,overwrite)"
  }
}
```

addもしくはoverwriteを指定してください。

### 0バイトのファイルをアップロードしようとしています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "0KB のファイルはアップロードできません (/DocRoot/bbb5.txt)"
  }
}
```

1バイト以上のファイルをアップロードしてください。

### 同名ファイルが存在しています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "同じ名前のファイルが既に存在しています。削除してからアップロードしてください (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

```
}  
}
```

アップロード先に同名ファイルが存在しました。（削除してからアップロードするか、modeにoverwriteを指定して上書きすることもできます）

## アップロードサイズ上限を超えています

```
HTTP/1.1 413 Request Entity Too Large  
{  
  "error": {  
    "message": "Request Entity Too Large"  
  }  
}
```

アップロードするファイルのサイズが設定上限を超えています。システム設定のupload\_max\_filesize\_kbを確認してください。

## ディスクに空き領域がありません

```
{  
  "error": {  
    "message": "ディスクに十分な空き領域がありません。 (112) (/DocRoot/sample.zip)"  
  }  
}
```

ディスクに空き領域がないためアップロードに失敗しています。

## アップロードを許可されていないファイル種類です

```
HTTP/1.1 403 Forbidden  
{  
  "error": {  
    "message": "これらの拡張子以外のファイルはアップロードできません (exe) (/DocRoot/sample.exe)"  
  }  
}
```

アップロードするファイルの拡張子が設定で許可されていません。システム設定のuploadable\_extlistを確認してください。

## ファイル本体部の(file)パートが見つかりません

HTTP/1.1 403 Forbidden

```
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/upload\": \"parameters\" in multipart/form:
missing required field \"file\" in multipart/formdata."
  }
}
```

ファイル本体部のデータ名は "file" を指定してください。

その他のエラーについては[こちら](#)をご覧ください。

#### 6.2.2.5 upload\_session/start

ファイルの分割アップロードを開始します。

multipart/form-data形式でアップロードしたいファイルの先頭とパラメータを送信してください。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/upload_session/start
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----boundary

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="file"; filename="sample.txt"

< ファイルボディ >

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="parameters"
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{path: "/DocRoot/sample.txt", mode: "add"}
-----boundary
```

パラメータ部のデータ名は "parameters" を指定してください。

ファイル本体部のデータ名は "file" を指定してください。

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	アップロード先のファイルのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> についてはこちらをご覧ください。
mode	String	同名ファイルが存在した場合の動作を指定します。addが指定された場合に、既存ファイルがあると上書きを失敗させます。overwriteは上書きします。デフォルトはaddです。

リクエストパラメータはファイル本体と一緒にマルチパートで送信してください。フォームデータ名は「parameters」としてください。またContent-Type: application/json; charset=utf-8を忘れず指定してください。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "session_id": "61A631216461443D8810E6AE0E01CF0E"
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにJson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
session_id	String	アップロードセッションIDです。このIDを続く append,finishに指定します。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.6 upload\_session/append

分割されたファイルを追加します。

multipart/form-data形式でアップロードしたいファイルの途中部分とパラメータを送信してください。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/upload_session/append
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----boundary

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="file"; filename="sample.txt"
```

```
< ファイルボディ >
-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="parameters"
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{path: "/DocRoot/sample.txt", session_id: "61A631216461443D8810E6AE0E01CF0E", offset: 1024}
-----boundary
```

パラメータ部のデータ名は "parameters" を指定してください。

ファイル本体部のデータ名は "file" を指定してください。

アクセストークンについては [こちら](#) をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	アップロード先のファイルのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
session_id	String, 必須	/files/upload_session/start で取得したアップロードセッションIDを指定します。
offset	Integer, 必須	ファイルの書き込み位置を指定します。前回までのアップロードが成功しているかのチェックに使用されます。それまでに書き込まれたファイルサイズと等しくなるように指定してください。

リクエストパラメータはファイル本体と一緒にマルチパートで送信してください。フォームデータ名は "parameters" としてください。また Content-Type: application/json; charset=utf-8 を忘れずに指定してください。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにJson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	アップロードが成功するとtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.7 upload\_session/finish

ファイルの分割アップロードを終了します。

multipart/form-data形式でアップロードしたいファイルの最後尾とパラメータを送信してください。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/upload_session/finish
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----boundary

-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="file"; filename="sample.txt"

<ファイルボディ>
-----boundary
Content-Disposition: form-data; name="parameters"
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{path: "/DocRoot/sample.txt", session_id: "61A631216461443D8810E6AE0E01CF0E", offset: 534773760}
-----boundary
```

パラメータ部のデータ名は "parameters" を指定してください。

ファイル本体部のデータ名は "file" を指定してください。

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	アップロード先のファイルのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
session_id	String, 必須	/files/upload_session/start で取得したアップロードセッションIDを指定します。
offset	Integer, 必須	ファイルの書き込み位置を指定します。前回までのアップロードが成功しているかのチェックに使用されます。それまでに書き込まれたファイルサイズと等しくなるように指定してください。



リクエストパラメータはファイル本体と一緒にマルチパートで送信してください。フォームデータ名は "parameters" としてください。また Content-Type: application/json; charset=utf-8 を忘れずに指定してください。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	アップロードが成功するとtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.8 download

ファイルをダウンロードします。フォルダのダウンロードは対応していません。

</files/view> apiとの違いは、レスポンスヘッダーのContent-Disposition, Content-Type値だけです。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/download
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	ファイルのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> についてはこちらをご覧ください。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Disposition=attachment
Content-Type=application/force-download
<ファイル本文>
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスにファイル本体が返されます。

## レスポンスパラメータ

なし。

## エラーレスポンス

### pathに指定されたファイルが見つかりません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "指定されたパスが見つかりません。 (2) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

pathに指定されたファイルが存在しません。値を確認してください。

### pathに指定されたファイルに読み取り権限がありません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "アクセスが拒否されました。 (5) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

```
}  
}
```

pathは指定されたファイルに読み取り権限がありません。

## フォルダのダウンロードはできません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found  
{  
  "error": {  
    "message": "You can not download a folder (/DocRoot/subDir)"  
  }  
}
```

pathにフォルダパスが指定されています。

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.9 view

ファイルをダウンロードします。フォルダのダウンロードは対応していません。

</files/download> apiとの違いは、レスポンスヘッダーのContent-Disposition, Content-Type値だけです。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/view  
Authorization: Bearer <アクセストークン>  
Content-Type: application/json; charset=utf-8  
  
{  
  path: "/DocRoot/sample.txt"  
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
----	---	----

path

String, 必須

ファイルのパスを指定します。[パス](#)についてはこちらをご覧ください。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Disposition=inline
Content-Type=$(ファイルの拡張子から判断したファイルのMimeType)
<ファイル本文>
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスにファイル本体が返されます。

## レスポンスパラメータ

なし

## エラーレスポンス

### pathに指定されたファイルが見つかりません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "指定されたパスが見つかりません。 (2) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

pathに指定されたファイルが存在しません。値を確認してください。

### pathに指定されたファイルに読み取り権限がありません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "アクセスが拒否されました。 (5) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

pathに指定されたファイルに読み取り権限がありません。

## フォルダのダウンロードはできません

```
HTTP/1.1 404 File Not Found
{
  "error": {
    "message": "You can not download a folder (/DocRoot/subDir)"
  }
}
```

pathにフォルダパスが指定されています。

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.10 has\_folder

フォルダがサブフォルダを1 つ以上持つか? を調べます。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/has_folder
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "has_folder": true
}
```

```
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
has_folder	boolean	サブフォルダが存在した場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.11 create\_folder

フォルダを作成します。

## HTTP リクエスト

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/create\_folder

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/DocRoot/sample"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。

## レスポンス

HTTP/1.1 200 OK

```
{
  result: true;
}
```

```
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	成功の場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.12 delete

ファイル/フォルダを削除します。フォルダを指定した場合は空でなければ削除できません。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/delete
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

```
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	ファイル/フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
```

```
{
  result: true;
}
```

```
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	成功の場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.13 copy

ファイル/フォルダをコピーします。

## HTTP リクエスト

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/copy

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  to_path: "/DocRoot/sample_copied.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	コピー元のファイル/フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
to_path	String, 必須	コピー先のパスを指定します。

## レスポンス



```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	成功の場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.14 move

ファイル/フォルダを移動します。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/move
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  to_path: "/DocRoot/sample_moved.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	移動元のファイル/フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
to_path	String, 必須	移動先のパスを指定します。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "result": true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	成功の場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.15 rename

ファイル/フォルダの名前を変更します。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/rename
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  name: "sample_renamed.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	変更元のファイル/フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。

name	String, 必須	変更後の名前を指定します。
------	------------	---------------

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  result: true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	成功の場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.16 setfiletime

ファイル/フォルダの日時を変更します。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/setfiletime
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  lastwritetime: "2000-01-01T00:00:00.000Z"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> についてはこちらをご覧ください。
creationtime	Timestamp	作成日時(ISO8601 形式)を指定します。指定しない場合は変更されません。
lastwritetime	Timestamp	更新日時(ISO8601 形式)を指定します。指定しない場合は変更されません。
lastaccesstime	Timestamp	作成日時(ISO8601 形式)を指定します。指定しない場合は変更されません。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  result:true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	成功の場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.17 comment/add

コメントを追加します。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/comment/add
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  comment: "コメントです"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
comment	String, 必須	コメントの本文を指定します。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "comment": {
    "userid": "user",
    "lastwritetime": "2017-04-17T10:46:58.820Z",
    "comment": "コメントです"
  }
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
userid	String	成功の場合はtrueが返ります。
lastwritetime	String	コメントを追加した日時がISO8601形式の文字列で返ります。
comment	String	追加したコメントが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.18 comment/remove

コメントを削除します。

ExaPad管理者でない場合は他人の追加したコメントは削除できません。

## HTTP リクエスト

POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/comment/remove

Authorization: Bearer <アクセストークン>

Content-Type: application/json; charset=utf-8

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  "userid": "user",
  "lastwritetime": "2017-04-17T10:46:58.820Z"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	ファイル/フォルダのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。posted,useridが省略された場合は全てのコメントが削除されます。
lastwritetime	String, 必須	特定のコメントを削除する場合にコメント日付を指定します。ISO8601形式の日付文字列を指定してください。ExaPad管理者の場合は省略できます。その場合は全てのコメントが削除されます。
userid	String, 必須	lastwritetimeとセットでコメントユーザー名を指定します。ExaPad管理者の場合は省略できます。その場合は全てのコメントが削除されます。

## レスポンス

HTTP/1.1 200 OK

```
{
  result: true;
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
result	Boolean	成功の場合はtrueが返ります。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.19 download\_tpi/create

プレビューファイル保存フォルダのダウンロードの準備をします(Zipアーカイブ化のキューを登録する)。実際のダウンロードは[download\\_tpi/download](#)にて行います。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/download_tpi/create
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	プレビューファイル保存フォルダをダウンロードしたいファイルのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> については <a href="#">こちら</a> をご覧ください。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "fileid": "636657408"
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
----	---	----

fileid

String

ダウンロード用に発行されたfileの一時IDです。この値を[files/download\\_tpi/download](#)に渡します。

## エラーレスポンス

### tpi ( プレビュー ) が未作成です

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "tpi not found (/DocRoot/.tpi/sample.txt)"
  }
}
```

このAPIは作成済みのtpi ( プレビュー ) をzip化しますが、プレビュー未作成のファイルに対してプレビューを作成しません。プレビュー未作成のファイルの対してこのAPIを実行すると上記のようエラーが返ります。

その他のエラーについては[こちら](#)をご覧ください。

#### 6.2.2.20 download\_tpi/download

[download\\_tpi/create](#)によってzip化されたプレビューファイルの保存フォルダをダウンロードします。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/download_tpi/download
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
  fileid: "636657408"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	プレビューファイル保存フォルダをダウンロードしたいファイルのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> に



		ついてはこちらをご覧ください。
fileid	String, 必須	<a href="#">download_tpi/create</a> で取得したfileidを指定します。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
<Zip化されたpiフォルダ>
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスにZip化されたpiフォルダが返されます。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.2.21 get\_thumbnail

プレビュー画像をダウンロードします。

まだ作成されていないプレビューファイルや、プレビュー作成対象外のファイルはダウンロードできません。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/get_thumbnail
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

```
{
  path: "/DocRoot/sample.txt",
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	ファイルのパスを指定します。 <a href="#">パス</a> についてはこちらをご覧ください。
type	String	ダウンロードするプレビューのタイプ(s,m,l,p)を指定します。デフォルトはsです。 s - プレビュー作成設定のサムネイル ありの場合に出力される画像。 m - プレビュー作成設定の標準プレビュー ありの場合に出力される画像。 l - プレビュー作成設定の拡大プレビュー ありの場合に出力される画像。縦横比維持で、長辺の最大サイズがpreview_l_size(既定値=640px) p - プレビュー作成設定の拡大プレビュー ありの場合に出力される画像。縦横比維

		持で、長辺の最大サイズがpreview_p_size(既定値=1440px)
page	Integer	ダウンロードするプレビューのページを指定します。デフォルトは1です。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
< プレビュー画像本文 >
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスにプレビュー画像が返されます。

## レスポンスパラメータ

なし。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.3 system

/system APIはExaPadのシステム操作に関する機能を提供します。

API名	説明
<a href="#">/get_resource</a>	resource フォルダ以下のファイルをダウンロードします。
<a href="#">/check_async_job</a>	非同期処理の結果もしくは進捗を取得します。
<a href="#">/status</a>	バージョン番号やドメイン設定などの稼働状況を取得します。

#### 6.2.3.1 get\_resource

resource フォルダ以下のファイルをダウンロードします。( resource フォルダは設定値["resource\_dir"]にて変更可能です。デフォルトでは [APPDATA]ExaPad4.0resourceが設定されます。)

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/system/get_resource
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
```

```
path: "sample.txt"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
path	String, 必須	resource フォルダ以下のファイルパスを指定します。"subdir/sample.txt"のように resource フォルダからの相対パスで表記します。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
< ファイル本体 >
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスファイルの本体が返されます。

## レスポンスパラメータ

なし。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.3.2 check\_async\_job

非同期処理の結果もしくは進捗を取得します。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/system/check_async_job
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  async_job_id: "362F0DB245384E88BAAF3E471C56BEE8"
}
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

名前	型	説明
async_job_id	String, 必須	各非同期処理で取得したasync_job_idを指定します。

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "job_response": {
    "tempfileid": 962370710
  },
  "status": "done"
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスボディにjson形式で結果が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
job_response	String	各非同期処理の結果もしくは進捗がセットされます。内容はジョブによって異なります。
status	String	done,running,idle,aborted,のいずれかがセットされます。それぞれ、処理完了、処理中、処理開始待ち、中断を表します。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.2.3.3 status

バージョン番号やドメイン設定などの稼働状況を取得します。

## HTTP リクエスト

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/system/status
```

アクセストークンについては[こちら](#)をご覧ください。

## リクエストパラメータ

なし

## レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
{
  "time": "2017-12-28T00:22:19.843Z",
  "Version": "3.9.0.5",
  "domains": ["BROCCOLI","TEPPI"]
}
```

リクエストが成功すると、レスポンスコードが200、レスポンスファイルの本体が返されます。

## レスポンスパラメータ

名前	値	説明
time	String	サーバーの現在時刻
version	string	ExaPadのバージョン番号
domains	array of string	システム設定 > 設定全般 (config.ini) の windows_domain に設定されているドメイン名の一覧です。ただし、設定されている値が . (ピリオド) の場合、サーバーのコンピュータ名に置換されます。

## エラーレスポンス

エラーについては[こちら](#)をご覧ください。

### 6.3 パラメータの指定方法について

#### 1. RequestBody にJson文字列を指定する方法（推奨）

- METHODをPOSTとし、Content-Typeをapplication/json; charset=utf-8として、RequestBodyにJson形式の文字列を指定する方式です。
- RequestBodyに指定できる文字数に制限はありませんので、ファイルパスが長くなった場合でも制限にかかるとは呼出しが可能な方式で、最も推奨されるやり方です。

```
POST http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder
```

```
Authorization: Bearer <アクセストークン>
Content-Type: application/json; charset=utf-8

{
  path: "/"
}
```

## 2. "arg" URL ParameterにURLEncodeされたJson文字列を指定する方法

- METHODをGETとして、"arg"という名前のUrlエンコードされたJson文字列 (UTF8)を指定する方式です。
- HTTP Range Requestを送信しない (動画再生など) 場合など METHODとしてGETしか使えない場合に有効です。
- ただし、利用するHTTPクライアントの仕様によっては、URLの文字数上限を超える大きなサイズのパラメータを指定できない可能性があります。

```
GET http://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/files/list_folder?arg=%7B%0D%0A%09path%3A%22%2F%22%0D%0A%7D
Authorization: Bearer <アクセストークン>
```

## 6.4 ファイルシステムパス (パス) について

### ファイルシステムパスとは

ファイルシステムパス (パス) とはExaPad上でファイルやフォルダの所在を示す文字列です。

区切り記号には半角スラッシュ(/)が使用され、以下の形式で表記されます。

```
/エイリアス名 /ドキュメントルートフォルダからの相対パス
```

例えば

```
ドキュメントルートフォルダ = C:\Share
エイリアス名 = DocRoot
```

である場合に

```
C:\Share\subFolder\sample.txt
```

は以下のように表記します。

```
/DocRoot/subFolder/sample.txt
```

## トップについて

各ドキュメントルートフォルダの上には "トップ" と呼ばれる共通の仮想フォルダが存在します。

トップのファイルシステムパスは

```
/
```

で表します。

[/files/list\\_folder](#) APIのpathに(トップ)を指定すると、ドキュメントルートの一覧を取得することができます。

## 6.5 エラーについて

### エラーレスポンスの形式

API実行時にエラーが発生すると以下のようなレスポンスが返ります。

```
HTTP/1.1 4XX エラータイプ
{
  "error": {
    "message": "エラー内容 "
  }
}
```

### 各API 共通のエラーレスポンス

ここでは各APIで共通して発生するエラーについてご説明します。

#### URLが間違っています

```
HTTP/1.1 404 Page Not Found
{
```

```
"result": false,  
"exception": "Page Not Found",  
"exceptiontype": "EPageOrActionNotFoundException"  
}
```

URLが以下のようにになっているか確認してください。

http(s)://<ホスト名>/ExaPad/api/v3/<APIグループ名>/<API名>

## HTTPメソッドが間違っています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden  
{  
  "error": {  
    "message": "Your request's HTTP request method is \"GET\". This function only accepts the  
HTTP request method \"POST\"."  
  }  
}
```

GETではなくPOSTを指定してください。

## API名が間違っています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden  
{  
  "error": {  
    "message": "Unknown API function: file/list_folder"  
  }  
}
```

/file/list\_folderではなくfiles/list\_folderに修正します。

## 認証に失敗しました (Authorizationの指定がない)

```
HTTP/1.1 401 Unauthorized  
{  
  "error": {  
    "message": "Must provide HTTP header \"Authorization\"."  
  }  
}
```



HTTPヘッダにAuthorizationフィールドが見つかりません。

Authorization: Bearer CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F のように指定してください

## 認証に失敗しました (Authorizationの間違い)

```
HTTP/1.1 401 Unauthorized
{
  "error": {
    "message": "Invalid authorization value in HTTP header \"Authorization\":  
\"CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F\". Expecting \"Bearer <access_token>\"."
  }
}
```

HTTPヘッダのAuthorizationフィールドの値が正しく指定されていません。

Authorization: Bearer CA4C1E2219374643ACBA8B4BEE12319F のように指定してください

## 認証に失敗しました (その他)

```
HTTP/1.1 401 Unauthorized
{
  "error": {
    "message": "Invalid access token."
  }
}
```

以下の理由が考えられます。

- セッションがタイムアウトした。
- アクセストークンの指定方法が間違っている。指定方法については[こちら](#)をご確認ください。

## Content-Typeが間違っています

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": Bad HTTP \"Content-Type\" header:  
\"text/plain; charset=UTF-8\". Expecting one of \"application/json\", \"application/json; charset=utf-8\"."
  }
}
```

application/jsonを指定します。

## リクエスト本文が指定されていません

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": This function requires its argument
in the HTTP request body, but your request body is empty."
  }
}
```

本文をjson形式で指定します。

## リクエスト時の本文がjson形式になっていません

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": request body: could not decode
input as JSON."
  }
}
```

本文をjson形式で指定します。

## 必須パラメータが指定されていません

```
HTTP/1.1 403 Forbidden
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": request body: missing required field
\"path\"."
  }
}
```

パラメータを指定してください。もしくはpathの綴りが間違っていないか確認してください。

## パラメータの値が空になっています

HTTP/1.1 403 Forbidden

```
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": request body: empty value on \"path\" field is not allowed"
  }
}
```

値を設定してください。

## パラメータ名が間違っています

HTTP/1.1 403 Forbidden

```
{
  "error": {
    "message": "Error in call to API function \"files/list_folder\": request body: unknown field \"limit\""
  }
}
```

パラメータ名を確認してください。（ここではlimitのスペルが間違っています）

## pathに指定されたファイル/フォルダが見つかりません

HTTP/1.1 404 File Not Found

```
{
  "error": {
    "message": "指定されたパスが見つかりません。 (3) (/DocRoot/aaa)"
  }
}
```

pathに指定されたファイル・フォルダが存在しません。値を確認してください。

## Windows セキュリティの読み取り権限がありません

HTTP/1.1 403 Access Denied

```
{
  "error": {
    "message": "アクセスが拒否されました。 (5) (/DocRoot/win_security/cannotRead)"
  }
}
```

```
}  
}
```

pathは指定したフォルダのWindowsセキュリティの読み取り権限がありません。

## ExaPadセキュリティの読み取り権限がありません

```
HTTP/1.1 403 Access Denied (securityconfig)  
{  
  "error": {  
    "message": "読み取り権限が不足しています (ExaPadセキュリティ設定が原因です) (/DocRoot/fb_security/  
cannotRead)"  
  }  
}
```

pathは指定したフォルダのExaPadセキュリティの読み取り権限がありません。

## ドキュメントルート外です

```
HTTP/1.1 403 Forbidden  
{  
  "error": {  
    "message": "ルートフォルダ外です (/sample/sample.txt)"  
  }  
}
```

指定したパスがドキュメントルート外です。パスの表記が間違っていないかエイリアス名が間違っていないか確認してください。[パス](#)についてはこちらをご覧ください。

## ファイルが読み取り専用になっています

```
HTTP/1.1 403 Access Denied  
{  
  "error": {  
    "message": "このファイルは読み取り専用のため更新できません (/DocRoot/sample.txt)"  
  }  
}
```

書き込み先のファイルが読み取り専用になっています。(読み取り専用フラグを外してください)

## 他のプロセスによって使用されています

HTTP/1.1 403 Sharing Violation

```
{
  "error": {
    "message": "プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。(32) (/DocRoot/sample.txt)"
  }
}
```

書き込み先のファイルが他のプロセスによって使用されています。他のプロセスを終了するか、ファイルを閉じてください。

